岐阜県文化財保護センター
調査報告書　第124集

芥見町屋遺跡

2012
岐阜県文化財保護センター

芥見町屋遺跡（あくたみまちや）

2012
岐阜県文化財保護センター

序

岐阜市は、岐阜県の中央南部に位置し、古くから政治・経済的に重要な拠点でした。芥見町屋遺跡が所在する芥見地区においても、周辺の地域を結ぶ主要な道路が通り、長良川の渡船場（芥見の渡し）は物流・旅客輸送の重要な拠点であったと考えられています。

このたび、岐阜県県土整備部岐阜土木事務所による公共社会資本整備総合交付金事業及び公共床上浸水対策特別緊急事業に伴い、芥見町屋遺跡の事業予定地内において、記録保存のための発掘調査を実施しました。

当遺跡は、これまでの発掘調査では主に弥生時代と古代の遺構・遺物が知られていましたが、今回の調査では様相が異なり中世から近世にかけての集落跡を確認しました。本報告書は発掘調査の成果をまとめたものであり、本報告書が埋蔵文化財に対する認識を深めるとともに、当地の歴史研究の一助となれば幸いです。

最後となりましたが、発掘調査及び出土遺物の整理・報告書作成に当たりまして、多大な御支援・御協力をいただきました関係諸機関並びに関係者各位、岐阜市教育委員会、地元地区の皆様に深く感謝申し上げます。

平成24年３月

岐阜県文化財保護センター
所長　高橋　照美

例　言

1　本書は、岐阜県岐阜市芥見町屋１丁目及び２丁目に所在する芥見町屋遺跡（岐阜県遺跡番号21201-03185）の発掘調査報告書である。

2　本調査は、平成22年度公共社会資本整備総合交付金事業一般県道上白金真砂線町屋工区及び公共床上浸水対策特別緊急事業長良川芥見工区、平成23年度公共社会資本整備総合交付金事業一般県道上白金真砂線町屋工区・県単河川局部改良事業長良川芥見工区に伴うもので、岐阜県県土整備部から岐阜県教育委員会が予算の再配当を受けた。発掘調査及び整理等作業は岐阜県文化財保護センターが実施した。

3　宇野隆夫国際日本文化研究センター教授及び藤沢良祐愛知学院大学教授の指導のもとに、発掘調査は平成22年度に、整理等作業は平成23年度に実施した。

4　発掘調査及び整理等作業の担当は、本書第１章第２節に一括掲載した。

5　本書の執筆及び編集は三輪晃三が行った。

6　発掘作業における作業員雇用、現場管理、掘削、測量、景観写真撮影、旧字絵図のデジタルトレースなどの業務と、出土遺物の洗浄・注記は、株式会社ユニオンに委託して行った。

7　遺物の写真撮影は、株式会社イビソクに委託して行った。

8　鍛冶・鋳造関連遺物及び土製品付着顔料等の分析は、株式会社パレオ・ラボに委託して行った。第４章に掲載した。執筆は株式会社パレオ・ラボによる結果をもとに三輪が行った。

9　発掘調査及び報告書の作成に当たって、次の方々や諸機関から御指導・御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である（敬称略・五十音順）。

井川祥子　近藤大典　高橋宏之　長屋幸二　八賀晋　岐阜市教育委員会

財団法人岐阜市教育文化振興事業団埋蔵文化財調査事務所

10　本文中の方位は座標北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標系第Ⅶ系を使用する。

11　土層及び土器類の色調は、小山正忠・竹原秀雄2010『新版標準土色帖』（日本色研事業株式会社）による。

12　調査記録及び出土遺物は、岐阜県文化財保護センターで保管している。

目　次

序
例言
第１章　調査の経緯 …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査の方法と経過 …… 2
第２章　遺跡の環境 …… 7
　第１節　地理的環境 …… 7
　第２節　歴史的環境 …… 8
第３章　調査の成果 …… 11
　第１節　層序 …… 11
　第２節　遺構・遺物の概要 …… 14
　第３節　遺構 …… 19
　第４節　遺物 …… 95
　　遺構・遺物観察表、出土遺物一覧表 …… 121
第４章　自然科学分析 …… 165
　第１節　鍛冶・鋳造関連遺物の分析 …… 165
　第２節　土製品付着顔料等の分析 …… 173
第５章　総括 …… 177
　第１節　遺構 …… 177
　第２節　遺物 …… 179
　第３節　遺跡の検討 …… 187
引用・参考文献 …… 190
写真図版
報告書抄録

挿図目次

図１　遺跡位置図 ……1
図２　試掘・確認調査区位置図 ……2
図３　発掘区地区割り図 ……4
図４　土地条件概略図 ……7
図５　周辺遺跡分布図 ……9
図６　発掘区東壁土層断面図 ……12・13
図７　遺構配置図 ……15
図８　遺物出土状況 ……17
図９　ＳＡ１・２実測図（１） ……20
図10　ＳＡ１・２実測図（２） ……21
図11　ＳＢ04実測図（１） ……22
図12　ＳＢ04実測図（２） ……23
図13　ＳＢ04実測図（３） ……24
図14　ＳＢ05実測図（１） ……25
図15　ＳＢ05実測図（２） ……26
図16　ＳＢ05実測図（３） ……27
図17　ＳＢ06実測図（１） ……28
図18　ＳＢ06実測図（２） ……29
図19　ＳＢ07実測図（１） ……30
図20　ＳＢ07実測図（２） ……31
図21　ＳＢ08実測図（１） ……33
図22　ＳＢ08実測図（２） ……34
図23　ＳＢ09実測図（１） ……35
図24　ＳＢ09実測図（２） ……36
図25　ＳＢ10実測図（１） ……37
図26　ＳＢ10実測図（２） ……38
図27　ＳＢ10実測図（３） ……39
図28　ＳＢ11実測図（１） ……40
図29　ＳＢ11実測図（２） ……41
図30　ＳＤ２・３実測図（１） ……42
図31　ＳＤ２・３実測図（２） ……43
図32　ＳＤ２・３実測図（３） ……44
図33　ＳＤ２・３実測図（４） …… 45
図34　ＳＤ４実測図 ……46
図35　ＳＥ３実測図 ……47
図36　ＳＫ003実測図 ……49
図37　ＳＫ010・019・022実測図 ……50
図38　ＳＫ029・037・072実測図 ……51
図39　ＳＫ045実測図 ……53
図40　ＳＫ075・234・259実測図 ……55
図41　ＳＫ278・288・312実測図 ……57
図42　ＳＫ286・384・399実測図 ……58
図43　ＳＫ366・367実測図 ……59
図44　ＳＫ481・483・484・495実測図 ……61
図45　ＳＫ509実測図 ……63
図46　ＳＢ01実測図（１） ……65
図47　ＳＢ01実測図（２） ……66
図48　ＳＢ02実測図（１） ……67
図49　ＳＢ02実測図（２） ……68
図50　ＳＢ03実測図 ……69
図51　ＳＤ１、ＳＥ１・２実測図 ……71
図52　ＳＫ033実測図 ……73
図53　ＳＫ056・057・058実測図 ……74
図54　ＳＫ093・105実測図 ……75
図55　ＳＸ１実測図 ……76
図56　ＳＢ12実測図 ……77
図57　ＳＢ13実測図 ……78
図58　図面割り図 ……79
図59　遺構概略図分割図（１） ……80
図60　発掘区全域分割図（１） ……81
図61　遺構概略図分割図（２） ……82
図62　発掘区全域分割図（２） ……83
図63　遺構概略図分割図（３） ……84
図64　発掘区全域分割図（３） ……85
図65　遺構概略図分割図（４） ……86
図66　発掘区全域分割図（４） ……87
図67　遺構概略図分割図（５） ……88
図68　発掘区全域分割図（５） ……89
図69　遺構概略図分割図（６） ……90
図70　発掘区全域分割図（６） ……91
図71　遺構概略図分割図（７） ……92
図72　発掘区全域分割図（７） ……92

図73　遺構概略図分割図（８）……93
図74　遺構概略図分割図（９）……94
図75　発掘区全域分割図（９）……94
図76　遺構概略図分割図（10）……94
図77　遺物実測図（１）……102
図78　遺物実測図（２）……103
図79　遺物実測図（３）……104
図80　遺物実測図（４）……105
図81　遺物実測図（５）……106
図82　遺物実測図（６）……107
図83　遺物実測図（７）……108
図84　遺物実測図（８）……109
図85　遺物実測図（９）……110
図86　遺物実測図（10）……111
図87　遺物実測図（11）……112
図88　遺物実測図（12）……113
図89　遺物実測図（13）……114
図90　遺物実測図（14）……115
図91　遺物実測図（15）……116
図92　遺物実測図（16）……117
図93　遺物実測図（17）……118
図94　遺物実測図（18）……119
図95　遺物実測図（19）……120
図96　分析№６の元素マッピング図及びポイント分析スペクトル（１）……171
図97　分析№６のポイント分析スペクトル（２）……172
図98　黒色部の赤外分光スペクトル図……175
図99　土製品に塗られた顔料の自然科学分析……176
図100　Ａ地点の主要遺構変遷図……177
図101　中世遺物の分布状況（１）……184
図102　中世遺物の分布状況（２）……185
図103　遺跡周辺の土地利用と調査地点……189

表目次

表１　試掘・確認調査結果一覧表……３
表２　周辺遺跡一覧表……10
表３　遺構一覧表……14
表４　遺構出土中世遺物の接合状況……16
表５　遺物一覧表……18
表６　ＳＤ２出土山茶碗類・片口鉢の接合前破片数……95
表７　ＳＫ509出土瀬戸美濃産陶磁器……97
表８　遺構観察表（１）……121
表９　遺構観察表（２）……122
表10　遺構観察表（３）……123
表11　遺構観察表（４）……124
表12　遺構観察表（５）……125
表13　遺構観察表（６）……126
表14　遺構観察表（７）……127
表15　遺構観察表（８）……128
表16　遺構観察表（９）……129
表17　遺構観察表（10）……130
表18　遺構観察表（11）……131
表19　遺構観察表（12）……132
表20　遺構観察表（13）……133
表21　遺構観察表（14）……134
表22　遺構観察表（15）……135
表23　遺構観察表（16）……136
表24　遺構観察表（17）……137
表25　遺物観察表（１）……138
表26　遺物観察表（２）……139
表27　遺物観察表（３）……140
表28　遺物観察表（４）……141
表29　遺物観察表（５）……142
表30　遺物観察表（６）……143
表31　遺物観察表（７）……144
表32　遺物観察表（８）……145
表33　遺物観察表（９）……146
表34　遺物観察表（10）……147
表35　遺物観察表（11）……148

表36　遺物観察表（12）　……149
表37　遺物観察表（13）　……150
表38　出土遺物一覧表（1）　……151
表39　出土遺物一覧表（2）　……152
表40　出土遺物一覧表（3）　……153
表41　出土遺物一覧表（4）　……154
表42　出土遺物一覧表（5）　……155
表43　出土遺物一覧表（6）　……156
表44　出土遺物一覧表（7）　……157
表45　出土遺物一覧表（8）　……158
表46　出土遺物一覧表（9）　……159
表47　出土遺物一覧表（10）　……160
表48　出土遺物一覧表（11）　……161
表49　出土遺物一覧表（12）　……162
表50　出土遺物一覧表（13）　……163
表51　出土遺物一覧表（14）　……164
表52　分析対象一覧　……165
表53　鉄滓 EDS 分析結果　……167
表54　トリベ蛍光X線半定量分析結果　……167
表55　生漆の赤外吸収位置とその強度　……174
表56　櫃・建物一覧表　……178
表57　山茶碗類（底部）・片口鉢（口縁部）の接合後破片数　……179
表58　中国産陶磁器の接合後破片数　……180
表59　土師器皿（口縁部）の接合後破片数　……180
表60　常滑産甕の接合後破片数　……180
表61　古瀬戸・大窯の地点別接合後破片数　……181
表62　古瀬戸・大窯の器種別接合後破片数（1）　……182
表63　古瀬戸・大窯の器種別接合後破片数（2）　……183
表64　中世遺物の出土分布傾向　…… 186
表65　過去の発掘調査等の成果　……187

写真目次

写真1　鉄滓の自然科学分析（1）　……168
写真2　鉄滓の自然科学分析（2）　……169
写真3　鉄滓の自然科学分析（3）　……170

写真図版目次

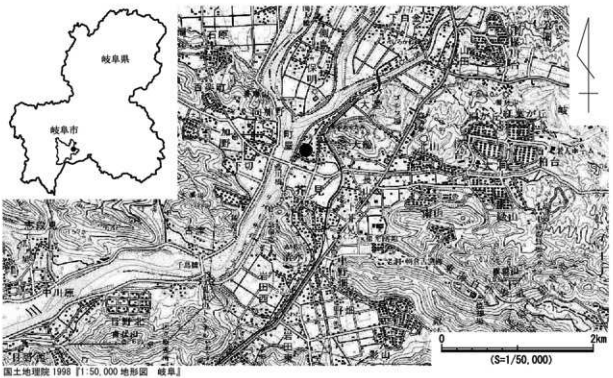
図版1　発掘区遠景
図版2　発掘区近景
図版3　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（1）
図版4　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（2）
図版5　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（3）
図版6　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（4）
図版7　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（5）
図版8　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（6）
図版9　Ⅲ期の遺構（1）
図版10　Ⅲ期の遺構（2）
図版11　Ⅲ期の遺構（3）
図版12　土器類（1）
図版13　土器類（2）
図版14　土器類（3）
図版15　土器類（4）
図版16　土器類（5）
図版17　土器類（6）
図版18　土器類（7）
図版19　土器類（8）
図版20　土器類（9）
図版21　土器類（10）
図版22　土製品、瓦
図版23　石器、鍛冶・鋳造関連遺物
図版24　金属製品、銭貨

第１章　調査の経緯

第１節　調査に至る経緯

長良川は、岐阜県郡上市大日ヶ岳から伊勢湾へ流れ込む、全長約166㎞の一級河川である。平成16年10月、台風23号の上陸により長良川上流域で激しい雨が降り続き、岐阜市から郡上市に至る各所で甚大な浸水被害が発生した。そのため、岐阜県県土整備部岐阜土木事務所では、一般県道上白金真砂線町屋工区の幅員狭小区間を解消し、併せて豪雨災害に対応した緊急的な改修により再度の災害を軽減する事業計画を策定した（事業名：平成22年度公共社会資本整備総合交付金事業一般県道上白金真砂線町屋工区及び公共床上浸水対策特別緊急事業長良川芥見工区）。

事業に先立ち、岐阜土木事務所は岐阜県教育委員会に対して開発事業予定地における埋蔵文化財の有無の照会を行い、岐阜県教育委員会が岐阜県遺跡地図等で照合したところ、開発事業予定地（調査前の土地利用は宅地又は畑地）内に周知の埋蔵文化財包蔵地である芥見町屋遺跡が所在することを確認した（図１）。このため岐阜県教育委員会は、その取扱いについて岐阜土木事務所と協議し、平成20年10月20日～平成21年７月23日に試掘・確認調査を実施した。平成21年７月31日、平成21年度第１回岐阜県埋蔵文化財発掘調査検討会において、遺構・遺物を確認した周辺の埋蔵文化財の保護措置が必要であり、岐阜県発掘調査等適用基準に基づき、やむを得ず記録保存のための発掘調査（上層面727㎡、下層面2,533㎡）を実施する必要があると結論づけられた。これを受けて、文化財保護法第94条第１項の規定に基づき、岐阜土木事務所長から県教育長あて発掘の通知（平成22年１月14日付け岐土



国土地理院 1998『1:50,000 地形図　岐阜』

図１　遺跡位置図

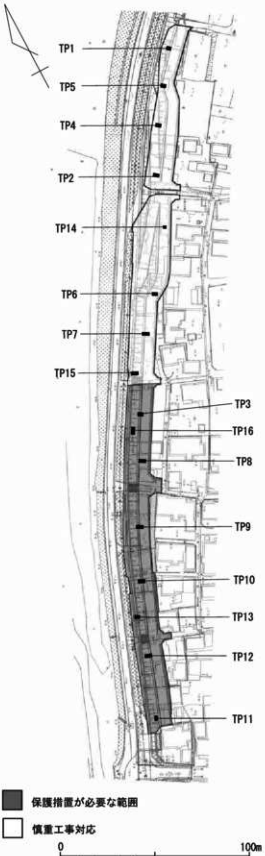


図２　試掘・確認調査区位置図

第715号）が提出され、同法第94条第４項の規定に基づき、岐阜県教育長から同事務所長あて発掘調査の実施（平成22年２月26日付け社文第11号の134）が勧告された。同事務所長から発掘調査実施の依頼を受け、文化財保護法第99条第１項の規定に基づき、岐阜県文化財保護センター（以下「センター」という。）所長から県教育長あて発掘調査の報告（平成22年６月16日付け文財セ第43号）を提出した。

調査対象地は、長良川の河川保全区域に当たることから、河川管理者である岐阜土木事務所から、「堤内地の堤脚付近に設置する工作物の位置等に係る判断基準」（平成６年５月31日付け旧建設省河川局治水課長通達）に基づき「堤防付近で調査を行う点での注意点」（極力調査範囲を小さく設定し、堤防から規格の範囲まで控えること、漏水時の必要な措置をとること。）が示された。センターでは、周辺住民と発掘調査の安全を確保するため、出水期に上層面の調査、非出水期に下層面の一部の範囲に限定して調査することとし、試掘・確認調査の結果と八賀晋氏の指導を踏まえ、発掘区（発掘面積681.54㎡）を設定した。

第２節　調査の方法と経過

後述する発掘調査の方法や方針は、センター内で使用する各種マニュアルに準拠、又は調査課職員で構成する遺跡調査検討委員会で検討の上で決定した。

１　発掘調査の方法

試掘・確認調査の調査成果（図２・表１）　試掘・確認調査では、事業予定地（調査対象面積4,965㎡）内に調査坑を16箇所（掘削面積約114㎡）設定した。調査の結果、ＴＰ３からＴＰ８にかけては近世と考えられる上層面、ＴＰ９以南では攪乱が多く中世と考えられる下層面があり、土坑41基を検出した。遺物はＴＰ８・９を中心に、総数240点（土師器・中世～近代陶磁器等）が出土した。

表１　試掘・確認調査結果一覧表

調査坑	土師器	中世陶磁器	近世陶磁器	近代陶磁器	その他	総数	掘削面積（㎡）	検出遺構数
TP1	0	0	0	0	0	0	5.1	0
TP2	0	3	5	0	0	8	7.0	0
TP3	10	20	2	0	1	33	6.5	土坑4
TP4	1	0	0	0	0	1	5.8	0
TP5	0	3	1	0	0	4	5.4	0
TP6	2	3	7	1	0	13	6.6	0
TP7	7	4	8	2	2	23	7.6	0
TP8	12	22	3	0	4	41	8.0	土坑5
TP9	14	19	6	1	6	46	10.1	土坑11
TP10	5	3	17	2	5	32	8.9	土坑7
TP11	5	4	0	0	1	10	4.7	土坑5
TP12	3	0	3	0	1	7	9.6	土坑3
TP13	2	1	0	0	1	4	6.0	土坑1
TP14	1	0	0	0	4	5	5.7	0
TP15	0	0	0	0	0	0	8.6	0
TP16	4	3	6	0	0	13	8.6	土坑5
総数	66	85	58	6	25	240	114.1	土坑41

注）中世と近世、又は近世と近代の区別が困難な土器は、より古い時期に帰属させた。

一方、遺構が検出されなかった区域のうち、ＴＰ１からＴＰ14にかけての区域では現地表面から約1.5m下まで現代の埋蔵物が混入（ＴＰ14では現地表面－約0.8mから1.9mまで洪水堆積層が堆積）し、ＴＰ６以南と土層堆積状況の相違が見られた。

発掘調査の実施における課題　試掘・確認調査の結果と先学の研究を基に、発掘調査の実施に際して、次の３つの課題を設定した。①近世墓地（上層面）の展開及び構造を把握すること。中世村落（下層面）における出土遺物の組成から、遺跡の性格を把握すること。②遺跡内で地点により主体となる時代が異なる点を、遺跡形成の観点から解明すること。③遺跡周辺の地割の変遷。

発掘区の設定方法（図３）　発掘調査を開始するに当たり、４級基準点測量及び水準測量を実施し、発掘区以南の開発事業予定地を網羅するように、世界測地系座標を基に100m 四方の大グリッドで割り付け、さらにその中を５m四方で細分し、随時グリッド杭を打設した。大グリッド名の呼称は、北西隅をＡ、北東隅をＢ、南西隅をＣとし、大グリッド内を南北列にＡ ～Ｔのアルファベット、東西列に１～20のアラビア数字を付けて併用し、北西角の杭番号を用いた。起点となるＡＡ１グリッドの北西杭は、Ｘ＝-59720・Ｙ＝-29845に位置する。なお、発掘区内は市道により４つに区分されることから、便宜上、北から順にＡ～Ｄ地点（発掘面積はＡ地点398.45㎡、Ｂ地点73.26㎡、Ｃ地点114.11㎡、Ｄ地点95.72㎡）と呼称した。

掘削方法及び遺構番号の付与　遺構面までの土層には遺物をほとんど含まなかったため、バックホウで除去し、以下の土層掘削及び遺構の掘り下げは、草削り等の小型道具を使用した。Ａ地点は上層面（Ⅲａ層上面）と下層面（Ⅴ層上面）で遺構検出を行う計画であったが、発掘区東壁の土層観察の結果、Ａ地点北端の上層面がⅡ層上面であることが判明し、また下層遺構の本来の掘り込み面はⅢｂ層上面であり、上層遺構を完掘すると直ちに下層遺構が出現する（第３章参照）ため、遺構検出面を分けて調査することは困難と判断し、遺構の記録後に随時人力で掘り下げて遺構検出を行い、最終的にⅤ層（Ⅳ層中に遺物を含まない場合はⅣ層上面）まで調査することとした。遺構埋土とⅢａ層からⅣ層までの土層とは類似しており、遺構の重複状況も顕著であったこと、また遺物包含層内の遺物は比

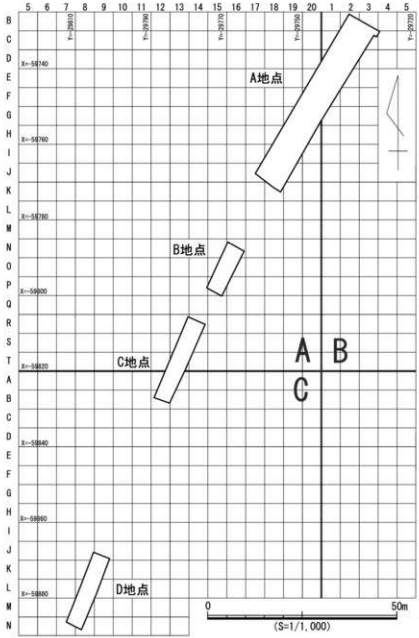


図3　発掘区地区割り図

較的希薄であったため、B～D地点については、Ⅲb層までをバックホウで除去してⅣ層中又はⅤ層上面で遺構検出を行った。これらの事情により、掘削作業の時点に個別遺構の掘り込み面や遺物包含層を特定することは極めて困難であった。遺構検出に伴って、地点別に順次、遺構仮番号を付与し、整理等作業の段階で遺構の種類別にふり直した。

基本的な遺構の調査方法は、センター内の『発掘調査マニュアル』に従ったが、特に柱穴の柱痕跡の平面位置をトータルステーションによる三次元測量を行うよう努めた。ただし、柱痕跡の検出が困難であったため、柱穴の長軸方向に半截して土層断面で確認した上で平面検出し、得られた円弧を復元して柱痕跡とする方法を採用した。このため、土層断面の観察位置が柱痕跡の位置から外れる場合や、断面方形の柱の場合も想定され、また柱痕跡はいわゆる段下げでは検出されずに柱穴の下部で検出される事例もあり、柱径の精度は落ちるものの、柱痕跡の正確な位置を把握する上ではやむを得ないと判断した。

遺構・遺物の記録　個別の遺構平面図は、デジタル遺構実測システムを使用して作成し、土層断面図及び見透し図は、手実測の図面をスキャニングによりデジタル図化し作成した。ただし、遺物出土状況図や礫検出状況図等の平面図は、主に地上写真測量により作成した。発掘区全体図は、個別の遺構平面図を合成して作成した。記録写真の撮影においては、調査記録として35mm一眼レフカメラ(リバーサルフィルム、モノクロフィルム)、中判カメラ(リバーサルフィルム、モノクロフィルム)を使用し、作業工程等の記録としてデジタルカメラを使用した。発掘区の景観写真は、ラジオコントロールヘリコプターを使用した。なお、遺構内出土遺物は原則として全点三次元座標を取得し、遺物包含層出土遺物はグリッド毎に一括して取り上げた。

２　発掘調査の経過

発掘調査の経過は、以下のとおりである。

第１・２週（6/16～6/25）　16・17日、バックホウによりＡ地点のⅠ層等除去、グリッド杭を打設。24日、Ａ地点北端から人力掘削開始。25日、東壁沿いに土層観察用トレンチを掘削。

第３・４週（6/28～7/9）29日、土製品（飾り面）出土。９日、ＳＫ010を検出。

第５・６週（7/12～7/23）12～15日、大雨が続き作業中止。23日、ＳＥ１を検出。摂氏37度を超える猛暑日が続く。

第７・８週（7/26～8/5）３日、中央部（ＡＧ19グリッド）以南のⅢｂ層を掘り下げる。４日、ＳＫ033を検出。

第９・10週（8/9～8/20）18日、ＳＢ01を確認。

第11・12週（8/23～9/3）23日、ＳＫ045・ＳＥ２を検出。24日、ＳＫ022から遺物がまとまって出土。26日、Ａ地点南半（ＡＨ19グリッド以南）の検出開始。27日、ＳＢ02を確認。

第13・14週（9/6～9/17）８日、台風第９号接近。10日、ＳＫ075から古瀬戸仏花瓶が出土。13日、ＳＥ３を検出。17日、ＳＫ093から遺物がまとまって出土。

第15・16週（9/21～9/24）22日、ＳＸ１を検出。

第17・18週（10/4～10/15）４日、バックホウによりＢ～Ｄ地点のⅠ～Ⅲｂ層除去。12日、表土等除去終了。５日、発掘区北東隅（ＳＫ003周辺）を部分拡張。

第19・20週（10/18～10/29）19日、ＳＢ03を確認。21日、南壁沿いに土層観察用トレンチを掘削。26日、八賀晋三重大学名誉教授現地指導。29日、Ａ地点の景観写真撮影。

第21・22週（11/1～11/12）１日、一次整理作業開始。２日、発掘区北端において、Ⅲａ層上面で遺構検出開始。９日、ＳＤ２を検出。11日、ＳＫ399から砂状の黒色物がまとまって出土。

第23・24週（11/15～11/27）17日、ＳＤ２から輪羽口１点が出土。18日、ＳＢ07を確認。Ｂ～Ｄ地点の各北端から人力掘削開始。11/20～12/11の土曜・祝日を作業日に加える。25日、Ｃ地点ＳＫ509埋土から遺物・礫が多数出土。Ｄ地点ＳＤ４を検出。

第25・26週（11/29～12/11）29日、Ｄ地点調査終了。30日、ＳＫ399出土微小遺物の採取開始。２日、Ｂ地点ＳＫ484で礫が多数出土。Ｃ地点でＳＡ１・２を確認。３～４日、局地的大雨により発掘区内が水没し、排水作業に終始。７日、Ｃ地点で大型土坑群を検出。９日、Ｂ地点調査終了。10日、Ａ地点ＳＢ05を確認。11日、Ｂ～Ｄ地点他の景観写真撮影。

第27・28週（12/13～12/24）16日Ｃ地点調査終了。17日、Ａ地点の調査終了。20日、宇野隆夫国際日本文化研究センター教授現地指導。

第29・30週（12/27～1/7）一次整理作業の継続実施。

第31週（1/11～1/14）14日、一次整理作業終了。撤収後、事業者に現地を引き渡し（1/21）。

なお、発掘調査後の遺構整理により遺跡の全体像を把握した段階（平成23年3月15日）で、県政記者クラブに資料を配付し、調査成果の一部を公表した。また、地元住民からの要請により、平成22年８月22日に町屋老人会において発掘調査の中間報告、平成23年５月15日に町屋自治会において発掘調査の成果を報告した。

3　整理等作業の方法と経過

整理等作業の実施における課題　整理等作業の実施に際して、改めて次の主題と方針を設定した。主題としては、中世から近代にかけての遺跡の変遷を把握し、芥見地区全体の中で位置づけることとした。また、具体的な方針として、①遺構・遺物の様相を把握すること（当初課題の①のうち上層面の性格は変更）、②遺跡の性格を把握し、地域における歴史的な位置づけを行うこと（当初課題の②～④）を設定した。本報告書では、これらの視点で整理等作業を実施した成果を中心に掲載する。

一次整理作業の方法　整理等作業のうち、出土遺物の一次整理作業（洗浄・注記・仮収納・台帳入力等）は、業者に委託して実施した。遺物の選別においては、近代以降の陶磁器・瓦は遺構出土にほぼ限定し、鉄滓はそのすべてを整理の対象とし、金属製品は攪乱出土遺物を除いた。遺物の強化措置においては、土製品の一部と土師器を対象に実施した。遺物の注記（調査年度、遺跡記号として「ＡＹ」、取上番号及び枝番号）においては、主に注記システムを用いた。

二次整理作業の方法　二次整理作業（整理等作業のうち一次整理作業を除く）は平成23年度に直営で実施し、報告書印刷・製本を業者に委託して実施した。二次整理に際して、遺跡の内容を理解する上で本報告書に掲載する必要があるため、特に劣化の恐れがある金属製品52点を対象に、一次的な保存処理を業者委託により実施した。また同様の理由により、顔料等が付着する土製品１点と鍛冶・鋳造関連遺物６点を対象に、自然科学分析を業者委託により実施した。

以下、各種作業の方針で特筆すべき点について略述する。遺物整理の対象には、試掘・確認調査出土遺物の大半が発掘区に含まれるため、発掘調査出土遺物と合わせて実施し、必要に応じて本報告書に掲載した。接合作業では、遺物の種類別に遺構又は取上げ単位で行い、個体の判別が困難な山茶碗類と土師器を除き、遺構間及び遺構と遺物包含層との接合に努めた。実測作業では、対象遺物を次の優先順位（順位①→②→③）に従って選択した。①遺構から集中して出土した遺物②遺跡の性格を示す可能性がある資料（墨痕、顔料や黒色有機物が付着する遺物）③残存状況が良好な遺物（ただし特定の時期や器種等に偏らないように留意した）。

一方、遺構整理ではすべての遺構を対象に観察表を作成・掲載し、次の優先順位（順位①→②）に従って本報告書に掲載する個別遺構図を選択した。①遺構観察表の記載のみでは理解できない図面（例えば、礫が掘方に沿って配置する等）、②残存状況が良好な遺構。ただし、本項冒頭に掲げた主題を検討する必要があるため、中近世に限定せず近代遺構も掲載した。

発掘調査及び整理等作業の体制

センター所長	高橋照美（平成22・23年度）
総務課長	長屋忠司（平成22年度）、村瀬誠三（平成23年度）
調査課長	小谷和彦（平成22・23年度）
調査担当チーフ	早野壽人（平成22年度）、春日井恒（平成23年度）
担当調査員	三輪晃三（平成22・23年度）
整理作業員	橋本法子、加藤里佳、長谷川晶子、窪田和生、小泉あゆみ

第２章　遺跡の環境

第１節　地理的環境

岐阜市東部から各務原市北西部にかけては、約４～3.5万年前に古長良川によって下位段丘面が形成されたが、海面の低下によって浸食され、氷河期の終焉による温暖化に伴い谷底平野が埋積されたと考えられている。当遺跡は、谷底平野と長良川に沿って形成された自然堤防上に立地する（図４、国土地理院1974『土地条件図　岐阜』を基に作成）。当遺跡が所在する芥見地区と、清水山（標高170m）を挟んで南に位置する岩田地区では、南北を大船山（標高約149m）と兎走山（標高約169m）、東側を半円形を呈する段丘崖で囲まれる。東から山田川や寺前川が注ぎ、谷底平野上には主に水田、自然堤防上には主に畑地が営まれるなど、土地利用のあり方でも類似する点が多い。ただし、芥見地区の自然堤防上には、北東から南西にかけて旧河道が縦走する点は異なる。

長良川の変遷については、現在の岐阜市中屋から西に折れて伊自良川に合流していた流路が、天文３(1534) 年以降、関市戸田・側島を経て芥見で津保川に合流するという説と、当初からほぼ今日の流路をとっていたとする説とがある。ただし、いずれの説においても、津保川が芥見を通過していたことは首肯される。

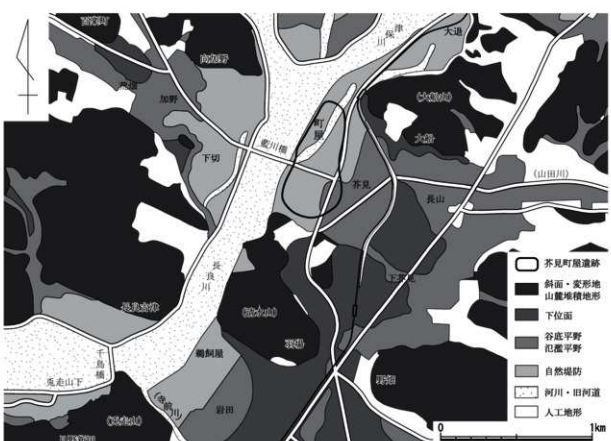


図４　土地条件概略図

第２節　歴史的環境

当遺跡周辺では、旧石器時代～近世にかけての遺跡が多数分布する。図５・表２は、『改訂版岐阜県遺跡地図』（岐阜県教育委員会2007）を基に、遺跡の種類・時代等に関する新たな成果を踏まえて作成した。以下に発掘調査の成果を中心に遺跡の概要を述べるが、所属時期や遺構の種類等は出典に拠った。なお本文中の括弧内の番号は、図５の番号、表２の番号と符合する。

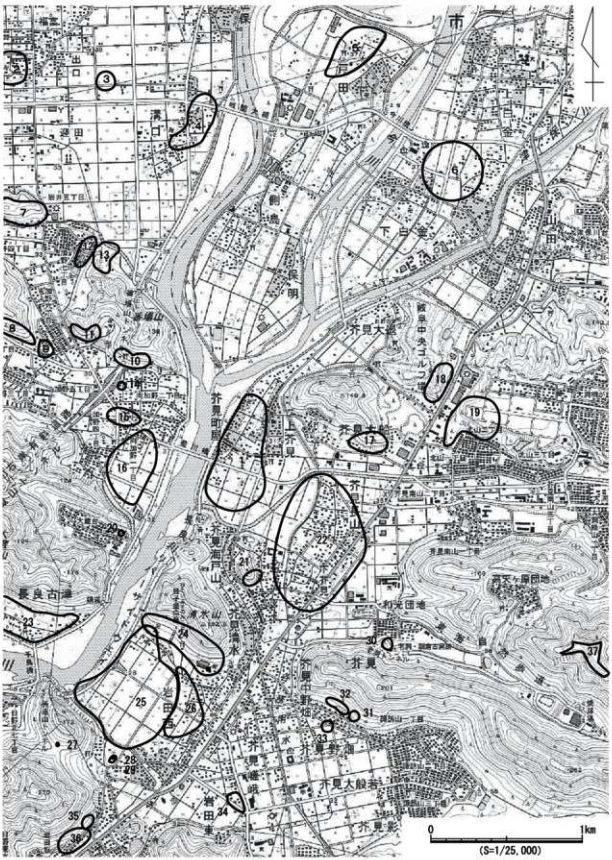
旧石器～弥生時代　旧石器時代の遺跡は下位段丘面上に広く分布し、門無川流域遺跡群の最上流地域として岩田東Ｂ遺跡（34）の存在が知られている。縄文時代の遺跡として、北長塚遺跡（９）では晩期の縄文土器と石器、朝倉遺跡（33）では中期後半の縄文土器と石器が採集されている。弥生時代の遺跡は、３遺跡で発掘調査が実施された。当遺跡（１）では、谷底平野（旧称一本松遺跡）において後期の竪穴住居跡５軒が検出され、弥生土器・管玉半製品・砥石・土錘が出土した。岩田西遺跡（25）では、低湿地型の水田耕作に伴う溝状遺構が検出された。岩田東Ａ遺跡（26）では、中期から後期の竪穴住居跡４軒、中期後葉と後期の方形周溝墓８基等が検出された。中屋敷遺跡（28）では、終末期から古墳時代早期の竪穴住居跡１軒が検出された。

古墳時代　後期群集墳が主体で、長良川右岸には岩井古墳群（７）・北長塚古墳群（８）・番場山第１～第４古墳群（10～13）・七反田番場山２号古墳（14）・大蔵山古墳（20）があり、左岸には大船古墳群（17）・東山古墳群（18）・北山古墳群（19）・簑笠山古墳群（21）・岩田古墳群（24）・鍋坂古墳（27）・中屋敷古墳（29）・朝倉古墳群（32）・岩田坂古墳群（36）がある。概ね、数基から10基前後の古墳で構成されている。これらのうち、発掘調査が実施された古墳について記述する。番場山第１古墳群（10）のうち７号古墳は、７世紀中頃に築造された横穴式石室を主体部とする直径約13.8ｍの円墳、10号古墳は横穴式石室、11号古墳は木棺直葬の古墳である。北山古墳群（19）のうち３号墳では、耳環と須恵器が出土した。大蔵山古墳（20）は、横穴式石室の内部に長持型石棺を安置する円墳である。岩田古墳群（24）のうち１号墳では、横穴式石室を主体部とする直径約16ｍの円墳で、石室内から金環・銀環・須恵器が出土した。中屋敷古墳（29）は、７世紀前半から中頃に築造された横穴式石室を持つ古墳である。朝倉古墳群（32）では、１号墳の横穴式石室内から直刀・金環・須恵器、２号墳から鉄片・須恵器、３号墳から管玉・須恵器、４号墳から須恵器が出土した。

集落跡では、２遺跡で発掘調査が実施されている。岩田西遺跡では古墳時代以降の竪穴住居跡・掘立柱建物跡・溝・集石遺構・畝状遺構が検出された。中屋敷遺跡では、７世紀後葉頃の竪穴住居跡２軒が検出され、そのうちの１棟から古代寺院成立期の瓦が出土したことが特筆される。その他には、上久郷遺跡（６）で遺物の散布が知られているのみである。

古代・中世　生産遺跡としては、国史跡老洞・朝倉須恵器窯跡（老洞窯跡群（30）・朝倉窯跡群（31））と、灰釉陶器窯である岩田坂窯跡群（35）がある。このうち前者では保存目的のための発掘調査により、１号窯から「美濃」「美濃国」刻印須恵器が出土し、官窯的な性格を持つことが明らかになった。

集落跡では、４遺跡で発掘調査が実施された。当遺跡では、分布調査により時期不明ではあるものの製塩土器１点が採集されており、平成16年度の自然堤防南西端の発掘調査では、８世紀前半の遺物がまとまって出土し、「河川流通の集積場」[1]と位置づけている。芥見長山遺跡（22）では、昭和55年



国土地理院 2009『1:25,000 地形図　岐阜北部』

図５　周辺遺跡分布図

の発掘調査により、８世紀中葉から９世紀初頭にかけての竪穴住居跡12軒・掘立柱建物跡３棟・土坑43基・溝２条、平成10・15年の試掘調査により、古代以前の竪穴住居跡２軒、戦国時代の溝３条と方形竪穴１基が検出された。岩田西遺跡では、平安時代の溝、室町時代から安土・桃山時代の畦畔・水田区画を検出し、14世紀代の擬漢式鏡や銅製品等の出土により、近隣に階層の高い人物の居住区域が想定されている。岩田東Ａ遺跡では、平安時代の溝、奈良時代の住居跡２軒、室町時代の布掘りの区画溝と柱穴列、室町時代の道路状遺構、室町時代から戦国時代頃の複数の溝等が検出された。中屋敷遺跡では、15世紀から17世紀前半頃の掘立柱建物跡４棟・地下式坑３基・土師器皿の集積を含む土坑４基、溝２条が検出され、古墳の墳丘裾に造営された中世墓の可能性と、遺構・遺物の様相から一般集落とは異なる性格を有していたことが指摘されている。このほか、権現山頂（標高約303m）には15世紀後半に長山氏が築城したとされる長山城跡（37）、遺物散布地として長良川右岸では福富遺跡（２）・福富出口遺跡（３）・加野西畑遺跡（15）・加野南遺跡（16）・長良古津遺跡（23）、左岸では岩田西遺跡、中州上に戸田遺跡（５）がある。

近世以降　集落跡では、中屋敷遺跡で発掘調査が実施され、17世紀後半から19世紀頃の方形区画溝・整地遺構１基・石組遺構２基・土坑２基・近世墓２基が検出された。その他には、上久郷遺跡で遺物の散布が知られているのみである。

その他　古代においては、東山道が古津地区から岩田地区に渡り、岩滝地区に進んだとする説があるが、現在のところ発掘調査では確認されていない。中世においては、茅見地区は鎌倉街道と長滝寺参詣路との分岐点であったとされ、近世には郡上街道が整備され当遺跡を南北に通過する。昭和２（1927）年に長良川に藍川橋が架けられるまで、茅見と加野を結んだ「茅見の渡し」が存続していた。中世の史料として、文明５（1473）年に一条兼良が長良川を北上し、茅見荘の竹内僧正良鎮を訪ねたとする『ふじ河の記』の記載があり、近世～近代の史料として、郡上街道と渡船場へ向かう道との交差点に建てられた文化６（1809）年銘の道標、茅見の高田嘉右衛門が灰を売買していたことを示す19世紀中頃の角印、茅見産瓦の運搬料を記載した大正10（1921）年の文書等が知られている。

表２　周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	種類	時代
1	茅見町屋遺跡	散布地 集落跡	弥生・古代 ～近世
2	福富遺跡	散布地	古代・中世
3	福富出口遺跡	散布地	古代・中世
4	溝口中遺跡	散布地	中世
5	戸田遺跡	散布地	古代・中世
6	上久郷遺跡	散布地	古墳～近世
7	岩井古墳群	古墳	古墳
8	北長塚古墳群	古墳	古墳
9	北長塚遺跡	散布地	縄文
10	番場山第１古墳群	古墳	古墳
11	番場山第２古墳群	古墳	古墳
12	番場山第３古墳群	古墳	古墳
13	番場山第４古墳群	古墳	古墳
14	七反田番場山２号古墳	古墳	古墳
15	加野西畑遺跡	散布地	古代・中世
16	加野南遺跡	散布地	古代・中世
17	大船古墳群	古墳	古墳
18	東山古墳群	古墳	古墳
19	北山古墳群	古墳	古墳
20	大蔵山古墳（滅失）	古墳	古墳
21	簑笠山古墳群	古墳	古墳
22	茅見長山遺跡	集落跡	古代～中世
23	長良古津遺跡	散布地	古代・中世
24	岩田古墳群	古墳	古墳
25	岩田西遺跡	散布地・集落跡	弥生～中世
26	岩田東Ａ遺跡	集落跡・その他の墓	弥生～近世
27	鍋坂古墳	古墳	古墳
28	中屋敷遺跡	集落跡	古墳～近世
29	中屋敷古墳（滅失）	古墳	古墳
30	老洞窯跡群	生産遺跡	古代
31	朝倉窯跡群	生産遺跡	古代
32	朝倉古墳群	古墳	古墳
33	朝倉遺跡	散布地	縄文
34	岩田東Ｂ遺跡	散布地	旧石器
35	岩田坂窯跡群	生産遺跡	古代
36	岩田坂古墳群	古墳	古墳
37	長山城跡	城館跡	中世

1）財団法人岐阜市教育文化振興事業団2005『茅見町屋遺跡―茅見野村水源地建設事業に伴う緊急発掘調査―』（財団法人岐阜市教育文化振興事業団報告書第14集）p14

第3章　調査の成果

第1節　層序

層序名は、土色や土性の大きな違いで区分（ローマ数字で表記）し、さらに土色の違いで細分（英小文字で表記）して呼称した。各層位の特徴は、概ね次のとおりである。

Ⅰ層：現代表土（攪乱を含む）。A地点北端では、本層とⅡ層の間に旧耕作土と考えられる土層（層厚7～14cm）が堆積する。

Ⅱ層：灰黄褐色（10YR4/2）シルトで、A地点北端・中央、C地点中央の一部に分布する。層厚13～25cmを測る。Ⅰ層の直下であり、平行ラミナと正級化が認められることから、現代の洪水堆積物と考えられる。

Ⅲa層：にぶい黄褐色（10YR5/3）砂質シルトで、B地点を除く3地点で確認した。層厚10～18cmを測る。Ⅲb層と共に、中世のやや希薄な遺物包含層であり、本層上面は近世・近代の遺構検出面である。

Ⅲb層：灰黄褐色（10YR4/2）砂質シルトで、B地点を除く3地点で確認した。層厚16～22cmを測る。本層上面は中世の遺構面と考えられる。

Ⅳ層：黒褐色（10YR3/2）砂質シルトで、A～D地点いずれでも確認された。D地点を除いて痕跡的に残存し、層厚10～18cmを測る。中世の希薄な遺物包含層である。

Ⅴ層：黄褐色（2.5Y5/3）シルトで、分級良く、A～D地点いずれでも確認された。A地点北半では礫を少量含むが、南半では全く含まない。層厚はA地点北端（SP200壁面）では42cmと薄いが、D地点南端（SK571下トレンチ）では73cm以上と厚く、土色や土性の違いにより細分が可能である。なお、本層以下は無遺物層のため、堆積年代は不明である。

Ⅵ層：黒褐色（2.5Y3/1）砂礫土で、A地点北部の掘り下げた遺構や攪乱坑の壁面で部分的に確認できた。Ⅵ層上面の標高は、北端（SP200壁面）で30.36m、SP200から南西に約14.4m離れたSP048壁面で30.17m、さらに南に約16.2m離れたSK056壁面で30.18mを測り、本層上面は概ね北から南にかけて傾斜する。一辺15cm以下の円礫で構成され、Ⅴ層にかけて正級化が認められることから、河川成層と考えられる。なお、試掘・確認調査も含めて、本層から下位の堆積物については確認していない。

発掘区は長良川に隣接すること、Ⅲa層からⅣ層にかけては比較的締まりが悪く砂性が強く、Ⅳ層中にブロック状の堆積物も散見されることなどから、洪水堆積物を削平し整地した可能性もある。ただし、洪水堆積物がプライマリーな状態で確認されたのは、Ⅱ層と一部の遺構埋土に限られる。発掘区東壁土層断面図（図6）をみると、A・B・C地点では遺構の重複が著しいために上記の土層は痕跡的に確認され、D地点では遺構密度が低いために上記の土層が安定して堆積する様子がわかる。

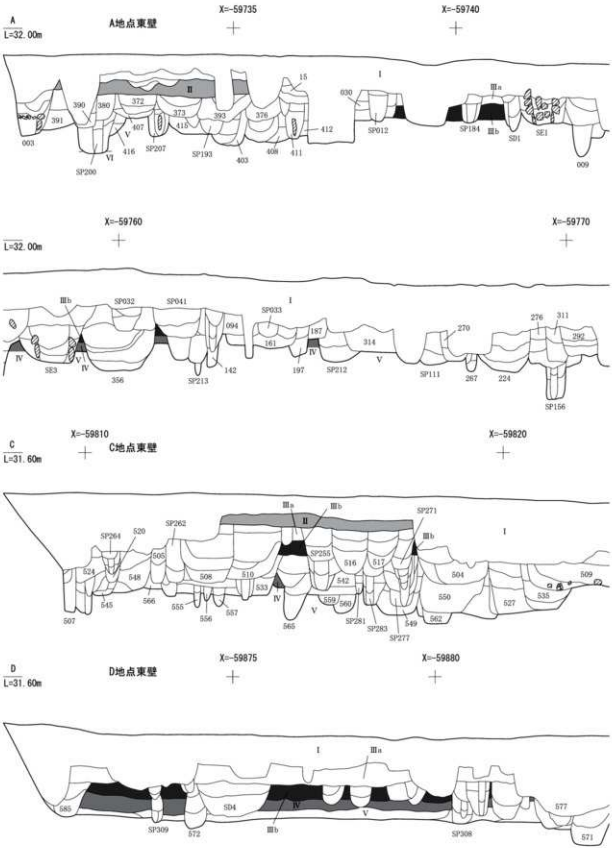
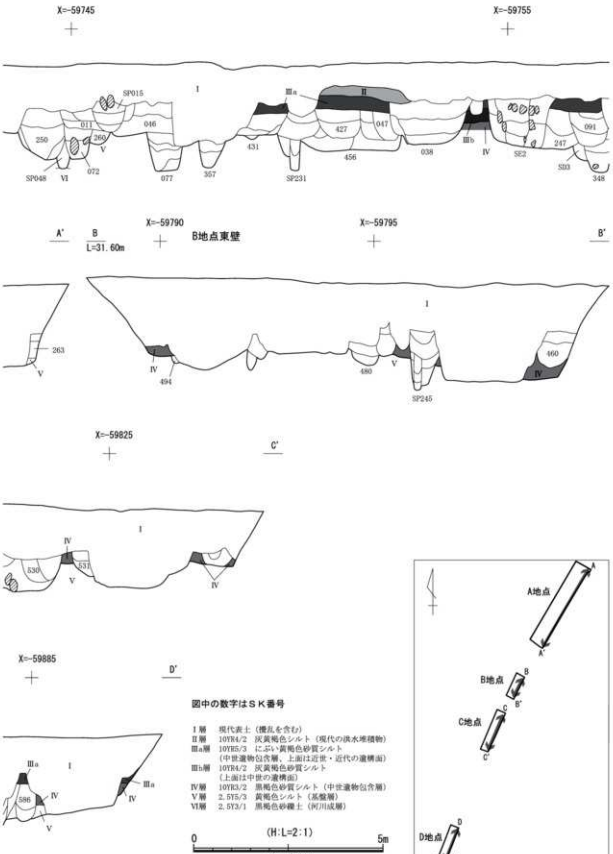

A
L=32.00m
A地点東壁
X=-59735
X=-59740
X=-59760
X=-59770
C
L=31.60m
C地点東壁
X=-59810
X=-59820
D
L=31.60m
D地点東壁
X=-59875
X=-59880

図6　発掘区


X=-59745
X=-59755
SP015
I
IIIa
II
011
046
427
047
091
250
269
V
431
456
038
IIIb
IV
SE2
247
SD3
SP048
VI
072
077
357
SP231
348
A'
B
L=31.60m
X=-59790
B地点東壁
X=-59795
B'
263
V
IV
494
480
V
460
IV
SP245
X=-59825
C'
I
IV
530
531
V
IV
X=-59885
D'
IIIa
I
IV
586
IV
IIIa
V
図中の数字はＳＫ番号
I層　現代表土（攪乱を含む）
II層　10YR4/2　灰黄褐色シルト（現代の洪水堆積物）
IIIa層　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
（中世遺物包含層、上面は近世・近代の遺構面）
IIIb層　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
（上面は中世の遺構面）
IV層　10YR3/2　黒褐色砂質シルト（中世遺物包含層）
V層　2.5Y5/3　黄褐色シルト（基盤層）
VI層　2.5Y3/1　黒褐色砂礫土（河川成層）
0
5m
(H:L=2:1)
(S=1/100)
A地点
A
A'
B地点
B
B'
C地点
C
C'
D地点
D
D'

東壁土層断面図

第２節　遺構・遺物の概要

１　遺構の概要

発掘調査により、中世、近世、近代の遺構を検出した。地点毎の遺構数は、表３のとおりである。

第１章第２節で述べたように、遺構検出面１面で遺構を検出したため、原則として整理等作業の中で遺構出土遺物の内容を把握し、「最新型式の遺物で決定するという原則を踏まえた上で、遺物全体の様相を検討」（鈴木2001）[9]し、遺構の所属時期を決定した。

検出した主な遺構（図７）として、中世では柵２基（ＳＡ１・２）、掘立柱建物４棟（ＳＢ06・09・10・11）、溝３条（ＳＤ２・３・４）、近世では掘立柱建物４棟（ＳＢ04・05・07・08）、井戸１基（ＳＥ３）、近代では礎石建物３棟（ＳＢ01～03）、溝１条（ＳＤ１）、井戸２基（ＳＥ１・２）、整地遺構１基（ＳＸ１）があり、中世から近代にかけての土坑585基、柱穴309基、時期不明の掘立柱建物２棟を確認した。うちＡ地点では柵を除くすべての種類の遺構を確認し、土坑・柱穴の総数の約78％を占めている。Ａ地点以外ではＣ地点も遺構が多く、大型土坑が集中する。Ｂ・Ｄ地点はほぼ遺構数が同程度であるが、Ｂ地点は検出面積が狭く攪乱により一部の遺構が滅失しているのに対し、Ｄ地点は東西方向の溝以南に遺構がほとんど検出されない区域があり、他の地点と様相を異にする。なお遺構密度の高いＡ地点では、完掘後の標高は30.48～31.13m、遺構密度の低いＤ地点では標高30.03～30.17mを測る。

遺構の認定においては、センター内の『発掘調査マニュアル』に拠った。遺構の種類、遺構記号（括弧内）、分類内容は、以下のとおりである。

柵　（ＳＡ）　柱穴が直線上に続き、向かい合う２辺以上が確認できない遺構。

建物（ＳＢ）　柱穴が直線上に続き、向かい合う２辺以上が確認できる遺構。

溝　（ＳＤ）　人為的に掘られた、細長い平面形を呈する遺構。

井戸（ＳＥ）　湧水層まで掘り込まれていると判断できる遺構。

土坑（ＳＫ）　人為的に掘られ、溝・柱穴を除いた遺構。

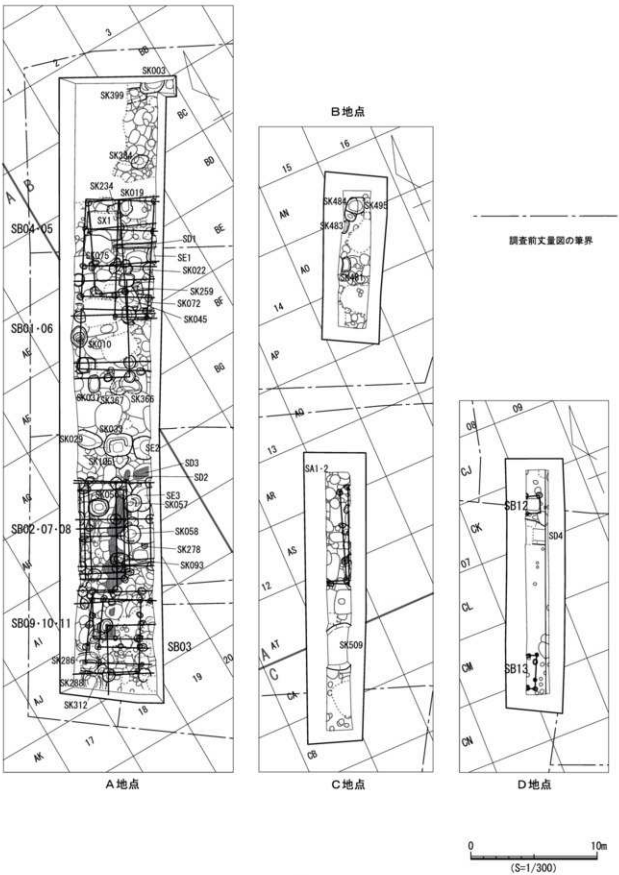
柱穴（ＳＰ）　埋土に柱痕跡が確認できる、又は底部に地下式礎石、根石が確認できる遺構。

整地遺構（ＳＸ）　特殊な堆積が確認できる、その他の遺構。

第３節では、第１章第２節で述べた優先順位に基づき、主要な個別遺構図を掲載し個別に説明する。個別遺構図の掲載縮尺は、原則として柵・建物は１／50、他は１／30である（ただしＳＤ２・３平面図のみ１／80）。

表３　遺構一覧表

遺構の種類	記号	検出遺構数					掲図掲載遺構数
		Ａ地点	Ｂ地点	Ｃ地点	Ｄ地点	総数	
柵	ＳＡ	0	0	2	0	2	2
建物	ＳＢ	11	0	0	2	13	13
溝	ＳＤ	3	0	0	1	4	4
井戸	ＳＥ	3	0	0	0	3	3
土坑	ＳＫ	455	39	71	20	585	31
柱穴	ＳＰ	234	17	41	17	309	109
整地遺構	ＳＸ	1	0	0	0	1	1
総　数		707	56	114	40	917	163



A地点
B地点
C地点
D地点
調査前丈量図の筆界
SB04・05
SB01・06
SB02・07・08
SB09・10・11
SB03
SB12
SB13
SK003
SK399
SK384
SK234
SK019
SX1
SD1
SE1
SK075
SK022
SK259
SK072
SK045
SK010
SK037
SK367
SK366
SK029
SK033
SE2
SK106
SD3
SD2
SE3
SK057
SK058
SK278
SK093
SK286
SK288
SK312
SK484
SK495
SK483
SK481
SA1・2
SK509
SD4
0
10m
(S=1/300)

図７　遺構配置図

２　遺物の出土状況（図８）

遺構内出土遺物については三次元座標を取得しているため、ここでは遺構出土遺物のうち土器類と瓦の平面分布と接合関係（以下、図上で線で示した接合関係を「接線」という。便宜上、複数の同一個体片が接合する場合の接合数は、「１」とカウントした。）について、Ａ地点を中心に説明する。Ｂ・Ｃ地点では接合事例が少なく、一部の遺構については個別遺構図でドットマップを掲載（本報告書で図示する立面分布は、座標軸に基づいて作成）したため、第３節を参照いただきたい。また、Ｄ地点では出土遺物が極めて少ないため、説明を割愛する。

古代・中世

Ａ地点では、古代遺物はほぼ全域に散在し、中世遺物は全域に濃密に分布する。

遺構出土中世遺物の接合状況（表４）をみると、総数255例のうち、近世又は近代遺物を共伴した121例は、近世又は近代に拡散したと考えられる。例えば、図88－292はＳＸ１（ＢＤ２グリッド）とＳＰ095（ＡＪ18グリッド）で出土し、接合距離は約34.5ｍを測る。近代のＳＸ１の整地土は、ＳＢ01～03を避けるようにＡＪ18グリッド周辺から調達されたと推測される。同様に接線の状況から、近代建物ＳＢ02に伴う土坑の埋め戻し土は、ＳＫ58（ＡＦ20グリッド）ではＳＰ045（ＡＨ19グリッド）周辺から、近世建物の柱穴埋め戻し土は、ＳＢ04のＳＰ020（ＢＥ１グリッド）ではＳＰ189（ＢＣ２グリッド）周辺から、ＳＢ05のＳＫ009（ＢＥ２グリッド）ではＳＫ130（ＢＦ１グリッド）周辺から各々供給され、いずれも建物周辺地から調達されたと推測される。

中世遺物のみ出土した134例の一部にも、近世以降の遺物を含まないものの近世又は近代に拡散した可能性はある。ただし、異なる遺構同士の接合（以下、「遺構間接合」という。）数が20例と少ないことから、中世遺構から出土した遺物は、原位置から大きく遊離していないことを示唆している。つまり、中世遺構から出土した遺物は、近世又は近代遺構による拡散がない限り、概ね原位置を保っている可能性が高いと考えられる。

なお、Ａ地点以外では遺構間接合がＣ地点で２例確認できるのみである。

近世・近代

Ａ地点では、ＢＥ１グリッドからＢＥ２グリッドにかけて近世遺物の接線が認められる。また、ＡＧ20グリッドを中心とする直径約10ｍに、近世遺物と近代遺物（瓦を含む）が集中し、ＡＩ19・ＡＧ20グリッド（ＳＫ93・105）間の接線も多い。ただし、近世遺物のうち登窯第３段階の遺物が近代以降も伝世し、廃棄された遺構内で共伴したと考えられるため、近世の遺構出土遺物は本来の位置から大きく遊離していないと考えられる。

なお、Ａ地点以外ではＣ地点の遺構３基で遺構内接合が認められるのみである。

表４　遺構出土中世遺物の接合状況

	中世遺物のみ出土した遺構	中世遺物と近世遺物が出土した遺構	中世遺物と近代遺物が出土した遺構	総数
遺構内接合数	114	79	10	203
遺構間接合数	20	30	2	52
総数	134	109	12	255

注）「近世又は近代の遺物を共伴する遺構」には、遺物を出土していないが、
例えば当該期の建物の柱穴の場合、数値に含めている。

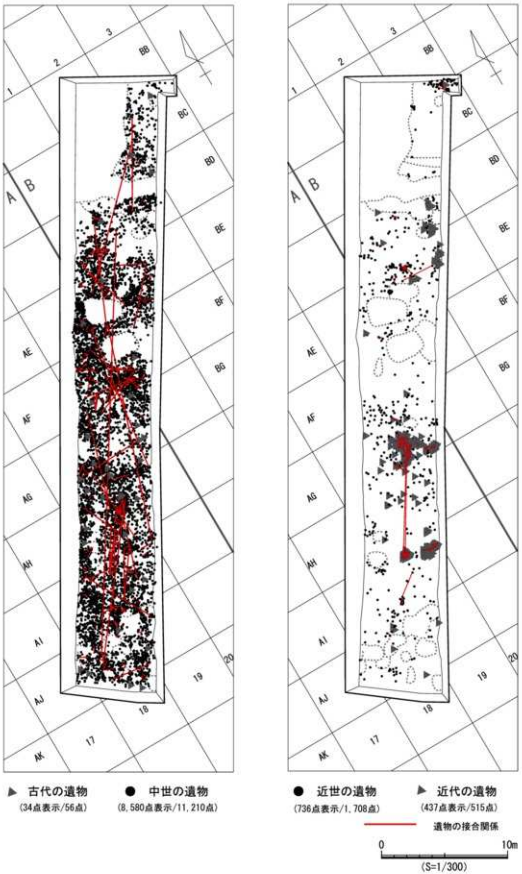

A
B
1
2
3
BB
BC
BD
BE
BF
BG
AE
AF
AG
AH
AI
AJ
AK
17
18
19
20
▶ 古代の遺物
(34点表示/56点)
● 中世の遺物
(8,580点表示/11,210点)
● 近世の遺物
(736点表示/1,708点)
▶ 近代の遺物
(437点表示/515点)
遺物の接合関係
0
10m
(S=1/300)

図８　遺物出土状況

３　遺物の概要

出土した遺物の種類・点数は、表５のとおりである。本報告書における遺物の点数は、接合前破片数（取得した２片の座標が１点であれば接合前破片数は「１」とし、試掘・確認調査出土分を含む。）であり、注記できない２㎝以下の小片は計測対象外とした。土器類が大半であり、土器類全体に占める時期別の割合は、古代約0.４%、中世約84.３%、近世約14.１%、近代約1.２%である。

遺物の分類については、主に本文末に掲載した文献を参照した。これらのうち中世土器については、現在、瀬戸美濃産陶器の編年（藤澤2007）と美濃中世後期土師器皿の編年（井川2006）で暦年代観の齟齬が生じている。本報告書では、前者の暦年代に依拠しつつ、後者の時期区分も括弧書きで併記する方針をとった。ただし、土師器皿のみの出土の場合には、美濃中世後期土師器皿の時期のみを記載した。以下の本文では、時期区分を概ね次のように整理しておきたい。

Ⅰａ期：中世前期、Ⅰｂ期：美濃中世後期土師器皿編年Ⅰ～Ⅴ期

Ⅱ期：登窯期、Ⅲ期：明治維新以降

整理等作業において主に下記の方々から遺物の所属時期・器種名等の鑑定について、指導、助言いただいた。ただし、本報告書における記載内容の責任は編集者にある。

藤澤良祐（中近世陶磁器、中国産陶器）、井川祥子（土師器皿）、近藤大典（墨書）、長屋幸二・三島誠（石器）、藤田英博（須恵器・灰釉陶器）、小野木学（中国産磁器、中世前期土師器皿）

本報告書における遺物実測図の掲載縮尺は原則として１／３であるが、一部の遺物については大きさや種類等により縮尺を替えている（大型遺物１／６、瓦１／４、剥片石器１／２、銭貨１／１）。

表５　遺物一覧表

種別			A地点	B地点	C地点	D地点	発掘区外試掘	破片数総数 接合前		破片数総数 接合後	本書掲載数
土器類	古代	須恵器	43	1	1	0	1	46	61	41	4
		灰釉陶器	14	0	0	1	0	15		13	3
	中世	土師器皿（C2類含む）	3,685	185	128	8	8	4,014	12,089	3,873	63
		土師器（皿以外）	371	5	10	1	1	388		351	7
		山茶碗類（窯道具・陶丸含む）	5,724	182	246	15	11	6,178		6,049	67
		山茶碗類（墨書有）	140	1	3	0	1	145		132	33
		片口鉢	139	4	7	0	0	150		132	11
		古瀬戸・大窯	731	16	18	2	3	770		715	58
		常滑産陶器	330	11	5	1	2	349		326	7
		中国産陶磁器	82	0	4	0	0	86		83	18
		その他	8	1	0	0	0	9		9	1
	近世	土師器皿	64	1	16	0	0	81	2,017	72	14
		土師器（ホウロク）	81	0	54	1	0	136		95	3
		陶器	1,460	7	196	5	20	1,688		1,535	64
		磁器	103	0	6	0	3	112		107	9
	近代	陶磁器	162	1	6	0	0	169		128	11
	小計		13,137	415	700	34	50	14,336		13,661	373
その他	瓦		353	0	11	1	0	365	971	322	5
	土製品、焼成粘土塊		172	1	16	0	0	189		185	14
	石器		32	1	3	0	0	36		34	9
	金属製品		117	2	1	0	0	120		106	22
	銭貨		46	0	3	0	1	50		41	30
	鉄滓		84	8	17	1	0	110		110	3
不明			99	0	2	0	0	101		97	3
総数			14,040	427	753	36	51	15,307		14,556	459

1）鈴木正貴2001「尾張の拠点城館遺跡出土の瀬戸美濃窯産陶器―時期別組成の分析を中心に―」『愛知県埋蔵文化財センター研究紀要』第２号、財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター p58

第３節　遺構

本節では、検出した主要遺構をⅠ・Ⅱ期、Ⅲ期、時期不詳に大別して種類別に説明する。ただし、遺構から比較的まとまって出土した遺物の内容については、第４節で説明する。

１　Ⅰ・Ⅱ期

（１）柵

ＳＡ１（図９・10）

Ｃ地点のＡＲ14、ＡＳ13・14、ＡＴ13グリッドに位置する。南北長7.02m以上・東西長1.56m以上を測る。主軸方位はＮ－19.5°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は円形又は楕円形で、すべての柱穴において、柱痕跡が検出された（ただしＳＰ260は土層断面図から判断）。ＳＰ254・256の柱痕跡は、北側にやや傾斜する。全体に柱間が広く、ＳＰ256・260は他の柱穴と比べて柱掘方底面がやや深く、外周柱穴列と判断すると掘立柱建物の可能性がある。柱穴出土遺物のうち最新型式は、ＳＰ276埋土１出土の古瀬戸後Ⅳ期の盤類１点であり、15世紀中葉以降の造営と考えられる。

ＳＡ２（図９・10）

Ｃ地点のＡＲ14、ＡＳ14、ＡＴ13グリッドに位置する。本遺構は整理段階で認定し、南北長7.64m以上・東西長1.75m以上を測る。主軸方位はＮ－23.0°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は円形又は楕円形で、ＳＰ262を除く柱穴において、柱痕跡が検出された。ＳＰ255とＳＰ258、ＳＰ256とＳＰ271で重複関係があるが、相互に比べると矛盾する。ただし、ＳＡ１と同様に南側の柱列を認定する場合には、ＳＰ260に切られるＳＰ285が候補となり、ＳＡ１はＳＡ２よりも後出する可能性がある。なお、ＳＰ253からＳＰ271にかけて柱掘方底面の標高は揃うが、ＳＰ285の標高はそれらよりもやや高い。本遺構もＳＡ１と同様に、掘立柱建物の可能性がある。柱穴出土遺物のうち最新型式は、ＳＰ255埋土２出土の土師器皿Ｂ２類１点であり、美濃中世後期土師器皿編年Ⅱ期以降の廃絶と考えられる。

（２）建物

ＳＢ04（図11～13）

Ａ地点のＢＤ・ＢＥ・ＢＦ１、ＢＤ・ＢＥ２グリッドに位置する。Ⅲａ層上面で検出し、整理段階で建物と認定した。南北長7.31m・東西長5.33m以上を測る。３間四方の総柱建物と考えられ、南に１間の向拝状の附属施設が付く。主軸方位はＮ－26.5°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、地下式礎石がＳＰ181で確認され、柱痕跡がＳＰ020・081・181・182・227で検出された（ただしＳＰ020・181は土層断面図から判断）。柱掘方の底面の標高は、ＳＰ003を除く（柱筋は合うため本建物に帰属）と、概ね北側の柱穴では高く南側の柱穴では低い傾向にあり、Ⅵ層の傾斜と一致する。南北方向の柱間は、主柱で2.16mと2.95m、附属施設で2.43mを測り、東西方向の柱間は2.45mと2.8m以上を測る。ＳＰ181の土層断面図よりＳＰ181がＳＰ224を切ることが明白であること、また柱配置や規模の類似から、本建物はＳＢ05の建て替えと考えられる。ＳＢ05より後出すること、ＳＰ181が近代のＳＸ１に切られること、ＳＰ003埋土１出土の登窯第11小期の刷毛目徳利１点（図91－388）から、18世紀末～19世紀初頭に造営し幕末～明治時代初頭に廃絶したと考えられる。

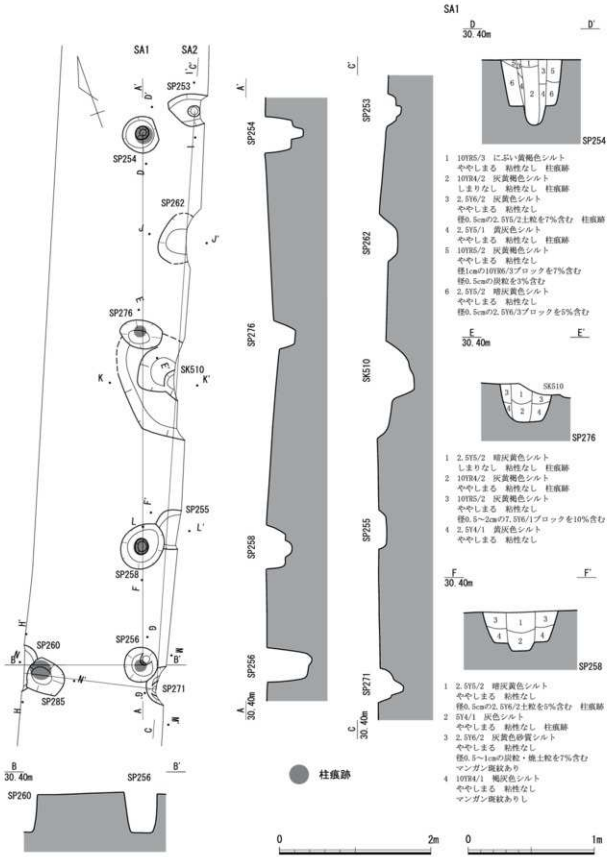
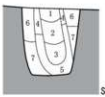

SA1
SA2
SP253
SP254
SP262
SP276
SK510
SP255
SP258
SP260
SP256
SP271
SP285
柱痕跡
0
2m
(S=1/50)
0
1m
(S=1/30)

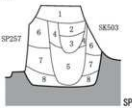
図９　ＳＡ１・２実測図（１）

G　G'
30.40m



1　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト
やや しまる　粘性なし
径0.3cmの炭粒を2%含む　柱痕跡
2　10YR5/2　灰黄褐色シルト
しまりなし　粘性なし　柱痕跡
3　10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト
しまりなし　柱痕跡
4　2.5Y6/2　灰黄色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
マンガン斑紋あり　柱痕跡
5　2.5Y5/1　黄灰色粘質シルト
やや しまる　柱痕跡
6　10YR5/4　にぶい黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径1cmの10YR6/3ブロックを15%含む
マンガン斑紋あり
7　10YR5/2　灰黄褐色シルト
やや しまる　粘性なし

H　H'
30.40m



1　10YR5/3　にぶい黄褐色土　やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
2　10YR5/2　灰黄褐色土　やや しまる　粘性なし
径0.3cmの10YR6/3土粒を3%含む　柱痕跡
3　2.5Y5/3　黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
径1cmの10YR6/4土粒を5%含む　柱痕跡
4　5Y6/1　灰色シルト　やや しまる　粘性なし
径0.3cmの10YR6/3土粒を6%含む
マンガン斑紋あり　柱痕跡
5　7.5Y5/1　褐灰色シルト　やや しまる　粘性なし
径0.3cmの炭粒を5%含む　柱痕跡
6　2.5Y6/3　にぶい黄色砂質土　やや しまる　粘性なし
7　5Y4/1　灰色シルト　やや しまる　粘性なし
径0.3cmの炭粒を2%含む
8　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし

SA2

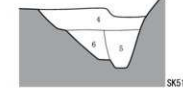
I　I'
30.30m

1　10YR5/3　にぶい黄褐色土
やや しまる　粘性なし　柱痕跡
2　2.5Y5/2　暗灰黄色シルト　やや しまる　粘性なし
マンガン斑紋あり　柱痕跡
3　10YR4/2　灰黄褐砂質シルト　やや しまる　粘性なし
4　2.5Y3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし

J　J'
30.30m

1　2.5Y5/3　黄褐色シルト
しまりなし　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
径0.5cmの炭粒を5%含む
2　2.5Y3/3　暗オリーブ褐色シルト
やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む

K　K'
30.30m

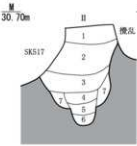


4　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
径0.5cmの炭粒を3%含む
5　2.5Y3/1　黒褐色シルト
やや しまる　粘性なし
6　2.5Y3/2　黒褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径1cmの5Y5/1ブロックを5%含む

L　L'
30.30m

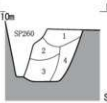
3　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
径0.3cmの炭粒を3%含む
5　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし

M　M'
30.70m



1　10YR4/2　灰黄褐色土　しまりなし　粘性なし
径1cmの10YR6/3ブロックを5%含む
径0.5cmの炭粒を3%含む
2　10YR5/3　にぶい黄色砂質シルト
しまりなし　粘性なし
径0.3cmの10YR6/3土粒を7%含む
径0.5cmの炭粒を2%含む
3　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を8%含む
4　10YR/1　灰色シルト　やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまりなし　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む　柱痕跡
6　2.5Y3/1　黒褐色シルト
やや しまる　粘性なし　柱痕跡
7　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む

N　N'
30.10m



1　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
径0.3cm程2.5Y6/3土粒を10%含む　マンガン斑紋あり
2　2.5Y3/3　暗オリーブ褐色シルト　やや しまる
粘性なし　柱痕跡
3　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまりなし
粘性なし　柱痕跡
4　10YR4/1　褐灰色砂質シルト　やや しまる　粘性なし

0　1m
(S=1/30)

図10　ＳＡ１・２実測図（２）

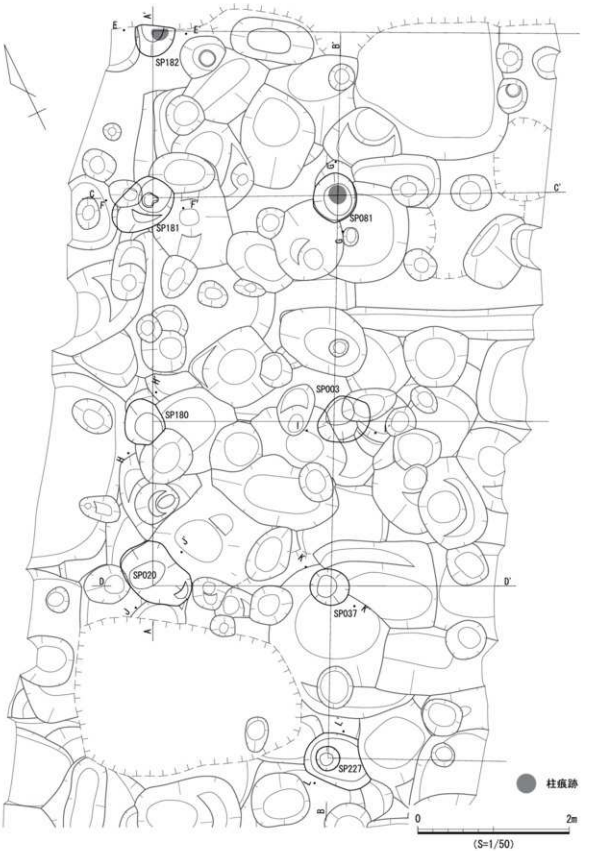


図11　ＳＢ04実測図（１）

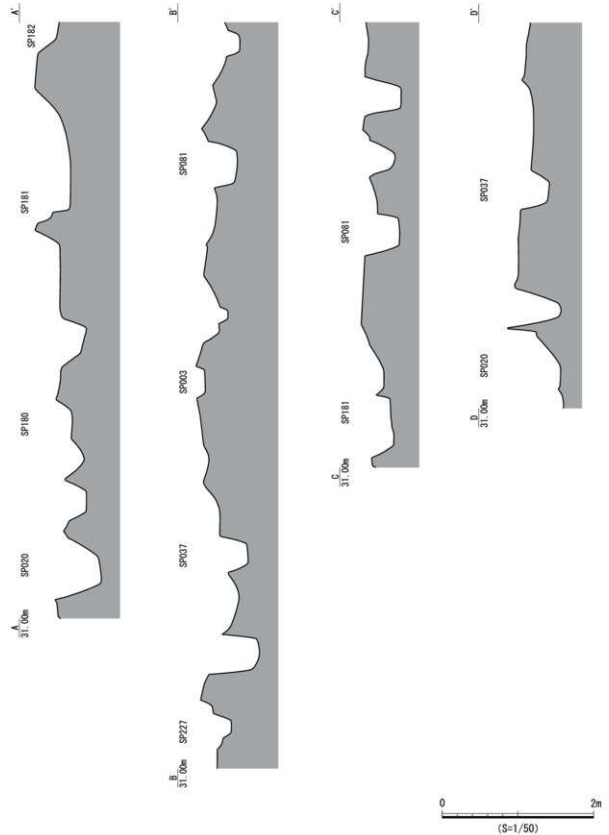
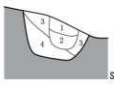


図12　ＳＢ04実測図（２）

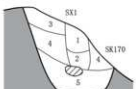
E　E'
31.00m



SP182

1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径1cmの10YR7/4ブロックを7%含む　柱痕跡
2　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR7/4土粒を10%含む　柱痕跡
3　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR7/4土粒を5%含む
4　2.5Y4/1　黄灰色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
一辺3cmの亜角礫を2%含む
径0.5cmの2.5Y6/2土粒を15%含む

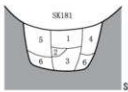
F　F'
31.00m



SP181

1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト
しまりなし　粘性なし
一辺4cmの円礫を2%含む
一辺0.5cmの炭粒を3%含む　柱痕跡
2　10YR3/2　黒褐色シルト
やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
3　10YR6/2　灰黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
4　2.5Y4/1　黄灰色シルト　やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
5　10YR3/1　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
径0.5cmの炭粒を5%含む

G　G'
31.00m



SP081

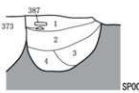
1　10YR3/3　暗褐色砂質シルト
やや しまる　粘性あり
径0.5cmの炭化物を5%含む　柱痕跡
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性あり
径0.5cmの炭化物を1%含む　柱痕跡
3　10YR3/4　暗褐色砂質シルト
やや しまる　粘性あり
径0.5cmの炭化物を5%含む　柱痕跡
4　10YR4/4　褐色砂質シルト
やや しまる　粘性あり
径1cmの10YR4/2ブロックを2%含む
5　10YR4/4　褐色砂質シルト
やや しまる　粘性あり
径1cmの炭化物を1%含む
6　10YR4/4　褐色砂質シルト
やや しまる　粘性やや あり
径2～3cmの亜円礫を3%含む

H　H'
30.60m

SP180

1　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト
やや しまる　粘性なし
径1cmの2.5Y6/3ブロックを15%含む
一辺3cmの円礫を5%含む
2　2.5Y6/2　灰黄色砂質シルト
やや しまる　粘性なし　粗砂を含む
3　10YR6/2　灰黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし　粗砂を含む
4　2.5Y5/2　暗灰黄色土
やや しまる　粘性なし
一辺4cmの円礫を5%含む

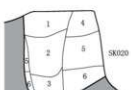
I　I'
31.40m



SP003

1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
しまりなし　粘性なし
10YR6/4粗砂を含む　層界明瞭
2　10YR4/3　暗褐色土
やや しまる　粘性やや あり
径1cmの円礫を1%含む　層界明瞭
3　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性やや あり
径0.5cmの2.5Y5/2土粒を10%含む
酸化鉄斑紋あり　層界不明瞭
4　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径1cmの2.5Y6/2土粒を20%含む
酸化鉄斑紋あり　層界不明瞭

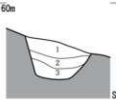
J　J'
30.60m



SP020

1　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む　柱痕跡
2　10YR5/2　灰黄褐色シルト
しまりなし　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を3%含む　柱痕跡
3　10YR4/2　灰黄褐色シルト
やや しまる　粘性なし
径2cmの10YR6/3ブロックを10%含む
径0.2cmの炭粒を9%含む　柱痕跡
4　7.5YR4/3　褐色土
やや しまる　粘性なし
5　7.5YR4/2　灰褐色土
やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む
径0.2cmの炭粒を5%含む
6　10YR3/2　黒褐色土
しまりなし　粘性なし
径0.3cmの10YR6/3土粒を10%含む
径0.2cmの炭粒を5%含む

K　K'
30.60m



SP037

1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質土　やや しまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/4土粒・径0.2cmの炭粒を3%含む
一辺3～5cmの円礫を5%含む
2　10YR3/3　暗褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
径0.2cmの炭粒を2%含む
3　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　しまりなし
径3cmの円礫を2%含む

L　L'
30.80m

SP227

3　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
径0.5cmの炭粒を5%含む
4　2.5Y4/1　黄灰色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
一辺5cmの円礫を10%含む

0　1m
(S=1/30)

図13　ＳＢ04実測図（３）

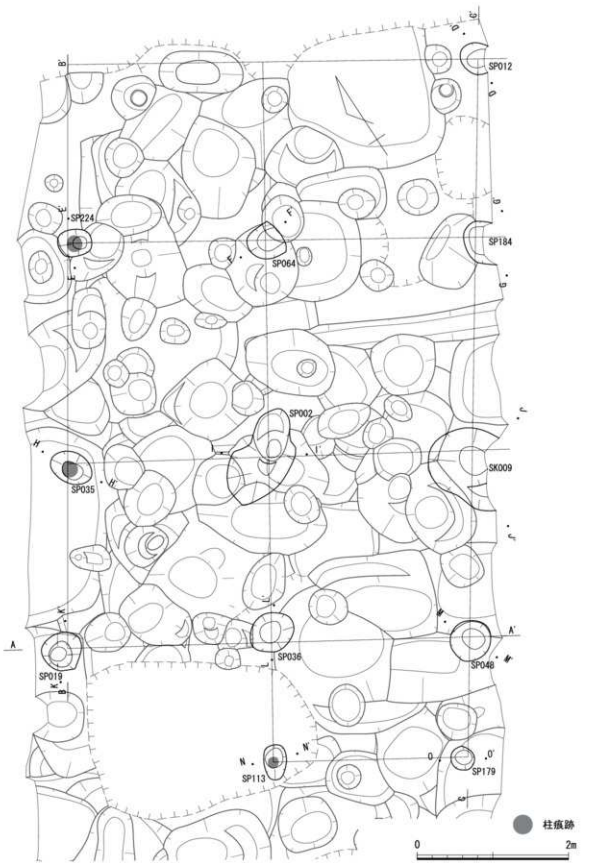


図14　ＳＢ05実測図（１）

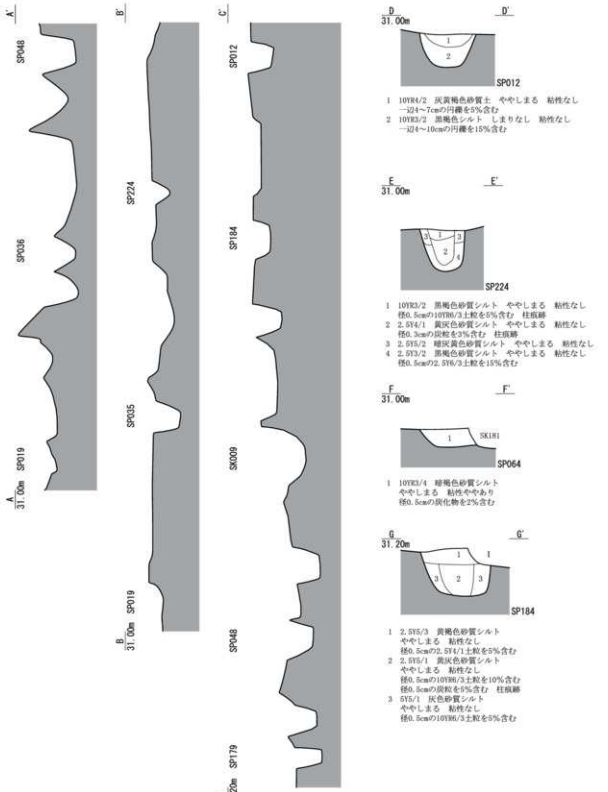


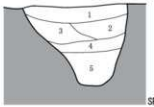
図15　ＳＢ05実測図（２）

H　31.00m　H'

SP035

1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
2　10YR3/2　黒褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　一辺1cmの炭化材を1%含む
　径1cmの10YR6/3土粒を2%含む　柱痕跡
3　10YR3/3　暗褐色粘質シルト　やや しまる
　一辺1cmの炭化材を1%含む　柱痕跡
4　10YR4/3　にぶい黄褐色土
　やや しまる　粘性なし
　径1.5cmの焼土ブロックを1%含む
　径0.5cmの10YR6/4土粒を7%含む
5　10YR3/3　暗褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/4土粒を5%含む
6　10YR3/2　黒褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし

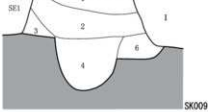
I　31.40m　I'



SP002

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土
　やや しまる　粘性なし
　2～5cmの円礫を1%含む　層界明瞭
2　10YR4/2　灰黄褐色土
　やや しまる　粘性なし
3　10YR4/2　灰黄褐色土
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの2.5Y5/2土粒を30%含む
　酸化鉄斑紋あり
4　10YR3/3　暗褐色土
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの炭粒を3%含む
5　10YR3/2　黒褐色土
　やや しまる　粘性ややあり
　径10cmの10YR6/4ブロック
　・径1cmの焼土ブロック
　・径3cmの円礫を10%含む

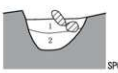
J　31.20m　J'



SK009

1　2.5Y4/2　暗灰黄色土　やや しまる　粘性なし
　径0.5～2cmの10YR4/1土粒を15%含む
　径0.5cmの炭粒を1%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質土
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの炭化材を1%含む
　酸化鉄斑紋あり　中央はグライ化受ける
3　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺3cmの円礫を1%含む
4　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　一辺5cmの円礫を3%含む
　酸化鉄斑紋あり　中央はグライ化受ける
5　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト
　しまりなし　粘性なし　分級よい
6　2.5Y3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし

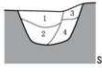
K　31.00m　K'



SP019

1　10YR4/3　にぶい黄褐色シルト
　しまりなし　粘性なし
　一辺15cmの円礫を7%含む　分級よい
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし

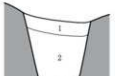
L　30.70m　L'



SP036

1　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR5/4土粒を10%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの炭粒を2%含む
3　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR5/4土粒を10%含む
4　10YR4/3　にぶい黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR5/4土粒を5%含む
　一辺3～6cmの円礫を3%含む

M　31.00m　M'



SP048

1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性ややあり
　径0.5cmの焼土をごくわずかに含む
　0.5～1cmの亜円礫を1%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性ややあり
　径0.5～1cmの亜円礫を3%含む
　径0.5～1cmの焼土を1%含む

N　30.80m　N'

SP113

1　2.5Y4/1　黄灰色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
　径0.5cmの炭粒を2%含む　柱痕跡
2　2.5Y5/1　黄灰色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
　径0.5cmの炭粒を2%含む

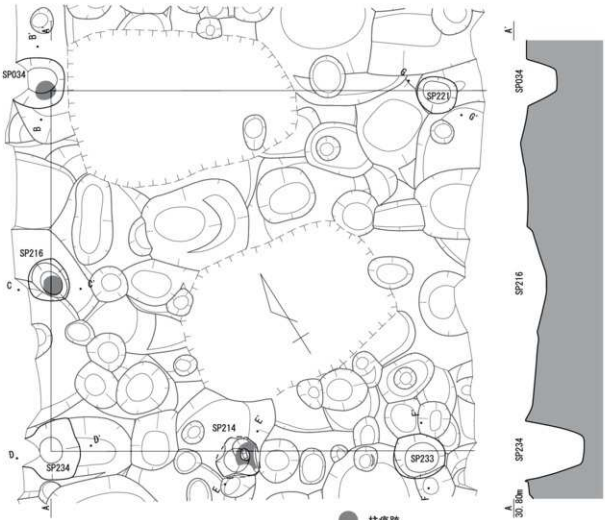
O　30.80m　O'

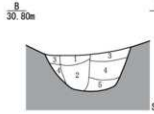
SP179

1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
2　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
3　10YR3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺18cmの角礫を1個含む
4　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの焼土粒・炭粒を20%含む

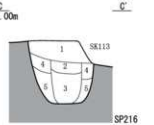
0　1m
(S=1/30)

図16　ＳＢ05実測図（３）

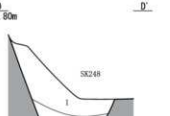




1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
ややしまる　粘性なし
径0.3cmの炭粒を3%含む
径0.3cmの10YR6/4土粒を5%含む　柱痕跡
2　10YR3/2　黒褐色粘質シルト　ややしまる
径0.3cmの炭粒を3%含む　柱痕跡
3　10YR3/3　暗褐色砂質シルト
ややしまる　粘性なし
径0.5cmの10YR6/4土粒を15%含む
4　10YR3/2　黒褐色砂質シルト
ややしまる　粘性ややあり
一辺2cmの円礫を2%含む
5　2.5Y3/2　黒褐色粘質シルト　ややしまる
径0.5cmの7.5YR6/2土粒を5%含む



1　2.5Y6/2　灰黄色砂質シルト
ややしまる　粘性なし
径0.5cmの2.5Y6/3土粒を7%含む
2　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト
ややしまる　粘性なし　柱痕跡
3　2.5Y5/1　黄灰色砂質シルト
ややしまる　粘性なし　柱痕跡
4　5Y5/1　灰色砂質シルト
ややしまる　粘性なし
径0.3cmの2.5Y6/3土粒を5%含む
5　5Y3/2　オリーブ黒色砂質シルト
ややしまる　粘性なし
径0.5cmの2.5Y6/3土粒を10%含む



1　10YR3/2　黒褐色土　しまりなし　粘性なし
径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
一辺3cmの円礫を15%含む
2　10YR4/1　褐灰色土　しまりなし　粘性なし
一辺3cmの円礫を5%含む

0
1m
(S=1/30)

図17　ＳＢ06実測図（１）

ＳＢ05（図14～16）

Ａ地点のＢＤ・ＢＥ１、ＡＥ20、ＢＤ・ＢＥ２グリッドに位置する。Ⅲａ層上面で検出した。南北長7.61m・東西長5.74m以上を測り、ＳＢ04と同様の形式と考えられる。主軸方位はＮ－33.0°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、柱痕跡がＳＰ035・113・179・184・224で検出された（ただしＳＰ179・184は土層断面図から判断）。ＳＫ009は平面形から、またＳＰ002は埋土から幕末の磁器１点が出土することから、柱穴と土坑が重複したと判断した。柱掘方の底面の標高は、概ね北側の柱穴が高く南側の柱穴は低い傾向にあり、Ⅵ層の傾斜と一致する。南北方向の柱間は、主柱で2.35～2.43mと2.91m、附属施設で1.58mを測り、東西方向の柱間は2.57～2.77mを測る。ＳＰ002がＳＫ022を切ることから18世紀後半に造営されたと考えられる。

ＳＢ06（図17・18）

Ａ地点のＡＥ20・ＡＦ20、ＢＥ１・ＢＦ１グリッドに位置する。発掘段階でＳＰ233からＳＰ234にかけて柱筋が通ることを把握し、整理段階で建物として認定した。南北長4.76m・東西長5.72m以上を測る。桁行３間以上・梁行２間の側柱建物と考えられる。主軸方位はＮ－32.0°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、柱痕跡がＳＰ034・214・216・221で検出された（ただしＳＰ221は土層断面図から判断）。ＳＰ214の柱痕跡内には、一辺28cmの亜円礫が垂直に立つ。柱掘方の底面の標高は、ＳＰ034・221・233・234が29.74～30.09m、ＳＰ214・216が順に30.41・30.26mを測り、隅柱と妻側中央柱がやや深い。南北方向の柱間は2.20mと2.54m、東西方向の柱間は2.27mと2.56mを測り、特段の違いはない。柱穴出土遺物のうち、最新型式の陶器にはＳＰ221埋土４出土の脇之島３号窯式の山茶碗１点、土師器皿にはＳＰ034埋土３・４出土のＢ１類１点・Ｃ１類１点・Ｃ２類１点がある。以上から、15世紀中葉（美濃中世後期土師器皿編年Ⅱ期）以降の造営と考えられる。

ＳＢ07（図19・20）

Ａ地点のＡＧ・ＡＨ・ＡＩ19、ＡＨ・ＡＩ18、ＡＨ20グリッドに位置する。南北長7.03m・東西長3.57m以上を測る。梁行２間の総柱建物と考えられ、桁行方向の規模は不明である。主軸方位はＮ－30.0°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、地下式礎石がＳＰ059・075で確認され、柱痕跡がＳＰ044・053を除く柱穴で検出された。柱掘方又は柱痕跡の底面の標高は、ＳＰ125・177が

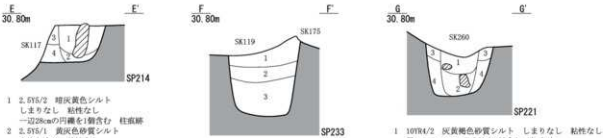


図18　ＳＢ06実測図（２）

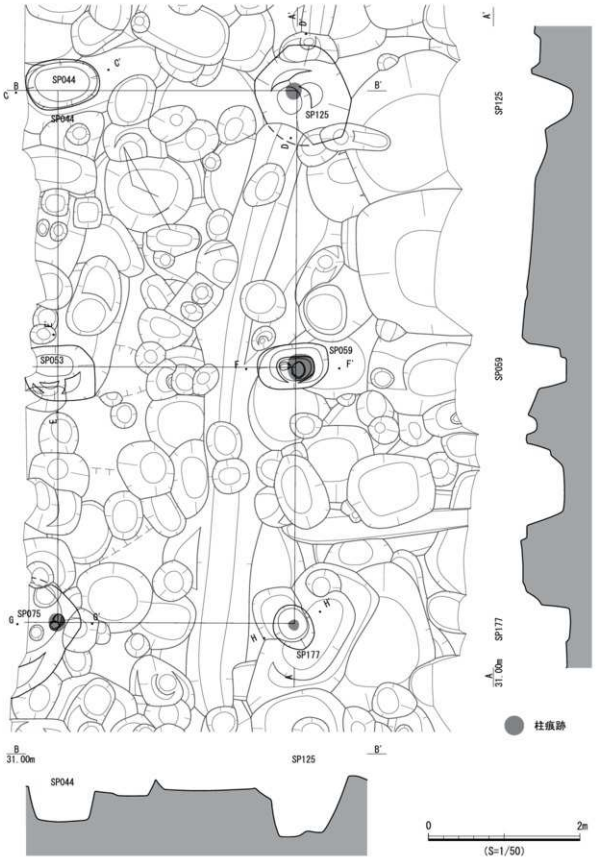
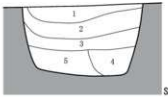


図19　ＳＢ07実測図（１）

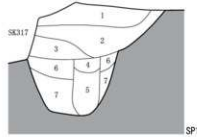
C　C'
31.00m



SP044

1　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
　一辺4cmの円礫を10%含む　酸化鉄斑紋あり
2　2.5Y3/2　黒褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを5%含む
　一辺5cmの円礫を5%含む
3　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
　径1cmの2.5Y5/1ブロックを10%含む
4　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5～1cmの10YR6/4ブロックを10%含む
5　10YR4/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径1cmの10YR6/4ブロックを5%含む

D　D'
31.00m



SP125

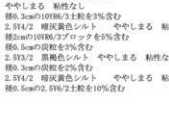
1　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを5%含む
2　10YR5/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径2cmの10YR6/3ブロックを15%含む　径0.5cmの炭粒を3%含む
3　10YR4/4　褐色シルト　やや しまる　粘性なし
4　2.5Y3/3　暗オリーブ褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む　柱痕跡
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまりなし　粘性なし　柱痕跡
6　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
　一辺6cmの円礫を15%含む
7　10YR3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを5%含む

E　E'
31.00m

SP053

1　10YR3/3　暗褐色土
　やや しまる　粘性なし
2　10YR3/2　黒褐色土
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを7%含む
3　10YR5/2　灰黄褐色土
　やや しまる　粘性なし
　径2cmの10YR6/3ブロックを20%含む

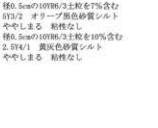
F　F'
30.80m



SP059

1　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/1ブロックを10%含む　柱痕跡
2　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を3%含む　柱痕跡
3　10YR2/2　黒褐色粘質シルト　やや しまる
　径0.3cmの炭粒を2%含む　柱痕跡
4　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を3%含む
5　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト　やや しまる　粘性なし
　径2cmの10YR6/3ブロックを5%含む
　径0.5cmの炭粒を3%含む
6　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの炭粒を2%含む
7　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/2土粒を10%含む

G　G'
31.00m



SP075

1　2.5Y5/1　黄灰色砂質シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
2　10YR5/1　褐灰色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
3　2.5Y5/1　黄灰色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
4　5Y3/2　オリーブ黒色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
5　2.5Y4/1　黄灰色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし

H　H'
30.80m

SP177

1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの5Y6/2ブロックを15%含む
　径0.2cmの焼土粒・炭粒を5%含む
2　2.5Y5/1　黄灰色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの5Y6/2土粒を3%含む　柱痕跡
3　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
4　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
5　10YR3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし

0　1m
(S=1/30)

図20　ＳＢ07実測図（２）

順に29.94・29.98m、他は30.03～30.50mを測り、前者が深く隅柱の可能性がある。南北方向の柱間は3.36m～3.64m、東西方向の柱間は3.13～3.16mを測る。ＳＰ125がＳＰ158を切ること、柱配置や規模の類似から、本建物はＳＢ08の建て替えと考えられる。柱穴出土遺物のうち、最新型式はＳＰ044埋土２層出土の登窯第３小期の折縁鉄絵皿１点（図91－377）であり、17世紀中葉に廃絶したと考えられる。

ＳＢ08（図21・22）

Ａ地点のＡＧ・ＡＨ・ＡＩ19、ＡＨ・ＡＩ18、ＡＨ20グリッドに位置する。整理段階で建物と認定した。南北長7.15m・東西長3.93m以上を測る。梁行２間の総柱建物と考えられ、桁行方向の規模は不明である。主軸方位はＮ－28.0°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、地下式礎石がＳＰ043・052・55で確認され、柱痕跡がＳＰ082を除く柱穴で検出された。柱掘方又は柱痕跡の底面の標高は、ＳＰ043・052が順に30.10・30.08m、他は30.24～30.43mを測り、前者がやや深い。南北方向の柱間は3.55m～3.78m、東西方向の柱間は3.04mを測る。柱穴出土遺物はすべて16世紀以前に属するが、ＳＢ07で説明した理由により本建物は少なくとも17世紀前半に位置づけられる。

ＳＢ09（図23・24）

Ａ地点のＡＩ18・19、ＡＪ18・19グリッドに位置する。整理段階で建物と認定した。南北長3.68m・東西長4.62m以上を測る。桁行３間以上・梁行２間の側柱建物（ＳＰ077は、柱筋は合うため本建物に帰属したものの柱の役割は不明。）と考えられる。主軸方位はＮ－29.0°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、柱痕跡がすべての柱穴で検出された。柱掘方の底面の標高は、29.72～30.11mを測り、柱の位置と根入れの深さにおいて特段の傾向はみられない。南北方向の柱間は1.71mと1.86m、東西方向の柱間は1.78～1.91mを測る。ＳＰ101・152が、順にＳＢ10の柱穴ＳＰ117・160を切っており、ＳＢ10に先行する。柱穴出土遺物のうち、最新型式の陶器にはＳＰ101埋土１出土の古瀬戸後Ⅳ期古段階の鉄釉縁釉小皿１点、土師器皿にはＳＰ077埋土５出土のＢ１類１点、ＳＰ114埋土４・ＳＰ152埋土４出土のＣ１類各１点、ＳＰ101埋土４出土のＣ２類１点がある。以上から、15世紀中葉（美濃中世後期土師器皿編年Ⅱ期）以降の造営と考えられる。

ＳＢ10（図25～27）

Ａ地点のＡＩ18・19、ＡＪ18・19グリッドに位置する。整理段階で建物と認定した。南北長5.13m・東西長4.98m以上を測る。桁行５間程度・梁行３間の三面庇付建物（ＳＰ136－140間及びＳＰ118－163間で、ＳＰ088に対応する柱穴は確認されなかった）と考えられ、３×２間の身舎の外側に外周柱穴列がつく。主軸方位はＮ－36.5°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、地下式礎石がＳＰ117・160で確認され、柱痕跡がＳＰ117・160を除く柱穴で検出された（ただしＳＰ087・118は土層断面図から判断）。なお、ＳＰ087は重複する２基の柱穴で（柱痕跡は本建物に、地下式礎石はＳＢ11に伴う）、ＳＢ11が本建物に先行すると考えられる。柱掘方又は柱痕跡の底面の標高は、入側柱では29.93～30.34m、側柱では29.70～30.20mを測り、両者に違いはない。南北方向の柱間は、身舎で1.74～2.08m、庇で1.30mを測る。また東西方向の柱間は身舎で1.73～1.84m、庇で0.90mを測る。柱穴出土遺物のうち、最新型式の陶器にはＳＰ087埋土６出土の大洞東１号窯式又は脇之島３号窯式の小皿１点、土師器皿にはＳＰ087埋土５出土のＭ３類２点、ＳＰ084埋土７出土のＢ１類１点がある。ＳＰ087の解釈により、15世紀中葉（美濃中世後期土師器皿編年Ⅱ期）以降の造営と考えられる。

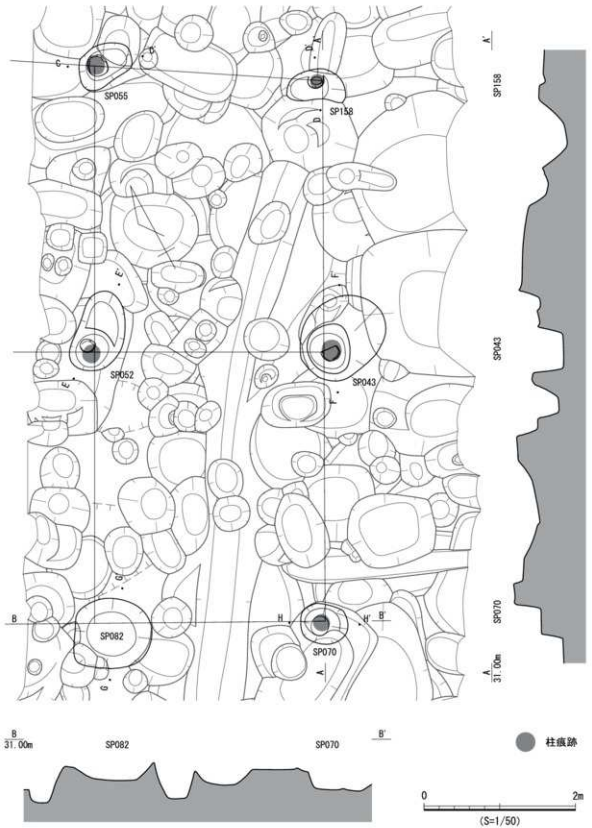
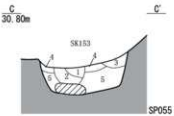
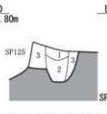


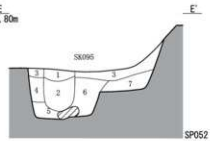
図21　ＳＢ08実測図（１）



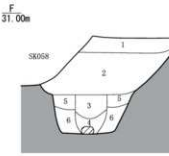
1　10YR4/1　褐灰色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径2cmの2.5YR/5ブロックを10%含む　柱痕跡
2　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径1cmの10YR5/1土粒を5%含む　柱痕跡
3　10YR6/2　灰黄褐色シルト
　しまりなし　粘性なし
　酸化鉄斑紋あり
4　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
5　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径1cmの10YR5/1ブロックを10%含む



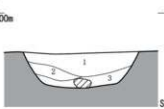
1　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし　柱痕跡
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし　柱痕跡
3　10YR3/2　黒褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む
　径0.5cmの炭粒を5%含む



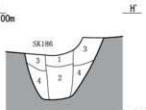
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ややしまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を2%含む　柱痕跡
2　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　マンガン斑紋あり　柱痕跡
3　10YR4/4　褐色土　ややしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/2ブロックを5%含む
　径0.5cmの炭粒を2%含む
4　10YR3/3　暗褐色砂質土　ややしまる　粘性なし
　一辺4cmの円礫を5%含む
5　10YR2/2　黒褐色粘質シルト　しまりなし
　一辺3～8cmの円礫を15%含む
6　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質土　しまりなし　粘性なし
　一辺4～10cmの円礫を7%含む
7　10YR2/2　黒褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.3mの10YR6/3土粒を5%含む



1　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径1～4cmの2.5YR/3ブロックを10%含む
　径1cmの炭粒を2%含む
2　2.5Y3/3　暗オリーブ褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5～1cmの2.5Y6/3土粒を10%含む
　径0.3cmの炭粒を5%含む
3　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3土粒を3%含む　柱痕跡
4　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　径3cmの円礫を3%含む
　径0.3cmの10YR6/3土粒を3%含む　柱痕跡
5　10YR3/2　黒褐色シルト
　ややしまる　粘性なし
6　10YR3/3　暗褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし



1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　一辺0.3～2cmの炭化材を1%含む
　径0.3cmの10YR6/3土粒を10%含む
　マンガン斑紋あり
2　10YR3/3　暗褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を3%含む
　マンガン斑紋あり
3　10YR3/2　黒褐色シルト
　ややしまる　粘性なし
　一辺9～24cmの円礫を15%含む
　径0.5cmの炭粒を2%含む
　径0.3cmの10YR6/3土粒を5%含む



1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし　柱痕跡
　径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト
　ややしまる　粘性なし　柱痕跡
　径0.3cmの10YR6/3土粒を10%含む
3　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を10%含む
4　10YR3/3　暗褐色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.2cmの炭粒を5%含む

図22　ＳＢ08実測図（２）

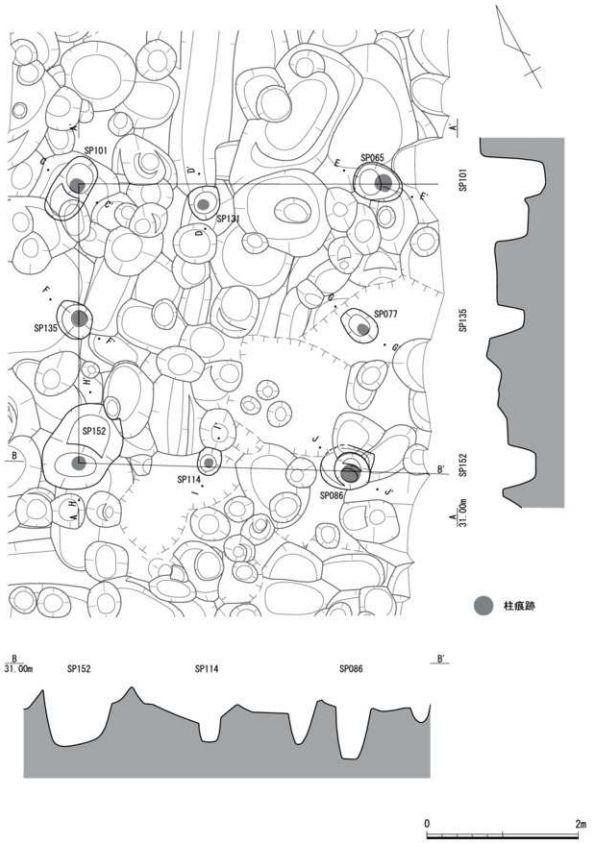
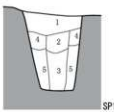


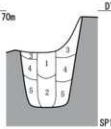
図23　ＳＢ09実測図（１）

C　C'
30.90m



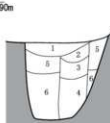
1　2.5Y6/2　灰黄色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの焼土粒・炭粒を5%含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
3　10YR2/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺5cmの円礫を2%含む　柱痕跡
4　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を2%含む
　径4cmの円礫を3%含む

D　D'
30.70m



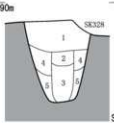
1　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト　しまりなし　粘性なし
　径1～3cmの10YR6/3ブロックを15%含む
　径1cmの炭化材を5%含む　柱痕跡
2　2.5Y3/3　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの炭化材を5%含む　柱痕跡
3　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる
　粘性なし　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
　一辺5cmの円礫を5%含む
4　10YR5/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを15%含む
5　10YR3/2　黒褐色粘質シルト　やや しまる

E　E'
30.90m



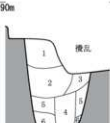
1　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの焼土粒・炭粒
　・10YR6/3土粒を10%含む　柱痕跡
3　2.5Y4/1　黄灰色シルト
　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
4　7.5Y4/1　灰色シルト　やや しまる　粘性なし
　酸化鉄斑あり　柱痕跡
5　5Y4/1　灰色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を5%含む
　径0.5cmの炭粒を10%含む
6　10Y2/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし

F　F'
30.90m



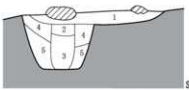
1　10YR5/2　灰黄褐色シルト　やや しまる
　粘性なし　径2cmの10YR6/3土粒を15%含む
　径0.5cmの炭粒を3%含む
2　2.5Y5/2　暗灰黄色シルト　やや しまる
　粘性なし　径1cmの10YR6/3土粒を10%含む
　径0.5cmの炭粒を2%含む　柱痕跡
3　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる
　粘性なし　径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
　径0.5cmの炭粒を3%含む　柱痕跡
4　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる
　粘性なし　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
5　10YR3/2　黒褐色シルト　やや しまる
　粘性なし　径0.5cmの焼土粒を3%含む

G　G'
30.90m



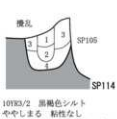
1　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を20%含む
　径0.5cmの炭粒を3%含む
2　10YR3/1　黒褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの炭粒・10YR6/3ブロックを20%含む
　径0.3cmの焼土粒を5%含む
3　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
4　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む　柱痕跡
5　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
　一辺8cmの円礫を20%含む
6　10YR6/3　にぶい黄橙色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR3/2土粒・炭粒を5%含む

H　H'
30.90m



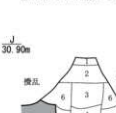
1　10YR5/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺12～36cmの円礫を含む
　径1～4cmの10YR6/3ブロックを20%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺6cmの円礫を10%含む
　径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む　柱痕跡
3　10YR3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒・10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
4　2.5Y3/3　暗オリーブ褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
5　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし

I　I'
30.90m



1　10YR3/2　黒褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
2　2.5Y3/2　黒褐色シルト
　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
3　10YR4/2　灰黄褐色土
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
4　10YR2/2　黒褐色土
　やや しまる　粘性なし
　径3cmの円礫を5%含む

J　J'
30.90m



1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
2　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺2cmの炭化材を5%含む
3　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
4　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む
　径0.5cmの炭粒を3%含む　柱痕跡
5　10YR3/2　黒褐色シルト
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
　径0.5cmの炭粒を7%含む　柱痕跡
6　2.5Y4/1　黄灰色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを20%含む
　径0.5cmの炭粒を5%含む
7　10YR4/1　褐灰色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを15%含む
　径2cmの炭化材を7%含む
8　5Y3/2　オリーブ黒色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
　径0.5cmの炭粒を5%含む

0　1m
(S=1/30)

図24　ＳＢ09実測図（２）

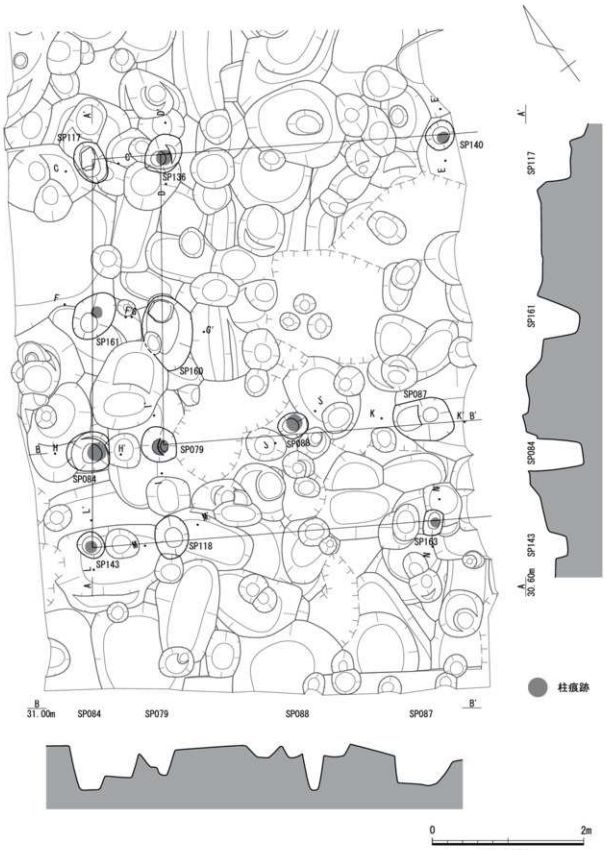
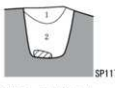


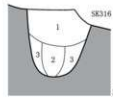
図25　ＳＢ10実測図（１）

C　C'
30.80m



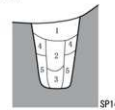
1　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを15%含む
　径0.5cmの焼土粒・炭粒を5%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロック
　・焼土ブロックを10%含む

D　D'
30.80m



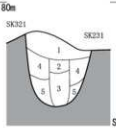
1　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを20%含む
2　2.5Y3/2　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡
3　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし

E　E'
30.80m



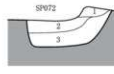
1　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3土粒を15%含む
　径0.5cmの炭粒・焼土粒を5%含む
2　5Y4/1　灰色シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3を5%含む
　酸化鉄面状あり　柱痕跡
3　2.5Y4/1　黄灰色シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡
4　5Y5/1　灰色シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3ブロックを10%含む
5　2.5Y5/1　黄灰色シルト
　やしまる　粘性なし

F　F'
30.80m



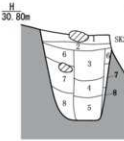
1　2.5Y5/3　黄褐色砂質シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む
　径0.5cmの炭粒を3%含む
2　2.5Y5/2　暗灰黄色シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡
3　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡
4　10YR6/3　にぶい黄橙色シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3ブロックを10%含む
　径0.5cmの炭粒を3%含む
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし

G　G'
30.80m



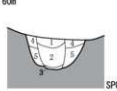
1　2.5Y6/3　にぶい黄色砂質シルト
　やしまる　粘性なし
2　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を15%含む
　径0.3cmの炭粒を5%含む
3　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし

H　H'
30.80m



1　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
　径1cmの焼土ブロック・炭粒を7%含む
　一辺20cmの円礫を15%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径1cmの炭粒を3%含む
3　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を3%含む　柱痕跡
4　10YR3/2　黒褐色シルト
　しまりなし　粘性なし　柱痕跡
5　10YR2/2　黒褐色シルト
　しまりなし　粘性なし　柱痕跡
6　10YR3/3　暗褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを15%含む
　径1cmの炭粒を7%含む
　一辺17cmの円礫を20%含む
7　2.5Y3/2　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
8　2.5Y3/1　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし

I　I'
30.60m



1　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　やしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを3%含む
　径0.2cmの炭粒を5%含む　柱痕跡
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
3　5Y4/1　灰色砂質シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡
4　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
5　10YR3/3　暗褐色砂質土
　やしまる　粘性なし

J　J'
30.60m

1　2.5Y3/2　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　一辺5～15cmの円礫を15%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を20%含む
3　10YR3/2　黒褐色砂質シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を10%含む
4　10YR3/3　暗褐色土　やしまる　粘性なし
5　10YR2/3　黒褐色土　やしまる　粘性なし
　一辺2cmの円礫を3%含む
　径0.5cmの炭粒を2%含む
6　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質土
　やしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
7　2.5Y3/3　黄褐色土　やしまる　粘性なし

0　1m
(S=1/30)

図26　ＳＢ10実測図（２）

ＳＢ11（図28・29）

Ａ地点のＡＩ18、ＡＪ17・19グリッドに位置する。整理段階で建物と認定した。南北長5.69m・東西長5.05m以上を測る。桁行３間以上・梁行３間の側柱建物と考えられ、主軸方位はＮ－32.5°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、地下式礎石がＳＰ087・130・155で確認され、柱痕跡がＳＰ102・116・155・164で検出された（ただしＳＰ116は土層断面図から判断）。柱掘方又は柱痕跡の底面の標高は、29.89～30.33mを測り、柱の位置と根入れの深さにおいて特段の傾向はみられない。南北方向の柱間は1.88～1.92m、東西方向の柱間は1.82～2.30mを測る。柱穴出土遺物のうち、最新型式の陶器には、ＳＰ148埋土２出土の脇之式窯３号窯式又は生田２号窯式の山茶碗１点、土師器皿にはＳＰ148埋土１出土のＭ４類１点、ＳＰ155埋土１出土のＢ１類１点（図83－161）がある。以上から、15世紀中葉（美濃中世後期土師器皿編年Ⅱ期）以降の造営と考えられる。

（３）溝

ＳＤ２・３（図30～33）

Ａ地点のＡＨ19・20、ＡＩ18・19、ＡＪ18グリッドに位置する。ＳＤ２は長さ13.32m・上幅0.40～1.88m・深さ0.09～0.4mを測るが、多数の遺構に切られて原形を留めていない。底面の標高は、溝の北端・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ地点の順に、30.28m・30.25m・30.23m・30.41m・30.38m を測り、一方に傾斜するという傾向はない。検出当初は土坑の重複を想定したが、形状から溝と認定した。主軸方位は、Ｃ地点を挟んで北側でＮ－36.5°－Ｅ、南側ではＮ－26.0°－Ｅを測り、溝の北半が緩やかに東へ折れる。溝の断面形は逆台形を呈し、一部を除いて東壁よりも西壁が急に立ち上がる。埋土に

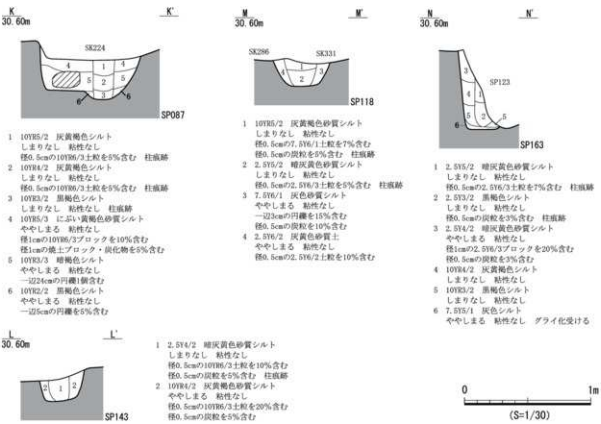


図27　ＳＢ10実測図（３）

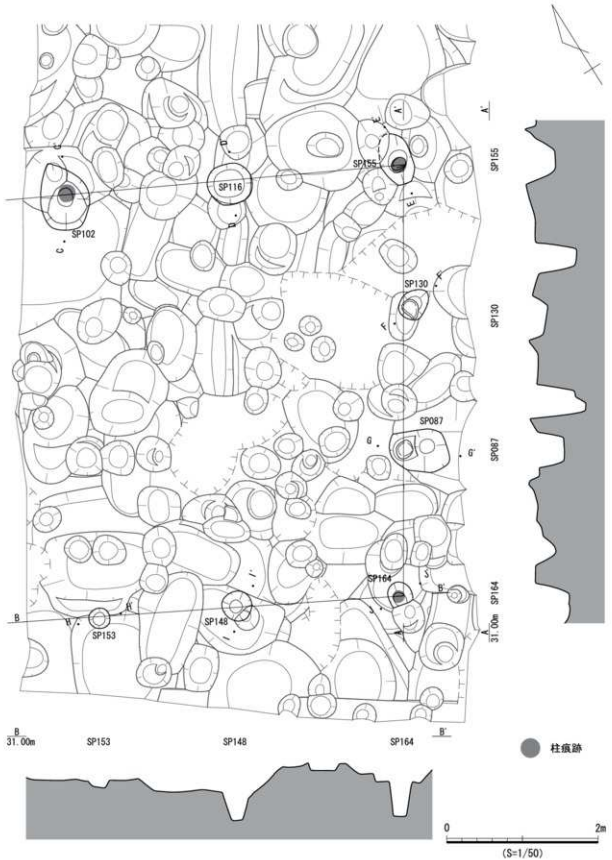
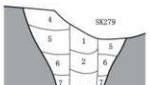


図28　ＳＢ11実測図（1）

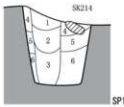
C　31.00m　C'



SP102

1　10YR5/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒
　・炭粒を5%含む　柱痕跡
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
　径0.5cmの焼土粒・炭粒を3%含む　柱痕跡
3　10YR3/2　黒褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし　柱痕跡
4　10YR5/3　にぶい黄褐色土　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む
5　10YR4/4　褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺4cmの円礫を3%含む
6　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
7　10YR3/3　暗褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径2cmの焼土ブロックを10%含む
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む

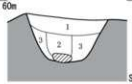
D　30.80m　D'



SP116

1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
　一辺5cmの円礫を10%含む　柱痕跡
2　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる
　粘性なし　径0.5cmの焼土粒・炭粒を5%含む
　一辺4cmの角礫を5%含む　柱痕跡
3　10YR2/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺5cmの円礫を5%含む　柱痕跡
4　2.5Y4/1　黄灰色シルト　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロック
　・炭化物ブロックを10%含む
　一辺23cmの円礫を1個含む
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を5%含む
6　10YR3/1　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を10%含む

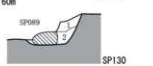
E　30.60m　E'



SP155

1　2.5Y3/2　黒褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
　一辺3～10cmの円礫を10%含む
2　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの焼土粒・炭粒を15%含む　柱痕跡
3　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし

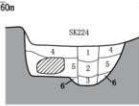
F　30.60m　F'



SP130

1　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを20%含む
2　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む

G　30.60m　G'



SP087

1　10YR5/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　柱痕跡
3　10YR3/2　黒褐色シルト
　しまりなし　粘性なし　柱痕跡
4　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
　径1cmの焼土ブロック・炭化物を5%含む
5　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺24cmの円礫1個含む
6　10YR2/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺5cmの円礫を5%含む

H　30.60m　H'

SP153

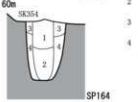
1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/2土粒を15%含む
　径0.5cmの焼土粒・炭粒を5%含む

I　30.60m　I'

SP148

1　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径2cmの2.5Y6/3ブロックを7%含む
2　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径2cmの2.5Y6/3ブロックを5%含む
　径0.3cmの炭粒を3%含む
3　2.5Y3/2　黒褐色シルト
　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3土粒を3%含む

J　30.60m　J'



SP164

1　10YR4/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径1cmの2.5Y6/3土粒を7%含む
　径0.3cmの炭粒を3%含む　柱痕跡
2　10YR3/2　黒褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径0.3cmの炭粒を3%含む　柱痕跡
3　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3土粒を5%含む
4　2.5Y3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径5cmの円礫を5%含む

0　1m
(S=1/30)

図29　ＳＢ11実測図（２）

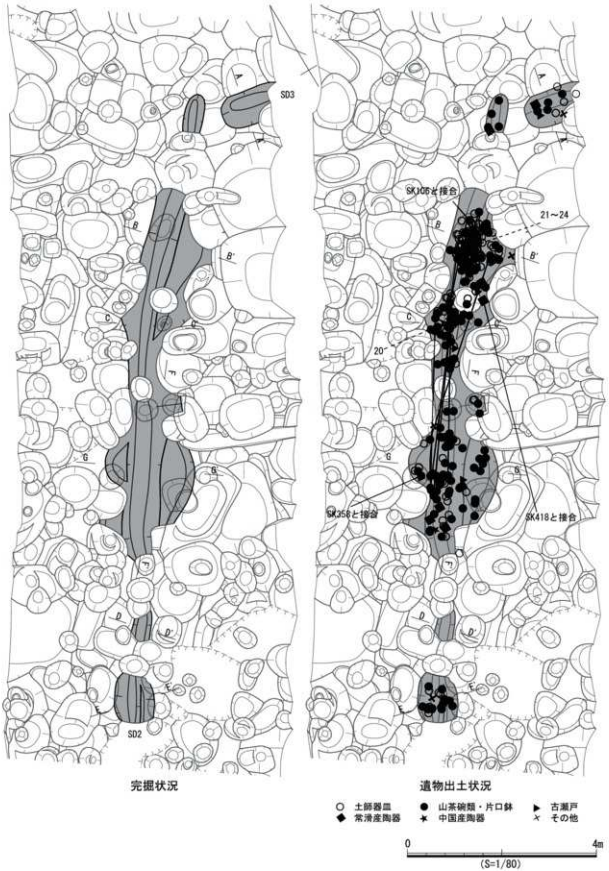
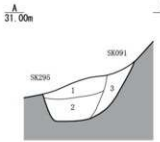
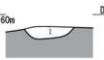


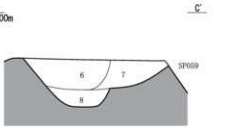
図30　ＳＤ２・３実測図（１）



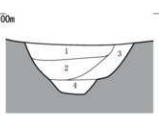
1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3土粒を5%含む
　径0.5cmの炭粒を15%含む
2　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/3土粒・炭粒を7%含む
3　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5～2cmの2.5Y6/3ブロックを15%含む
　径0.5cmの炭粒を5%含む



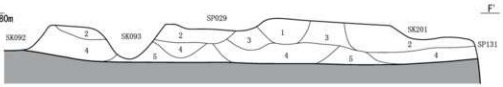
1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3ブロックを20%含む
　径0.5cmの炭化物を3%含む



6　10YR4/2　灰黄褐色シルト　ややしまる　粘性なし
　径5～10cmの10YR6/3ブロックを15%含む
　径0.3～3cmの焼土ブロックを7%含む
7　5Y5/1　灰色シルト　ややしまる　粘性なし
　一辺3cmの円礫を3%含む
　径0.5cmの炭粒を5%含む　鮪化鉄斑紋あり
8　2.5Y4/2　暗灰黄色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　一辺1～3cmの円礫を5%含む
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む



1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの7.5YR5/4ブロックを5%含む
　径0.1～1cmの炭粒を5%含む
2　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　ややしまる　粘性なし
　径2cmの7.5YR5/1ブロックを20%含む
　径1cmの炭粒を10%含む
3　10YR5/1　褐灰色土　ややしまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を5%含む
　径0.5cmの炭粒を15%含む
4　10YR5/2　灰黄褐色砂質土　ややしまる　粘性なし
　一辺4cmの角礫10%含む　径0.3cmの10YR6/3土粒を5%含む



1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを20%含む　径0.5cmの炭粒を5%含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト　ややしまる　粘性なし
　一辺10cmの角礫を5%含む
　径0.5～4cmの焼土ブロックを15%含む　径1cmの炭化物を20%含む
3　10YR4/2　灰黄褐色シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む　径0.5cmの炭粒を10%含む
4　2.5Y3/2　黒褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒・炭粒を7%含む
　一辺1～15cmの円礫・角礫を5%含む
5　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし

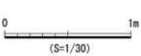


図31　ＳＤ２・３実測図（２）

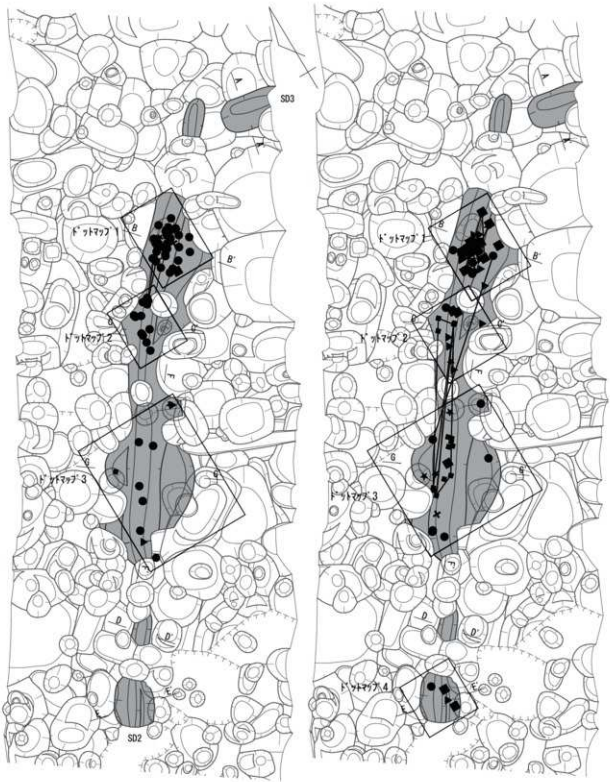


図32　ＳＤ２・３実測図（３）

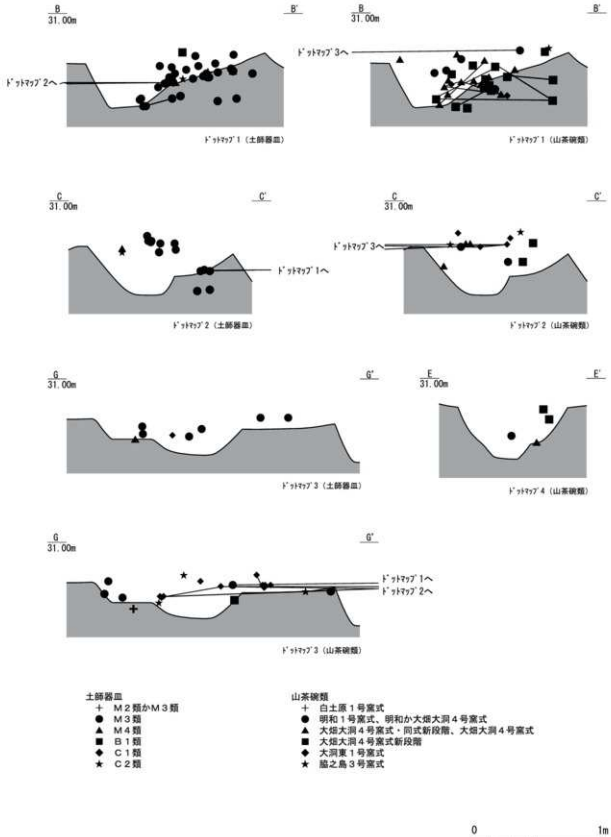


図33　ＳＤ２・３実測図（４）

流水や滞水の痕跡はなく、埋土上位（Ｃ－Ｃ´の埋土６・７、Ｆ－Ｆ´の埋土１～３）では、炭化物・焼土ブロックを含む。また、部分的に埋土下位（Ｆ－Ｆ´の埋土４・５）では、地山ブロックや礫を含む。溝の横断面の形状によると改変が認められ、溝壁面の稜線の上下で改変の前後を区別できる。上下間で５事例の接合（図33）が認められ、埋土上位では他の遺構との遺構間接合が認められる。改変前の埋土から土師器皿Ｍ３類と大畑大洞４号窯式新段階を主体とする山茶碗類、改変後の埋土から土師器皿Ｍ３・４、Ｃ１・２類と明和１号窯式から脇之島３号窯式までの山茶碗類が出土した。

ＳＤ３は、長さ1.29m以上・上幅0.76m・深さ0.48m（底面の標高30.14m）、主軸方位はＮ－78.0°－Ｗを測る。底面の形状や、ＳＤ３を切るＳＫ091底面（ＳＤ３検出面）でＳＤ２埋土と同様に炭化物・焼土ブロックが広がる様子から、溝と認定した。底面の様子や土層断面によると、ＳＤ２と合わせて改変された可能性がある。また、ＳＤ２北端では溝上部が土坑に切られているが、本来はＳＤ３と繋がっていたと考えられる。

出土遺物の内容は、第４節で述べる。遺物の出土状況から、本遺構は14世紀中葉～後葉に開削し、14世紀末～15世紀前葉頃に改変され、15世紀中葉に人為的に埋め戻されたと考えられる。

ＳＤ４（図34）

Ｄ地点のＣＫ８・９、ＣＬ８・９グリッドに位置する。長さ1.94m以上・上幅1.94m・深さ0.42m、

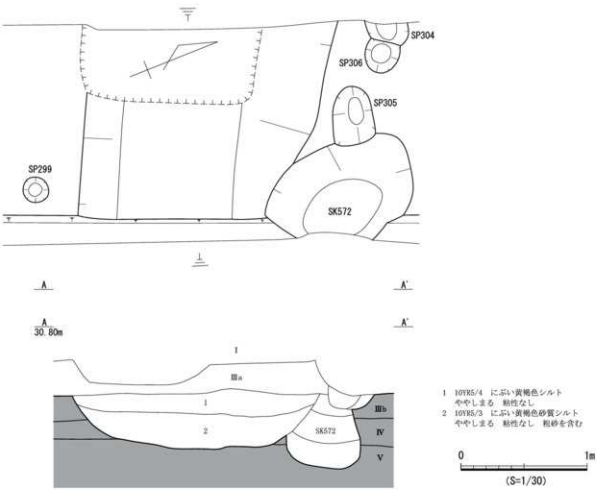


図34　ＳＤ４実測図

主軸方位はＮ－64.5°－Ｗを測る。溝の断面形は逆台形を呈する。埋土については、流水や滞水の痕跡はないものの、ＳＤ２・３とは異なり均質で分級が良いことから、自然堆積により埋没したと考えられる。なお、底面の様子や土層断面によると、改変や浚渫の履歴は認められない。埋土上部から大畑大洞４号窯式又は同式新段階の山茶碗１点（図85－226）が出土したことから、15世紀初頭までには埋没したと考えられる。

（４）井戸

ＳＥ３（図35）

Ａ地点のＡＥ20グリッドに位置する。掘方の大きさは、長軸長2.12m・短軸長1.84m・深さ0.74mを測り発掘区外に広がる。平面形は楕円形で、底面はほぼ平坦である。底面に集水施設はなく、底面からやや浮いて石積が置かれる。基底石は一辺30㎝程度の円礫を長手置きとし、その上は一辺22～33㎝の円礫を小口置きを主体にして２～３段に積み上げる。なお、埋土中に遺物の集中は確認されなかった。出土遺物は中世土器が大半であるが、近世陶器10点のうち最古型式は登窯第２小期の鉄絵皿１点、最新型式は幕末の小碗１点（埋土１出土）である。本遺構の構築時期はＳＰ125との重複関係か

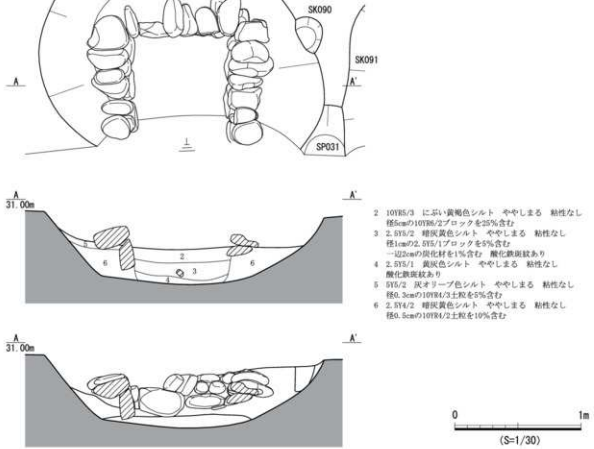


図35　ＳＥ３実測図

らＳＢ07廃絶（17世紀中葉）以降であり、廃絶時期は幕末～明治時代初頭頃と考えられる。

（５）土坑

ＳＫ003（図36）

Ａ地点のＢＢ・ＢＣ３グリッドに位置する。Ⅲａ層上面で遺構の一部が検出されたため、発掘区を部分的に拡張し、本遺構の東端を把握した。掘方の大きさは、長軸長1.98m・短軸長0.90m以上・深さ0.6mを測る。掘方の平面形は長方形で、南東隅を浅い攪乱によって削平されている。底面の平面形は円形又は楕円形でほぼ平坦であり、底面から約13cm上の掘方西面に幅約25～31cmの段を持つ。段を持たない南面のみ、一辺11～41cmの亜円礫を２～３段に小口置きにした石積を確認した。埋土の上部に一辺５～18cmの礫と遺物が集中することから、人為的に埋め戻されたと考えられる。遺物の接線は、埋土上部で２例確認できるのみである。ＳＫ033との類似から、「タマヤ」（関市教育委員会1984によると生活排水の処理施設）と考えられる。出土遺物の内容は、第４節で述べる。所属時期は、最新型式の遺物の年代から19世紀中葉以降と考えられる。

ＳＫ010（図37）

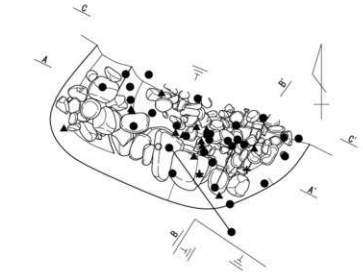
Ａ地点のＡＥ20グリッドに位置する。平面形が楕円形の掘方（長軸長1.71m・短軸長1.30m・深さ0.17m）の中央に、別の掘方（短軸長0.69m・長軸長0.83m・深さ0.37m）が認められ、その外側に長径14～38cmの亜円礫６個（破砕された礫を含む）を小口立てにより長方形に配置する。ただし、南西隅の礫は抜き取られていた。埋土は均質ではない様子から、人為的な埋め戻しが推測される。出土遺物には、土師器４点、山茶碗類７点、古瀬戸１点、近世陶器３点、瓦１点、分類不明１点がある。所属時期は、最新型式の遺物の年代から19世紀前半と考えられる。

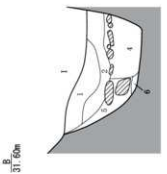
ＳＫ019（図37）

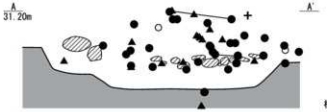
Ａ地点のＢＤ２グリッドに位置する。北に隣接する攪乱の掘削中に数個の礫が並ぶことから精査したところ、本遺構の周囲を攪乱により削平された、平面形が楕円形の掘方（長軸1.29m以上・短軸長1.09m・深さ0.54m）を検出した。掘方の北東隅に、長径19～33cmの亜円礫４個を用いて、小口置きした礫の上に平置きの礫を１～２段積み、掘方に沿ってＬ字形に配置する。なお、本遺構と本遺構に切られるＳＫ064との区別が困難であったため、本来の礫下面の位置は掘方底面に接していたと考えられる。埋土は均質ではない様子から、人為的な埋め戻しが推測される。出土遺物には、土師器13点、山茶碗類20点（図86－239等）、古瀬戸１点、近世陶器１点、金属製品１点、鉄滓４点がある。所属時期は、最新型式の遺物の年代から18世紀後半と考えられる。

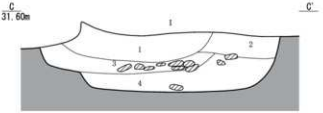
ＳＫ022（図37）

Ａ地点のＢＥ１グリッドに位置する。ＳＰ002・003・ＳＫ027完掘後、平面形が楕円形の掘方（長軸長1.83m以上・短軸長1.05m・深さ0.56m）を検出した。掘方の東側に平坦面を持ち、底面は擂鉢状を呈する。土坑埋土の下部から中位にかけて、体部上半を欠損した常滑産陶器（図92－390・391）等が出土した。埋土３～６は人為的に埋め戻されているが、他は比較的均質であり自然に埋没した可能性もある。所属時期は、18世紀前半と考えられる。

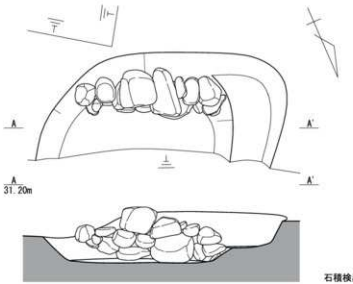








1　2.5Y6/2　灰黄色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を3%含む
　酸化鉄斑あり
　グライ化受ける
2　5Y5/1　灰色シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR4/2土粒を7%含む
3　5Y4/1　灰色土
　ややしまる　粘性なし
　一辺1~18cmの円礫を40%含む
　酸化斑紋あり
4　5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト
　ややしまる
　一辺12cmの円礫を10%含む
　酸化斑紋あり
5　7.5Y4/1　灰色砂質シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を2%含む
6　2.5Y4/1　黄灰色シルト
　しまりなし　粘性なし



▲　山茶碗類・片口鉢・
　古瀬戸・中世土師器
○　近世土師器
●　近世陶器
＋　その他

0　1m
(S=1/30)

図36　ＳＫ003実測図

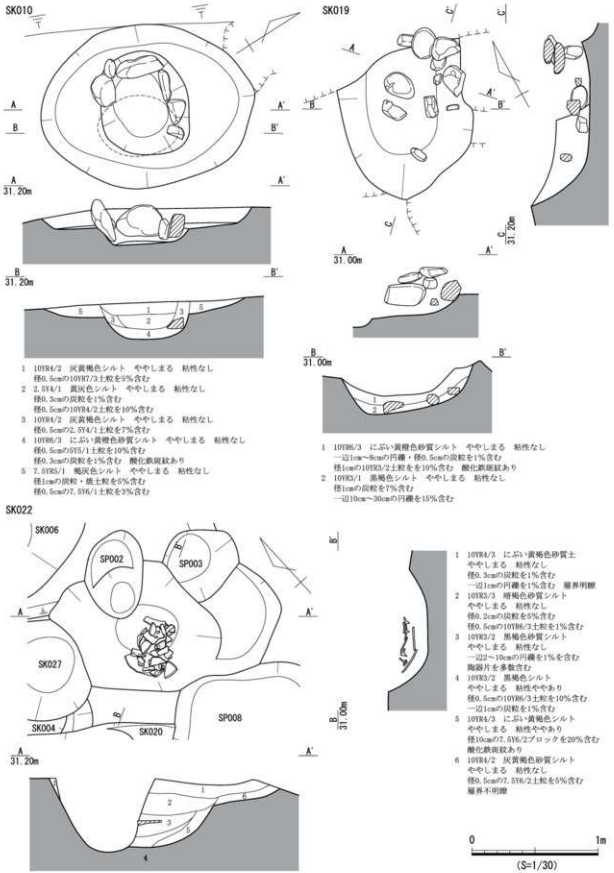


図37　ＳＫ010・019・022実測図

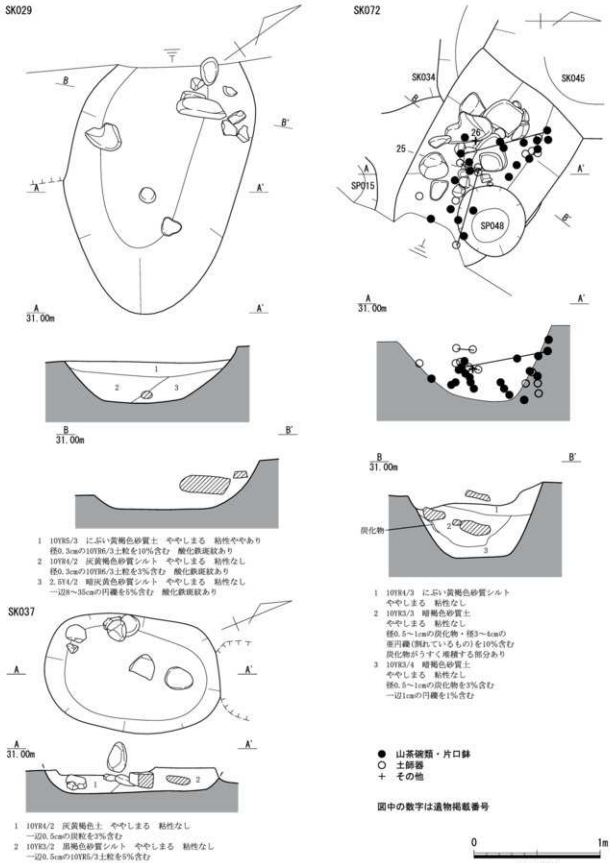


図38　ＳＫ029・037・072実測図

ＳＫ029（図38）

Ａ地点のＡＧ19・20グリッドに位置する。本遺構の西端は発掘外に広がり、南西端は攪乱により削平される。掘方の大きさは長軸長2.12m以上・短軸長1.38m・深さ0.45mを測る。平面形は楕円形で、南西部は浅い攪乱によって削平されている。土坑北西寄りに一辺６～40㎝の亜円礫が集中する。礫の一部には明瞭な被熱痕跡が認められるが、他所で被熱し持ち運ばれたと推測される。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物には古代から中世の土器のほか、近世陶器５点（登窯第11小期の練鉢２点等）・磁器２点がある。所属時期は19世紀中葉以降と考えられる。

ＳＫ037（図38）

Ａ地点のＡＦ20グリッドに位置する。本遺構の北端を攪乱により削平された、平面形が楕円形の掘方（長軸1.43m以上・短軸長0.93m・深さ0.20m）を検出した。掘方の底面は平坦である。掘方の中央から西側にかけて底面からやや上で一辺10～23㎝の円礫（破砕された礫を含む）が浮上するが、西端で一辺24㎝の亜円礫が立石（長手立て）の状態で出土した。この立石は、遺構の輪郭が不明瞭なために検出面を下げた結果、遺構埋土から浮いた状態で記録したが、おそらく遺構の位置を表示するために立てられ、礫の上部は地表面から露出していたと考えられる。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物には土師器皿９点（Ｍ２又は３類１点、Ｍ３類２点、Ｍ４類１点、Ｃ１類１点等）・鍋２点・羽釜３点、山茶碗類24点（最古型式は明和１号窯式、最新型式は脇之島３号窯式（図85－221）、尾張型片口鉢第６又は７型式１点、古瀬戸後Ⅳ期古段階平碗１点、常滑産陶器甕１点があり、骨片は確認されなかった。所属時期は、15世紀中葉（美濃中世後期土師器皿編年Ⅰ期）と考えられる。

ＳＫ045（図39）

Ａ地点のＢＥ１グリッドに位置する。検出時に本遺構の北・西側を切る攪乱の壁面で、立ち上がりが確認され、南側を切るＳＰ009・ＳＫ011・034の底面で輪郭を把握できたが、東端の輪郭は不明瞭であった。検出面では、楕円形の掘方（短軸2.10m・短軸長1.78m・深さ0.69m）を検出した。底面の形状は円形で、断面形が擂鉢状を呈する。掘方の底面で炭化物が薄く堆積していた（ただし底面の中央部はⅥ層に達し粗砂であったため、炭化物が確認されなかった可能性はある）。その直上に位置する礫（一辺12～46㎝）の中には掘方の長軸方向と一致するものが認められ、またいずれの礫も平坦面を上にし、表面が被熱していた。埋土中には、一辺４～42㎝の円礫又は亜円礫が含まれ、掘方の南側に集中する。また最下層には焼土ブロックが認められた。埋土は礫を含むブロック状の堆積物であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。なお、概ね底面まで掘り下げた段階でＳＰ036・037を検出し、その直上に礫が出土しなかったことから、本遺構を切る遺構と判断した。出土遺物には、中世土器のほかに近世陶器１点（登窯第８～11小期の碗）、金属製品１点、鉄滓１点がある。所属時期は、18世紀後葉～19世紀中葉と考えられる。

ＳＫ072（図38）

Ａ地点のＢＥ１グリッドに位置する。本遺構の東端は発掘区外に広がり、西端をＳＫ045に切られる。掘方の大きさは、長軸長1.52m以上・短軸長1.11m・深さ0.61mを測る。平面形は楕円形と推測される。掘方の底面は平坦である。掘方中央の中位から上位にかけて、一辺３～38㎝の円礫又は亜円

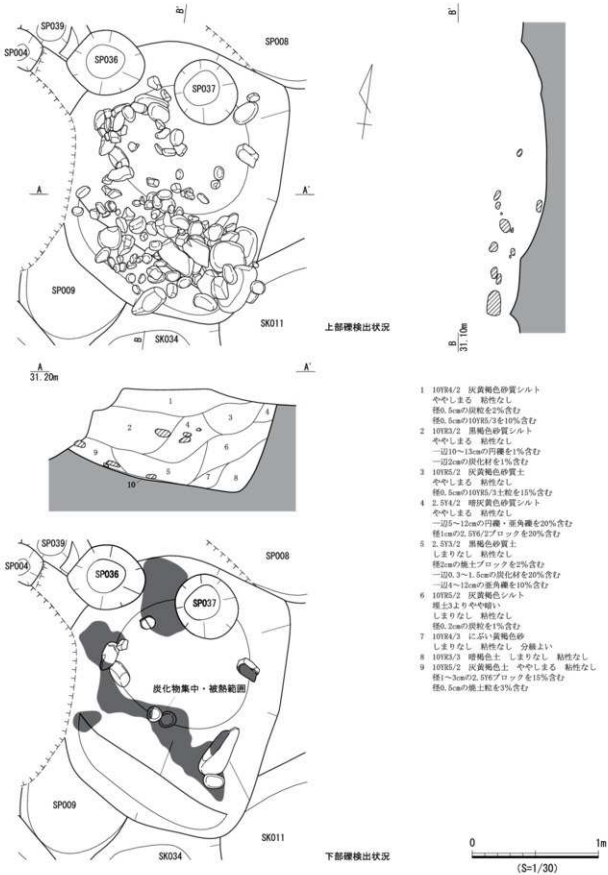


図39　ＳＫ045実測図

礫（破砕された礫を含む）が浮上する。これらの礫を除去すると、ブロック状に炭化物が薄く堆積していた。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。遺物の接線は、埋土上・中位間の接合を含む３例のみ認められる。出土遺物の内容は、第４節で述べる。所属時期は、13世紀後葉～14世紀前葉と考えられる。

ＳＫ075（図40）

Ａ地点のＢＤ１グリッドに位置する。ＳＫ021と調査坑に切られた形で、平面形が楕円形の掘方（長軸長0.84m・短軸長0.54m・深さ0.17m）を検出した。底面は平坦である。掘方の北西端近くで、古瀬戸後Ⅰ又はⅡ期の仏花瓶（図90－356）が底面から浮上する。埋土は比較的均質ではあるが、副葬品の存在から本遺構は土坑墓と考えられる。出土遺物には、他に土師器皿３点（Ｍ３類１点、Ｂ２類１点等）、山茶碗類５点（大洞東１号窯式１点等）、鉄滓１点がある。所属時期は、14世紀後葉～末（美濃中世後期土師器皿編年Ⅱ期）と考えられる。

ＳＫ234（図40）

Ａ地点のＢＤ２グリッドに位置する。ＳＸ１底面を精査し、検出した。掘方の大きさは、長軸長1.38m以上・短軸長1.24m以上・深さ0.53mを測る。本遺構の北端をＳＫ171、東端をＳＫ064などに切られるため、平面形は不明である。掘方の底面は擂鉢状を呈する。掘方西端で埋土の下位から中位にかけて、一辺10～38㎝の円礫（破砕された礫を含む）が浮上する。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物には、中世土器のほかに近世陶器５点（最新型式は登窯第８・９小期の小碗）、鉄滓１点等がある。所属時期は、18世紀後葉～19世紀初頭と考えられる。

ＳＫ259（図40）

Ａ地点のＢＥ１グリッドに位置する。ＳＰ008の底面で本遺構に伴う礫上面が露出し、周辺をＳＫ045・072などの遺構に切られる。掘方の大きさは、長軸長1.66m以上・短軸長1.15m・深さ0.58mを測る。平面形は長方形と推測され、掘方の底面は平坦である。長軸方向がＳＫ072とほぼ一致する。北壁にわずかな段を持ち、掘方に沿って一辺50㎝前後の円礫を長手置きに据える。これらよりもやや低い位置に、一辺９～26㎝の円礫（破砕された礫を含む）が浮上する。一部の礫の表面には被熱痕跡が認められ、中央の礫を除去すると、ブロック状に炭化物が薄く堆積していた。礫と炭化物の位置は離れていることから、他所で被熱し持ち運ばれたと推測される。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物の内容は、第４節で述べる。所属時期は、13世紀後葉～14世紀前葉と考えられる。

ＳＫ278（図41）

Ａ地点のＡＩ19グリッドに位置する。掘方の大きさは長軸長0.46m・短軸長0.45m以上・深さ0.21mを測る。ＳＫ164・ＳＰ041などの遺構に切られるため、掘方の平面形は不明である。断面形は擂鉢状を呈する。埋土の下位から、逆位の土師器皿１点（図78－30）と銭貨５枚（図78－31～35）が出土した（遺物の内容は第４節参照）。埋土の状況から、人為的に埋め戻されたと考えられる。骨片は確認されなかった。所属時期は、美濃中世後期土師器皿編年Ⅰ又はⅡ期と考えられる。

ＳＫ286（図42）

Ａ地点のＡＪ17・18グリッドに位置する。本遺構の西端は発掘区外に広がり、南北端をＳＫ212・213などに切られる。掘方の大きさは長軸長1.78m以上・短軸長1.74m・深さ0.59mを測る。外側の掘

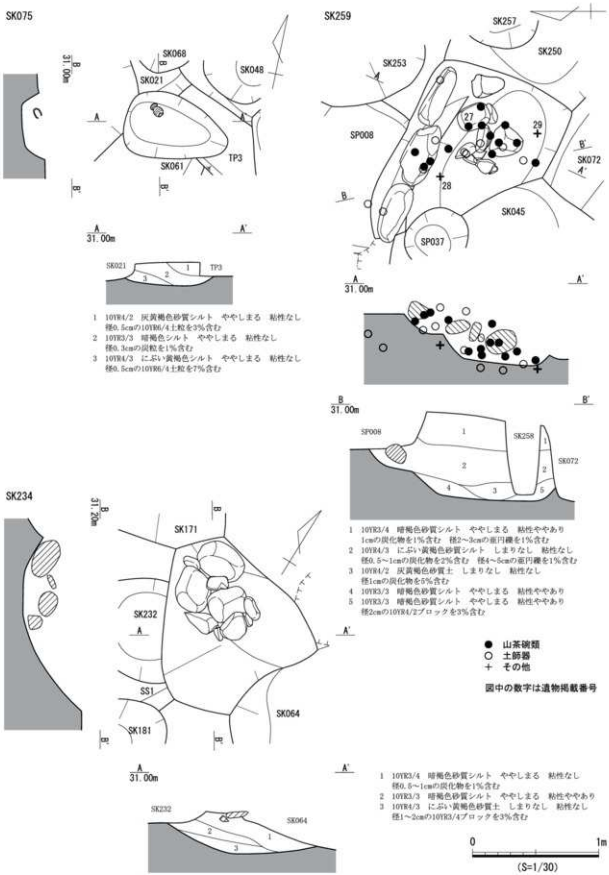


図40　ＳＫ075・234・259実測図

方の平面形は方形で、深さ0.25mで平坦面を確認した。この面で精査したところ、外側の掘方と同一軸を持った長方形の掘方を検出した。掘方の南辺に沿って礫が配置されており、礫の上面は平坦面よりも高い。東西端は一辺約27cmの円礫を用いて小口立てとし、その間に一辺５～26cmの円礫を平置きにして充填する。礫の側面・上面共に、面は揃っていない。破砕された礫を含み、一部の礫には被熱痕跡が認められる。埋土には焼土や地山ブロックを含むため、人為的に埋め戻されたと考えられるが、掘方には被熱痕跡は確認されなかった。出土遺物には、中世土器のほかに近世陶器１点（登窯第２小期の折縁鉄絵皿）、土錘２点（図93－404・406）がある。所属時期は、17世紀前葉と考えられる。

ＳＫ288（図41）

Ａ地点のＡＪ17・18グリッドに位置する。本遺構の南端は発掘区外に広がり、東西端をＳＫ290・ＳＰ068に切られる。掘方の大きさは長軸長1.69m・短軸長1.25m以上・深さ0.61m（発掘区南壁の計測値）を測る。掘方の平面形は不定形で、南壁にわずかな段を持ち底面は平坦である。一辺８～20cmの円礫・角礫（破砕された礫を含む）が掘方の北半に偏り、埋土の下位から中位にかけて浮上する。一部の礫の表面には被熱痕跡が認められたが、掘方や埋土には観察されなかった。遺物の出土状況から、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物には、古代～中世土器のほかに近世（美濃産）陶器１点があるが器種・時期不明のため、遺構の所属時期も不明である。

ＳＫ312（図41）

Ａ地点のＡＪ18グリッドに位置する。ＳＫ288など多数の遺構に切られる。掘方の大きさは長軸長1.60m・短軸長0.94m・深さ0.57mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。掘方東半で埋土の下位から中位にかけて、一辺11～23cmの亜円礫・角礫（破砕された礫を含む、全体の約半数は角礫）が浮上する。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物には土師器皿10点（うちＭ３類２点、Ｍ４類１点、Ｂ１類１点、Ｃ１類２点等）、山茶碗類18点（うち大畑大洞４号窯式１点（図85－213）等）、常滑産陶器甕５点（６ａ型式１点等）、古瀬戸中Ⅲ又はⅣ期の灰釉有文壷又は瓶１点がある。所属時期は、14世紀中葉～後葉（美濃中世後期土師器皿編年Ⅰ期）と考えられる。

ＳＫ366（図43）

Ａ地点のＡＦ・ＡＧ20、ＢＦ・ＢＧ１グリッドに位置する。本遺構の西端をＳＫ047・065に切られる。掘方の大きさは長軸長1.87m・短軸長1.15m以上・深さ0.33mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。土層堆積の様子から２基の土坑の重複の可能性がある。遺物の接線の状況では、下位から中位にかけての接合が14例と、遺構間接合が１例（図78－41）認められた。出土遺物の内容は、第４節で述べる。所属時期は、15世紀前半と考えられる。

ＳＫ367（図43）

Ａ地点のＡＦ20グリッドに位置する。本遺構の南端をＳＫ065など多数の遺構に切られる。掘方の大きさは長軸長1.86m・短軸長1.13m以上・深さ0.33mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。掘方中央の底面から下位にかけて、一辺10～30cmの円礫又は亜円礫が集中する。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。遺物の接線の状況では、２例中、上位と下位間の接合が１例認められ、遺構間接合は認められなかった。出土遺物の内容は、第４節で述べる。

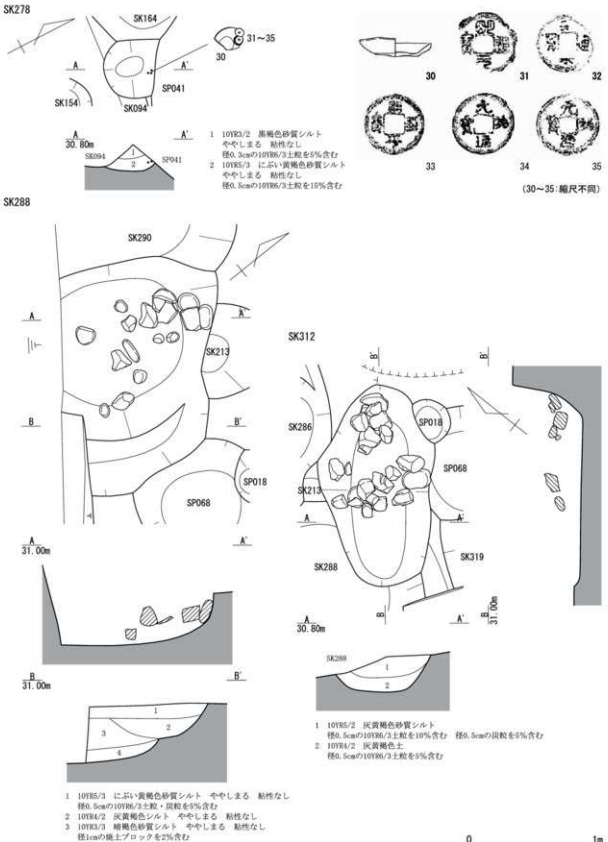


図41　ＳＫ278・288・312実測図

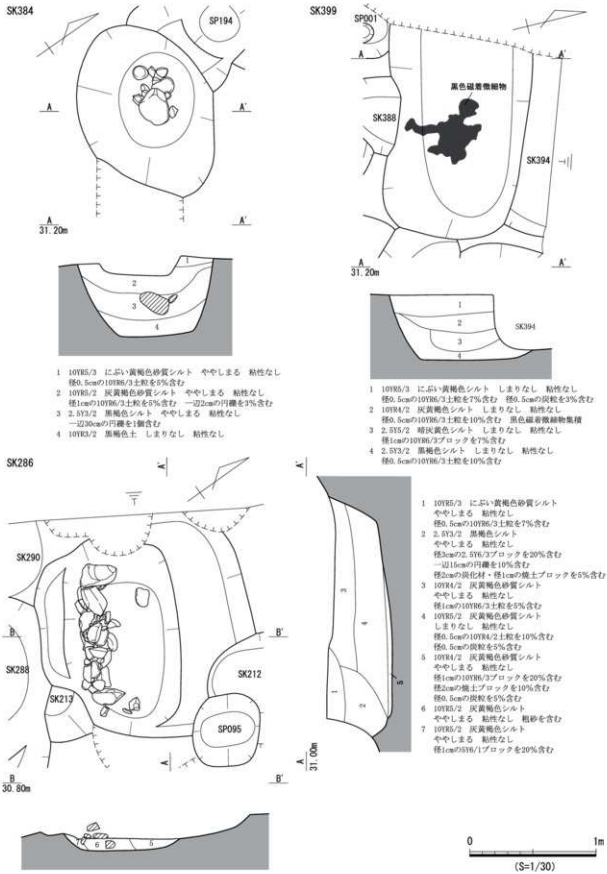


図42　ＳＫ286・384・399実測図

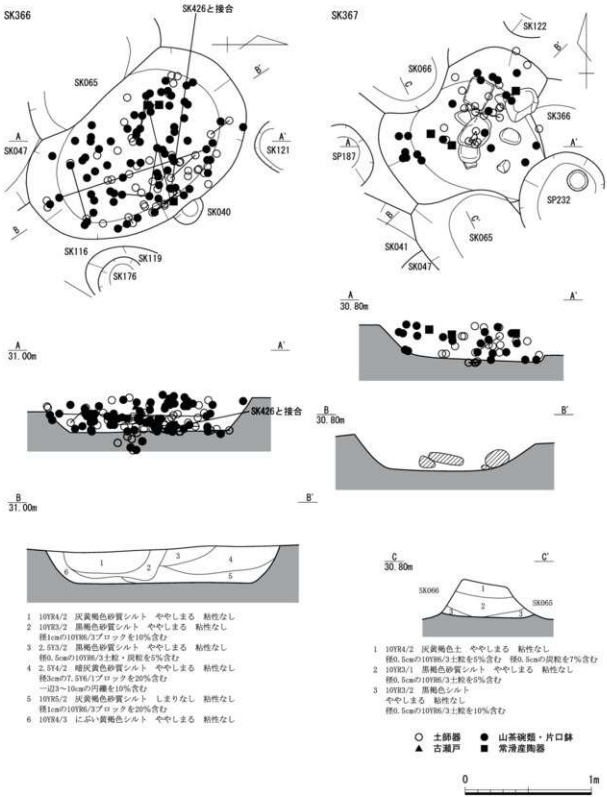


図43　ＳＫ366・367実測図

所属時期は、13世紀後葉～14世紀前葉と考えられる。

ＳＫ384（図42）

Ａ地点のＢＣ２・３、ＢＤ２グリッドに位置する。本遺構の東端を攪乱、西端をＳＰ194に切られる。掘方の大きさは長軸長1.38m・短軸長1.08m・深さ0.59mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。掘方中央で埋土の中位に、一辺２～30㎝の亜円礫（破砕された礫を含む）が浮上する。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物には土師器11点（皿Ｍ３類４点・Ｍ４類２点等）、山茶碗類26点（最古型式は大畑大洞４号窯式、最新型式は大洞東１号窯式）、美濃須衛産片口鉢１点、鉄滓２点がある。所属時期は、出土遺物の様相から14世紀末～15世紀前葉と考えられる。

ＳＫ399（図42）

Ａ地点のＢＢ・ＢＣ３グリッドに位置する。ＳＫ394など多数の遺構に切られる。掘方の大きさは長軸長1.64m以上・短軸長1.14m・深さ0.53mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。ＳＫ388を完掘した時点で鍛冶関連遺物の疑いがある砂状の黒色物が露出したため分布状況を記録し、黒色物と周囲の土壌を室内に持ち帰り微小遺物の選別を実施した。黒色物が集積する２層以下については、人為的に埋め戻されたと考えられるが、遺物の接合事例は認められなかった。出土遺物には、土師器皿１点、山茶碗類５点（最古型式は明和１号窯式（図87－263）、最新型式は大畑大洞４号窯式新段階）、古瀬戸中Ⅲ期又はⅣ期の折縁深皿１点・中Ⅰ又はⅡ期の灰釉有文壺又は瓶１点、大窯第３段階の丸皿１点、鉄滓２点がある。所属時期は、16世紀中葉～後葉と考えられる。

ＳＫ481（図44）

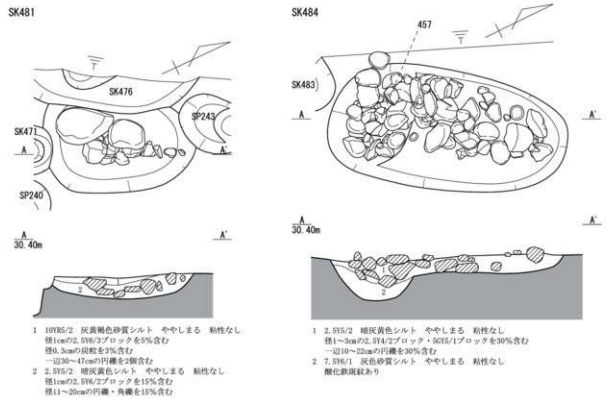
Ｂ地点のＡＯ15グリッドに位置する。本遺構の西端をＳＫ476に大きく切られる。掘方の大きさは長軸長1.20m・短軸長0.72m以上・深さ0.21mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。掘方中央の埋土２において、一辺６～20㎝の亜円礫（破砕された礫を含む）を長軸方向並べ、その上に一辺30～46㎝の円礫を長手置きとする。一部の礫の表面には被熱痕跡が認められたが、掘方や埋土には観察されなかった。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物には土師器皿３点（Ｍ３類・Ｍ４類各１点等）、山茶碗類６点（明和１号窯式・大畑大洞４号窯式各１点等）、鉄滓１点がある。所属時期は、13世紀後葉～14世紀前葉と考えられる。

ＳＫ483（図44）

Ｂ地点のＡＯ15・16グリッドに位置する。本遺構の西端は発掘区外に広がる。掘方の大きさは長軸長1.06m・短軸長0.48m以上・深さ0.17mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。掘方のほぼ全体に埋土の下位から上位にかけて、一辺７～18㎝の円礫又は角礫（角礫は全体の１割程度、破砕された礫を含む）が浮上する。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。埋土から遺物は出土しなかったが、遺構の特徴が類似することからＳＫ481・484と近い時期と推測される。

ＳＫ484（図44）

Ｂ地点のＡＮ・ＡＯ16グリッドに位置する。本遺構はＳＫ483に隣接し、ＳＫ495を切る。掘方の大きさは長軸長1.89m・短軸長0.95m・深さ0.34mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦であるが掘方の南端が擂鉢状に凹む。掘方のほぼ全体の底面から上位にかけて、一辺６～27㎝の円礫又は



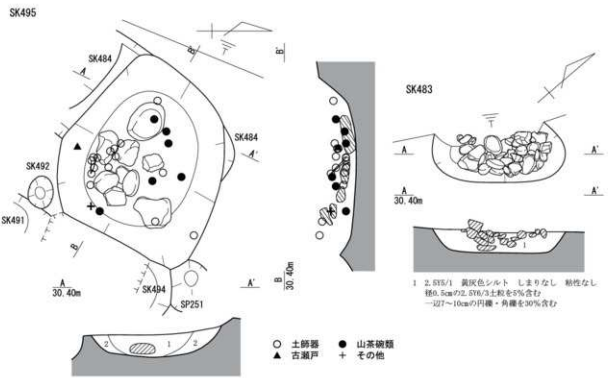


図44　ＳＫ481・483・484・495実測図

亜円礫（破砕された礫を含む）が集中する。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられるが遺物の接合事例はない。なお、埋土２は礫を全く含まない点で埋土１と異なるため、異なる遺構の可能性もある。出土遺物には、土師器皿２点（Ｍ３類１点等）、山茶碗類１点、金属製品１点、鉄滓２点がある。所属時期は、中世前期と考えられる。

ＳＫ495（図44）

Ｂ地点のＡＮ16グリッドに位置する。本遺構はＳＫ484に伴う礫の集中とは別に礫が広がるため、異なる遺構と判断した。掘方の大きさは長軸長1.60m以上・短軸長1.30m・深さ0.30mを測る。掘方の平面形は楕円形と考えられ、底面は平坦である。掘方中央の底面から上位にかけて、一辺14～34cmの円礫又は角礫１個が集中する。一部の礫には被熱痕跡が認められたが、掘方や埋土には観察されなかった。礫を含む埋土であるため、人為的に埋め戻されたと考えられる。遺物の接線の状況では、上位と下位間の接合が１例のみ認められた。出土遺物の内容は、第４節で述べる。所属時期は、15世紀中葉（美濃中世後期土師器皿編年Ⅱ期）と考えられる。

ＳＫ509（図45）

Ｃ地点のＡＴ13、ＣＡ12・13グリッドに位置する。本遺構の東西端は発掘区外に広がる。周辺の多数の遺構を切って検出したが、後に発掘区東壁の土層断面を観察したところＳＫ530に切られていたことが判明した。掘方の大きさは長軸長3.55m・短軸長1.92m以上・深さ0.52mを測る。掘方の平面形は楕円形と考えられ、底面は平坦である。埋土はしまりのない砂質シルトで、他の遺構と異なる。掘方のほぼ全体の底面から埋土中位にかけて、一辺３～62cmの円礫又は亜円礫が浮上し、遺構の南半では大型礫が集中するが北半では礫径のバラツキが認められる。礫群と混在して多数の遺物が出土し、遺物の接合事例は北半を中心に20例認められ、うち１例（図80－92）を除き遺構間接合は認められなかった。接線の方向は水平方向が多く、垂直方向は少ない。接線の状況を勘案すると、礫を含む埋土２・３については、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物の内容は、第４節で述べる。出土遺物の主体は19世紀前葉であるが、所属時期は、最新型式の遺物の年代から幕末～明治時代初頭と考えられる。

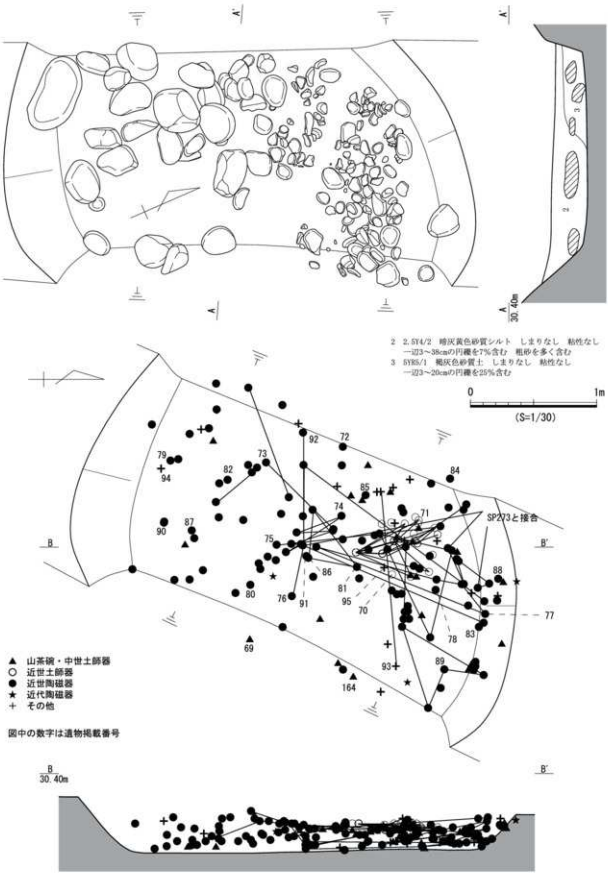


図45　ＳＫ509実測図

2　Ⅲ期

（1）建物

ＳＢ01（図46・47）

Ａ地点のＡＥ・ＡＦ20、ＢＥ・ＢＦ１、ＢＥ２グリッドに位置する。南北長7.71m・東西長6.54m以上を測る。主軸方位はＮ－29.0°－Ｅを測る。Ⅲａ層上面で検出した。柱掘方の平面形は楕円形又は方形で、すべての柱穴で円礫を主体とする根石が検出されたが、礎石は確認されなかった。本遺構の平面形式は、Ｄ型（岐阜県教育委員会1971）の東西棟と考えられる。主柱の柱間は3.8m（約２間）と2.7m（約１間半）で構成され、約1.2m南側にやや規模の小さな柱穴（ＳＰ011・013）が存在する。主屋から約1.5m北東にＳＥ１が位置することから、本建物の北東側が炊事場であり、その南側に出入口に相当するニワを配置したと考えられる。本遺構の造営時期は、ＳＢ04廃絶（幕末～明治時代初頭）以降であり、建て替えが認められないことから昭和時代まで存続していたと考えられる。

ＳＢ02（図48・49）

Ａ地点のＡＧ・ＡＨ・ＡＩ19、ＡＨ・ＡＩ18、ＢＨ・ＢＩ20グリッドに位置する。南北長8.51m・東西長6.26m以上を測る。主軸方位はＮ－30.0°－Ｅを測る。Ⅲａ層上面で検出した。柱掘方の平面形は円形又は楕円形である。すべての柱穴で円礫を主体とする根石が検出され、ＳＢ01の根石に比べて礫径は小さい。礎石は確認されなかった。本遺構の平面形式は、Ｄ型の東西棟と考えられる。主柱の柱間は3.7m（２間）と2.7～2.9m（約１間半）で構成され、約1.9m南側にやや規模の小さな柱穴（ＳＰ026・030）が存在する。主屋から約２m北東にＳＥ２・ＳＫ033が位置し、ＳＰ031周辺に焼土ブロックが広がっていたことから、主屋の北東側が炊事場であり、その南側に出入口に相当するニワを配置したと考えられる。なお主柱間には、床下貯蔵施設と考えられる土坑（ＳＫ056～058）３基を検出した。本遺構の造営時期は、ＳＰ029に切られるＳＫ093埋没（明治時代初頭～中期）以降であり、建て替えが認められないことから昭和時代まで存続していたと考えられる。

ＳＢ03（図50）

Ａ地点のＡＪ・ＡＫ18、ＡＪ19グリッド、ＳＢ02から約2.5m南西に位置する。南北長4.89m以上・東西長3.81m以上を測る。主軸方位はＮ－29.0°－Ｅを測る。Ⅲａ層上面で検出した。柱掘方の平面形は楕円形又は方形で、すべての柱穴で円礫を主体とする根石が検出されたが、礎石は確認されなかった。ＳＰ066に対応する北側の柱穴が攪乱により滅失するが、桁行２間以上・梁行２間以上の東西棟と考えられる。柱間は3.9m（２間）と2.8m（１間半）で構成される。本遺構の造営・廃絶時期の詳細は不明であるが、ＳＢ01・02の柱穴の様子と類似することから概ね同時期と考えられる。

（2）溝

ＳＤ１（図51）

Ａ地点のＢＤ１・２、ＢＥ１・２グリッドに位置する。長さ3.46m・上幅0.44m・深さ0.5m、主軸方位はＮ－64.0°－Ｗを測る。底面の標高は、西端で30.67m、ＳＥ１北側で30.62mを測る。溝の断面形は、逆台形を呈する。ＳＥ１に接するものの、埋土は流水や滞水の痕跡が認められないが、浚渫の可能性がある。調査前丈量図の筆界の位置とほぼ一致し、埋土から近代徳利１点が出土したことから、所属時期は近代と考えられる。

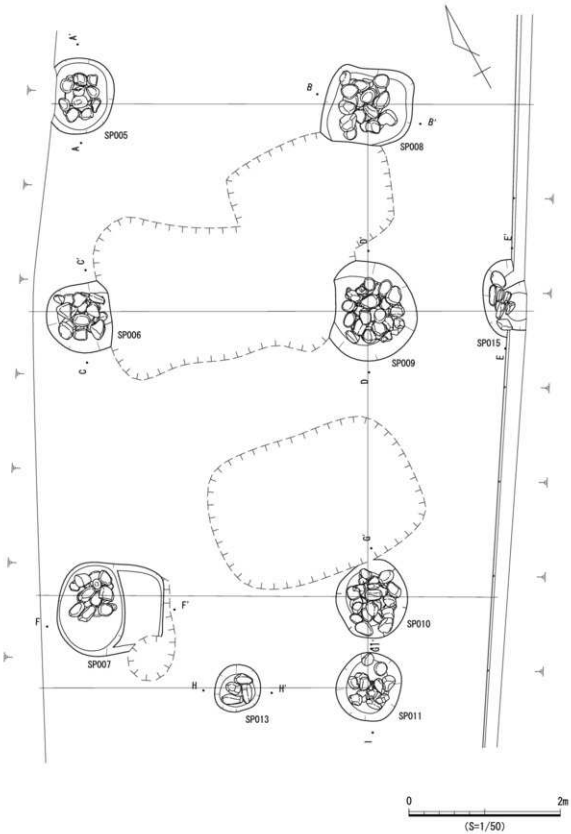
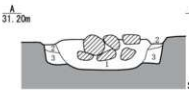
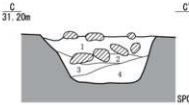


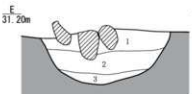
図46　ＳＢ01実測図（１）



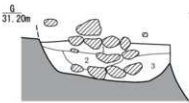
1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺18cm～24cmの円礫を30%含む
　径5cmの2.5Y6/1ブロックを20%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質土　やや しまる　粘性なし
3　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺0.5cmの炭粒を3%含む



1　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径10cm～24cmの円礫を30%含む　径3cmの5Y6/2ブロックを15%含む
　径0.2cmの炭粒を1%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.2cmの10YR5/3土粒を15%含む
3　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径2cmの10YR6/3ブロックを30%含む
4　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径3cmの円礫・径0.2cmの炭粒を1%含む　酸化鉄斑紋あり

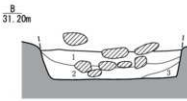


1　10YR4/3　にぶい黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺20cm～25cmの円礫を30%含む
2　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を1%含む　径1cmの5Y5/2土粒を1%含む
3　10YR3/2　黒褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　一辺1cm～10cmの亜円礫を1%含む
　径1cmの5Y5/2土粒を7%含む



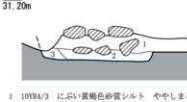
1　10YR4/3　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺11～23cmの円礫を15%含む　径0.2cmの炭粒を1%含む
2　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.2cmの炭粒を1%含む
3　10YR3/2　黒褐色土　やや しまる　粘性なし
　一辺2cmの炭化材を1%含む　一辺5～20cmの円礫を15%含む
　径0.2cmの焼土粒を3%含む

0　1m
(S=1/30)

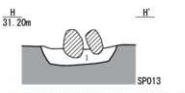


1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径10cmの7.5Y5/1ブロックを25%含む　一辺18～22cmの円礫を60%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を3%含む
3　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/4土粒を20%含む

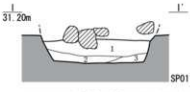
1　10YR5/3　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を3%含む　一辺16～22cmの円礫を30%含む
　径2cmの2.5Y6/2ブロックを20%含む
2　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの炭粒を1%含む
3　5Y6/2　灰オリーブ色シルト　しまりなし　粘性なし
4　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし



1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺20cmの5Y6/2ブロックを30%含む
　一辺20～28cmの円礫を30%含む
2　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR5/3土粒を3%含む
3　10YR5/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし



1　10Y4/1　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの炭粒を1%含む



1　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.2cmの炭粒を1%含む　一辺13～20cmの円礫・亜円礫を20%含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.2cmの炭粒を1%含む
3　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし　層界明瞭

図47　ＳＢ01実測図（２）

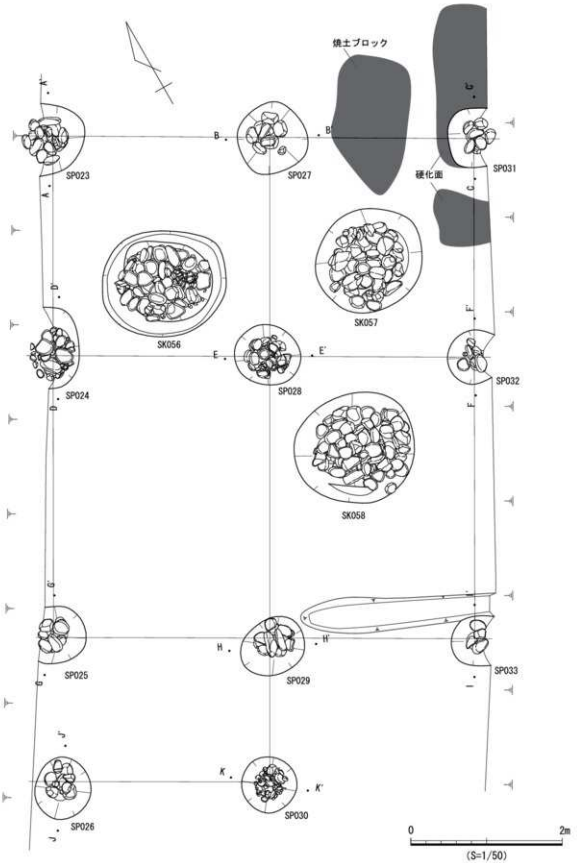


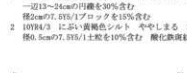
図48　ＳＢ02実測図（１）

1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　一辺16～24cmの円礫を50%含む
2　10YR3/3　暗褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.2cmの炭粒を3%含む　径0.2cmの10YR5/4土粒を10%含む

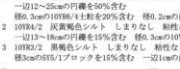
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　やや しまる　粘性なし
　　一辺15～24cmの円礫を25%含む　径0.5cmの焼土粒を1%含む
2　10YR3/4　暗褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.3cmの炭粒を2%含む

1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　一辺13～24cmの円礫を30%含む
　　径2cmの7.5YR5/1ブロックを15%含む
2　10YR4/3　にぶい黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.5cmの7.5YR5/1土粒を10%含む　酸化鉄斑紋あり

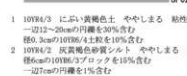
1　2.5Y4/2　暗灰黄色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　一辺12～25cmの円礫を50%含む
　　径0.3cmの10YR6/4土粒を20%含む　径0.2cmの炭粒・焼土粒を3%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　　一辺13～18cmの円礫を15%含む　径0.3cmの10YR6/4土粒を7%含む
3　10YR3/2　黒褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　　径3cmの5YR5/1ブロックを15%含む　一辺11cmの炭化材を3%含む



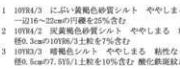
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　やや しまる　粘性なし
　　一辺12～20cmの円礫を30%含む
　　径0.3cmの10YR6/4土粒を10%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径6cmの10YR6/3ブロックを15%含む
　　一辺7cmの円礫を1%含む



1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　一辺16～22cmの円礫を25%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.3cmの10YR6/3土粒を7%含む
3　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.5cmの7.5YR5/1土粒を10%含む 酸化鉄斑紋あり し



1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.5cmの10YR6/4土粒を15%含む　一辺16～21cmの円礫を20%含む
2　10YR3/3　暗褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.5cmの炭粒を2%含む　径4cmの7.5YR5/1ブロックを10%含む
3　10YR3/2　黒褐色土　やや しまる　粘性なし
　　径0.5cmの2.5Y6/3土粒を20%含む　径0.3cmの炭粒を2%含む



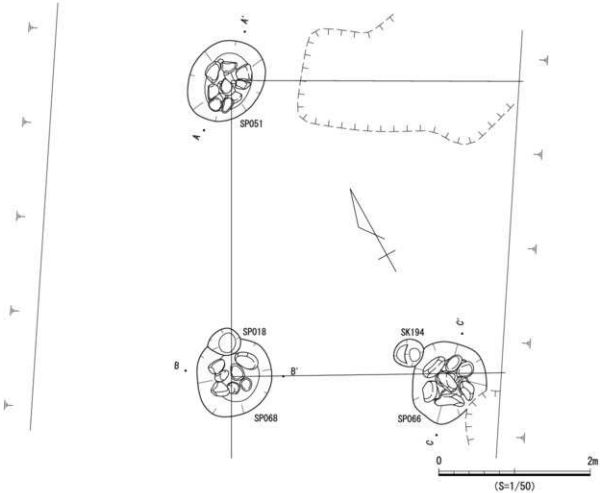
1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質土　やや しまる　粘性なし
　　一辺15～24の円礫を40%含む
　　径3cmの7.5YR5/1ブロックを20%含む　酸化鉄斑紋あり
2　10YR4/4　褐色砂質土　やや しまる　粘性なし
　　径0.5cmの10YR6/4土粒を20%含む

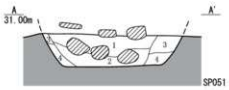
1　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　　一辺15～25cmの円礫を40%含む
　　径0.5cmの10YR5/3土粒を7%含む

1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径1cmの10YR5/4土粒・径0.3cmの炭粒を3%含む
　　一辺17～20cmの円礫・亜円礫を40%含む
2　10YR3/3　暗褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　　径1cmの10YR5/4土粒を5%含む　一辺3～7cmの亜円礫を10%含む

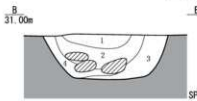
1　10YR4/2　灰黄褐色土　やや しまる　粘性なし
　　径0.2cmの炭粒・焼土粒を5%含む
　　一辺8～16cmの円礫を40%含む
2　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　　径0.5cmの炭粒を2%含む

図49　ＳＢ02実測図（２）

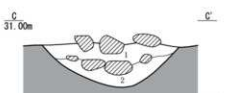




1　10YR5/2　灰黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径5cmの7.5Y6/1ブロックを30%含む
　一辺16～21cmの円礫を30%含む　酸化鉄斑紋あり
2　10YR3/3　暗褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
3　10YR5/3　にぶい黄褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　一辺15cmの円礫を10%含む
4　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　ややしまる　粘性なし　粗砂を10%含む



1　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/4土粒を5%含む
　径0.5cmの炭粒を5%含む
2　5Y5/1　灰色シルト　ややしまる　粘性なし
　径20～26cmの円礫を30%含む　酸化鉄斑紋あり
3　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　ややしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/4ブロックを5%含む
4　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.3cmの炭粒を3%含む
　一辺16～20cmの円礫を10%含む



1　10YR6/3　にぶい黄橙色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径5cmの7.5Y6/1ブロックを25%含む
　一辺26～40cmの円礫を30%含む　酸化鉄斑紋あり
2　2.5Y4/2　暗灰黄色シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒・10YR6/3土粒を5%含む

図50　ＳＢ03実測図

（３）井戸

ＳＥ１（図51）

Ａ地点のＢＥ２グリッドに位置する。掘方の大きさは、長軸長1.26m・短軸長0.78m以上・深さ0.42mを測り、東半は発掘区外に広がる。平面形は方形で、底面はほぼ平坦である。底面に集水施設はなく（ＳＥ１～３はいずれも浅いが、近年地下水位が低下したとの聞き取りを裏付けるように、埋土や遺構周辺はグライ化を受けており、少なくとも遺構が機能した時期において、掘方は湧水層に達していたものと推測される。）、直上に一辺30㎝程度の円礫を長手置きとする基底石があり、その上に一辺15～24㎝の円礫を小口置きを主体にして３～５段に積み上げる。埋土の最上部では、上部の石積を落とし込んだため礫が集中し、その下からほぼ完形の瓦３枚が蓋をした状況で出土した。出土遺物には、土師器２点、山茶碗類３点、古瀬戸１点、近世陶器６点（登窯第２段階の碗１点等）瓦８点、土製品１点がある。本遺構はＳＢ04廃絶後に構築されているが、構築・廃絶時期共に詳細不明である。

ＳＥ２（図51）

Ａ地点のＡＧ・ＡＨ20グリッドに位置する。掘方の大きさは、長軸長1.89m・短軸長1.52m以上・深さ0.70mを測り、東半は発掘区外に広がる。平面形は不定形で、底面はほぼ平坦である。底面に集水施設はなく、底面からやや浮いて石積が置かれる。基底石は一辺30㎝程度の円礫を長手置きとし、その上は一辺21～43㎝の円礫を小口置きを主体にして２～３段に積み上げる。埋土のうち、１・２層は近代から現代にかけての埋め戻し土である。出土遺物には、古代～中世土器のほかに近世土師器１点、近世陶器13点、近代陶磁器17点（埋土１・２、銅版転写技法を含む）、土製品２点、瓦26点、石臼１点、金属製品１点がある。本遺構の構築時期はＳＫ033と同時期と推測され、廃絶時期は明治20年以降である。

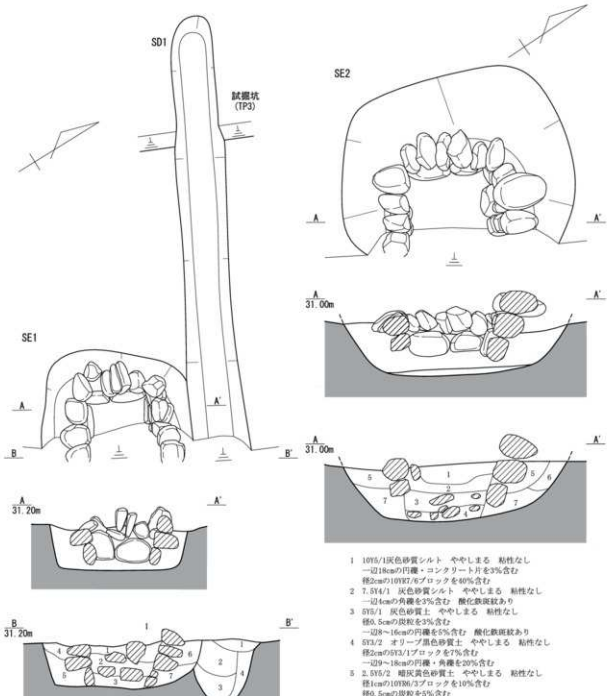
（４）土坑

ＳＫ033（図52）

Ａ地点のＡＧ20グリッドに位置する。掘方の大きさは、長軸長2.26m・短軸長1.84m・深さ0.45mを測る。検出面の平面形は楕円形、底面の平面形は方形でほぼ平坦であり、底面から約15㎝上の南面を除く三面に幅約12～29㎝の段を持つ。掘方の中央からやや西寄りに一辺16～34㎝の円礫又は亜円礫を用いた石積（内寸で長軸長1.25m・短軸長0.82m）を検出した。掘方に段を持たない南面のみ３段、段を持つ三面は１～２段であり、基底石は長手置き、その上は基底石と直交し小口立てを原則とする。埋土の上部では一辺17～30㎝の礫が集中することから、埋め戻しの際に石積の一部を落とし込んだと推測される。埋土の下部では瓦片が面的に広がったものの、踏み固められた様子はない。遺物の接線の状況では、ＳＫ105間で２例（図82－119・121）認められた。本遺構に伴う礎石や柱穴、導排水路は確認されなかったこと、隣接するＳＥ２が機能し地下水位が高い時期に、掘方底面がグライ化を受けたと推測されることなどから、本遺構は「タマヤ」と考えられる。出土遺物の内容は、第４節で述べる。所属時期は、ＳＫ105埋没時期を踏まえ明治時代中期と考えられる。

ＳＫ056（図53）

Ａ地点のＡＨ19グリッドに位置する。表土除去直後から、礫の集中が認められていたものの、掘方の輪郭が不明瞭だったため検出面を下げたところ、楕円形の掘方（長軸長1.64m・短軸長1.38m・深さ1.09m）を検出した。礫上面から44㎝下がった地点で、蓋受け状の痕跡と考えられる段が認められ



1　10YR3/4　暗褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
2　10YR3/2　黒褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径3cmの褐色砂質土を3%含む
3　2.5Y4/2　暗灰黄色土　しまりなし　粘性なし
4　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
5　2.5Y4/2　暗灰黄色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径2cmの10YR4/3ブロックを5%含む
6　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径2～3cmの10YR4/3ブロックを5%含む
7　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径2～3cmの2.5Y4/2ブロックを7%含む

1　10YR5/1灰色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　一辺18cmの円礫・コンクリート片を3%含む
　径2cmの10YR7/6ブロックを40%含む
2　7.5Y4/1　灰色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　一辺4cmの角礫を5%含む　酸化鉄斑紋あり
3　5Y5/1　灰色砂質土　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの炭粒を3%含む
　一辺8～16cmの円礫を5%含む　酸化鉄斑紋あり
4　5Y3/2　オリーブ黒色砂質土　ややしまる　粘性なし
　径2cmの5Y3/1ブロックを7%含む
　一辺9～18cmの円礫・角礫を20%含む
5　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質土　ややしまる　粘性なし
　径1cmの10YR6/3ブロックを10%含む
　径0.5cmの炭粒を5%含む
6　2.5Y5/1　黄灰色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし　酸化鉄斑紋あり
7　2.5Y4/2　暗灰黄色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　一辺15cmの円礫を3%含む　径0.5cmの炭粒を2%含む

SD1

1　2.5Y6/2　灰黄色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径1cmの2.5Y4/1ブロックを15%含む
2　5Y2/1　黒色砂質シルト　ややしまる　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y6/2土粒を5%含む
3　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの2.5Y4/1土粒を5%含む
4　10YR5/2　灰黄褐色土　ややしまる　粘性なし
　酸化鉄斑紋あり

0　1m
(S=1/30)

図51　SD1、SE1・2実測図

た。底面は平坦でありⅥ層を掘り込み、壁面は垂直に近く立ち上がる。なお埋土の掘り下げ時に、湧水は認められなかった。埋土中には、一辺５～25cmの円礫を多数含むが、出土状況に規則性はなく、人為的に埋め戻されたと考えられる。本遺構はＳＢ02の柱穴間に配置されており、床下貯蔵施設と推測される。出土遺物には、中・近世土器のほかに近代磁器３点（碍子２点、手描き技法の平碗又は丸碗１点）・銭貨２点（図94－439・442）があり、明治時代中期以降と考えられる。

ＳＫ057・058（図53）

ここでは遺構の特徴が類似するため、併せて説明する。ＳＫ057はＡ地点のＡＨ19・20グリッド、ＳＫ058はＡＨ・ＡＩ19グリッドに位置する。ＳＫ056と同様、表土除去直後から、礫の集中が認められていたものの、掘方の輪郭が不明瞭であったため検出面を下げたところ、楕円形の掘方（ＳＫ057は長軸長1.48m・短軸長1.34m・深さ0.63m、ＳＫ058は長軸長1.59m・短軸長1.46m・深さ0.70m）を検出した。底面はほぼ平坦であるが、ＳＫ056に比べて緩やかに立ち上がり、壁面の一部にわずかな段を持つ。埋土中には、一辺10～30cmの円礫を多数含むが、出土状況に規則性はなく、人為的に埋め戻されたと推測される。両遺構はＳＢ02の柱穴間に配置されており、床下貯蔵施設と推測される。ＳＫ057埋土からは、最新型式として近代磁器１点（手描きの上絵付）が出土していることから、所属時期は少なくとも明治10年代以降と考えられる。

ＳＫ093（図54）

Ａ地点のＡＩ19グリッドに位置する。本遺構の南端をＳＰ029、本遺構の東端を調査坑に切られる。掘方の大きさは長軸長1.55m・短軸長0.93m以上・深さ0.33mを測る。掘方の平面形は楕円形で、深さ0.2mで平坦となり中央が凹む。多数の遺物が埋土１から集中して出土し、また土層堆積状況も勘案すると２基の土坑が重複する可能性が高い。遺物の接線の状況では、ＳＫ105間で２例（図82－121・124）認められた。遺物の出土状況から、人為的に埋め戻されたと考えられる。出土遺物の内容は、第４節で述べる。遺物の大半に被熱の痕跡があることから、火災後の廃棄土坑である可能性が高い。濃尾地震の被災の可能性も含め、所属時期は明治時代初頭～中期の幅を想定しておきたい。

ＳＫ105（図54）

Ａ地点のＡＧ20グリッドに位置する。本遺構の北端をＳＫ033に切られる。掘方の大きさは長軸長1.21m・短軸長1.15m以上・深さ0.20mを測る。掘方の平面形は楕円形で、底面は平坦である。遺物が掘方の南半に偏って出土した。遺物の出土状況から、人為的に埋め戻されたと考えられる。遺物の接線の状況はＳＫ033・093で記載したとおりである。出土遺物の内容は、第４節で述べる。所属時期もＳＫ093と同時期である。

（５）その他

ＳＸ１（図55）

Ａ地点のＢＤ１・２グリッドに位置する。本遺構の北側を撹乱、南側を調査坑・ＳＫ023に切られる。流水の痕跡が認められない点と、発掘区東壁を含む本遺構の周辺で確認されない点から、遺構と認定した。精査すると、平面形は不明であるものの、底面は平坦で緩やかに立ち上がる掘方（長軸2.70m・短軸長2.35m以上・深さ0.19m）を検出した。埋土は一辺１～15cmの円礫を多数含む黒褐色土で、小型礫が分布する上面では標高30.78～30.84mと概ね水平で、本遺構の北側上面では大型礫が集中し標高30.89mとやや高い。礫を取り除いて掘方底面を精査し、土坑（ＳＫ120）を検出した。礫群

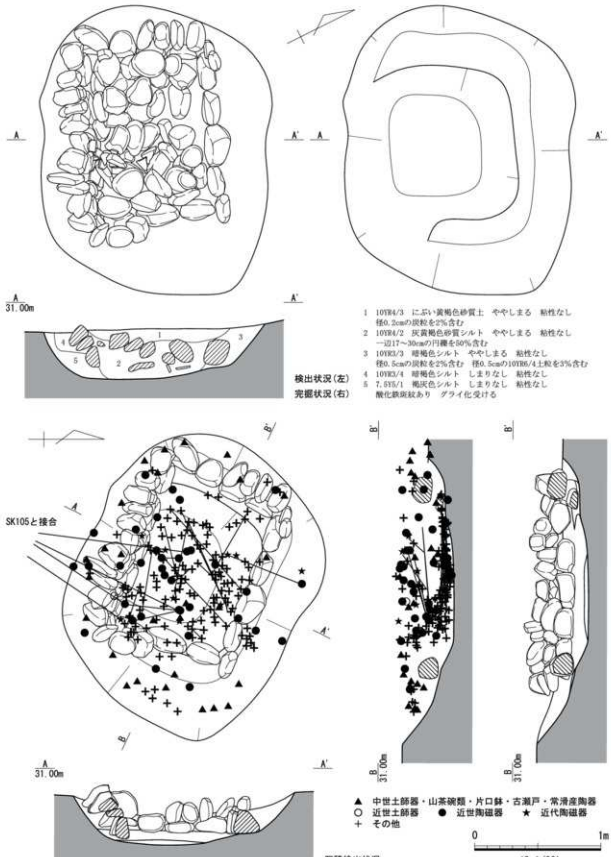
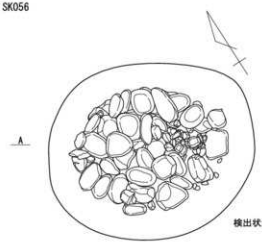
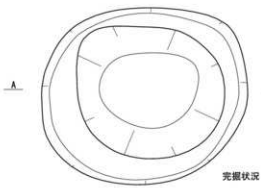
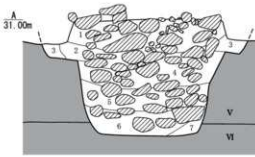


図52　ＳＫ033実測図

SK056

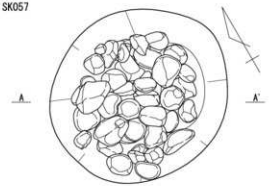


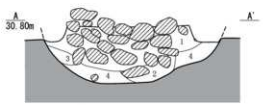




1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を3%含む
　一辺10～25cmの円礫を30%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　一辺5～25cmの円礫を50%含む
　径0.3cmの炭粒を3%含む
　径0.5cmの10YR6/3土粒を7%含む
3　10YR3/3　暗褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を3%含む
4　2.5Y3/3　暗オリーブ褐色シルト　しまりなし　粘性なし
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径10～20cmの円礫を50%含む
6　10YR3/2　黒褐色土　やや しまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を2%含む
　一辺10～25cmの円礫を40%含む
7　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む　円礫を含まない

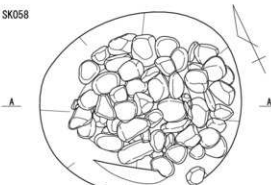
SK057

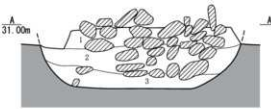




1　10YR4/2　灰黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　一辺11～16cmの円礫を50%含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径0.2cmの炭粒を2%含む
3　10YR3/3　暗褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　径2cmの円礫を3%含む
4　5Y4/1　灰色粘質シルト　やや しまる
　径8～20cmの円礫を20%含む
　酸化鉄斑紋あり　グライ化受ける

SK058

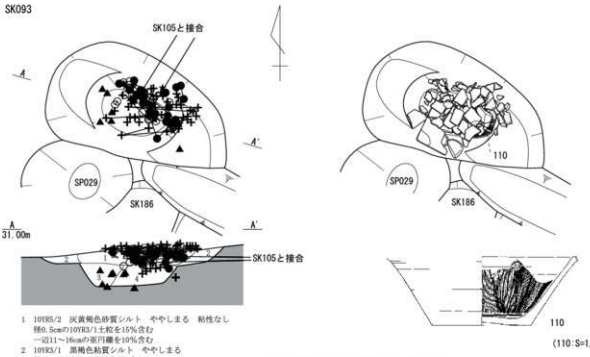




1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺16～24cmの円礫を50%含む
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト　やや しまる　粘性なし
　一辺12～20cmの円礫を50%含む
　径0.5cmの10YR6/4土粒を10%含む
3　10YR5/3　にぶい黄褐色シルト　しまりなし　粘性なし
　一辺14cmの円礫を10%含む
　径0.5cmの10YR6/4土粒を5%含む

0　1m
(S=1/30)

図53　ＳＫ056・057・058実測図



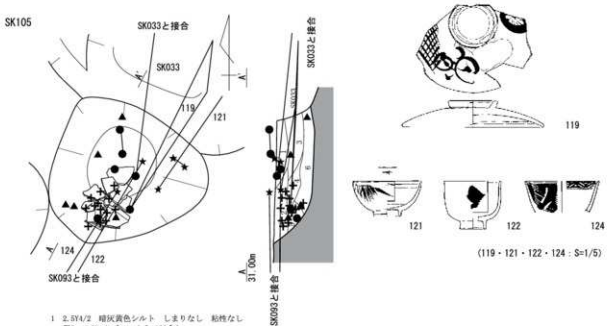


図54　ＳＫ093・105実測図

内から洋釘１点（図94－427）、ＳＫ120埋土から丸碗１点（手描きの上絵付）が出土したことから、これらは一連の遺構であり、礫群は整地の痕跡と考えられる。所属時期は、少なくとも明治10年代以降と考えられる。

３　時期不詳

ＳＢ12（図56）

Ｄ地点のＣＫ８・９グリッドに位置する。整理段階で建物と認定した。南北長1.37m・東西長1.07m以上を測る。梁行１間の側柱建物と考えられ、桁行方向の規模は不明である。主軸方位はＮ－17.5°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形で、柱痕跡が南東の隅柱以外の３基で検出された（ただしＳＰ303・304は土層断面図から判断）。柱掘方の底面の標高は、29.79～29.90mを測り、概ね一定である。南北方向の柱間は1.34m、東西方向の柱間は0.98mを測る。柱穴から遺物が出土しなかったため、所属時期は不明である。

ＳＢ13（図57）

Ｄ地点のＣＭ７・８、ＣＮ７・８グリッドに位置する。整理段階で建物と認定した。梁行３間の側柱建物（南北長2.66m・東西長0.81m以上）と考えられ、桁行方向の規模は不明である。主軸方位はＮ－24.0°－Ｅを測る。柱掘方の平面形は楕円形又は円形で、地下式礎石がＳＰ297で確認され、柱痕跡がＳＰ295・296・297・301で検出された。柱掘方の底面の標高は、29.84～30.00mを測り、概ね一定である。南北方向の柱間は0.52～1.43m、東西方向の柱間は0.59mを測る。柱穴から遺物が出土しなかったため、所属時期は不明である。

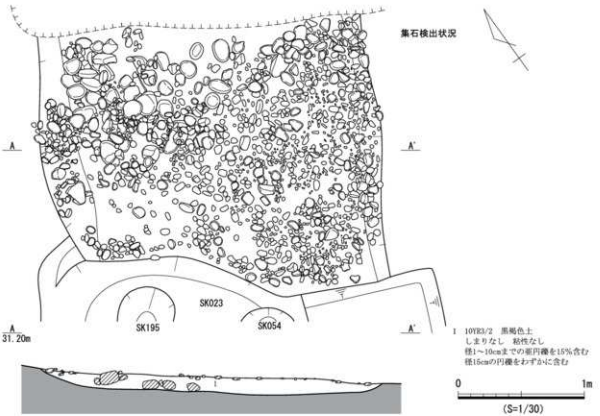
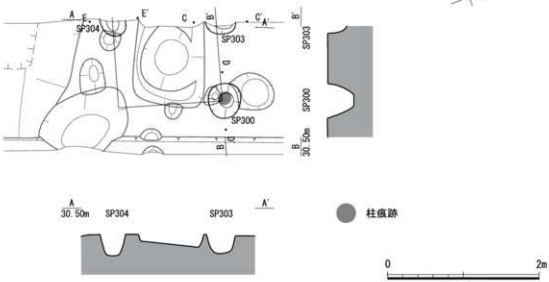
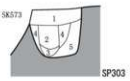


図55　ＳＸ１実測図

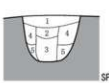


C
30.50m
C'



1　2.5Y6/2　灰黄色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　酸化鉄斑紋あり　マンガン斑紋あり
2　7.5Y6/1　灰色シルト
　しまりなし　粘性なし
　グライ化受ける　柱痕跡
3　7.5Y5/1　灰色シルト
　しまりなし　粘性なし
　柱痕跡　グライ化受ける
4　5Y6/1　灰色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/2土粒を7%含む
　酸化鉄斑紋あり　グライ化受ける
5　5Y5/1　灰色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　酸化鉄斑紋あり

D
30.50m
D'



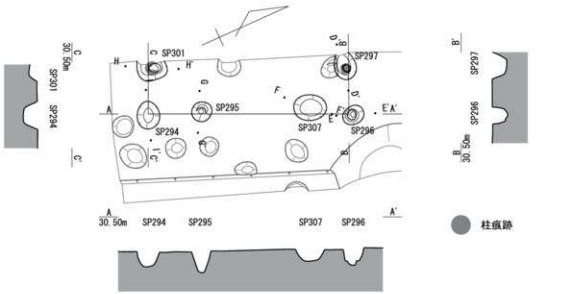
1　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし　酸化鉄斑紋あり
2　5Y5/1　灰色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/3土粒を3%含む
　酸化鉄斑紋あり　柱痕跡
3　5Y4/1　灰色砂シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/3土粒を3%含む　柱痕跡
4　5Y5/1　灰色シルト　埋土よりやや暗い
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/3土粒を5%含む
5　7.5Y5/1　灰色シルト
　ややしまる　粘性なし

E
30.50m
E'

1　5Y6/2　灰オリーブ色砂質シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/3土粒を10%含む
　酸化鉄斑紋あり
　グライ化受ける
2　7.5Y6/1　灰色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/3土粒を7%含む
　柱痕跡　グライ化受ける
3　7.5Y5/1　灰色シルト　径0.5cm程を7%含む
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/3土粒を5%含む
　柱痕跡　グライ化受ける
4　7.5Y6/2　灰オリーブ色シルト
　ややしまる　粘性なし
　径0.5cm程2.5Y6/3土粒を10%含む
　酸化鉄斑紋あり　グライ化受ける

0
1m
(S=1/30)

図56　ＳＢ12実測図



D 30.50m　D'

1　5Y6/1　灰色砂質シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡
2　10YR4/2　灰黄褐色砂質土
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
3　10YR3/2　黒褐色粘質シルト　やしまる

E 30.50m　E'

1　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質土
　しまりなし　粘性なし
2　10YR4/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし
3　10YR3/2　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡

F 30.50m　F'

1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.5cmの10YR6/3土粒を5%含む
2　10YR3/2　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし　分厚よい

G 30.50m　G'

1　2.5Y5/2　暗灰黄色砂
　しまりなし　粘性なし　分厚よい
2　2.5Y6/2　灰黄色シルト
　やしまる　粘性なし　柱痕跡

H 30.50m　H'

1　2.5Y5/1　黄灰色シルト
　しまりなし　粘性なし
　径0.3cmの2.5Y6/3土粒を3%含む　柱痕跡
2　2.5Y6/2　灰黄色シルト
　しまりなし　粘性なし　柱痕跡
3　10YR5/2　灰黄褐色シルト
　やしまる　粘性なし
　径0.3cmの10YR6/3土粒を5%含む

I 30.50m　I'

1　2.5Y5/2　暗灰黄色砂質土
　しまりなし　粘性なし
2　2.5Y4/1　黄灰色砂
　しまりなし　粘性なし
3　10YR3/2　黒褐色シルト
　やしまる　粘性なし

0
1m
(S=1/30)

図57　ＳＢ13実測図

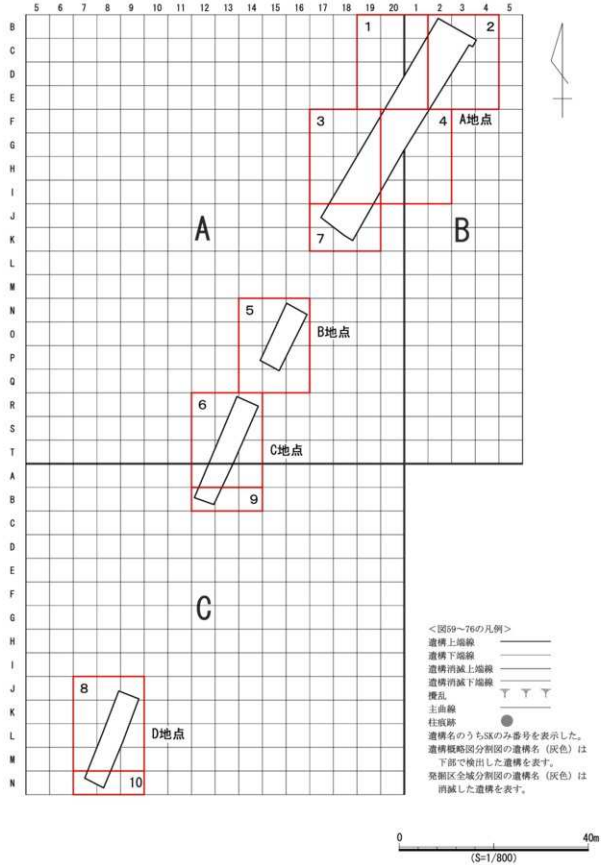

A
B
C
A地点
B地点
C地点
D地点
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
＜図59～76の凡例＞
遺構上端線
遺構下端線
遺構消滅上端線
遺構消滅下端線
攪乱
主曲線
柱痕跡
遺構名のうちSXのみ番号を表示した。
遺構概略図分割図の遺構名（灰色）は下部で検出した遺構を表す。
発掘区全域分割図の遺構名（灰色）は消滅した遺構を表す。
0
40m
(S=1/800)

図58　図面割り図

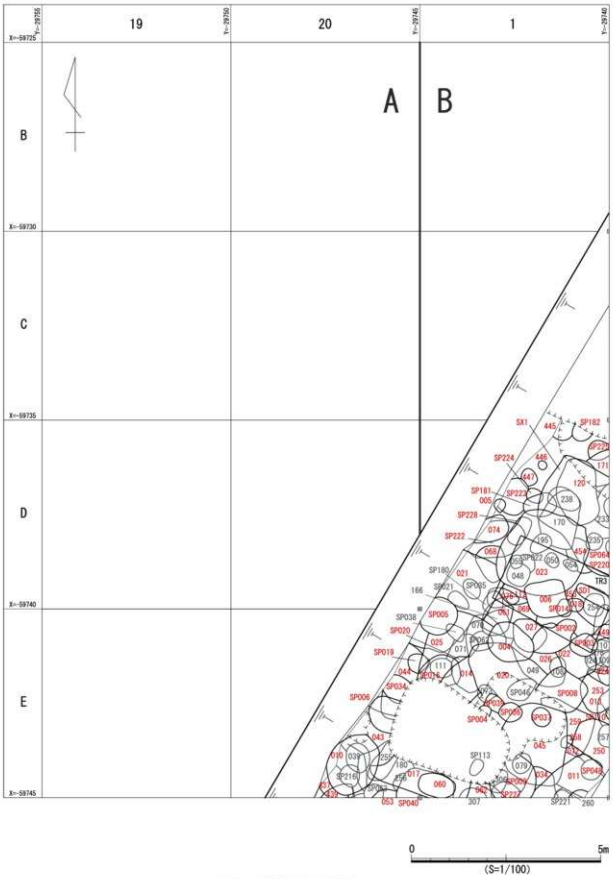


図59　遺構概略図分割図（１）

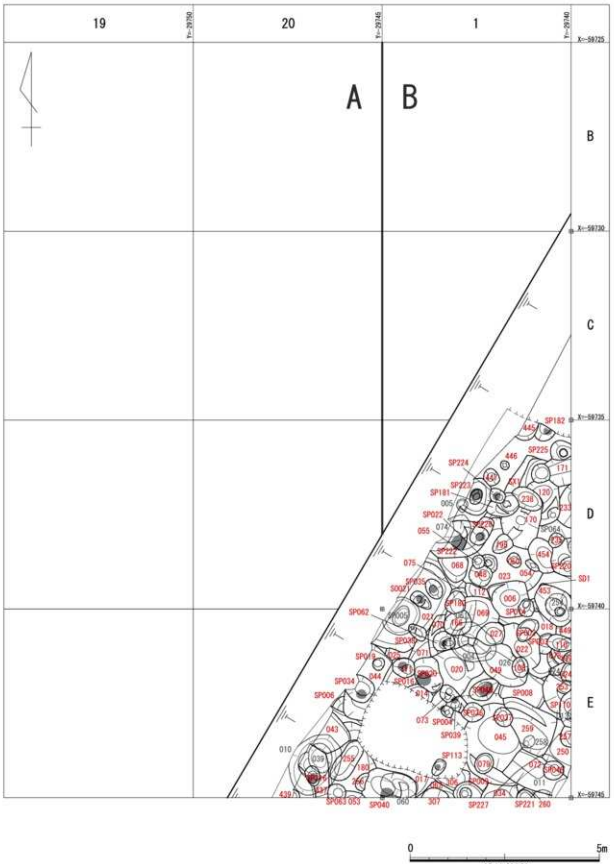


図60　発掘区全域分割図（1）

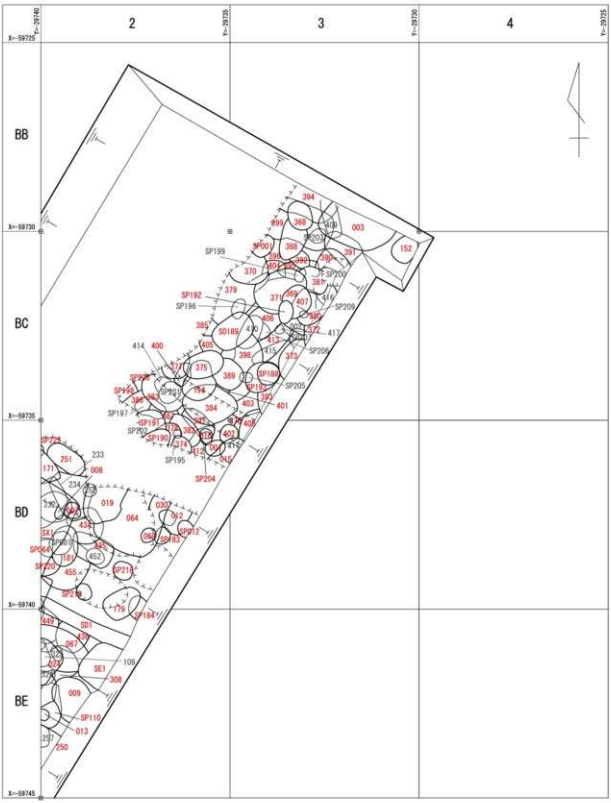
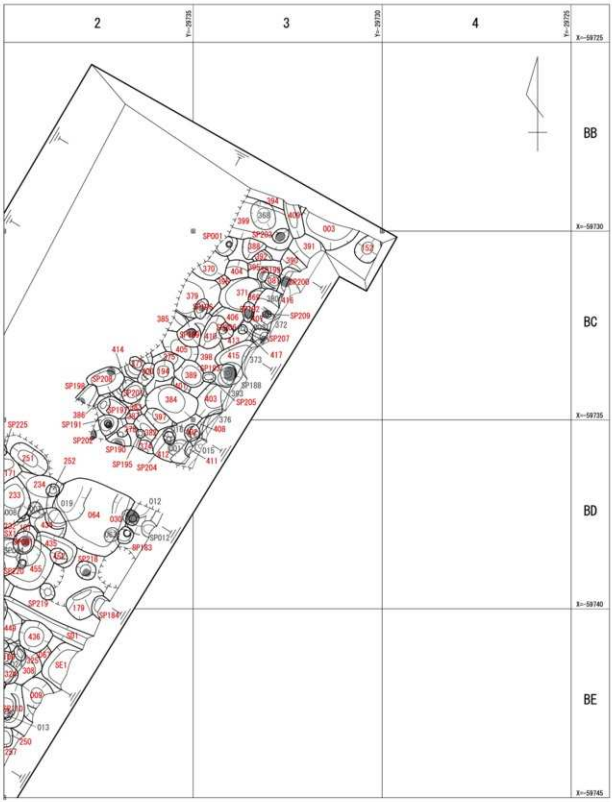


図61　遺構概略図分割図（２）


2
3
4
Y=-39735
Y=-39720
Y=-39705
X=-59725
X=-59730
X=-59735
X=-59740
X=-59745
BB
BC
BD
BE
SP001
SP186
SP187
SP188
SP189
SP190
SP191
SP192
SP193
SP194
SP195
SP196
SP197
SP198
SP199
SP200
SP201
SP202
SP203
SP204
SP205
SP206
SP207
SP208
SP209
SP210
SP211
SP212
SP213
SP214
SP215
SP216
SP217
SP218
SP219
SP220
SP221
SP222
SP223
SP224
SP225

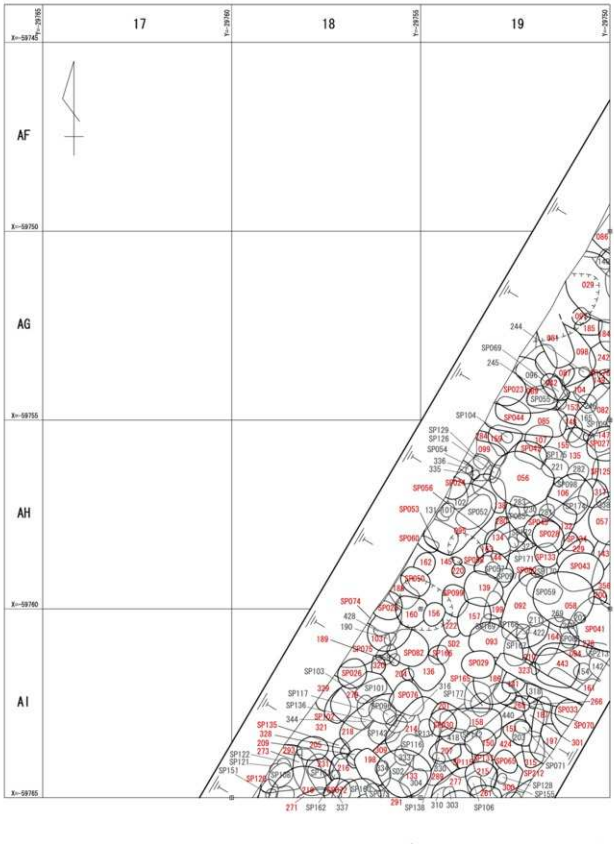


図63　遺構概略図分割図（３）

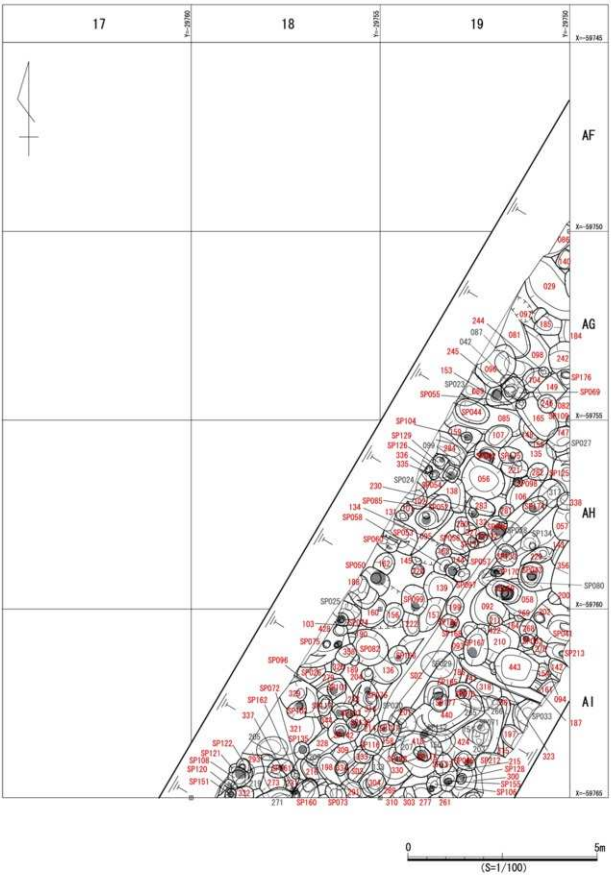


図64　発掘区全域分割図（3）

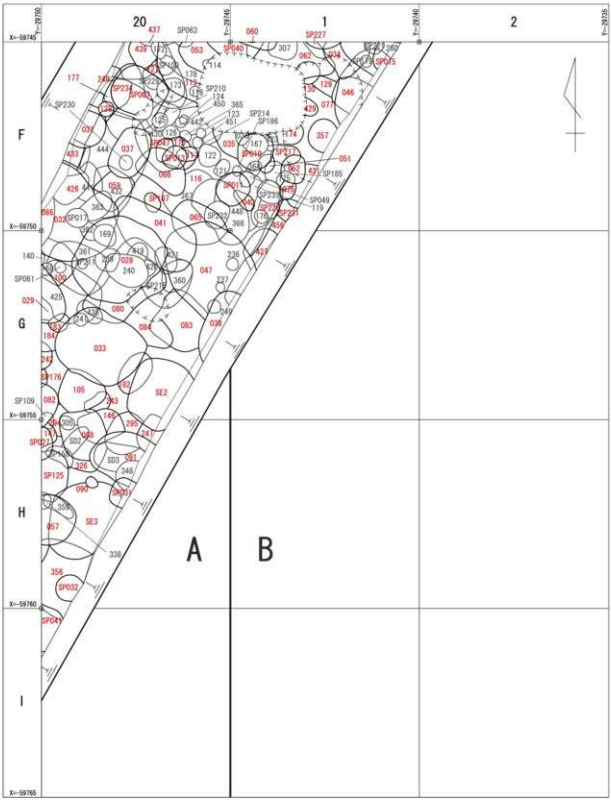


図65　遺構概略図分割図（４）

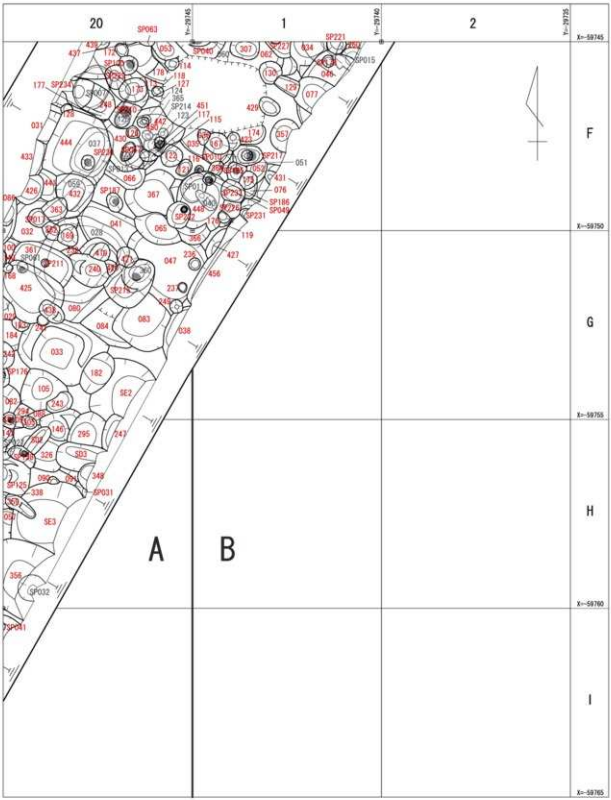


図66　発掘区全域分割図（4）

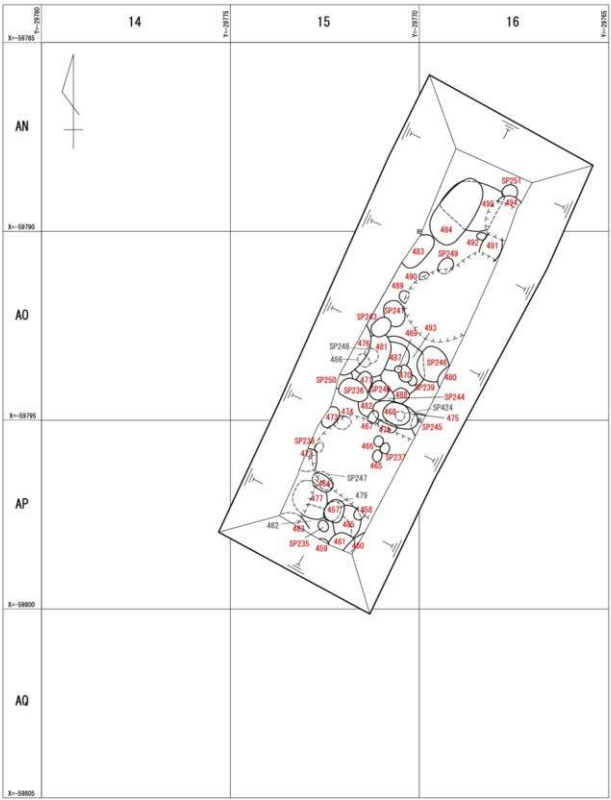


図67　遺構概略図分割図（５）

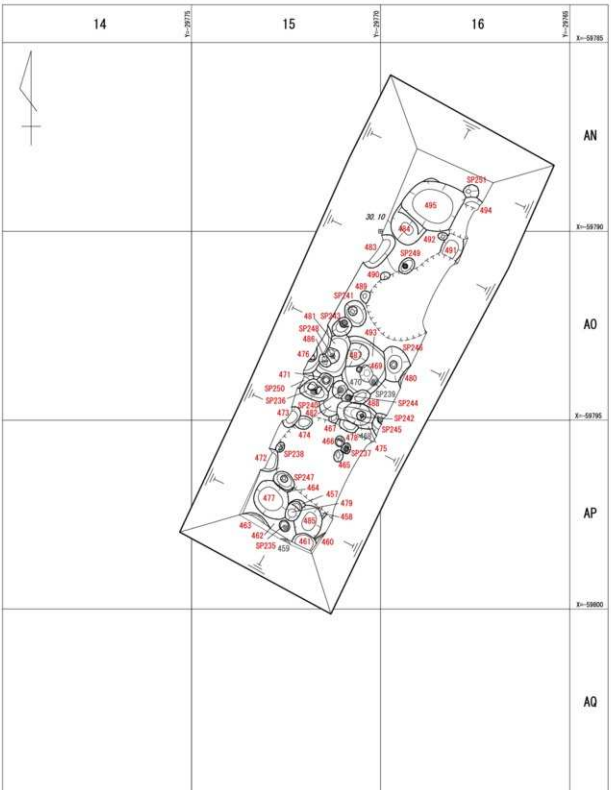


図68　発掘区全域分割図（5）

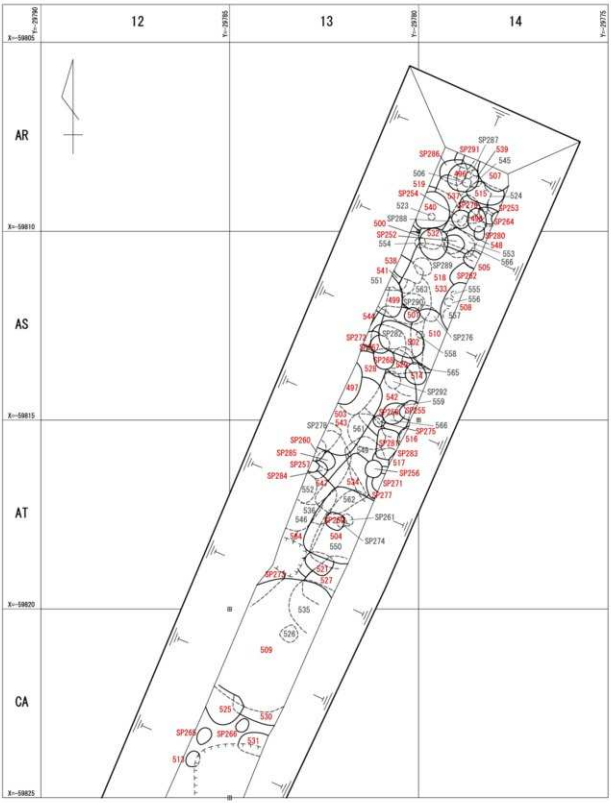


図69　遺構概略図分割図（６）

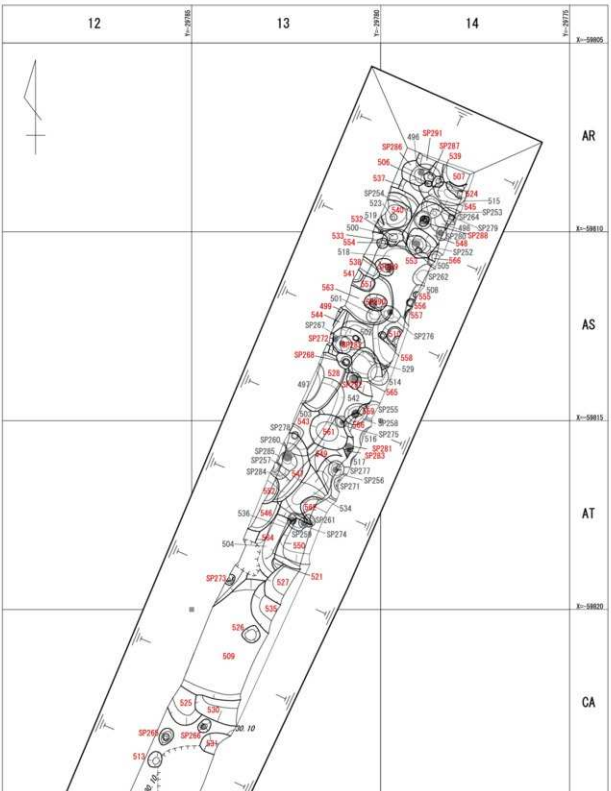


図70　発掘区全域分割図（６）

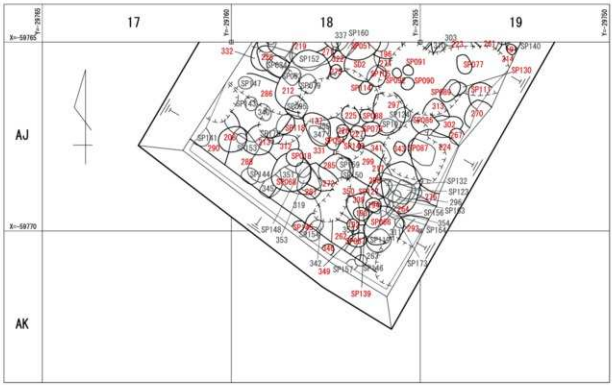


図71　遺構概略図分割図（７）

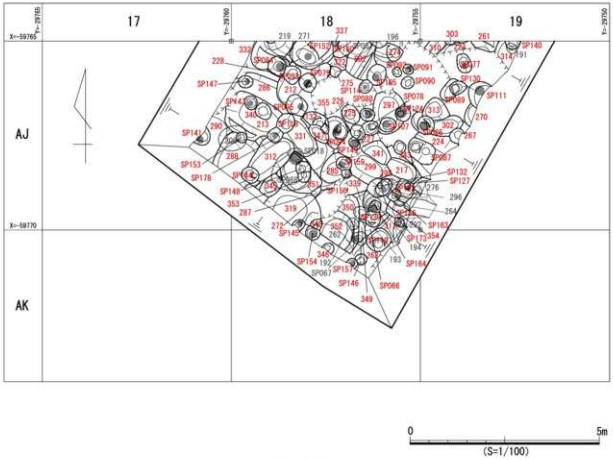


図72　発掘区全域分割図（７）

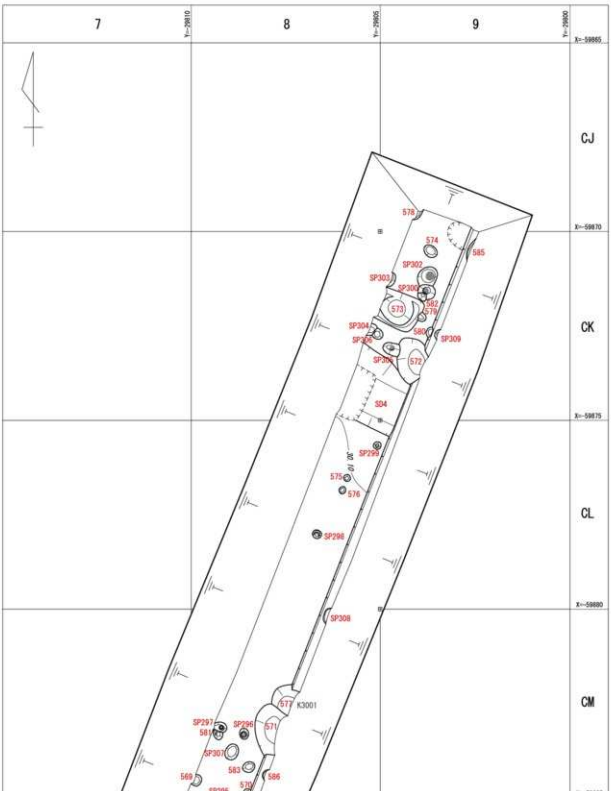


図73　遺構概略図分割図（８）

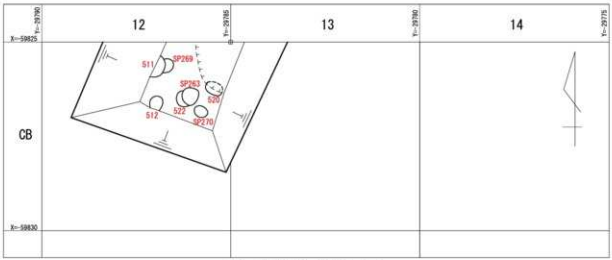


図74　遺構概略図分割図（９）

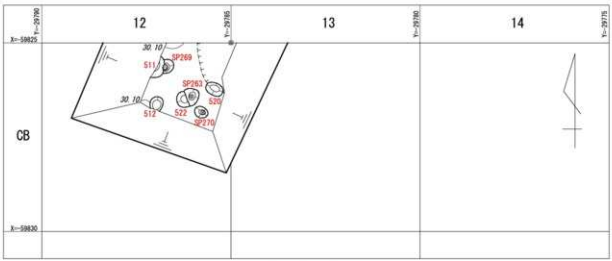


図75　発掘区全域分割図（９）

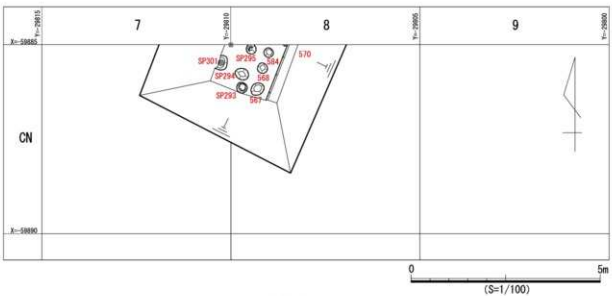


図76　遺構概略図分割図（10）

第４節　遺物

１　主要遺構出土遺物

第１項では遺構からまとまって出土した遺物、第２項では遺構から少数出土した遺物、他からの混入と考えられる遺物、遺物包含層・攪乱出土遺物を一括して種類別に説明する。ただし、第２項では出土遺物全体の傾向も併せて述べる。

（１）Ⅰ・Ⅱ期の遺構

ＳＤ２・３出土遺物（図77・表６）

ＳＤ２からは、土師器101点、山茶碗類158点、片口鉢14点、古瀬戸４点、常滑産陶器９点、青磁・白磁各１点、輪羽口１点、金属製品３点、銭貨４枚が出土した。

土師器皿の口縁部には、Ｍ２又はＭ３類１点、Ｍ３類（１）58点、Ｍ４類４点、Ｂ１類１点、Ｃ１類１点、Ｃ２類２点等がある。また、２は器種不明（皿と類似した胎土で伊勢型鍋の口縁部）である。山茶碗類の底部（表６）は、東濃型（山茶碗67点・小皿11点）で占められ、最古型式は白土原１号窯式、最新型式は脇之島３号窯式（10・15）であり、大畑大洞４号窯式新段階（５・６・12）が主体である。片口鉢の口縁部（表６）には、尾張型第７型式と第10型式とがある。常滑産陶器には、甕第６ａ型式（17）がある。古瀬戸には、直縁大皿（18）、灰釉有文梅瓶（19）の他に、平碗１点と灰釉無文壷又は瓶１点があり、18は後Ⅰ期、19は中Ⅰ期又はⅡ期である。青磁は碗Ｂ１類、白磁は四耳壺である。輪羽口（20）は砂岩製で、形状から輪に近い部位と推測される。銭貨には、至道元寶（21）、皇宋通寶（22）、熙寧元寶（23）、大観通寶（24）があり、埋土上位から４枚が接着して出土した。

ＳＤ３からは、土師器４点、山茶碗類５点、古瀬戸１点、常滑産陶器１点、土錘１点が出土した。土師器皿の口縁部には、Ｍ３類１点を含む。山茶碗類の底部には、大畑大洞４号窯式の山茶碗１点、小皿１点（内面底部静止ナデあり）等がある。古瀬戸には、後Ⅳ期古段階の卸目付大皿１点（図89－341）がある。

ＳＫ072出土遺物（図78）

本遺構からは、土師器11点、山茶碗類18点、片口鉢２点、釘１点（26）が出土した。

土師器皿の口縁部には、Ｍ３類１点、Ｍ４類５点がある。山茶碗類の底部は東濃型（山茶碗７点・小皿２点）で占められ、白土原１号窯式１点、明和１号窯式と大畑大洞４号窯式各４点等がある。うち

表６　ＳＤ２出土山茶碗類・片口鉢の接合前破片数

器種	尾張型											東濃型												合計
	3型式	4型式	5型式	6型式	7型式	8型式	9型式	10型式	11型式	小計	谷迫間	浅間窯下	丸石3	窯洞1	白土原1	明和1	大畑大洞4	大畑大洞4新	大洞東1	脇之島3	生田2	不明	小計	
山茶碗（底部）															1	7	12	19	15	6			60	
																4							4	67
																	3						3	
小皿（底部）																2	2	1	1				6	11
																						5	5	
片口鉢（口縁部）						1			1	2													0	2
合　計	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	9	14	20	7	16	6	0	5	78	80

大畑大洞４号窯式の小皿（25）の外面底部には、墨書（「の」）が確認できる。片口鉢は、尾張型第６型式１点を含む。

ＳＫ259出土遺物（図78）

本遺構からは、土師器10点、山茶碗類13点、釘２点（28・29）が出土した。

土師器皿の口縁部には、Ｍ３類４点、Ｍ４類１点がある。山茶碗類の底部には、東濃型（山茶碗６点・小皿３点）と尾張型（第４又は５型式・第５型式山茶碗各１点）とがあり、明和１号窯式１点、明和１号窯式又は大畑大洞４号窯式４点、大畑大洞４号窯式２点、大畑大洞４号窯式新段階又は大洞東１号窯式１点、時期不明２点等である。なお、明和１号窯式の小皿（27）の外面底部には、墨書（「の」）が確認できる。

ＳＫ278出土遺物（図78）

本遺構からは、土師器２点、銭貨５枚が出土した。土師器皿の口縁部には、Ｂ１類１点（30）を含む。銭貨には、明道元寶（31）、皇宋通寶（32）、治平通寶（33）、元祐通寶（34・35）がある。

ＳＫ366出土遺物（図78）

本遺構からは、土師器83点、山茶碗類73点、片口鉢５点、古瀬戸１点、常滑産陶器３点が出土した。土師器皿の口縁部には、Ｍ２又はＭ３類１点、Ｍ３類（40～43）47点、Ｍ４類８点等、鍋は尾張平野の分類（北村1996）でいうＡ４類又はＡ５類１点（44）、羽釜１点がある。山茶碗類の底部には東濃型（山茶碗47点・小皿10点）と尾張型（第４型式山茶碗１点）があり、最古型式は白土原１号窯式（47）、最新型式は大洞東１号窯式又は脇之島３号窯式であり、明和１号窯式（45・46・48）が主体である。片口鉢には尾張型第６型式・第６又は７型式各１点を含み、古瀬戸には後Ⅰ期又はⅡ期の盤類１点がある。

ＳＫ367出土遺物（図78）

本遺構からは、土師器21点、山茶碗類20点、片口鉢１点、常滑産陶器３点が出土した。土師器皿の口縁部には、Ｍ２類又はＭ３類１点（50）、Ｍ３類11点(52)、Ｍ３類又はＭ４類２点（51）、Ｍ４類２点等、伊勢型鍋は尾張平野の分類でいうＡ５類又はＡ６類１点（53）、羽釜１点である。山茶碗類の底部には東濃型（山茶碗14点・小皿４点）で占められ、最古型式は浅間窯下１号窯式又は丸石３号窯式（54）、最新型式は大畑大洞４号窯式であり、明和１号窯式（55・56・58）又は大畑大洞４号窯式（57）が主体である。常滑窯産陶器には、第６ａ型式の甕１点（59）を含む。

ＳＫ495出土遺物（図78）

本遺構からは、土師器15点、山茶碗類６点、古瀬戸１点、鉄滓１点が出土した。土師器皿の口縁部は、Ｍ３類（36）12点・Ｍ４類１点・Ｃ２類１点を含む。山茶碗類の底部には東濃型（山茶碗４点・小皿２点）で占められ、最古型式は明和１号窯式（38）、最新型式は脇之島３号窯式である。古瀬戸には、後Ⅲ期の灰釉縁釉小皿１点がある。鉄滓には大型の椀形滓１点（94.9g）を含む。

ＳＫ003出土遺物（図79）

本遺構からは、土師器10点、山茶碗類３点、片口鉢１点、古瀬戸２点、近世陶器39点、瓦１点、土錘１点が出土した。これらのうち、土師器皿の一部、山茶碗、片口鉢、古瀬戸は、遺構の年代とはかけ離れていており、本遺構に切られた遺構等からの混入と考えられる。土師器皿の口縁部には、Ｃ２類（60）４点、財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター2005でいうＤ類第

４型式１点（61）、ロクロ調整皿３類１点（62）等がある。近世陶器のうち、瀬戸美濃産では柳茶碗（63）、摺絵皿（64）、小瓶（65）、半胴（66）等があり、登窯第７～11小期に位置づけられる。常滑産には18世紀代の火鉢（67）、19世紀代の甕（68）がある。

ＳＫ509出土遺物（図79・80、表７）

本遺構からは、土師器62点、山茶碗類７点、近世陶器110点・磁器３点、近代陶磁器３点、瓦11点、土製品４点、焼成粘土塊１点、石臼１点、金属製品１点が出土した。これらのうち土師器（Ｂ又はＣ類１点、Ｃ１類２点）、山茶碗は、遺構の年代とはかけ離れており、本遺構に切られた遺構等からの混入と考えられる。土師器皿10点のうち、口縁部はＣ２類（69）５点、Ｄ類第４型式（70）２点、ホウロク46点にはＤ６類（71）を含む。近世陶器には、瀬戸美濃産（表７）の天目茶碗（72）、碗（73～75）、柳茶碗（76）、湯呑（77）、せんじ（78）、輪花皿（79）、摺絵皿（80）、梅文皿（81）、練鉢（82・83）、鬢盥（84）、擂鉢（85）、耳付水注（86）、錆釉徳利（87）、舟徳利（88）、香炉（89）などが

表７　ＳＫ509出土瀬戸美濃産陶磁器

分類	器種	産地	登窯 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	近代	接合後 小計	接合後 総数	接合前 破片数
天目茶碗	天目茶碗	瀬戸						1							5	5	7
		美濃			1		2										
		不明					1										
陶器碗類	碗	瀬戸								1					13	29	23
												2					
												3					
		美濃									5						
												2					
	鉄釉丸碗	美濃					1								1		1
	尾呂茶碗	美濃						1							1		1
	刷毛目茶碗	瀬戸								1					1		1
	柳茶碗	美濃									1				1		2
	染付碗	瀬戸								2					3		5
											1						
	湯呑	瀬戸								1					3		7
										1							
		美濃										1					
	腰錆湯呑	瀬戸								2					2		2
	せんじ	瀬戸							1	2					3		4
	長の	瀬戸										1			1		1
陶器皿類	皿	瀬戸								1					2	6	2
		美濃								1							
	菊皿	美濃				1									1		1
	輪花皿	美濃							1						1		1
	摺絵皿	美濃					1								1		1
	梅文皿	瀬戸								1					1		1
陶器鉢・盤類Ａ	片口	美濃									1				1	5	1
	練鉢	瀬戸								1					4		4
												3					
陶器鉢・盤類Ｂ	鬢盥	美濃							1						1	1	1
陶器擂鉢	擂鉢	瀬戸						1							3	3	3
												1					
陶器壺・瓶類	有耳壺	瀬戸						1							1	2	1
	耳付水注	美濃							1						1		3
陶器徳利	錆釉徳利	美濃									2				2	3	2
	舟徳利	美濃									1				1		1
陶器その他	香炉	瀬戸									1				2	5	5
		美濃						1									
	器種不明	瀬戸								1					2		2
											1						
		美濃									1				1		1
磁器碗類	器種不明	不明												1	1	1	1
総数			0	0	0	0	1	0	3	6	1	0	0			60	85
			0		1			11		21		6		1			
			1					11			41						

ある。最古型式は第３又は４小期で最新型式は第11小期、主体は登窯第３段階の第８～11小期で全体の約７割を占める。常滑産にはくど（92）、甕を含み、92は18世紀後半に属する。また、磁器には肥前産の碗（90・91）がある。近代陶磁器は、信楽産陶器と瀬戸美濃産磁器である。土製品には、土鈴（93）、瓦を転用した加工円盤（94）、土錘（95）がある。

（２）Ⅲ期の遺構

ＳＫ033出土遺物（図81）

本遺構からは、土師器11点、山茶碗類13点、片口鉢１点、古瀬戸１点、常滑産陶器２点、近世陶器32点・磁器３点、近代陶磁器９点、瓦132点、土製品１点、石器１点、金属製品２点、鉄滓２点、分類不明３点が出土した。これらのうち、中世遺物は遺構の年代とはかけ離れていており、本遺構に切られた遺構等からの混入と考えられる。近世陶器には、瀬戸美濃産の小碗（96）、擂鉢（97）、土瓶（98）、灯明皿（99）、端反碗蓋（100）、磁器には筒形湯呑（101）があり、登窯第10又は11小期が多い。常滑産には、19世紀代の甕（103）・火鉢（104）がある。近代陶磁器には、瀬戸美濃産の小杯（102）等がある。瓦には、中心飾りが桐文（106）、菊文（107）の軒片瓦が含まれ、105・107・108には押印が認められる。石器は、凝灰岩製の砥石１点（109）である。

ＳＫ093、ＳＫ105出土遺物（図81・82）

両遺構は遺構間接合が認められることから、一括して説明する。両遺構からは土師器20点、山茶碗８点、古瀬戸１点、常滑産陶器１点、青磁１点、近世陶器20点・磁器９点、近代陶磁器28点、瓦57点、土製品１点が出土した。これらのうち、中世遺物は遺構の年代とはかけ離れていており、本遺構に切られた遺構等からの混入と考えられる。ホウロク17点には、Ｊ５類（111）を含む。近世陶器には、瀬戸美濃産の端反碗（112）、刷毛目皿（113）、片口（114）、練鉢（115）、擂鉢（110）、土瓶（116）、水滴（117）、行平蓋、（118）、織部蓋（119）等、磁器には湯呑（120・121）、筒形湯呑（122）、小皿（123）、猪口（124）、灯明皿（125）、端反碗蓋（126）等があり、近代の118・120・122～125を除き登窯第10又は11小期である。肥前産磁器には、丸碗（127～129）、端反碗（130）、筒形湯呑（131）がある。なお、近代陶磁器は呉須の手描き技法のみで、型紙摺絵や銅版転写技法の製品は含まれていない。瓦には、中心飾りが桐文（132）の軒平瓦、桟瓦、丸瓦を含む。

２　その他の遺物

（１）土師器（図83・84）

中世前期の土師器皿の分類には、岐阜市教育委員会1999と小野木1997とがあるが、ここでは主に小片の分類が網羅できる前者を中心に行った。Ｍ３類（133・135・137～154）、Ｍ３類又はＭ４類（134・155・156）、Ｍ４類（136）、Ａ２類（157）、Ａ３類（158）、Ｂ１類（159～161）、Ｂ２ａ類（162）、Ｂ２ｂ類（163）、Ｂ又はＣ類（164）、Ｃ１類（165～174）、Ｃ２類（175～183）がある。以上のほか、Ｄ類第４型式（184・185）、ロクロ調整皿（186～194）がある。Ｍ３類、Ｃ１類、Ｃ２類が一定量を占め、Ａ２・３類、Ｂ１・２類の出土点数は少なく、Ａ４類とＤ１類は確認されなかった。なお、後者の分類によると、Ａ２ｃ類（135～138）、Ａ２ｄ類（139～143）、Ａ２ｅ類（144）、Ｂ２ａ類（145）、Ｂ２ｃ類（146～154）があり、うちＡ２ｄ類とＢ２ｃ類が目立つ。

Ｍ３類の口径は、６㎝前後（133等）、８㎝前後（135等）、12㎝前後（149等）の３種類がある。内面調整では、底部一方向ナデ後に体部横ナデを行う定形（139等）と、底部無調整（137等）とがある。

Ｃ１類の口径は、８cm前後（166等）と10cm前後（173等）の２種類がある。内面調整では、底部一方向ナデ（173等）と底部無調整（167等）とがあり、167を除いて体部のナデが無いか又は一部に限られる。Ｃ２類の口径は５～８cm程度の幅があり７cm前後が多く、内面調整は無調整も含め多様である。

ロクロ調整皿は、器形の違いにより３種類を確認した（以下、「ロクロ調整皿１～３類」と呼称）。ロクロ調整皿１類（186）は、体部が直線的に立ち上がる器形で、体部の平均的な器壁が約3.5mmと薄い土器。ロクロ調整皿２類（187・188）は、口縁部が内彎する器形の土器。ロクロ調整皿３類（189～194）は、体部が直線的に立ち上がる器形で、低い高台を持つ土器。口径が4.5cm前後（189・190）と、８cm前後（191～194）とがある。

中世から近世にかけての煮沸具の出土点数は、他の器種に比べて著しく少ない。このうち伊勢型鍋は第１項ＳＫ366・367で述べた。羽釜には、尾張平野の分類（北村1996）でいうＡ３類（196・197）、Ａ４類（198）がある。ホウロクには、尾張平野の分類（金子1996）でいうＥ類（199）がある。

（２）須恵器・灰釉陶器（図85）

小片が多く、図化が可能な遺物は少ない。７世紀末の須恵器坏蓋（200・201）、８世紀中葉から後葉の坏身（202）、広口短頸壺又は鉢（203）、10世紀後半の灰釉陶器段皿（204）、器種不明（205）、窯道具（206）を図示した。206は、外面全体に自然釉がかかる。

（３）山茶碗類（図85・87上）

山茶碗　東濃型が主体を占め、尾張型と美濃須衛型（227）が少量出土した。東濃型山茶碗では、浅間窯下１号窯式か丸石３号窯式（図78－54）が最も古く、窯洞第１号窯式（207）、白土原１号窯式（208）、明和１号窯式（209～212）、大畑大洞４号窯式（213～216）、同式新段階（217）、大洞東１号窯式（218～220）、脇之島３号窯式（221）、生田２号窯式（222～225）がある。これらのうち、211の外面底部には赤色顔料、219の内外面には黒色有機物が付着する。なお尾張型山茶碗には、第４型式（228）から第７型式までがある。

小碗・小皿　東濃型が主体を占め、尾張型と美濃須衛型が少量出土した。東濃型山茶碗では、窯洞第１号窯式（246）が最も古く、白土原１号窯式（247）、明和１号窯式（248・249）、大畑大洞４号窯式（250～254）、同式新段階（255～258）、大洞東１号窯式、脇之島３号窯式（259）がある。また尾張型には、第４型式（260）から第７型式までがあり、美濃須衛型には第４型式が含まれる。

（４）墨書土器（図86・87下）

すべて東濃型山茶碗類であり、墨書の部位は244を除き外面底部である。図示した遺物には、明和１号窯式（231～236、262～265）、大畑大洞４号窯式（237～242、266～268）、大畑大洞４号窯式又は同式新段階（243、269～271）、大洞東１号窯式（244、272～275）、脇之島３号窯式（245）がある。可児2001の分類によると、判読可能な墨書の内容は以下のとおりである。

Ａ（明らかに文字と認められ、他の遺跡でも共通して使われるもの）　「大」（232）

Ｄ（文字とは認められない記号状のもの）　「＋」又は「×」（図77－11、235・242・245・267・271）、「Ｔ」又は「丁」（図77－12・233）、「二」又は「‖」（268・275）、「井」（231）、「卅」（269）、花弁状（241）、「∴」（240・273）、「⊙」（243）、「＃」又は「井」（270）、「イ」（238）

Ｅ（文字とは認められない記号状のもので、花押、略押状のもの）　「の」（図78－25・27）、「⊖」（234・237・244・266・272・274）、略押状（239）、花押状（236・263）

（５）窯道具、陶丸（図87）

窯道具の蓋１点（276）が出土した。外面全体に自然釉がかかり、明和１号窯式頃に属する。陶丸は２点（277・278）出土した。順に質量10.2ｇ、11.6ｇを測る。東濃型山茶碗類に伴うと考えられる。

（６）片口鉢（図88）

尾張型が主体を占め、東濃型と美濃須衛型が少量出土した。尾張型は、第６型式（279）から第11型式（285）までほぼ連続する。東濃型（286・287）は第６～８型式、美濃須衛型（288）は第５又は６型式に伴う。

（７）常滑産陶器（図88）

時期の判別が可能な口縁部を図示した。第３型式（290）から第８型式（294）まで連続して認められる。

（８）その他の産地の陶器（図88）

美濃須衛産として、水注（289）がある。

（９）中国産陶磁器（図88）

青磁　龍泉窯系碗にはⅠ類（295）、Ｂ１類（296～298）、Ｂ２類（299）、Ｂ３類（300）、Ｃ２類（301）、Ｄ類、Ｅ類があり、同安窯系碗にはⅠ類（302）がある。このほか、同安窯系皿（303・304）、鉢（305）、盤（307）等がある。龍泉窯系碗Ｂ１類が全体の約３割を占める。

白磁　碗にはⅣ類１点（307）とＢ群１点（308）、皿にはⅦ類１点とＡ群１点（310）がある。このほか、多角坏１点（309）、四耳壺２点（311）、小坏１点、器種不明が２点がある。

褐釉陶器　312は壺である。313は当該遺物の可能性もあるが、最終的に古瀬戸に認定した。

（10）古瀬戸・大窯（図89・90）

古瀬戸　ここでは図示した製品を中心に説明する。碗には、平碗（314）、天目茶碗（315、316）灰釉天目（317）がある。皿類には、底卸目皿（318・319）、折縁小皿（320・321）、縁釉小皿（322～325）、入子（326）、折縁中皿（327）、卸皿（328～330）がある。鉢・盤には、洗（331）、折縁深皿（332～335）、直縁大皿（336・337）、小鉢（338）、卸目付大皿（340・341）、盤類（339）、柄付片口（342）、擂鉢（343～345）がある。瓶・壺・甕には、四耳壺（346・347）、耳付合子（348）、茶壺（図88－313）、梅瓶（349～353）、瓶子（354）、片口小瓶（355）、仏花瓶（356）、水注（357）、土瓶（358）、水滴（359）がある。その他の器種には、袴腰形香炉（360）、内耳鍋（361）、釜（362）、仏供（363）、筒形容器（364）がある。少量出土の段階はあるものの、古瀬戸前Ⅰ期から後Ⅳ期新段階までのほぼすべての段階に認められ、後Ⅳ期古段階が最も多い。

大窯　小片で点数は少ない。図示した製品は、天目茶碗（365）、丸皿（366）、縁釉はさみ皿（367）、擂鉢（368）である。第１段階から第４段階まで少量認められ、うち第１段階の製品が多い。

（11）近世陶磁器　（図91・92）

瀬戸美濃産陶磁器　残存状況が比較的良好な製品を中心に図示した。錆釉碗（369）、せんじ（370）、湯呑（371）、箱形湯呑（372）、小杯（373・374）、志野皿（375）、菊皿（376）、折縁鉄絵皿（377）、摺絵皿（378）、片口（379）、擂鉢（380～384）、火鉢（385）、甕（386）、灯明皿（387）、刷毛目徳利（388）、仏餉具（389）である。擂鉢には、登窯第１段階（380）、第２段階（図80－85、381～383）、第３段階（図81－97・110、384）が認められる。他の器種についても各段階の製品が出土しているが、

全般に第1段階は少量で、第3段階が多く遺存状況も良い。

常滑産陶器　すべて赤物で、甕（図79－68、390・391）、くど（図80－92）、火鉢（図79－67、図81－104）、鉢（図81－103）があり、18世紀前半から19世紀代にかけての製品が認められる。

唐津産陶器　392は鉢又は皿で、内面に印花文とハケ目による波状文・縦線が描かれる。

肥前産陶磁器　碗（393）、香炉（394）、紅皿（395）がある。

（12）産地不明の陶器（図92）

396は火鉢、397は土瓶、398は鉢で、いずれも瓦質である。産地・時期共に不明である。

（13）土製品（図93）

399・400は、土製飾り面の一部（右耳周辺）で別個体であり、「恵比寿」を表現したと考えられる。内面には布目痕があり、外面には顔料（第4章第2節参照）が付着する。自然科学分析の結果によると、顔料は少なくとも昭和時代であることから、本体が大きく遡ることは想定されない。民俗事例から、家屋の外壁に掛けて使用した（岐阜県博物館長屋幸二氏の御教示）と推測され、出土位置からSB01に帰属すると考えられる。401～403は土鈴で、うち403は体部中央に紐状の金属を水平に巻き、その上半に赤色顔料が塗彩されている。土錘（403～406）と陶錘（407・408）は、遺存状況の良い製品を図示した。409は、灯心おさえである。

（14）石器（図93）

スクレイパー1点（410）、火打石（411）2点、フレイク1点、砥石（図81－109、412・413）20点、硯1点（414）、石臼（415）4点がある。415は、15世紀前葉～中葉の柱穴（SP096）の根石に転用されていた。

（15）鍛冶関連遺物

鍛冶関連遺物には、トリベ1点（図84－195）、羽口（図77－20、図93－416）5点、鉄滓（図版23下）110点、黒色磁着微細物がある（各種の自然科学分析の結果は第4章第1節参照）。195は体部の平均的な器壁が1.1cmと厚く、外面が被熱する。口縁端部に緑色溶融物、内外面及び断面に黒色溶融物が付着する。他の器種を転用しておらず、専用容器と考えられる。

（16）金属製品（図94）

和釘（417～426）、洋釘（427・428）、小刀（429）、煙管雁首（430、431）、煙管吸口（432～435）がある。煙管は、いずれも19世紀代の所属とみられる。

（17）銭貨（図94・95）

攪乱等出土の20点を除き、30点を掲載した。すべて北宋銭であり、初鋳年の順に、至道元寶1点（図77－21）、天禧通寶1点（436）、天聖元寶1点（437）、明道元寶1点（図78－31）、皇宋通寶5点（図77－22、図78－32、438～440）、治平通寶1点（図78－33）、熙寧元寶4点（図77－23、441～443）、元豊通寶1点（444）、元祐通寶6点（図78－34・35、445～448）、紹聖元寶1点（449）、崇寧重寶当十銭1点（450）、大観通寶1点（図77－24）、宣和通寶1点（451）がある。これらのうち、崇寧重寶当十銭の出土が注目される。なお近世の銭貨には、寛永通寶4点（古寛永（452～454）・四分銭（455））と文久永寶1点（456）がある。

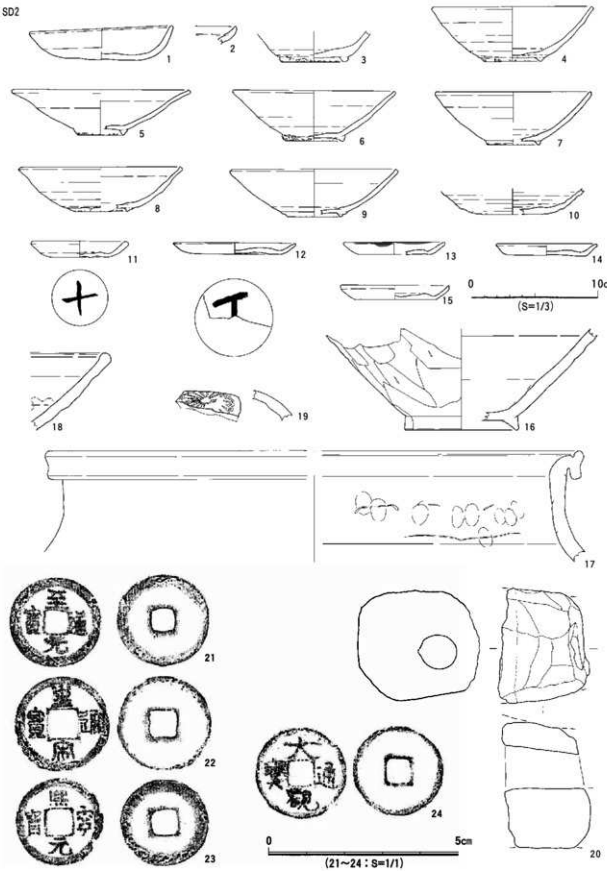

SD2
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
0
10cm
(S=1/3)
16
17
18
19
20
21
22
23
24
0
5cm
(21～24：S=1/1)

図77　遺物実測図（1）

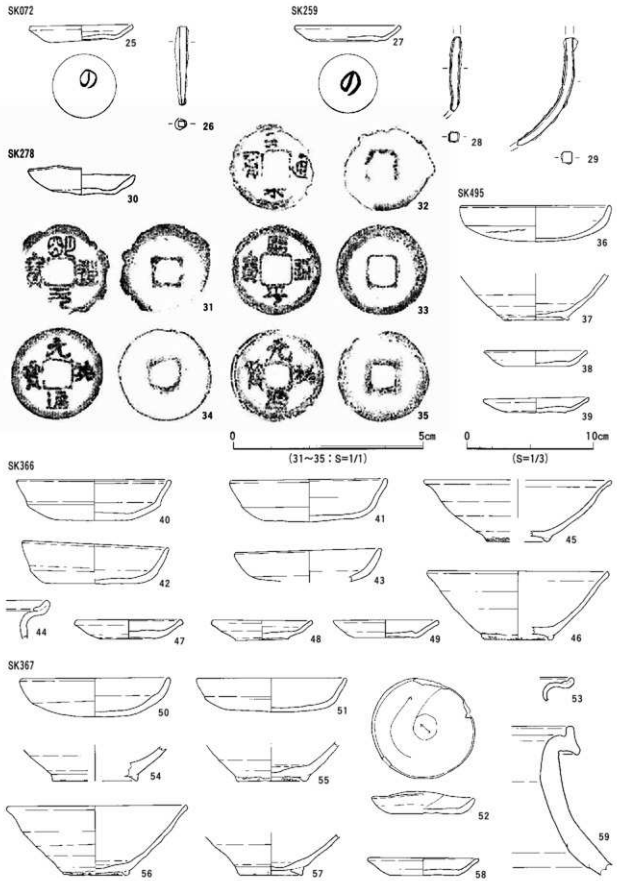

SK072
25
26
SK259
27
28
29
SK278
30
31
32
33
34
35
SK495
36
37
38
39
0
5cm
(31～35：S=1/1)
0
10cm
(S=1/3)
SK366
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
SK367
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59

図78　遺物実測図（2）

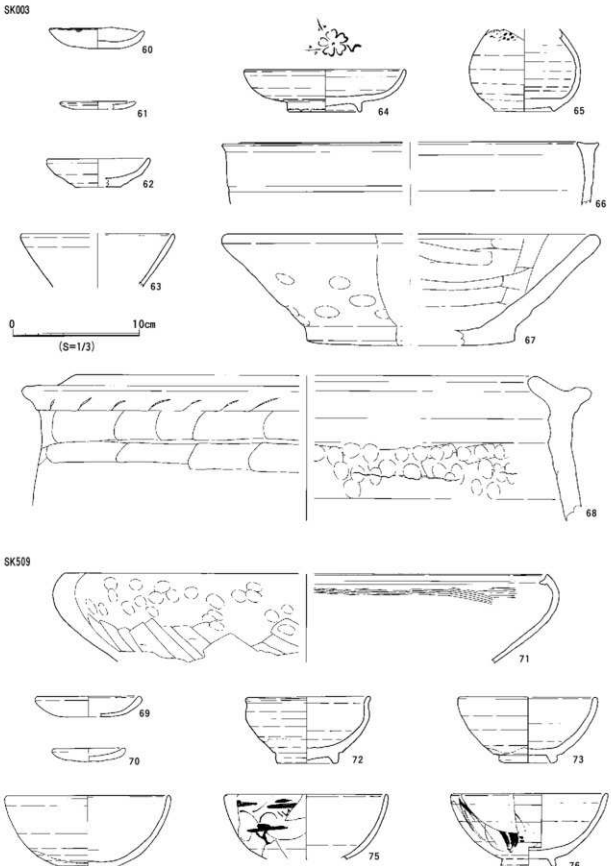

SK003
60
61
62
63
64
65
66
67
68
0
10cm
(S=1/3)
SK509
69
70
71
72
73
74
75
76

図79　遺物実測図（3）

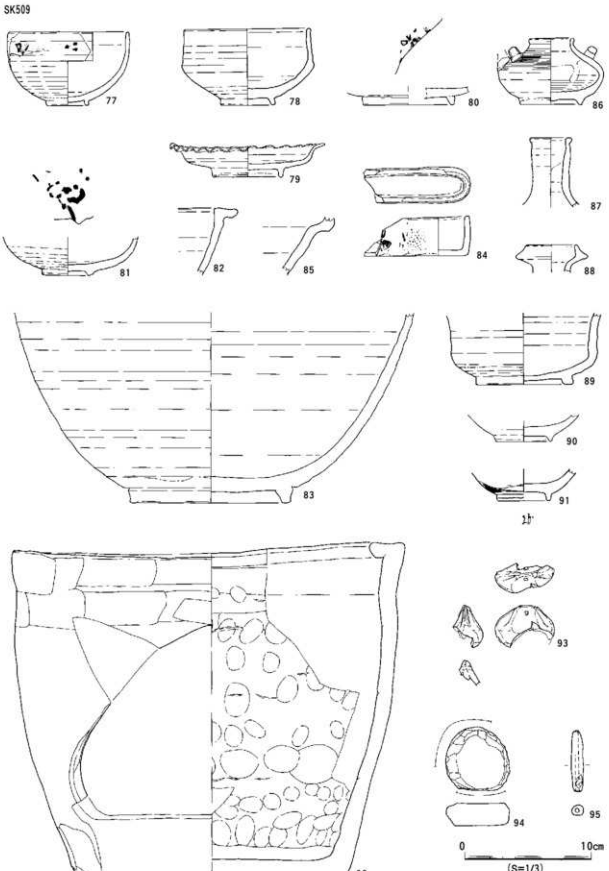
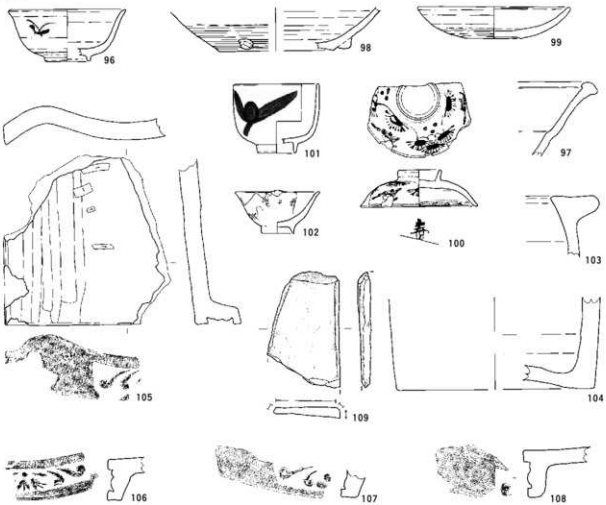

SK509
77
78
80
86
79
87
81
82
85
84
88
83
89
90
91
93
94
95
92
0
10cm
(S=1/3)

図80　遺物実測図（4）



SK093、SK105

SK093：110、111、114~116、118、120、123、125、126、128~131
SK105：112、113、117、127、132
SK33・SK105接合：119、121
SK93・SK105接合：122、124

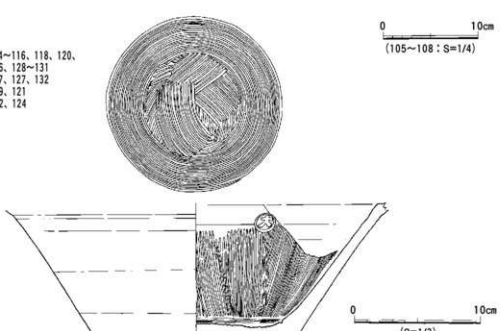


図81　遺物実測図（5）

SK093、SK105

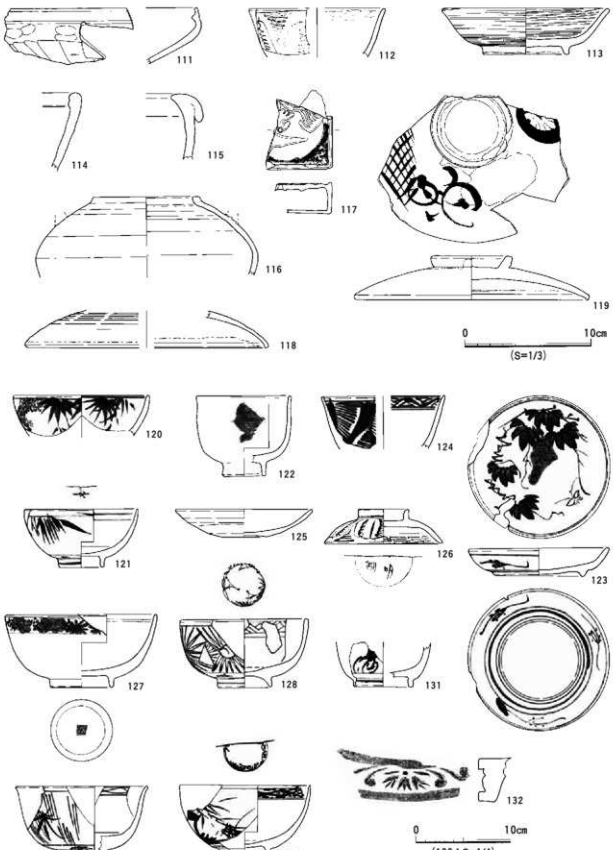


図82　遺物実測図（6）

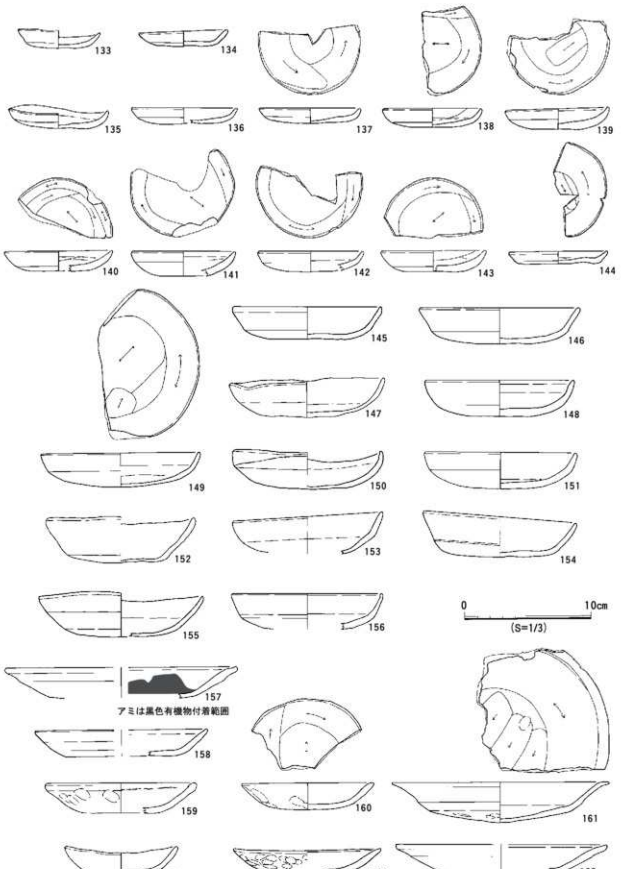

133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
0
10cm
(S=1/3)
157
アミは黒色有機物付着範囲
158
159
160
161
164
163
162

図83　遺物実測図（7）

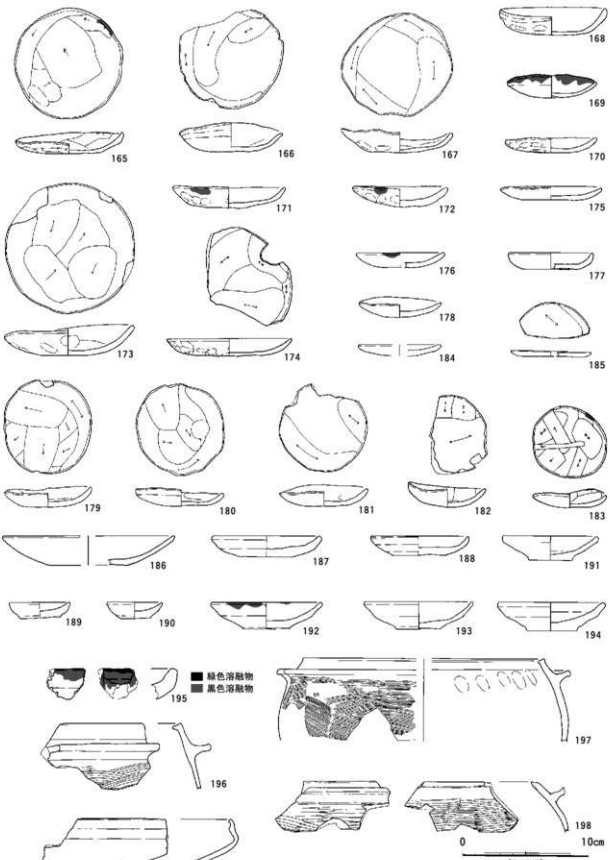

165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
■ 緑色溶融物
■ 黒色溶融物
0
10cm
(S=1/3)

図84　遺物実測図（8）

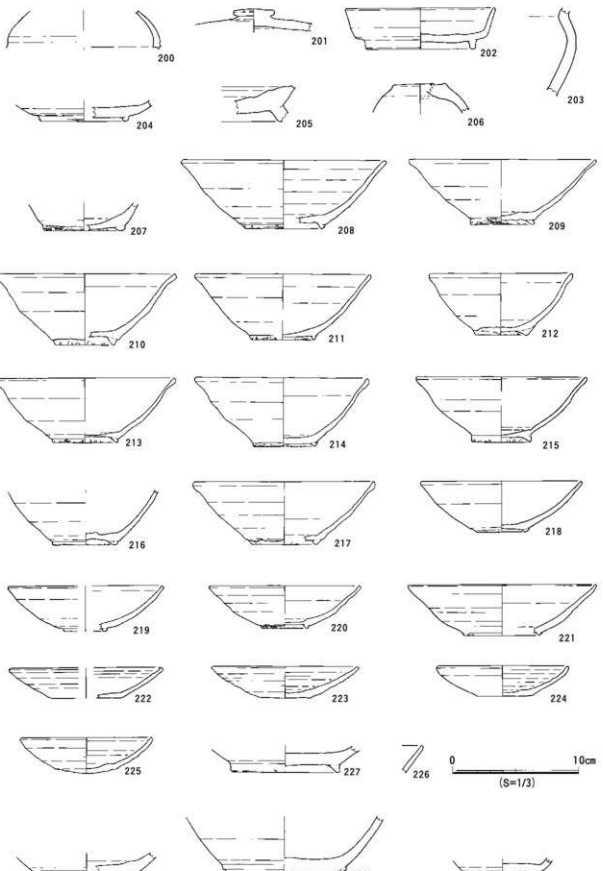

200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
0
10cm
(S=1/3)

図85　遺物実測図（9）

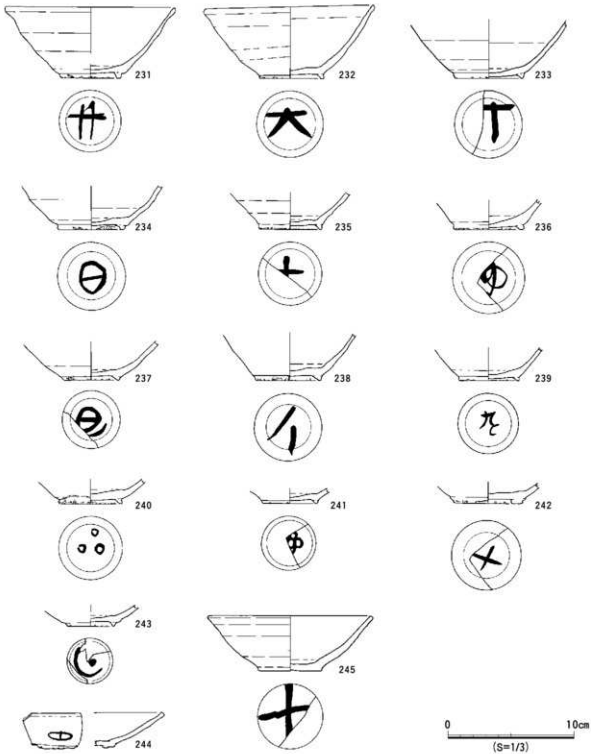

231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
0
10cm
(S=1/3)

図86　遺物実測図（10）

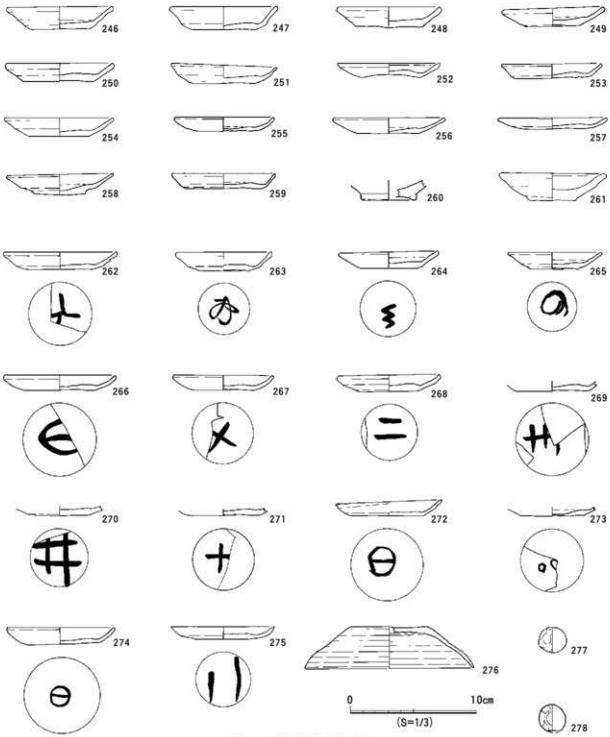

246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
0
10cm
(S=1/3)

図87　遺物実測図（11）

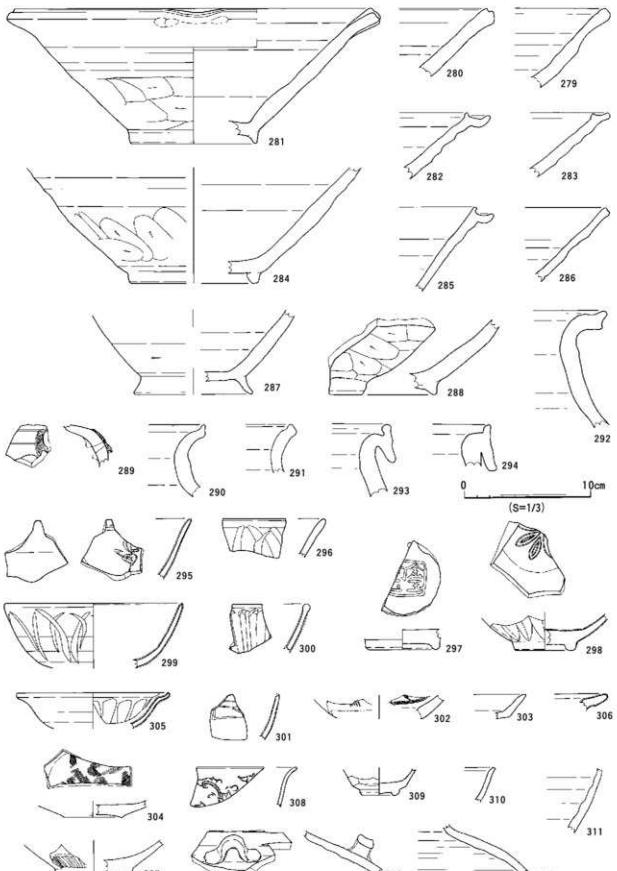

281
280
279
282
283
284
285
286
287
288
292
289
290
291
293
294
0
10cm
(S=1/3)
295
296
297
298
299
300
305
301
302
303
306
304
308
309
310
311
307
312
313

図88　遺物実測図（12）

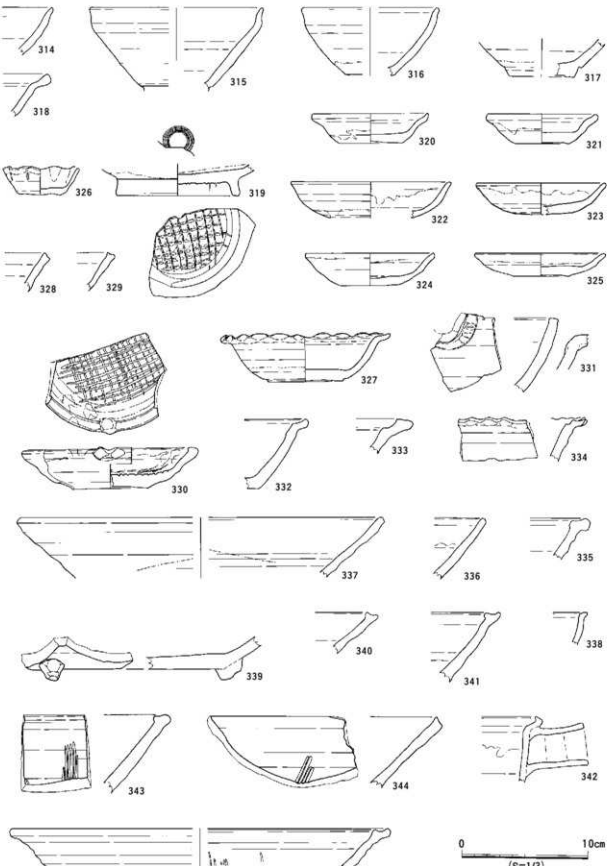

314
315
316
317
318
320
321
326
319
322
323
328
329
324
325
327
331
330
332
333
334
337
336
335
339
340
341
338
343
344
342
345
0
10cm
(S=1/3)

図89　遺物実測図（13）

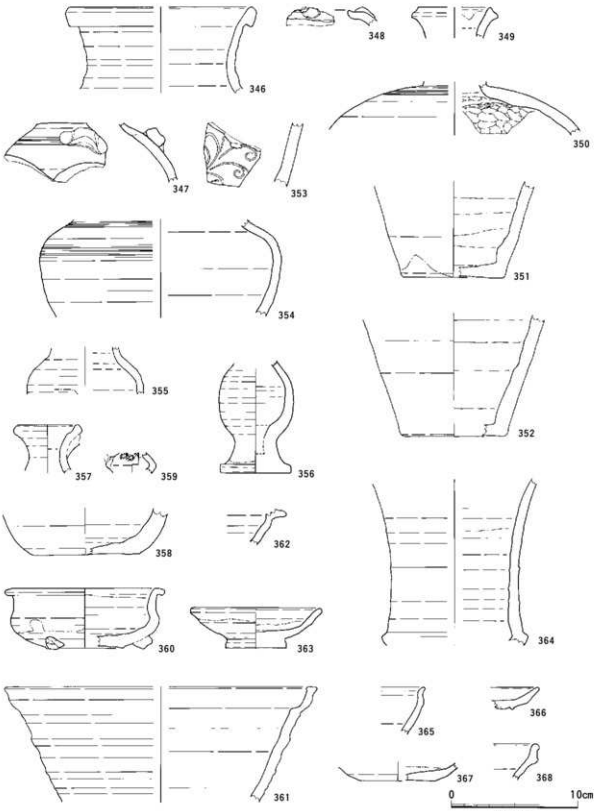

346
348
349
350
347
353
351
354
352
355
357
359
356
358
362
360
363
364
361
365
366
367
368
0
10cm
(S=1/3)

図90　遺物実測図（14）

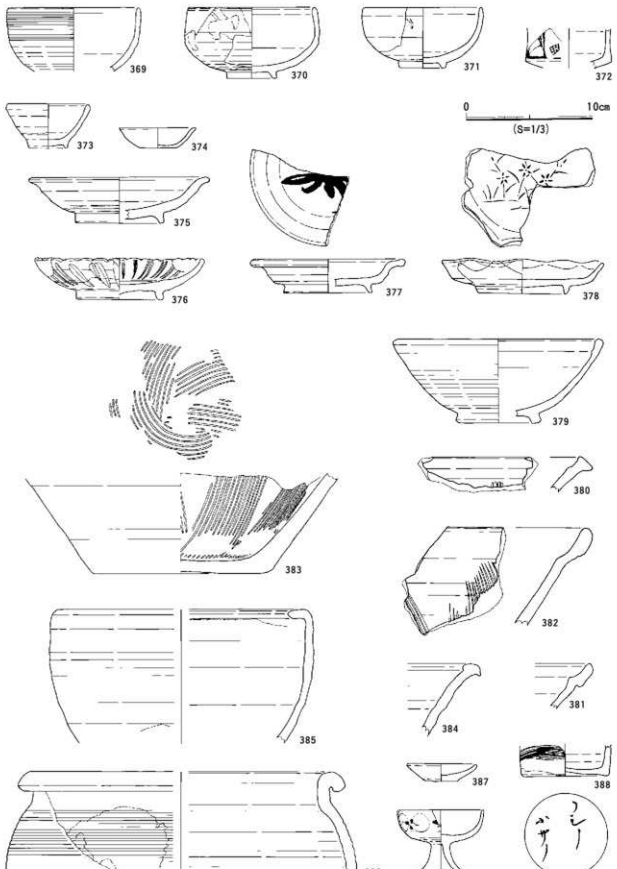

369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
0
10cm
(S=1/3)
379
380
383
382
385
384
381
387
388
386
389

図91　遺物実測図（15）

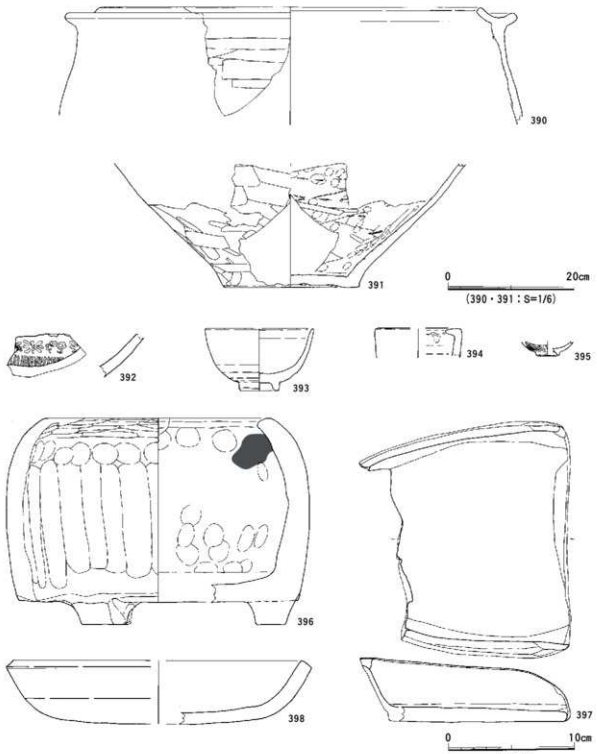


図92　遺物実測図（16）

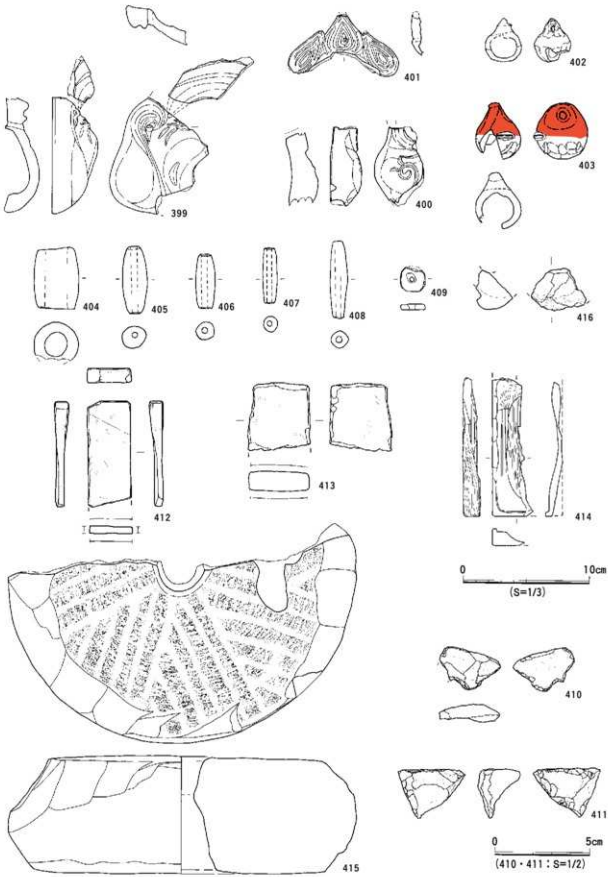

399
401
400
402
403
404
405
406
407
408
409
416
412
413
414
0　10cm
(S=1/3)
410
411
415
0　5cm
(410・411：S=1/2)

図93　遺物実測図（17）

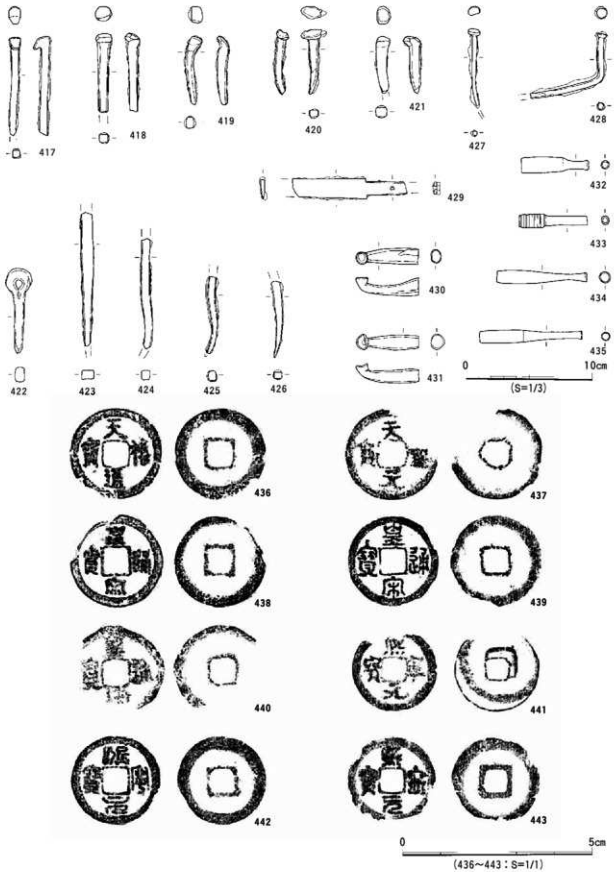

417
418
419
420
421
427
428
429
432
433
430
434
435
422
423
424
425
426
431
0
10cm
(S=1/3)
436
437
438
439
440
441
442
443
0
5cm
(436~443：S=1/1)

図94　遺物実測図（18）

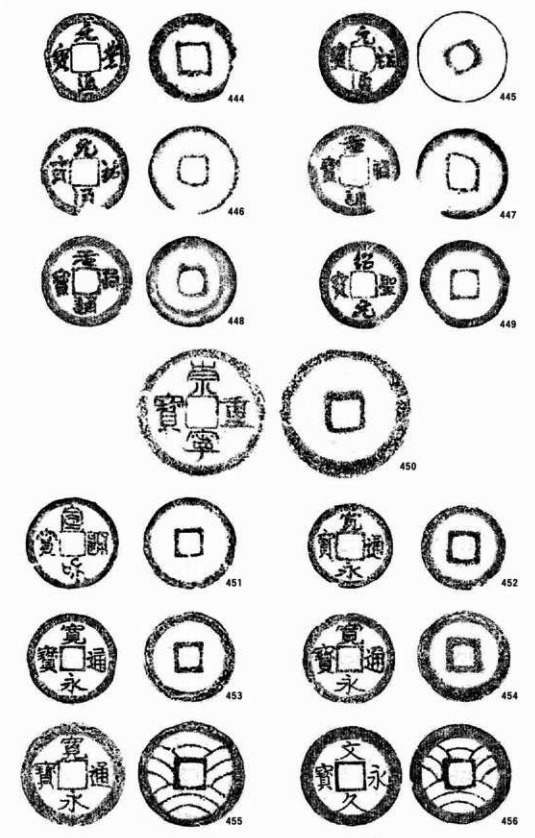

444
445
446
447
448
449
崇寧重寶
450
451
452
453
454
455
456
0
5cm
(S=1/1)

図95　遺物実測図（19）

表8 遺構観察表（1）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	堆土	平面形	種別	上端規模(m) 長軸	上端規模(m) 短軸	下端規模(m) 長軸	下端規模(m) 短軸	標高(m) 上端	標高(m) 下端	重複関係 >(切る)	重複関係 <(切られる)
SD 1	63	BD1・2, BE1・2	D	—	—	3.46	0.44	3.20	0.31	31.12	30.62	SK436・449・453	SE1, SK254
SD 2	310 510 520	AH19・20, AI18・19, AJ18	D D A	—	—	(1.03) (9.94) (0.69)	0.86 1.88 0.40	0.57 (9.78) (0.60)	0.18 0.34 0.21	30.79 30.7 30.50	30.38 30.3 30.41	SK196, SP051・073 SK440, SP165・166・168・169・170・174 SK133・198・289・291・309・333	SK274・322, SP105・114・160 SK057・058・092・093・106・132・134・136・139・143・144・146・157・158・186・199・201・214・222・229・281・317・326・327・338, SP028・029・043・045・056・059・070・076・080・097・125・131・133・134・158
SD 3	556	AI20	B3	II	a	(1.29)	0.76	(0.83)	0.27	30.62	30.14		SK091・247・295・326・348
SD 4	3020	CK8・9, CL8・9	R2	—	—	(1.94)	1.94	0.94	0.94	30.25	29.83	SK572	
SE 1	42	BE2	B1	III	—	1.26	(0.78)	1.00	(0.49)	31.10	30.68	SD1, SK009・067・308	
SE 2	64	AG・AH20	B1	V	—	1.89	(1.52)	1.19	0.70	31.12	30.42	SK182・247・295	
SE 3	141	AI20	B1	II	—	2.12	1.84	1.30	1.19	31.14	30.40	SK356・359・SP125	SK057・090, SP031
SK 001	2	BD2	R2	II	a	0.54	0.41	0.32	0.21	31.31	31.13	SK015・016・412, SP204	
SK 002	3	BC3	A	VI	a	(0.77)	(0.46)	0.64	(0.46)	31.32	31.25	SK372・407・413・416, SP207・209	
SK 003	4	BB・BC3	B1	II	b, c1	1.98	(0.90)	(1.24)	(0.51)	31.18	30.58	SK391・394・399・409, SP203	
SK 004	5	BE1	R2	II	a	1.27	0.97	0.43	0.33	31.01	30.72	SK020・025・026・027・049・061・069・070・166, SP002・062	
SK 005	6	BD1	B1	I	a	0.36	0.31	0.24	0.21	31.14	31.01	SP223	
SK 006	9	BD・BE1	R2	III	a	1.06	0.99	0.52	0.45	30.91	30.30	SK018・023・069・112, SP014	
SK 007	11	BD2	B1	V	a	0.47	0.42	0.30	0.22	31.05	30.85	SK008・232・233・234・434, SX1	
SK 008	12	BD2	R2	II	a	(0.40)	0.22	(0.38)	0.18	31.06	30.98	SK232・233・234, SX1	SK007
SK 009	13	BE2	D	V	a	(1.16)	1.02	0.40	(0.36)	31.09	30.30	SK253・308, SP110	SE1
SK 010	14	AE20	D	II	c1	1.71	1.30	0.52	0.40	31.03	30.66	SK017・039・043・113・127・180・255・437・439, SP216	
SK 011	15	BE・BF1	R2	IV	a	2.05	(1.26)	1.44	(0.96)	31.03	30.69	SK034・045・046・072・250・259・260, SP048・179・221	SP009・015
SK 012	17	BD2	B1	II	a	(0.83)	0.58	(0.42)	0.30	31.20	30.85	SK030・064, SP183	SP012
SK 013	18	BE1・2	B1	II	a	0.31	0.28	0.14	0.11	30.59	30.34	SP110	
SK 014	19	BE1	R2	VI	a	(1.04)	0.99	(0.54)	(0.25)	30.97	30.44	SK025・071・073・111, SP004・016・020	SK020
SK 015	20	BD2・3	B1	VI	a	(1.08)	(0.58)	(0.62)	0.20	31.29	30.81	SK376・402・408・411・412	SK001
SK 016	21	BD2	B3	II	a	0.41	0.33	0.21	0.17	31.28	31.11	SK412・397, SP204	SK001
SK 017	23	AE20, BE・BF1	B1	II	c3	(2.76)	1.56	(2.40)	1.30	30.90	30.50	SK062・113・180・255・256・307, SP040	SK010・043・060
SK 018	31	BD・BE1	A	II	a	0.42	0.36	(0.32)	0.20	30.79	30.66	SK453, SP014	SK006
SK 019	36	BD2	R2	II	b, c1	(1.29)	1.09	(0.86)	0.56	31.00	30.46	SK064・252・234・434	
SK 020	38	BE1	R2	II	a	(2.00)	(1.50)	0.63	0.51	31.00	29.80	SK014・025・026・049・070・071・073, SP004・020・039・046・062	SK004, SP008
SK 021	39	BD・BE1, AE20	B1	IV	a	2.90	(1.24)	2.30	(0.90)	31.01	30.59	SK061・068・069・070・071・075・112, SP021・035・038・180・222	SK023・025・044, SP005
SK 022	41	BE1	R2	II	a	1.83	1.05	0.05	0.39	31.02	30.46	SK024・049・067・078・108・253・308	SK026・027, SP002・003・008
SK 023	44	BD1	R2	II	a	2.28	2.20	1.58	1.66	31.09	30.52	SK021・048・050・054・055・068・112・120・170・195・235・454, SP022・181・222・228, SX1	SK006
SK 024	45	BE1・2	R2	III	a	1.18	1.04	1.02	0.84	31.08	30.86	SK067・078・109・110・253・308・325・324・449	SK022, SP003
SK 025	46	AE20, BE1	B1	VI	a	(2.18)	(1.54)	(1.80)	(1.36)	31.00	30.70	SK021・044・061・070・071・166, SP019	SK004・014・020, SP005・016
SK 026	47	BE1	R2	VI	a	(0.72)	(0.67)	(0.72)	(0.53)	31.02	30.80	SK022・049・108	SK004・020, SP002・008
SK 027	49	BE1	B3	I	a	0.96	0.80	0.65	0.44	30.98	30.48	SK022・049・069	SK004, SP002
SK 028	51	AF20, AG20	R2	II	a	2.40	2.16	2.02	1.72	31.86	30.66	SK032・041・047・080・100・169・239・240・361・362・419・420・421・425・432, SP211・215	
SK 029	53	AG19・20	R2	II	a	(2.12)	1.38	(1.52)	0.76	30.83	30.38	SK086・097・100・140・168・183・184・185・425	
SK 030	54	BD2	D	VI	a	(1.40)	(1.06)	0.20	0.20	31.20	30.26	SK064, SP183	SK012, SP012
SK 031	57	AF20	B3	VI	b	1.06	(0.69)	0.65	(0.45)	30.87	30.49	SK116・433・444	

表9　遺構観察表（2）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SK 032	58	AF20, AG19・20	B2	V	a	(2.46)	2.42	1.36	1.06	30.83	30.43	SK041・059・086・100・169・140・239・361・362・363・426・432・433・441・444, SP017・211	SK028
SK 033	59	AG20	B2	II	b, c1	2.26	1.84	0.80	0.73	30.84	30.39	SK080・084・105・182・183・184・241・425・438	
SK 034	60	BE・BF1	B1	II	a	1.81	1.22	0.79	0.62	31.06	30.56	SK046・062・077・260, SP179・221・227	SK011・045, SP009
SK 035	61	AF20, BF1	B1	VI	a	(1.10)	(0.74)	(0.95)	(0.60)	30.87	30.68	SK036・116・442	SP010
SK 036	62	BF1	B3	II	a	0.42	0.37	0.16	0.14	30.68	30.25	SK167	SK035, SP010
SK 037	65	AF20	B3	II	a	(1.43)	0.93	1.14	0.72	30.84	30.64	SK059・066・116・177・430・432・444, SP230	
SK 038	66	AG20, BG1	B1	VI	a	2.03	0.60	1.10	0.22	31.10	30.48	SK047・083・249・456	
SK 039	67	AE20	B3	II	a	0.78	0.64	0.51	0.40	30.87	30.56	SK043・113・180・437, SP216	SK010
SK 040	68	BF1	D	II	a	0.68	0.35	0.13	0.13	30.83	30.47	SK116・119・366・448	SP011
SK 041	69	AF・AG20	B3	II	a	2.52	1.38	2.00	0.94	30.81	30.61	SK047・059・065・080・116・360・419・421・432, SP187・215	SK028・032
SK 042	70	AG19	D	V	a	0.87	0.48	0.26	0.25	30.83	30.54	SK087・089・096・098・104・153・165・245, SP055・069	
SK 043	71	AE20	B2	VI	a	(1.32)	1.50	(0.90)	0.80	31.03	30.48	SK017・044・113・180・255・437	SK010・039, SP006
SK 044	72	AE20・BE1	B2	VI	a	(2.07)	(0.74)	1.54	(0.67)	30.93	30.50	SK021	SK025・043, SP006・016・019・034
SK 045	73	BE1	B3	II	b, c2	2.10	1.78	1.12	(0.97)	30.88	30.19	SK034・072・079・258・259	SK011, SP008・009・036・037
SK 046	75	BF1	B1	II	a	2.22	(0.82)	2.05	(0.71)	31.04	30.48	SK077・260, SP179・221	SK011・034, SP015
SK 047	76	AG・AF20, BG1	B3	II	a	(2.22)	2.15	1.89	1.50	30.52	30.50	SK065・083・116・236・237・249・360・366・421・427・456, SP215	SK028・038・041
SK 048	77	BD1	B3	I	a	0.60	0.60	0.30	0.28	30.57	30.12	SP022	SK023・055
SK 049	79	BE1	B2	II	c3	1.73	0.92	1.01	0.47	31.11	30.38	SK108, SP046	SK004・020・022・026・027, SP008
SK 050	80	BD1	B3	II	a	0.40	0.34	0.23	0.15	30.59	30.34		SK023
SK 051	81	BF1	B3	I	a	0.50	(0.44)	(0.25)	0.23	30.83	30.64	SK116・364, SP185・217	SP010
SK 052	82	BF1	B3	II	a	(0.76)	0.66	(0.56)	0.37	30.82	30.68	SK076・116・175・431, SP185・217	
SK 053	85	AE・AF20	B3	II	a	(1.06)	0.93	0.52	0.35	30.82	30.07	SK113・114・178・180, SP063	SP040
SK 054	86	BD1	B3	II	a	0.64	0.25	0.16	0.11	30.69	30.52	SK454	SK023
SK 055	87	BD1	B3	I	a	0.37	0.33	0.18	0.18	30.57	30.11	SK048, SP022	SK023
SK 056	101	AH19	B2	II	b	1.64	1.38	0.78	0.59	31.12	30.03	SK099・106・132・135・138・221・230・283・284, SP042・054・126・171	
SK 057	103	AH19・20	B2	I	b	1.48	1.34	0.47	0.32	31.11	30.48	SD2, SE3, SK143・317・338・356・359, SP125	
SK 058	104	AH・AI19	B1	I	b	1.59	1.46	0.93	0.72	31.16	30.46	SD2, SK092・164・200・202・268・269・356, SP041・043・059	
SK 059	107	AF20	B3	II	a	(1.08)	0.84	(0.67)	0.38	30.81	30.53	SK116・363・432・441・444	SK032・037・041
SK 060	108	AE20・BE1	B2	II	a	0.99	0.62	0.46	0.28	30.88	30.09	SK017, SP040	
SK 061	111	BD・BE1	B1	VI	a	(1.01)	(0.80)	(1.01)	0.65	30.98	30.78	SK069・070・075・166, SP180	SK004・021・025
SK 062	116	BE・BF1	D	II	a	2.01	(1.24)	1.35	(0.97)	30.88	30.50	SK130・306・307・129, SP227	SK017・034, SP009・040
SK 063	117	BD2	B3	I	a	0.42	0.37	0.28	0.22	30.76	30.56	SK064, SP183	
SK 064	118	BD2	B3	VI	b	2.04	(1.82)	1.82	(1.54)	30.90	30.36	SK434・435, SP183	SK012・019・030・063
SK 065	119	AF・AG20	B3	II	a	(1.52)	1.06	0.93	0.62	30.79	30.38	SK116・366・367, SP232	SK041・047
SK 066	120	AF20	B3	II	a	1.45	0.89	1.10	0.59	30.80	30.55	SK115・116・367・430・444, SP047	SK037, SP013
SK 067	121	BE1・2	B2	II	a	(1.86)	1.35	1.21	0.64	31.07	30.68	SK078・109・110・253・308・324・325・436・449	SE1, SK022・024, SP003
SK 068	122	BD1	B3	II	a	0.96	(0.77)	0.70	0.55	30.96	30.57	SP222	SK021・023
SK 069	123	BD・BE1	A	II	a	(1.46)	1.12	1.05	0.66	30.72	30.40	SK166, SP180	SK004・006・021・027・061・070・075・112
SK 070	124	BE1	B3	II	a	(0.98)	1.09	0.64	(0.40)	30.79	30.36	SK069・166, SP062	SK004・020・021・025・061・071
SK 071	125	BE1	B1	II	a	(0.91)	0.61	(0.70)	0.37	30.71	30.50	SK070, SP062	SK014・020・021・025・111, SP016・020・038
SK 072	126	BE1	B3	II	b	(1.52)	1.11	(0.91)	0.42	30.83	30.22	SK250・258・259・260	SK011・045, SP048
SK 073	128	BE1	B2	II	a	(0.51)	0.41	0.16	0.16	30.62	29.91		SK014・020, SP039
SK 074	130	BD1	B2	II	a	(1.00)	0.66	(0.56)	0.42	31.01	30.64	SP222	
SK 075	131	BD1	B3	II	a	0.84	0.54	0.66	0.32	30.78	30.61	SK069・112, SP180	SK021・061
SK 076	132	BF1	B2	II	a	(0.50)	0.42	0.34	0.25	30.81	30.66	SK116・119・175・431, SP231・233	SK052
SK 077	133	BF1	B2	II	b	0.95	(0.80)	0.59	0.50	30.64	30.10	SK129	SK034・046

表10 遺構観察表（3）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模(m) 長軸	上端規模(m) 短軸	下端規模(m) 長軸	下端規模(m) 短軸	標高(m) 上端	標高(m) 下端	重複関係 >(切る)	重複関係 <(切られる)
SK 078	134	BE1・2	B1	II	a	(0.86)	0.67	(0.67)	0.38	30.78	30.55	SK308・324	SK022・024・067・109・110, SP003
SK 079	135	BE1	D	I	a	0.56	0.48	0.43	0.37	30.60	29.84		SK045, SP009
SK 080	136	AG20	B2	V	a	(2.42)	1.61	(2.28)	0.98	30.84	30.52	SK084・239・240・360・361・419・420・421・425・438, SP215	SK028・033・041
SK 081	137	AG19	B2	IV	a	(1.57)	0.76	(1.28)	0.63	30.80	30.38	SK087・096・098	
SK 082	138	AG・AH19, AG・AH20	B3	II	a	1.48	1.02	0.72	0.54	30.82	30.41	SK104・135・147・148・149・155・165・246・294, SP109・176	SP027
SK 083	139	AG20	B2	II	a	(1.40)	(1.55)	(1.19)	0.90	30.84	30.50	SK360, SP215	SK038・047・084
SK 084	140	AG20	B2	II	a	(1.49)	(1.79)	(1.35)	(0.57)	30.85	30.63	SK083	SK033・080
SK 085	142	AG・AH19	B3	II	a	(2.11)	0.85	1.82	0.67	30.80	30.50	SK107・135・148・153・159・165	SK089, SP023・044
SK 086	143	AF19・20, AG19・20	D	VI	a	1.86	(0.31)	0.46	(0.16)	30.99	30.21	SK100・140・426	SK029・032
SK 087	144	AG19	B3	II	c3	1.10	0.64	0.60	0.42	30.81	30.56	SK089・096・098・104, SP069	SK042・081
SK 088	145	AG・AH20	B1	II	c2	(1.37)	1.18	(0.97)	0.69	30.83	30.60	SK146・243・294・305・326	SK091・105
SK 089	146	AG19	B3	II	a	(1.50)	1.48	0.78	(0.72)	30.80	30.49	SK085・096・153, SP044・055	SK042・087, SP023
SK 090	147	AH20	B1	II	a	0.34	0.28	0.18	0.18	30.82	30.62	SE3	
SK 091	149	AH20	B2	II	b	(1.35)	1.39	(1.00)	0.85	30.90	30.45	SD3, SK088・146・247・295・326・348	SP031
SK 092	151	AH・AI19	B1	II	a	1.99	1.27	1.02	0.84	30.83	30.53	SD2, SK164・199・210・211・422, SP059・080・167・168・170	SK058・093
SK 093	152	AI19	D	II	a	1.55	(0.93)	0.54	0.34	30.84	30.51	SD2, SK092・157・210, SP167・168・169	SP029
SK 094	153	AI19	B3	IV	a	(1.86)	1.70	(1.53)	1.36	31.10	30.68	SK142・154・161・164・187・210・278・266・301・318・323・443, SP083・213	SP033・041
SK 095	154	AH19	B1	II	a	2.05	(1.36)	1.47	(1.00)	30.77	30.42	SK101・102・131・138, SP052・053・054・060	SP024
SK 096	155	AG19	B3	II	c3	1.22	(0.95)	0.86	(0.69)	30.78	30.28	SK098・153, SP055	SK042・081・087・089, SP023
SK 097	156	AG19	B2	II	a	(0.46)	0.43	(0.39)	0.24	30.69	30.34	SK185	SK029
SK 098	158	AG19	B1	VI	a	(1.56)	(1.27)	(1.10)	1.08	30.77	30.42	SK104・153・185・242・244, SP069	SK042・081・087・096
SK 099	159	AH19	B2	VI	a	1.12	(0.94)	(0.57)	0.56	30.76	30.76	SK159・284・335・336, SP054・126・129	SK056・138, SP024
SK 100	162	AG19・20	B2	VI	a	(1.13)	(1.06)	(0.42)	0.42	30.82	30.38	SK140・168・361・425, SP061	SK028・029・032・086
SK 101	163	AH19	B3	II	a	0.40	0.34	0.26	0.23	30.46	30.35	SK102・131	SK095
SK 102	164	AH19	D	II	a	0.87	(0.55)	0.36	(0.33)	30.62	30.13	SP054	SK095・101, SP024
SK 103	165	AI18	B3	II	a	(1.10)	1.06	(0.98)	0.80	30.84	30.71	SK160・190・358・428, SP074・075・082	SP025
SK 104	166	AG19	B1	II	a	0.95	0.86	0.54	0.41	30.78	30.38	SK149・153・165・244・246, SP069	SK042・082・087・098
SK 105	168	AG20	B2	II	a	1.21	(1.15)	0.60	0.53	30.66	30.46	SK088・243・294	SK033
SK 106	169	AH19	B3	I	a	1.28	1.13	1.14	0.99	30.80	30.63	SD2, SK135・281・282・317, SP098・174	SK056・132
SK 107	170	AH19	B2	II	a	0.77	0.61	0.62	0.38	30.77	30.50	SK135	SK085, SP042
SK 108	171	BE1	B3	II	a	0.53	0.42	0.31	0.26	30.66	30.19		SK022・026・049, SP008
SK 109	172	BE1・2	B2	I	a	0.44	0.43	0.27	0.22	30.70	30.19	SK078・308・324	SK024・067
SK 110	173	BE1・2	B2	II	a	0.75	0.44	0.43	0.30	30.79	30.22	SK078・449	SK024・067, SP003
SK 111	174	BE1	B2	II	a	0.58	0.51	0.27	0.25	30.65	29.98	SK071	SK014, SP016・020
SK 112	175	BD1	A	VI	a	(0.67)	(0.56)	(0.56)	(0.39)	30.62	30.45	SK069	SK006・021・023・075
SK 113	177	AE・AF20	A	VI	a	(2.59)	(1.32)	(2.34)	(1.08)	30.83	30.56	SK116・118・127・172・173・178・180・256・437・439, SP100・216・229	SK010・017・039・043・053, SP040
SK 114	179	AF20	A	II	a	0.37	0.30	0.20	0.16	30.36	30.14		SK053
SK 115	182	AF20	D	II	a	(0.83)	(0.79)	(0.62)	(0.28)	30.82	30.44	SK116・126・430, SP214	SK066・117, SP013・047
SK 116	183	AF20, BF1	A	VI	a	(3.68)	5.03	(3.68)	4.92	30.82	30.64	SK119・121・175・176・177・366・426・427・433・448・456, SP049・185・186・210・226・231・233	SK031・035・037・040・041・047・051・052・059・065・066・076・113・115・117, SP007・010・011・013・047
SK 117	185	AF20	B1	II	a	0.58	0.37	0.27	0.18	30.83	30.23	SK115・116・430・442, SP214	SP013
SK 118	186	AF20	B1	II	a	0.31	0.27	0.19	0.18	30.65	30.19		SK113
SK 119	188	BF1	B2	II	a	1.28	0.60	0.85	0.23	30.71	30.48	SK175・176・448, SP185・233・226	SK040・076・116
SK 120	190	BD1	D	II	a	1.89	1.10	0.15	0.13	30.80	30.35	SK170, SK171, SK233, SK238	SK023, SX1
SK 121	191	AF20	A	II	a	0.47	0.34	0.36	0.28	30.67	30.31		SK116
SK 122	192	AF20	B2	I	a	0.60	0.58	0.30	0.28	30.72	30.18	SK442, SP214	
SK 123	193	AF20	A	I	a	0.26	0.25	0.12	0.11	30.75	30.54	SK442・451, SP214	

表11　遺構観察表（4）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模(m) 長軸	上端規模(m) 短軸	下端規模(m) 長軸	下端規模(m) 短軸	標高(m) 上端	標高(m) 下端	重複関係 >(切る)	重複関係 <(切られる)
SK 124	194	AF20	A	I	a	0.24	0.10	0.24	0.07	30.75	30.55	SK442・450	
SK 125	195	AF20	B2	I	a	0.42	0.40	0.23	0.20	30.74	30.22	SK177, SP210	SP007
SK 126	196	AF20	B2	I	a	0.46	0.38	0.26	0.23	30.74	30.39	SK430・442, SP210	SK115, SP047
SK 127	197	AF・AE20	B3	II	a	2.22	(1.12)	0.50	0.42	30.80	30.37	SK172・173・177・178・437・439, SP100・210・216・229	SK010・113, SP007
SK 128	198	AF20	B2	I	a	0.40	0.24	0.40	0.23	30.81	30.46	SK177・248・444, SP234	
SK 129	199	BF1	A	II	a	(0.60)	0.42	(0.68)	0.28	30.51	30.17		SK062・077・130
SK 130	200	BF1	A	I	a	0.62	0.60	0.40	0.36	30.52	30.24	SK129	SK062
SK 131	205	AH19	A	II	a	0.35	0.26	0.17	0.14	30.69	30.32		SK095・101
SK 132	206	AH19	A	II	a	1.83	1.29	1.64	1.15	30.80	30.68	SD2, SK106・134・230・280・281・283・327, , SP085・133・134・172・174	SK056, SP028・045
SK 133	207	AI18・19	D	II	a	1.32	1.28	1.00	0.88	30.80	30.59	SD2, SK196・198・214・289・291・304・309・330・333・334, SP116	
SK 134	208	AH19	B3	II	a	(1.02)	0.74	(0.95)	0.57	30.78	30.63	SD2, SK163・280・327, SP056・171・172	SK132・144
SK 135	209	AH19	B3	II	a	(1.70)	(1.68)	(1.50)	1.37	30.81	30.65	SK147・148・155・165・221・282・317, SP098・125・175	SK056・082・085・106・107, SP027・042
SK 136	210	AI18・19	D	II	a	(0.90)	0.86	(0.64)	0.47	30.76	30.58	SD2, SK204, SP166	SP082
SK 137	382	AJ18	B2	II	c3	0.97	0.63	0.19	0.16	30.56	29.95	SK331・347・355, SP094	
SK 138	212	AH19	B2	V	a	1.16	(0.78)	0.79	(0.64)	30.72	30.46	SK099・335, SP054・126	SK056・095, SP052
SK 139	214	AH19	B3	II	a	1.04	0.90	0.62	0.62	30.81	30.53	SD2, SK144・157・199, SP057・058・097・099	
SK 140	215	AG19・20	B2	II	c3	0.52	0.40	0.46	0.32	30.59	30.26		SK029・032・086・100・168
SK 141	217	AI19	B2	VI	a	(0.48)	0.58	(0.36)	0.28	30.82	30.66	SK186・318・440, SP070	
SK 142	218	AI19	B3	II	a	(0.53)	0.26	(0.38)	0.31	30.78	30.66	SK154, SP213	SK094
SK 143	219	AH19・20, AI20	B2	II	a	(0.78)	0.27	(0.78)	0.32	30.82	30.62	SD2, SK229・356	SK057, SP043
SK 144	220	AH19	B3	II	a	1.02	0.82	0.76	(0.60)	30.77	30.61	SD2, SK134・163, SP056・057・058・097	SK139
SK 145	222	AH19	B2	I	a	0.30	(0.19)	0.15	(0.10)	30.74	30.61	SK220	
SK 146	223	AG・AH20	D	II	a	1.17	(0.84)	0.50	0.40	30.81	30.30	SD2, SK243・295・326	SK088・091
SK 147	224	AH19・20	B3	II	a	1.02	(0.73)	0.76	(0.53)	30.82	30.53	SK155・165・294・326, SP109	SK082・135, SP027
SK 148	225	AG・AH19	B2	II	a	0.72	0.58	0.48	0.32	30.79	30.45	SK165	SK082・085・135・155
SK 149	226	AG19	B2	VI	a	(0.62)	0.94	(0.62)	0.58	30.79	30.34	SK242・246, SP176	SK082・104・165
SK 150	227	AI19	B3	I	a	0.80	0.73	0.53	0.48	30.78	30.54	SK158・418・424・440, SP112・115・137	
SK 151	228	AI19	B3	II	a	(0.66)	0.81	(0.52)	0.48	30.77	30.63	SK187・203・301・315・424, SP071	
SK 152	229	BC3	B3	II	a	0.70	0.62	0.33	0.29	31.16	30.73		
SK 153	230	AG19	E	V	a	1.07	(0.89)	0.51	(0.36)	30.80	30.31	SK165・245, SP055・069	SK042・085・089・096・098・104
SK 154	231	AI19	A	I	a	0.45	0.44	0.26	0.24	30.65	30.51	SK443	SK094・142
SK 155	232	AH19	B3	II	a	0.73	0.53	0.43	0.33	30.76	30.47	SK148・165	SK082・135・147, SP027
SK 156	233	AH・AI19	B3	II	a	0.65	0.53	0.42	0.32	30.70	30.52	SK160・222, SP099	
SK 157	235	AH・AI19	B3	II	a	1.10	0.85	0.54	0.33	30.73	30.46	SD2・SK199・222, SP099・169	SK093・139
SK 158	236	AI19	B1	II	C2	1.64	0.96	1.42	0.69	30.80	30.59	SD2, SK201・207・214・418・424・440, SP112・115・165・177	SK150, SP030
SK 159	238	AH19	B2	V	a	0.89	0.78	0.44	0.33	30.75	30.42	SK284, SP104	SK085・099
SK 160	239	AH18・19, AI18・19	B3	I	a	0.83	0.80	0.74	0.67	30.70	30.60	SK188, SP074	SK103・156, SP025
SK 161	240	AI19	E	II	a	(1.70)	(0.76)	(1.56)	(0.50)	30.88	30.56	SK187・197	SK094, SP033
SK 162	242	AH18・19	B1	II	a	0.57	0.53	0.32	0.26	30.61	30.37		SP050
SK 163	246	AH19	B2	II	a	0.46	0.40	0.17	0.16	30.73	30.40	SP056	SK134・144, SP058
SK 164	249	AI19	B3	II	a	(1.34)	0.93	(1.08)	0.68	30.84	30.52	SK210・211・268・269・278・422・443, SP083・167	SK058・092・094, SP041
SK 165	250	AG・AH19	B2	II	a	1.29	0.78	1.14	0.59	30.79	30.39	SK149・245・246	SK042・082・085・104・135・147・148・153・155, SP027
SK 166	251	BE1	B1	II	a	0.75	0.63	0.42	0.30	30.53	30.14	SP062・180	SK004・025・061・069・070
SK 167	252	BF1	B3	II	a	0.63	0.56	0.34	0.30	30.63	30.22	SK174・423	SK036, SP010
SK 168	254	AG20	B1	I	a	0.34	0.32	0.17	0.13	30.50	30.15	SK140・361・425	SK029・100
SK 169	255	AF・AG20	D	I	a	0.63	0.56	0.34	0.31	30.61	30.21	SK362	SK028・032
SK 170	256	BD1	D	II	c3	(1.54)	1.02	0.26	0.22	30.80	30.32	SK238・454, SP181	SK023・120・195, SX1
SK 171	257	BD1・2	B3	VI	a	(1.07)	0.68	(8.60)	0.31	30.70	30.39	SK233・234・251, SP225	SK120, SX1
SK 172	260	AF20	B3	II	a	0.48	0.37	0.30	0.23	30.56	30.18	SK178・437・439, SP100	SK113・127
SK 173	261	AF20	B2	II	a	0.74	0.63	0.38	0.32	30.57	30.02	SP229	SK113・127, SP007・066
SK 174	262	BF1	A	II	c3	(1.14)	(0.48)	1.01	(0.38)	30.70	30.44	SK423	SK167, SP010
SK 175	263	BF1	B2	I	a	0.50	0.46	0.27	0.15	30.73	30.44	SP185・233	SK052・076・116・119
SK 176	264	BF1	B3	II	a	0.37	0.34	0.23	0.18	30.64	30.17	SK448, SP226	SK116・119

表12　遺構観察表（５）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模(m) 長軸	上端規模(m) 短軸	下端規模(m) 長軸	下端規模(m) 短軸	標高(m) 上端	標高(m) 下端	重複関係 >(切る)	重複関係 <(切られる)
SK 177	265	AF20	A	II	a	(1.85)	1.66	(1.41)	1.14	30.78	30.52	SK248・430・439・444, SP210・229・234	SK037・116・125・127・128, SP007
SK 178	266	AE・AF20	B3	II	a	(1.52)	(0.76)	(0.72)	0.58	30.88	30.35	SK437・439, SP100	SK053・113・127・172, SP063
SK 179	267	BD・BE2	B3	II	a	1.04	(0.71)	0.54	0.35	30.98	30.65	SP184	
SK 180	268	AE20	E	II	b	(1.50)	(1.50)	(1.28)	(0.94)	30.66	30.34	SK255・256・437, SP216	SK010・017・039・043・053・113, SP040・063
SK 181	269	BD2	B1	II	a	1.07	0.68	0.44	0.35	30.82	30.57	SK434・435・455, SP064・081・220	SX1
SK 182	271	AG20	B3	II	a	1.17	(0.71)	(0.70)	0.61	30.80	30.55		SE2, SK033
SK 183	272	AG20	B2	II	a	0.55	0.44	0.24	0.24	30.58	30.44	SK184・425	SK029・033
SK 184	273	AG19・20	B3	VI	a	(0.84)	(0.82)	(0.69)	(0.62)	30.68	30.55	SK185・242	SK029・033・183
SK 185	274	AG19	B1	II	a	0.72	(0.58)	0.40	0.34	30.68	30.41		SK029・097・098・184
SK 186	275	AI19	A	I	a	1.06	0.97	0.92	0.78	30.81	30.68	SD2, SK440, SP070・165・177	SK141, SP029
SK 187	277	AI19	E	IV	a	2.36	(0.90)	2.23	(0.84)	30.98	30.61	SK266・301・315・443, SP212	SK094・151・161・197
SK 188	278	AH18	D	VI	a	(0.74)	0.72	0.38	(0.17)	30.70	30.34		SK160, SP025・050
SK 189	279	AI18	B3	II	a	(0.30)	0.30	(0.16)	0.15	30.71	30.48	SK358	SP082
SK 190	280	AI18	B1	I	a	(0.28)	0.27	(0.16)	0.18	30.64	30.51	SK358	SK103, SP075・082
SK 191	282	AJ19	B2	II	a	(0.28)	0.24	0.13	0.10	30.83	30.74	SK314, SP140	
SK 192	285	AJ・AK18	B2	I	a	0.32	0.30	0.16	0.14	30.82	30.56	SK262・339・349・350・352	
SK 193	286	AJ18	B3	II	a	0.42	0.34	0.19	0.16	30.81	30.62	SK339・350・354, SP139	
SK 194	287	AJ18	D	I	a	0.40	0.36	0.25	(0.14)	30.80	30.53	SK339・354, SP066・127・139・164	
SK 195	78	BD1	B3	II	a	0.63	0.44	0.32	0.18	30.57	30.16	SK170	SK023
SK 196	293	AI・AJ18	B3	II	a	(0.72)	0.76	(0.66)	0.58	30.80	30.65	SD2, SK198・274・291, SP073	SK133, SP051
SK 197	294	AI19	B1	II	a	(0.62)	0.53	(0.50)	0.38	30.87	30.47	SK187・301・315	SK161
SK 198	295	AI18	B3	II	a	1.15	0.72	0.88	0.48	30.80	30.47	SD2, SK209・216・218・289・291・309・328・334, SP073	SK133・196, SP051
SK 199	297	AH・AI19	B3	V	b	0.74	0.58	0.39	0.30	30.70	30.32	SD2, SP169	SK092・139・157
SK 200	298	AH19	B3	II	a	(0.46)	0.42	(0.31)	0.18	30.66	30.50	SK356	SK058, SP041
SK 201	299	AI19	B2	II	a	1.03	0.58	0.85	0.42	30.78	30.55	SD2, SK214・418・440, SP112	SK158, SP030
SK 202	300	AI19	A	II	a	0.31	0.27	0.22	0.19	30.42	30.32		SK058, SP041
SK 203	306	AI19	B1	II	a	(0.62)	0.51	0.13	0.10	30.64	30.31	SK315・424	SK151, SP071
SK 204	307	AI18	A	I	a	(0.32)	0.32	(0.22)	0.18	30.74	30.66		SK136
SK 205	308	AI18	B3	II	a	0.84	0.62	0.58	0.40	30.80	30.67	SK231・273・293・321, SP161	
SK 206	欠番												
SK 207	312	AI19	B3	II	a	0.80	(0.67)	(0.59)	0.37	30.80	30.66	SK214・289・330・418, SP115・138	SK158
SK 208	313	AJ17・18	B2	II	a	0.77	0.64	0.36	0.27	30.81	30.45	SK213・286・288・290, SP153	
SK 209	315	AI18	B3	II	a	0.52	(0.38)	0.18	(0.16)	30.79	30.60	SK216・218・328	SK198
SK 210	317	AI19	B2	I	a	1.12	1.01	0.72	0.57	30.84	30.44	SK323・422・443, SP167・168	SK092・093・094・164・211
SK 211	318	AI19	B3	II	a	0.42	0.34	0.24	0.23	30.58	30.41	SK210	SK092・164
SK 212	325	AJ18	B3	II	a	1.73	(1.06)	1.44	0.54	30.85	30.39	SK219・228・271・286・322, SP079・084・093・095・152	
SK 213	326	AJ18	B2	I	a	0.80	0.72	0.32	0.30	30.32	30.52	SK286・288・312・331, SP153・178	SK208
SK 214	323 327 332	AI18・19	D	II	a	1.77	1.58	0.61	0.34	30.79	30.40	SD2, SK218・289・304・309・316・328・330・333・418, SP076・116・131・136・138・142	SK133・158・201・207, SP030
SK 215	328	AI19	E	I	c3	0.84	(0.76)	0.56	0.56	30.75	30.49	SK277・300・418, SP106・115・137・155	SK261
SK 216	329	AI18	B3	II	c3	(1.06)	(0.80)	0.19	0.16	30.81	30.45	SK231・321・328, SP135・160・161・162	SK198・209, SP051・072
SK 217	411	AJ18	B2	VI	a	1.21	(0.90)	0.85	0.43	30.84	30.30	SK296・298・299・341, SP123・156	SK224・264・276
SK 218	333	AI18	B3	II	a	1.85	1.11	1.66	0.80	30.77	30.63	SK279・309・316・321・328・344, SP096・101・103・117・135・136・142	SK198・209・214, SP076
SK 219	334	AI・AJ18	B3	II	a	1.76	(1.26)	1.42	(0.97)	30.81	30.69	SK228・231・271・273・293・332, SP084・108・120・122, SP151・152・161	SK212, SP072
SK 220	335	AH19	A	I	a	0.34	0.34	0.23	0.19	30.72	30.65		SK145
SK 221	422	AH19	D	II	c2, c3	(0.72)	0.52	0.28	0.27	30.64	不30.32 掘30.27	SP175	SK056・135・282, SP042・098
SK 222	337	AI19	B3	II	a	(0.69)	(0.42)	(0.52)	0.28	30.69	30.60	SD2	SK156・157, SP099
SK 223	338	AI・AJ19	B1	VI	a	1.28	(0.43)	(0.61)	(0.16)	30.78	30.38	SK261・277・303・310	
SK 224	340	AJ18・19	B1	II	a	1.47	(1.40)	(0.74)	0.64	30.85	30.29	SK217・264・267・276・302, SP086・087・156	
SK 225	341	AJ18	B1	II	a	0.54	0.43	0.27	0.25	30.51	30.33		
SK 226	342	AJ18	B3	I	a	0.33	(0.32)	(0.17)	(0.13)	30.53	30.34	SP094	
SK 227	343	AJ18	D	II	a	0.42	(0.36)	(0.23)	(0.19)	30.49	30.05	SP078・149	

表13　遺構観察表（6）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	堆土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SK 228	346	AJ18	B1	II	a	(1.02)	(0.78)	(0.80)	0.63	30.84	30.63	SK271・332, SP084・093・120・132	SK212・219
SK 229	347	AH19	B3	II	a	1.06	(0.62)	0.20	0.18	30.78	30.34	SD2, SP133・134	SK143, SP043
SK 230	349	AH19	B2	II	a	0.37	0.30	0.17	0.16	30.58	30.30	SK283	SK056・132
SK 231	350	AI18	B2	II	a	(1.09)	0.72	(0.74)	0.40	30.80	30.47	SK271・273・321, SP152・161・162	SK205・216・219, SP072
SK 232	351	BD1・2	A	I	a	0.94	0.81	0.61	0.54	30.71	30.60	SK233・234・434	SK007・008, SX1
SK 233	352	BD1・2	B2	II	a	(1.28)	0.98	0.61	0.58	30.66	30.30	SK234・251・252・434	SK007・008・019・171・232, 234, SX1
SK 234	353	BD2	B3	VI	a	(1.38)	(1.24)	(0.99)	(0.60)	30.88	30.35		SK007・008・019・171・232, SX1
SK 235	354	BD1	B2	II	a	0.45	0.42	0.22	0.22	30.70	30.28	SK454, SP220	SK023, SX1
SK 236	355	AG20, BG1	B3	I	a	0.32	0.32	0.21	0.21	30.52	30.33		SK047
SK 237	356	AG20	A	II	a	0.28	0.24	0.20	0.18	30.48	30.28		SK047
SK 238	357	BD1	B2	II	a	0.87	0.54	0.54	0.34	30.84	30.16	SP181	SK120・170, SX1
SK 239	358	AG20	A	I	a	0.64	0.63	0.31	0.26	30.66	30.48	SK240・361	SK028・032・080
SK 240	359	AG20	B2	II	a	1.21	0.85	0.41	0.32	30.53	29.95	SK361・419・420, SP215	SK028・080・239
SK 241	360	AG20	B2	II	a	0.36	0.35	0.27	0.26	30.52	30.27	SK425・438	SK033
SK 242	361	AG19・20	A	II	a	(0.86)	0.80	(0.63)	0.46	30.62	30.42	SP176	SK098・149・184
SK 243	362	AG20	B3	II	a	0.75	(0.50)	0.56	0.38	30.67	30.40		SK088, 105・146
SK 244	363	AG19	A	II	a	0.29	0.27	0.15	0.11	30.38	30.18		SK098・104
SK 245	364	AG19	A	II	a	0.28	0.25	0.12	0.12	30.49	30.19		SK042・153・165
SK 246	365	AG19	B3	I	a	0.50	0.48	0.28	0.25	30.42	30.18		SK082・104・149・165
SK 247	366	AG・AH20	B2	VI	a	1.00	(0.40)	0.76	(0.18)	30.95	30.42	SD3, SK295	SE2, SK091
SK 248	367	AF20	B2	II	a	(1.62)	1.18	0.76	0.38	30.84	30.08	SK439・444, SP210・234	SK128・177, SP007
SK 249	368	AG20	B2	II	a	0.35	0.34	0.11	0.11	30.49	30.25		SK038・047
SK 250	370	BE1・2	B2	VI	a	(1.30)	1.28	0.85	(0.73)	30.96	30.29	SK257, 259, SP110	SK011・072, SP048
SK 251	371	BD2	A	I	a	1.11	0.55	0.58	0.32	30.44	30.34		SK171・234
SK 252	372	BD2	A	I	a	0.36	0.33	0.19	0.18	30.36	30.17		SK019・234
SK 253	373	BE1・2	B3	II	a	1.23	1.17	0.32	0.29	30.88	30.29	SK308・324, SP110	SK009・022・024・067, SP008
SK 254	374	BD・BE1	A	I	a	0.60	0.54	0.32	0.31	30.80	30.58	SD1, SK449・453	
SK 255	375	AE20	A	II	a	(1.20)	0.54	0.91	0.28	30.37	30.18		SK010・017・043・180
SK 256	376	AE20	B1	VI	a	0.51	(0.28)	0.35	0.17	30.34	30.06		SK017・113・180, SP040
SK 257	377	BE1・2	B3	II	a	0.59	0.50	0.39	0.28	30.49	30.08	SP110	SK250
SK 258	378	BE1	B3	II	a	0.37	0.29	0.14	0.12	30.87	30.29	SK259	SK045・072
SK 259	379	BE1	B2	IV b, c1		(1.66)	1.15	(1.14)	0.60	30.87	30.29		SK011・045・072・250・258, SP008・037
SK 260	380	BE・BF1	A	VI	a	(0.86)	(0.58)	0.10	0.10	30.68	30.40	SP221	SK011・034・046・072, SP015
SK 261	381	AI・AJ19	B3	II	a	0.85	(0.60)	(0.34)	(0.08)	30.77	30.40	SK215・277・300・314, SP106・155	SK223
SK 262	384	AJ・AK18	B1	II	a	(1.77)	(0.61)	(1.29)	(0.34)	30.84	30.58	SK263・319・342・349・350・352, SP154	SK192, SP067
SK 263	385	AK18	B2	VI	a	(0.86)	(0.80)	(0.65)	(0.58)	30.81	30.46	SK311・350, SP119・146・157	SK262, SP066・067
SK 264	386	AJ18	B1	II	a	1.38	1.04	0.94	0.69	30.83	30.52	SK217・276・296・298・299・311・339・354, SP123・127・132・156・163	SK224, SP066
SK 265	389	AI19	B2	II	a	(0.79)	0.36	(0.44)	0.20	30.79	30.65	SK266・301・318・424・440	SP070
SK 266	390	AI19	B2	I	a	(0.36)	0.36	0.15	0.13	30.79	30.62	SK301・318・424	SK094・187・265
SK 267	391	AJ19	B3	I	a	0.41	(0.38)	0.20	(0.17)	30.49	30.23	SK302	SK224・270
SK 268	395	AI19	B3	II	a	(0.48)	0.49	(0.36)	0.25	30.56	30.40		SK058・164, SP041・083
SK 269	396	AI19	B2	VI	a	0.26	(0.16)	0.16	(0.08)	30.60	30.50		SK058・164
SK 270	402	AJ19	E	VI	a	0.81	(0.42)	(0.32)	0.44	30.81	30.40	SK267, SP111	
SK 271	403	AI・AJ18	B2	II	a	1.24	0.82	0.97	0.52	30.79	30.39	SK273・322・337, SP152・160	SK212・219・228・231, SP072
SK 272	404	AI18	B2	II	a	(0.86)	0.59	0.63	0.40	30.83	30.57	SK285・287・331・351	SP068
SK 273	406	AI18	B3	II	a	1.29	(0.76)	1.00	(0.51)	30.66	30.45	SK293・321, SP152・161	SK205・219・231・271
SK 274	407	AI18	B2	II	b	(0.66)	0.76	0.25	0.25	30.72	30.36	SK291, SP105	SD2, SK196, SP073
SK 275	408	AJ18	B2	II	a	(0.34)	0.34	(0.14)	0.19	30.74	30.45	SK322	
SK 276	409	AJ18・19	B1	VI	a	(0.87)	(0.49)	(0.45)	0.45	30.85	30.40	SK217・296・311, SP156	SK224・264
SK 277	410	AI・AJ19	B3	VI	a	(1.36)	(0.80)	(0.44)	0.34	30.76	30.42	SK289・303・310・418, SP106・115	SK215・223・261
SK 278	330	AI19	B2	VI	a	0.46	(0.45)	0.23	0.16	30.76	30.55	SP083・213	SK094・164, SP041
SK 279	414	AI18	B3	II	a	1.61	1.25	1.23	0.88	30.77	30.52	SK320・321・328・329・344, SP101・102・117	SK218, SP026・076・096
SK 280	416	AH19	B1	II	a	0.58	0.40	0.43	0.18	30.71	30.58	SK327	SK132・134, SP056
SK 281	417	AH19	B1	I	a	0.44	0.38	0.26	0.25	30.69	30.48	SD2	SK106・132, SP045
SK 282	418	AH19	B1	II	a	0.56	(0.50)	0.31	0.21	30.64	30.48	SK221	SK106・135
SK 283	420	AH19	B2	II	a	0.70	0.42	0.46	0.21	30.57	30.28		SK056・132・230, SP085
SK 284	421	AH19	E	II	a	(1.01)	0.60	(0.68)	0.33	30.75	30.30	SP129	SK056・099・159
SK 285	423	AJ18	B3	II	a	0.93	0.74	0.57	0.36	30.62	30.32	SK299・331, SP150・159	SK272
SK 286	425, 465	AJ17・18	D	III	c1	(1.78)	1.74	1.08	0.64	30.84	30.25	SK312・331・340, SP118・143・147・153・178	SK208・212・213・288・290, SP095
SK 287	426	AJ18	B2	II	a	(0.87)	0.64	0.33	0.25	30.82	30.36	SK319・331・351・353, SP148	SK272, SP068

表14　遺構観察表（7）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模(m) 長軸	上端規模(m) 短軸	下端規模(m) 長軸	下端規模(m) 短軸	標高(m) 上端	標高(m) 下端	重複関係 >(切る)	重複関係 <(切られる)
SK 288	427	AJ17・18	B2	V	a	1.69	(1.25)	(0.99)	0.98	30.92	30.31	SK286・312・319・345, SP144・153	SK208・213・290・SP068
SK 289	428	AI18・19, AJ18・19	B3	II	b	(1.60)	(1.42)	(1.33)	0.98	30.78	30.52	SD2, SK304・309・310・330・333, SP115・116	SK133・198・207・214・277・291
SK 290	429	AJ17・18	B1	II	a	(1.46)	(0.98)	(1.11)	(0.70)	30.94	30.33	SK286・288, SP141	SK208
SK 291	430	AI・AJ18	B2	II	a	(0.86)	(0.55)	0.45	0.40	30.80	30.40	SD2, SK289・304	SK133・196・198・274, SP073
SK 292	431	AJ18・19, AK18	B1	VI	a	(0.68)	0.96	(0.30)	(0.72)	30.86	30.45	SK311, SP156・173	SP066
SK 293	432	AI18	B3	III	a	(1.21)	1.21	0.60	0.54	30.75	30.39	SK321・332, SP108・120・121・122・161	SK205・219・273
SK 294	433	AG・AH20	B2	VI	a	(0.56)	0.83	(0.43)	0.31	30.82	30.40	SK305・326, SP109	SK082・088・105・147
SK 295	434	AG・AH20	B3	II	a	1.16	(0.96)	0.74	0.64	30.77	30.35	SD3, SK326	SE2, SK091・146・247
SK 296	438	AJ18・19	B3	II	a	0.92	(0.40)	0.77	(0.29)	30.52	30.40	SK298・311, SP123・132・156・163	SK217・264・276
SK 297	439	AJ18	B3	II	a	(1.14)	0.87	0.78	0.55	30.52	30.35	SP107・124	SP078・088
SK 298	442	AJ18	B2	IV	a	1.04	0.63	0.72	0.41	30.81	30.24	SK299・311・339・354, SP123・127・132・163	SK217・264・296
SK 299	443	AJ18	B2	II	a	(1.18)	0.80	0.76	0.42	30.59	30.36	SK341, SP127・159	SK217・285・298・264
SK 300	445	AI・AJ19	B3	II	a	(1.02)	0.70	(0.64)	0.38	30.80	30.34	SK314, SP128・155・212	SK215・261, SP065
SK 301	446	AI19	B3	II	a	1.09	(0.68)	0.82	0.42	30.66	30.57	SK315・318・424	SK094・151・187・197・265・266, SP071
SK 302	447	AJ19	E	II	a	(0.88)	0.58	(0.67)	0.36	30.82	30.38	SK313	SK224・267, SP086
SK 303	449	AI・AJ19	B1	II	a	(0.39)	(0.36)	(0.23)	0.13	30.56	30.38	SK310	SK223・277
SK 304	450	AI18・19	B3	II	a	0.80	0.62	0.48	0.40	30.53	30.40	SK330	SK133・214・289・291
SK 305	453	AG・AH20	A	II	a	0.45	0.34	0.28	0.21	30.53	30.39	SK326	SK088・294
SK 306	455	BE1	A	IV	a	0.88	0.64	(0.70)	0.60	30.67	30.51	SP227	SK062, SP009
SK 307	456	BE・BF1	A	I	a	0.76	0.69	0.54	0.38	30.54	30.34		SK017・062
SK 308	457	BE1・2	B2	II	a	(1.51)	0.96	(1.08)	0.82	30.80	30.52	SK324・325・436, SP110	SE1, SK009・022・024・067・078・109・253
SK 309	460	AI18	B2	VI	a	0.83	(0.74)	0.60	(0.57)	30.76	30.48	SD2, SK328・333・334, SP142	SK133・198・214・218・289
SK 310	462	AI・AJ19	E	II	a	(0.72)	0.39	(0.50)	0.20	30.62	30.44		SK223・277・289・303
SK 311	464	AJ18・19, AK18	B3	II	a	1.97	0.59	1.84	0.46	30.86	30.36	SP119・123・156・146・173	SK263・264・276・292・296・298, SP066
SK 312	467	AJ18	B2	II	a	1.60	0.94	1.27	0.46	30.81	30.24	SK331・345・351, SP144・178	SK213・286・288, SP018・068
SK 313	468	AJ19	B2	VI	a	0.65	0.63	0.42	0.40	30.83	30.36		SK302, SP086
SK 314	469	AI・AJ19	E	VI	a	(1.20)	(0.89)	(0.96)	(0.70)	30.88	30.50	SP140・212	SK191・261・300
SK 315	471	AI19	B2	II	a	0.97	0.60	0.50	0.34	30.80	30.56	SK424, SP212	SK151・187・197・203・301, SP071
SK 316	472	AI18	B2	II	a	0.62	(0.52)	0.27	(0.25)	30.63	30.35	SP136	SK214・218, SP076・096・103
SK 317	474	AH19	B3	I	a	0.76	0.73	0.38	0.35	30.67	30.31	SD2, SK338, SP125・174	SK057・106・135
SK 318	475	AI19	B2	II	a	0.95	(0.51)	0.45	(0.32)	30.64	30.49	SK424・440	SK094・141・265・266・301, SP070
SK 319	476	AJ・AK18	B1	II	a	1.74	(0.97)	0.89	(0.75)	30.86	30.25	SK342・345・351, SP145・154	SK262・287・288, SP068
SK 320	477	AI18	A	II	a	0.50	0.36	0.36	0.25	30.71	30.63	SK358, SP075	SK279
SK 321	479	AI18	B2	VI	a	(1.80)	(1.52)	(1.38)	(1.28)	30.62	30.40	SP161	SK205・216・218・231・273・279・293・328・329, SP102・135
SK 322	480	AJ18	B2	II	a	(0.61)	0.42	(0.53)	0.29	30.84	30.51	SP152・160	SD2, SK212・271・275, SP051・072
SK 323	483	AI19	B2	II	a	0.34	0.26	0.10	0.10	30.65	30.39	SK443	SK094・210
SK 324	485	BE1・2	B3	I	a	0.64	(0.56)	0.46	0.42	30.60	30.40	SP110	SK024・067・078・109・253・308
SK 325	486	BE2	B2	II	a	0.42	0.28	0.23	0.17	30.66	30.40		SK024・067・308
SK 326	491	AH20	B2	II	b	(1.55)	(1.11)	1.06	0.53	30.82	30.39	SD2・3, SP158	SK088・091・146・147・294・295・305, SP027・125
SK 327	493	AH19	B3	III	a	(0.78)	0.62	0.32	0.25	30.78	30.37	SD2, SP171・172	SK132・134・280, SP045・056
SK 328	495	AI18	B3	II	a	(1.45)	0.62	(1.37)	0.42	30.80	30.48	SK321・344, SP135・142	SK199・209・214・216・218・279・309, SP096・103・136
SK 329	496	AI18	B2	II	a	(1.23)	0.99	0.26	0.21	30.72	29.98	SK321	SK279, SP026・101・102・117
SK 330	498	AI18・19	B3	I	a	(1.07)	(1.07)	0.83	0.82	30.54	30.40	SK418, SP138	SK133・207・214・289・304, SP116
SK 331	503	AJ18	D	II	a, b	1.88	(1.33)	0.98	0.45	30.58	30.28	SK347・351, SP118・148・178	SK137・213・272・285・286・287・312, SP018・068・094・095
SK 332	504	AI・AJ18	B2	II	a	1.33	0.84	0.58	0.49	30.69	30.35	SP151	SK219・228・293, SP084・120
SK 333	505	AI18	A	II	a	(0.46)	0.51	(0.30)	0.31	30.57	30.40	SD2	SK133・214・289・309, SP116
SK 334	506	AI18	A	II	a	0.41	0.34	0.30	0.26	30.50	30.36		SK133・198・309
SK 335	511	AH19	A	II	a	0.26	0.22	0.15	0.12	30.19	30.08		SK099・138, SP024・054
SK 336	512	AH19	A	II	a	0.23	0.16	0.14	0.10	30.21	30.03	SP024	SK099, SP054
SK 337	518	AI・AJ18	B2	II	a	0.37	0.24	0.21	0.15	30.44	30.16	SP152・160	SK271, SP051・072
SK 338	523	AH19・20	B3	II	a	0.60	0.46	0.34	0.26	30.54	30.20	SD2, SK359	SK057・317, SP125

表15　遺構観察表（8）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SK 339	524	AJ18	B1	II	a	(1.10)	(0.84)	(0.93)	(0.70)	30.80	30.53	SK349・350・354, SP156	SK192・193・194・264・298, SP066・127・132・139
SK 340	526	AJ18	B3	I	a	0.45	0.40	0.25	0.24	30.27	30.02		SK286
SK 341	528	AJ18	B3	VI	a	(0.78)	(0.53)	0.62	(0.36)	30.55	30.41		SK217・299
SK 342	529	AJ・AK18	B2	II	a	(0.34)	0.31	(0.15)	0.12	30.59	30.36	SK352	SK262・319, SP154
SK 343	532	AI18	E	I	a	0.32	0.32	0.22	0.19	30.56	30.36		
SK 344	535	AI18	D	II	a	(0.42)	0.42	(0.14)	0.18	30.50	30.21		SK218・279・328, SP096・117・142
SK 345	538	AJ18	B2	II	a	0.63	0.46	0.34	0.28	30.49	30.21		SK288・312・319, SP068
SK 346	539	AK18	A	I	a	(0.29)	0.30	0.16	0.15	30.34	30.24		
SK 347	542	AJ18	B1	II	a	0.64	0.36	0.65	0.21	30.41	29.90	SK355	SK137・331, SP094
SK 348	549	AH20	B3	VI	c3	(0.45)	(0.46)	(0.27)	(0.41)	30.92	30.19	SD3	SK091, SP031
SK 349	552	AJ・AK18	B2	VI	a	(1.03)	(0.74)	(1.03)	(0.56)	30.76	30.57	SK350	SK192・262・339, SP066・067・139
SK 350	553	AJ・AK18	A	II	a	(1.55)	0.71	(1.41)	0.48	30.59	30.47	SK352	SK192・193・262・263・339・349, SP067
SK 351	555	AJ18	B1	II	a	(1.20)	0.95	(0.96)	0.60	30.56	30.24	SK353	SK272・287・312・319・331, SP018・068・148
SK 352	557	AJ・AK18	B3	I	a	(0.80)	1.00	(0.63)	0.61	30.60	30.35		SK192・262・342・350, SP067
SK 353	558	AJ18	B2	VI	a	(0.26)	0.34	(0.15)	0.14	30.26	29.94		SK351・287, SP068・148
SK 354	560	AJ18	E	VI	a	(0.68)	0.80	(0.63)	0.67	30.52	30.35	SP156・163・164	SK193・194・264・298・339, SP066・123・127・132・139
SK 355	572	AJ18	B2	VI	a	(0.23)	(0.20)	(0.18)	(0.18)	30.39	29.95		SK137・347, SP094
SK 356	579	AH19・20	B3	VI	a	1.94	(1.58)	1.01	(0.59)	31.16	30.17		SE3, SK057・058・143・200, SP032・041・043
SK 357	580	BF1	B1	I	a	0.84	(0.76)	0.44	0.36	30.54	30.15		
SK 358	587	AI18	E	II	a	(0.46)	0.58	(0.28)	0.28	30.66	30.36		SK103・189・190・320, SP075・082
SK 359	589	AH20	D	II	a	0.94	0.38	0.20	0.20	30.55	30.17		SE3, SK057・338, SP125
SK 360	590	AG20	B3	II	a	0.97	0.73	0.55	0.38	30.62	30.35	SK421, SP215	SK041・047・080・083
SK 361	591	AG20	B1	II	a	1.66	1.22	1.43	0.95	30.62	30.30	SK425, SP211	SK028・032・080・100・168・239・240, SP061
SK 362	592	AF・AG20	A	II	a	(0.53)	0.44	0.35	0.18	30.41	30.16		SK028・032・169, SP017
SK 363	593	AF20	B2	II	a	(0.90)	0.62	(0.68)	0.36	30.52	30.25	SK432・441	SK032・059, SP017
SK 364	595	BF1	B2	II	a	(0.60)	(0.56)	0.39	0.33	30.68	30.57	SK448	SK051, SP010・049
SK 365	597	AF20	B1	II	a	0.28	0.24	0.15	0.11	30.72	30.48	SK442, SP214	
SK 366	598	AF・AG20, BF・BG1	D	II	a	1.87	(1.15)	1.43	(0.98)	30.65	30.32	SK367・448, SP232	SK040・047・065・116, SP011
SK 367	599	AF20	B2	II	a	1.86	(1.13)	1.65	(0.99)	30.64	30.31		SK065・066・366, SP232
SK 368	601	BB3	B3	II	a	0.80	0.62	0.38	0.34	31.03	30.75	SK388・394・399	
SK 369	602	BC3	B1	II	a	0.92	0.78	0.55	0.52	30.99	30.71	SK371・380・381・407	SP192
SK 370	603	BC3	B2	II	a	(0.91)	0.95	(0.48)	0.35	31.00	30.61	SK379・396・404	SP001
SK 371	604	BC3	B2	II	c3	1.44	(1.02)	0.98	(0.69)	31.00	30.72	SK379・381・395・396・404・406, SP199	SK369, SP192
SK 372	606	BC3	B1	VI	a	(0.55)	(0.32)	(0.35)	(0.24)	31.12	30.83	SK373・407, SP207	SK002・380
SK 373	608	BC3	B2	VI	a	(1.17)	(0.48)	(0.65)	(0.12)	31.12	30.86	SK393・415, SP188・193・207	SK372
SK 374	611	BD2	B2	VI	a	(0.42)	0.54	(0.09)	0.16	30.86	30.24	SK378・382・412, SP195	
SK 375	613	BC2	B3	II	a	1.08	0.69	0.60	0.28	30.94	30.51	SK377・389・398・400・405, SP194	
SK 376	615	BC・BD3	A	II	a	(0.96)	(0.34)	(0.77)	(0.20)	31.10	30.76		SK015・393・402・403・408・411
SK 377	616	BC2	B2	I	a	(0.82)	(0.68)	0.24	0.19	30.92	30.34	SK400	SK375
SK 378	617	BD2	E	II	a	(0.63)	0.70	(0.47)	(0.38)	30.88	30.37	SK382・387, SP195	SK374, SP190・191
SK 379	618	BC2・3	B2	VI	a	(1.58)	(1.08)	0.86	(0.72)	30.87	30.36	SK385・396, SP196	SK370・371, SP189
SK 380	619	BC3	A	II	a	1.35	(0.81)	(1.06)	(0.66)	31.13	30.82	SK372, SP200・209	SK369・381
SK 381	620	BC3	B2	II	a	0.86	0.67	0.31	0.24	31.00	30.42	SK380・390・392・395・407・416, SP199・200	SK369・371
SK 382	621	BC・BD2	B2	II	a	1.02	(0.60)	0.57	0.24	30.88	30.62	SK387・397・412・SP195	SK374・378
SK 383	623	BC2	B2	I	a	1.24	(0.69)	0.36	0.23	30.89	30.62	SK386・387・414, SP197・201・208	SK384
SK 384	624	BC2・3, BD2	B2	II	b	1.38	1.08	0.76	0.60	30.92	30.33	SK383・397・401・403	SP194
SK 385	627	BC2	B1	VI	a	(0.45)	(0.70)	(0.44)	0.22	30.79	30.36	SK405	SK379・SP189
SK 386	628	BC2	B2	II	a	(0.66)	0.58	(0.46)	0.22	30.90	30.64	SP197・198・208	SK383, SP191
SK 387	629	BC・BD2	B3	I	a	(0.41)	0.46	(0.29)	0.23	30.88	30.66	SP197	SK382・383・378, SP191
SK 388	630	BB・BC3	A	II	a	(1.07)	0.70	(0.79)	0.38	31.03	30.90	SK392・399	SK368
SK 389	631	BC2・3	B1	I	a	(0.81)	0.74	0.54	0.47	30.91	30.44	SK398・401・405, SP205	SK375, SP194
SK 390	632	BC3	B1	II	a	(0.83)	0.84	(0.42)	0.83	31.11	30.60	SK391・395, SP200	SK381
SK 391	633	BC3	B2	II	a	(1.01)	(0.72)	(0.80)	(0.56)	31.18	30.63	SK399・409	SK003・390
SK 392	634	BC3	A	II	a	(0.73)	0.42	(0.73)	0.32	31.01	30.87	SK395	SK381・388
SK 393	635	BC3	B3	VI	a	(0.59)	(0.32)	(0.08)	(0.10)	31.12	30.76	SK376・403・408	SK373, SP193
SK 394	636	BB3	E	II	a	(1.45)	(0.62)	(1.35)	(0.49)	31.04	30.57	SK399・409	SK003・368
SK 395	637	BC3	B2	II	a	(1.11)	(0.55)	0.85	(0.37)	31.00	30.63	SK404, SP199・200	SK371・381・390・392

表16　遺構観察表（9）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模(m) 長軸	上端規模(m) 短軸	下端規模(m) 長軸	下端規模(m) 短軸	標高(m) 上端	標高(m) 下端	重複関係 〉(切る)	重複関係 〈(切られる)
SK 396	638	BC3	B1	II	a	(0.30)	0.49	(0.30)	0.21	30.99	30.70	SK404	SK370・371・379
SK 397	639	BC・BD2	B1	II	a	1.02	(0.50)	0.45	(0.33)	30.90	30.58	SK412, SP204	SK016・382・384
SK 398	640	BC3	B3	II	a	(1.80)	(1.09)	(1.57)	0.85	30.90	30.66	SK403・405・406・410・413・415, SP205	SK375・389・401, SP189・193
SK 399	641	BB・BC3	B2	II	a	(1.64)	1.14	(1.48)	0.72	31.00	30.47	SK409・SP203	SK003・368・388・391・394, SP001
SK 400	642	BC2	B3	II	a	0.63	0.42	0.16	0.15	30.96	30.31	SP201	SK375・377, SP194
SK 401	645	BC2	A	VI	a	(0.28)	0.60	(0.28)	0.41	30.63	30.47	SK398	SK384・389, SP194
SK 402	646	BD2・3	B2	II	a	0.52	0.46	0.16	0.14	30.92	30.21	SK376・411・412	SK015
SK 403	647	BC3	B1	VI	a	(1.20)	(0.77)	(0.83)	(0.51)	30.89	30.47	SK376	SK384・393・398・408, SP193
SK 404	649	BC3	E	VI	a	(0.63)	(0.55)	(0.62)	(0.38)	30.99	30.68		SK370・371・395・396
SK 405	650	BC2・3	B2	II	a	(1.10)	(0.66)	0.64	(0.44)	30.88	30.42		SK375・385・389・398, SP189
SK 406	651	BC3	B3	II	a	(0.95)	0.76	(0.95)	0.61	30.91	30.72	SK410・413, SP206	SK371・398, SP189・192
SK 407	653	BC3	E	II	a	(0.82)	(1.18)	(0.74)	0.67	31.13	30.80	SK413・416, SP200・207・209	SK002・369・372・381, SP192
SK 408	654	BC・BD3	B3	VI	a	(1.19)	(0.32)	(0.70)	(0.19)	30.90	30.48	SK376・403	SK015・411・393
SK 409	658	BB・BC3	B3	II	a	(1.07)	0.42	(0.71)	0.21	30.66	30.43		SK003・391・394・399
SK 410	659	BC3	B1	II	a	0.94	0.52	0.54	0.27	30.74	30.36	SK413, SP206	SK398・406, SP189
SK 411	661	BD2・3	B1	II	c3	(0.50)	0.50	0.12	(0.26)	31.01	30.55	SK376・408・412	SK015・402
SK 412	662	BD2・3	D	VI	a	(1.05)	(1.02)	(0.95)	(1.02)	31.00	30.58		SK001・015・016・374・382・397・402・411, SP204
SK 413	663	BC3	A	VI	a	(1.22)	(0.60)	(1.21)	(0.50)	30.93	30.75	SK415・417, SP206・207	SK002・398・406・407・410, SP192・193
SK 414	664	BC2	B1	VI	a	(0.33)	(0.46)	(0.17)	0.30	30.67	30.56	SP208	SK383, SP201
SK 415	669	BC3	E	VI	a	1.18	(0.78)	0.91	(0.71)	30.87	30.58		SK373・398・413, SP193・207
SK 416	670	BC3	B1	VI	a	(0.37)	(0.11)	(0.10)	(0.04)	30.87	30.59		SK002・381・407, SP200
SK 417	672	BC3	B1	I	a	0.25	0.23	0.12	0.10	30.78	30.57		SK413
SK 418	674	AI19	B2	I	a	(1.26)	1.22	0.94	0.83	30.55	30.25	SK424・440	SK150・158・201・207・214・215・277・330, SP030・112・115・137・138
SK 419	676	AG20	B3	II	a	(0.51)	0.50	(0.33)	0.22	30.55	30.21	SK420	SK028・041・080・240
SK 420	677	AG20	E	II	a	(0.30)	0.44	(0.17)	0.24	30.55	30.33	SP215	SK028・080・240・419
SK 421	678	AG20	B1	II	a	0.74	0.52	(0.51)	0.25	30.52	30.21	SP215	SK028・041・047・080・360
SK 422	681	AI19	B3	II	a	0.39	0.33	0.24	0.18	30.58	30.24	SP167	SK092・164・210, SP168
SK 423	683	BF1	B3	II	a	0.50	(0.36)	0.16	0.16	30.67	30.28	SP217	SK167・174, SP010
SK 424	684	AI19	B1	II	a	(1.98)	1.56	1.19	0.99	30.61	30.24	SK440	SK150・151・158・203・265・266・301・315・318・418, SP065・071・112・137・212
SK 425	685	AG19・20	B3	II	a	1.88	1.40	1.47	0.97	30.51	30.28	SK438	SK028・029・033・080・100・168・183・241・361, SP061
SK 426	686	AF20	B2	II	a	(0.95)	1.04	(0.41)	0.54	30.75	30.22	SK433, SK441	SK032・086・116
SK 427	687	BF・BG1	B1	VI	a	(0.80)	(1.05)	(0.46)	(0.46)	30.95	30.54	SK456	SK047・116
SK 428	688	AI18	B3	I	a	0.38	0.33	0.26	0.24	30.39	30.17		SK103, SP074・075
SK 429	689	BF1	B2	II	a	0.60	0.42	0.40	0.26	30.52	30.07		
SK 430	690	AF20	B2	II	a	1.51	1.09	1.16	0.77	30.72	30.31	SK442・444	SK037・066・115・117・126・177, SP013・047・210
SK 431	693	BF1	B2	VI	a	(1.37)	(0.36)	(1.04)	(0.21)	30.88	30.59	SP231	SK052・076
SK 432	695	AF20	B3	II	a	(1.28)	1.17	0.87	0.55	30.71	30.28	SK444	SK028・032・037・041・059・363・441
SK 433	698	AF20	E	VI	a	(0.99)	(0.50)	(0.94)	(0.30)	30.75	30.41	SK441・444	SK031・032・116・426
SK 434	699	BD2	B2	I	a	0.98	(0.84)	0.48	(0.38)	30.77	30.38	SK435	SK007・019・064・181・232・234, SX1
SK 435	701	BD2	B3	II	a	(1.18)	0.69	(1.07)	0.47	30.71	30.52	SK452・455	SK064・181・434
SK 436	703	BE2	B3	I	a	0.85	0.80	0.53	0.52	30.78	30.40	SK449	SD1, SK067・308
SK 437	704	AE・AF20	B1	VI	a	(1.72)	(1.33)	(1.41)	(1.07)	30.78	30.38	SK439	SK010・039・043・113・127・172・178・180, SP063・216
SK 438	706	AG20	B3	II	a	0.76	0.46	0.32	0.28	30.48	30.10		SK033・080・241・425
SK 439	707	AE・AF20	B1	VI	a	(1.84)	(1.36)	(1.52)	(0.96)	30.51	30.25	SP229	SK010・113・127・172・177・178・248・437, SP007・100・216
SK 440	708	AI19	B3	II	a	(2.26)	1.14	1.07	0.51	30.60	30.02		SD2, SK141・150・158・186・201・265・318・418・424, SP030・070・112・165・177
SK 441	709	AF20	B2	II	a	(0.91)	0.82	(0.66)	0.41	30.71	30.35	SK432・444	SK032・059・363・426・433
SK 442	710	AF20	B2	II	a	(1.22)	1.30	(0.99)	0.94	30.75	30.43	SK450・451	SK035・117・122・123・124・126・365・430, SP210
SK 443	711	AI19	B3	II	a	1.07	0.98	0.78	0.64	30.69	30.34		SK094・154・164・187・210・323
SK 444	712	AF20	B3	IV	a	(1.84)	(1.70)	1.45	1.19	30.64	30.23	SP230	SK031・032・037・059・066・128・177・248・430・432・433・441
SK 445	717	BD1	B3	VI	a	(0.64)	(0.42)	(0.56)	(0.35)	30.71	30.59		SP182
SK 446	719	BD1	B2	I	a	0.26	0.22	0.11	0.11	30.67	30.49		
SK 447	720	BD1	D	II	a	0.46	0.39	0.23	0.20	30.67	30.11		SP223

表17　遺構観察表（10）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SK 448	723	AF・AG20、BF・BG1	B3	Ⅱ	a	1.57	1.26	(1.05)	0.94	30.60	30.30		SK040・116・119・176・364・366、SP011・049・186・226・232・233
SK 449	724	BD1・2、BE1・2	B2	Ⅱ	a	(1.07)	0.88	(0.88)	0.73	30.74	30.52	SK453	SD1、SK024・067・110・254・436
SK 450	725	AF20	A	Ⅱ	a	0.32	0.27	0.18	0.14	30.50	30.36		SK124・442
SK 451	726	AF20	A	Ⅱ	a	0.30	0.26	0.12	0.10	30.45	30.22		SK123・442、SP214
SK 452	727	BD2	B3	Ⅱ	a	0.59	0.41	0.22	0.19	30.61	30.29	SK455	SK435
SK 453	728	BD1・2、BE1・2	A	Ⅱ	a	1.20	0.87	0.75	0.44	30.76	30.34		SD1、SK018・254・449
SK 454	730	BD1	B3	Ⅱ	a	0.98	0.66	0.81	0.39	30.72	30.41		SK023・054・170・235、SP220、SX1
SK 455	731	BD2	D	Ⅱ	a	(0.96)	1.32	(0.71)	0.96	30.70	30.51		SK181・435・452、SP081・220
SK 456	735	BF・BG1、AG20	B3	Ⅵ	a	(2.65)	0.36	(1.94)	(0.10)	30.71	30.38		SK038・047・116・427、SP226・231
SK 457	1004	AP15	B2	Ⅱ	a	0.61	0.51	0.38	0.32	30.12	29.93	SK462・477・479・485	
SK 458	1006	AP15	B2	Ⅱ	a	(0.28)	0.27	(0.20)	0.15	30.10	29.98	SK485	
SK 459	1007	AP15	B3	Ⅵ	a	(0.31)	(0.07)	(0.09)	(0.03)	30.40	29.88	SK461・462	
SK 460	1008	AP15	B1	Ⅵ	a	(0.70)	(0.22)	(0.58)	(0.19)	30.48	30.06	SK461	
SK 461	1009	AP15	B3	Ⅰ	a	0.64	(0.50)	0.48	(0.35)	30.40	29.86	SK462・485	SK459・460
SK 462	1011	AP15	E	Ⅵ	a	(1.47)	(0.78)	(1.27)	(0.60)	30.44	30.00	SK463・477・479・485	SK457・459・461・SP235
SK 463	1012	AP15	B2	Ⅵ	a	(0.84)	(0.18)	(0.44)	(0.08)	30.08	29.86		SK462
SK 464	1013	AP15	B2	Ⅱ	a	0.59	(0.40)	0.22	0.22	30.09	29.84	SK477、SP247	
SK 465	1014	AP15	B2	Ⅱ	a	0.32	0.25	0.18	0.09	29.82	29.54		
SK 466	1016	AP15	B3	Ⅱ	a	0.28	0.25	0.14	0.13	29.90	29.72		
SK 467	1017	AO・AP15	A	Ⅱ	a	(0.34)	0.24	0.18	0.12	30.10	30.01	SK475・482	
SK 468	1018	AO・AP15	B2	Ⅱ	a	0.73	0.58	0.35	0.28	30.10	29.81	SK475、SP242	
SK 469	1019	AO15	B2	Ⅰ	a	0.19	0.18	0.10	0.10	30.12	29.94	SK470・487・493	
SK 470	1020	AO15	B1	Ⅱ	a	0.47	0.35	0.17	0.16	30.12	29.92	SK487・493、SP239	SK469
SK 471	1021	AO15	A	Ⅱ	a	(0.50)	0.45	(0.38)	0.27	30.09	29.82	SK481・482	SP236
SK 472	1022	AP15	B3	Ⅵ	a	(0.62)	(0.44)	(0.45)	(0.26)	30.14	29.91	SP238	
SK 473	1024	AO・AP15	B2	Ⅱ	a	0.69	(0.34)	0.36	(0.22)	30.10	29.82	SK474	
SK 474	1025	AO・AP15	A	Ⅱ	a	(0.46)	0.35	0.30	0.22	30.07	29.91		SK473
SK 475	1027	AO15・16、AP15・16	B1	Ⅱ	a	1.25	0.64	0.87	0.31	30.12	29.78	SK478・482・488、SP242・244・245	SK467・468
SK 476	1030	AO15	D	Ⅵ	a、c2	(1.49)	(0.42)	(1.05)	(0.23)	30.50	右29.86 脚29.81	SK481・486、SP248・250	
SK 477	1031	AP15	B1	Ⅱ	a	1.07	(0.87)	0.69	0.56	30.01	29.89		SK457・462・464・479
SK 478	1035	AP15	B2	Ⅵ	a	0.52	(0.26)	0.34	(0.20)	30.09	29.95		SK475
SK 479	1036	AP15	B3	Ⅱ	a	0.56	0.42	0.23	0.23	29.95	29.68	SK477・485	SK457・462
SK 480	1037	AO16	B2	Ⅵ	a	(0.66)	(0.14)	(0.34)	(0.05)	30.34	30.03	SP246	
SK 481	1038	AO15	B2	Ⅱ	b	1.20	(0.72)	0.94	0.60	30.13	29.92	SK486・487・493、SP248	SK471・476、SP243
SK 482	1041	AO15	B3	Ⅵ	a	0.89	(0.60)	0.63	(0.50)	30.08	29.98		SK467・471・475、SP236・240・244
SK 483	1042	AO15・16	A	Ⅱ	b	1.06	(0.48)	0.79	(0.26)	30.14	29.97		
SK 484	1043	AN・AO16	D	Ⅱ	a、b	1.89	0.95	0.36	0.24	30.13	29.79	SP495	
SK 485	1046	AP15	B2	Ⅱ	a	(0.86)	(0.73)	0.49	0.35	30.07	29.82		SK457・458・461・462・479
SK 486	1047	AO15	B2	Ⅰ	a	0.38	0.28	0.13	0.10	29.94	29.75	SP248	SK476・481
SK 487	1048	AO15	B1	Ⅰ	a	(0.62)	0.76	0.28	0.26	30.10	29.83	SK493	SK469・470・481
SK 488	1050	AO15	B2	Ⅱ	a	(0.56)	0.39	0.32	0.19	30.10	29.91	SK493	SK475、SP244
SK 489	1051	AO15	B1	Ⅰ	a	(0.26)	0.31	0.14	0.10	30.10	29.88		
SK 490	1052	AO16	B2	Ⅰ	a	(0.20)	0.27	(0.08)	0.10	30.09	29.88		
SK 491	1054	AO16	B2	Ⅱ	a	(0.62)	0.55	(0.45)	0.36	30.08	29.80	SK492	
SK 492	1056	AO16	A	Ⅱ	a	0.26	0.20	0.10	0.08	30.03	29.90		SK491
SK 493	1057	AO15・16	A	Ⅱ	a	1.62	(1.30)	1.58	1.12	30.13	29.95		SK469・470・481・487・488、SP239・240・244・246
SK 494	1058	AN16	E	Ⅵ	a	(0.51)	(0.41)	(0.33)	(0.22)	30.14	30.00	SP251・495	
SK 495	1060	AN16	B2	Ⅱ	b	(1.60)	1.30	1.06	0.84	30.14	29.84		SK484・494、SP251
SK 496	2001	AR14	B3	Ⅰ	a	0.82	0.74	0.34	0.29	30.17	29.97	SK506・515・537・539・545、SP286・287・291	
SK 497	2002	AS13	E	Ⅱ	a	(1.18)	(0.35)	(0.90)	(0.27)	30.13	29.99	SK503・526	
SK 498	2005	AR14	B3	Ⅱ	a	0.63	0.49	0.38	0.29	30.15	30.03	SK537・545・548、SP253・254・279・280	
SK 499	2007	AS13	B2	Ⅱ	b	(0.90)	(0.92)	(0.69)	(0.63)	30.18	29.98	SK518・533・541・544・563	
SK 500	2008	AR・AS14	B3	Ⅱ	a	0.84	0.75	0.55	0.47	30.18	30.08	SK518・532・533・540・554、SP252	
SK 501	2009	AS13	B2	Ⅱ	a	0.41	0.39	0.26	0.24	30.17	30.07	SK510・518・533・544	
SK 502	2010	AS13・14	B2	Ⅱ	a	1.31	0.79	1.02	0.59	30.17	30.10	SK510・529・533・544、SP267・268・272・282	
SK 503	2011	AS・AT13	B2	Ⅱ	a	2.29	(0.96)	1.14	(0.84)	30.12	29.88	SK528・542・543・547、SP260・278	SK497

表18　遺構観察表（11）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SK 504	2015	AT13	B2	Ⅲ	a	1.99	(1.38)	1.34	(1.00)	30.36	29.91	SK527・534・536・549・550・521・562、SP261・274	SP259
SK 505	2016	AS14	B2	Ⅱ	a	(0.38)	0.45	(0.26)	0.30	30.32	29.90	SK518・533・548・566、SP262	
SK 506	2018	AR14	B2	Ⅰ	a	0.22	0.22	0.12	0.11	30.06	29.67	SK537・539・545、SP287	SK496
SK 507	2019	AR14	B2	Ⅵ	a	(0.97)	(0.95)	(0.64)	(0.40)	30.12	29.46	SK515・524・539・545	
SK 508	2020	AS14	B2	Ⅵ	a	(1.33)	(0.39)	(0.61)	(0.05)	30.85	29.88	SK510・518・533、SP262	
SK 509	2024	AT13、CA12・13	B3	Ⅱ	b	3.55	(1.92)	2.80	(1.54)	30.30	29.78	SK526・535、SP273	SK525・530
SK 510	2026	AS13・14	D	Ⅱ	a	(1.62)	(1.05)	(0.28)	0.36	30.85	29.66	SK518・533・544、SP276	SK501・502・508
SK 511	2027	CB12	B2	Ⅵ	a	(0.63)	(0.26)	(0.31)	(0.07)	30.11	29.67	SP269	
SK 512	2029	CB12	B3	Ⅱ	a	(0.37)	0.34	0.26	0.22	30.11	29.84		
SK 513	2031	CA12	B3	Ⅱ	a	0.43	(0.37)	0.20	0.17	30.13	30.02		
SK 514	2036	AS13・14	B3	Ⅱ	a	0.60	0.52	0.39	0.38	30.16	29.78	SK529・533・542・544・565	
SK 515	2037	AR14	B1	Ⅱ	a	(0.98)	(0.56)	0.49	0.22	30.14	29.74	SK524・537・539・545、SP279	SK496・507
SK 516	2038	AT13	B2	Ⅵ	a	(0.59)	(0.14)	(0.32)	(0.06)	30.58	30.00	SK517・542、SP255・281・283	
SK 517	2039	AT13	B2	Ⅵ	a	(0.34)	(0.06)	(0.19)	(0.03)	30.56	30.06	SP271・277・281・283	SK516
SK 518	2040	AS13・14	B3	Ⅲ	a	1.94	(1.40)	1.76	(1.20)	30.17	30.02	SK532・533・538・541、SP252・276	SK499・500・501・505・508・510、SP262
SK 519	2041	AR13・14	B2	Ⅰ	a	0.96	0.94	0.78	0.71	30.16	29.96	SK523・532・537・540	
SK 520	2044	CB12	B2	Ⅱ	a	0.47	0.34	0.27	0.16	30.15	29.92		
SK 521	2045	AT13	B2	Ⅱ	a	0.74	0.57	0.45	0.36	30.09	29.66	SK527・536・550・564	SK504
SK 522	2046	CB12	B3	Ⅵ	a	0.44	(0.28)	0.21	(0.16)	30.10	29.94		SP263
SK 523	2047	AR14	B2	Ⅰ	a	0.20	0.18	0.08	0.08	29.97	29.87		SK519
SK 524	2049	AR14	D	Ⅴ	a	計測不能				30.37	29.46	SK537・545	SK507・515、SP253・264
SK 525	2050	CA12・13	B2	Ⅱ	a	(0.90)	0.88	0.62	0.66	30.13	29.83	SK509・530	
SK 526	2052	CA13	B3	Ⅲ	a	0.45	0.42	0.29	0.27	29.82	29.65		SK509
SK 527	2053	AT13	B2	Ⅵ	a	(1.45)	(0.67)	(0.94)	(0.68)	30.16	29.49	SK550・564	SK504・521・535
SK 528	2057	AS13	B1	Ⅱ	a	1.72	(0.87)	1.41	(0.70)	30.11	29.50	SK533・542・543	SK497・503、SP268
SK 529	2058	AS13	B2	Ⅱ	a	(0.80)	0.66	(0.64)	0.43	30.13	29.83	SK542、SP282	SK502・514、SP268
SK 530	2061	CA13	B3	Ⅵ	a	(1.20)	(0.73)	(1.01)	0.30	30.28	29.92	SK509	SK525
SK 531	2062	CA13	B1	Ⅵ	a	(0.71)	(0.50)	(0.34)	(0.29)	30.32	29.99		
SK 532	2063	AR・AS14	B3	Ⅰ	a	0.66	0.59	0.24	0.16	30.16	29.52	SK533・540・548・554	SK500・518・519
SK 533	2067	AS13・14	B1	Ⅵ	a	3.84	(1.97)	3.54	(1.97)	30.25	29.69	SK548・551・553・554・555・556・557・558・563・565・566、SP289・290・292	SK499・500・501・502・505・508・510・514・518・528・532・538・541・542・544、SP252・262・268・272・282
SK 534	2068	AT13	B2	Ⅳ	a	1.74	1.05	1.15	0.44	30.12	29.63	SK543・546・547・549・550	SK504・536、SP256・259・277
SK 535	2069	AT・CA13	B2	Ⅱ	a	(0.97)	1.31	(0.54)	0.68	30.13	29.57	SK527	SK509
SK 536	2071	AT13	B2	Ⅳ	a	(2.27)	(0.98)	(1.70)	(0.64)	30.02	29.84	SK534・546・550	SK504・521、SP257・259
SK 537	2073	AR14	B3	Ⅱ	a	1.48	1.06	1.18	0.80	30.11	29.92	SK539・540・545・548、SP286	SK496・498・506・515・519・524、SP253・254・279
SK 538	2074	AS13・14	B1	Ⅱ	a	(0.82)	0.50	(0.52)	0.24	30.13	29.55	SK533・541・551・563、SP289	SK518
SK 539	2075	AR14	B3	Ⅰ	a	(0.46)	(0.46)	0.16	0.14	30.10	29.59	SK545、SP287	SK496・506・507・515・537
SK 540	2076	AR13・14	B2	Ⅱ	a	(1.15)	(1.22)	0.60	0.58	30.24	29.83	SK548	SK500・519・532・537、SP254
SK 541	2077	AS13	B1	Ⅵ	a	(0.57)	(0.57)	(0.29)	(0.17)	30.04	29.65	SK533・551・563	SK499・518・538
SK 542	2079	AS・AT13	B2	Ⅱ	a	(2.08)	(1.58)	(1.85)	(1.38)	30.14	29.70	SK533・559・560・561・565、SP282・292	SK503・514・516・528・529・543、SP255・258・268・275・281
SK 543	2080	AS・AT13	B2	Ⅵ	a	(1.70)	(1.25)	(1.70)	(1.14)	30.09	29.72	SK542・549	SK503・528・534・547、SP256・275・281・283
SK 544	2082	AS13	E	Ⅲ	a	(1.48)	1.44	(1.30)	1.23	30.14	29.79	SK533・563	SK499・501・502・510・514、SP272・276・282
SK 545	2084	AR14	B3	Ⅵ	a	(1.54)	(1.32)	(1.25)	(1.12)	30.12	29.67	SK548、SP286・287・291	SK496・498・506・507・515・524・537・539、SP253・279
SK 546	2085	AT13	D	Ⅵ	a	(1.16)	(0.55)	(0.91)	(0.40)	29.88	29.42	SK562・564	SK534・536・547・552
SK 547	2086	AT13	B1	Ⅱ	a	2.09	(0.90)	1.59	(0.65)	30.10	29.39	SK543・546・549・562	SK503・534・552、SP257・260・278・284・285
SK 548	2088	AR・AS14	B2	Ⅱ	a	(1.39)	(0.95)	(1.39)	(0.89)	30.30	29.79	SK553・566、SP288	SK498・505・532・533・537・540・545、SP253・264・264・279・280
SK 549	2089	AT13	B1	Ⅱ	a	(1.60)	(1.05)	(0.64)	(0.55)	30.22	29.42	SK550・561・562	SK504・534・543・547、SP256・277・281・283
SK 550	2091	AT13	B1	Ⅱ	a	2.16	(0.89)	1.82	(0.65)	30.08	29.41	SK562・564	SK504・521・527・534・536・549、SP259
SK 551	2092	AS13	B3	Ⅱ	a	(0.63)	(0.48)	(0.55)	(0.47)	29.99	29.63	SK563	SK533・538・541
SK 552	2093	AT13	B3	Ⅵ	a	(0.88)	(0.23)	(0.63)	(0.17)	30.24	29.38	SK546・547	SP284
SK 553	2095	AR・AS14	D	Ⅱ	a	(0.87)	0.70	0.51	0.38	29.84	29.60	SK566	SK533・548、SP252
SK 554	2096	AS13・14	A	Ⅰ	a	0.28	0.26	0.17	0.17	29.66	29.56		SK500・532・533
SK 555	2100	AS14	B2	Ⅱ	a	(0.10)	0.17	0.08	(0.03)	29.85	29.55		SK533
SK 556	2101	AS14	A	Ⅱ	a	(0.20)	0.29	0.26	0.15	29.84	29.64		SK533
SK 557	2102	AS14	B1	Ⅵ	a	(0.30)	(0.06)	(0.19)	(0.04)	29.82	29.58		SK533
SK 558	2103	AS13・14	A	Ⅰ	a	0.21	0.18	0.13	0.09	29.72	29.66		SK533
SK 559	2105	AS13	A	Ⅵ	a	(0.57)	(0.19)	(0.40)	(0.11)	29.72	29.61	SK560	SK542

表19　遺構観察表（12）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	＞（切る）	＜（切られる）
SK 560	2106	AS-AT13	A	VI	a	0.66	0.33	0.42	0.12	29.71	29.48	SK561	SK542・559, SP281
SK 561	2107	AS-AT13	B2	II	a	1.04	0.89	0.59	0.50	29.76	29.46		SK542・549・560, SP281
SK 562	2108	AT13	D	VI	a	(0.82)	1.82	(0.29)	0.56	29.73	29.34	SK564	SK504・546・547・549・550, SP259・274
SK 563	2109	AS13・14	A	II	a	(1.40)	1.30	(1.26)	1.16	30.01	29.66		SK499・533・538・541・544・551, SP290
SK 564	2110	AT13	E	VI	a	(1.85)	(0.80)	(1.49)	(0.46)	30.07	29.70		SK521・527・546・550・562
SK 565	2111	AS13	B1	II	a	1.31	0.85	0.79	0.66	30.24	29.40		SK514・533・542, SP255・268・282・292
SK 566	2112	AS14	A	VI	a	(0.47)	(0.21)	(0.30)	(0.16)	30.03	29.79		SK505・533・548・553
SK 567	3003	CN8	B3	II	a	0.38	0.31	0.21	0.18	30.07	29.81		
SK 568	3004	CN8	B2	I	a	0.27	0.27	0.14	0.13	30.06	29.85		
SK 569	3006	CM8	B3	VI	a	0.30	(0.23)	0.20	(0.14)	30.07	29.88		
SK 570	3007	CM・CN8	B2	II	a	0.29	(0.17)	0.15	0.09	30.07	29.70		
SK 571	3010	CM8	B3	II	a	(1.35)	(0.95)	(0.72)	(0.45)	30.08	29.45	SK577・586	
SK 572	3013	CK9	B2	II	a	(1.24)	(0.83)	0.68	0.45	30.24	29.69	SP305	SD4
SK 573	3014	CK8・9	B3	IV	a	1.14	0.94	0.47	0.44	30.16	29.56	SK579	
SK 574	3016	CK9	B2	II	a	0.39	0.30	0.26	0.18	30.16	29.98		
SK 575	3017	CL8	B2	I	a	0.18	0.18	0.10	0.09	30.11	29.95		
SK 576	3018	CL8	B2	I	a	0.20	0.18	0.13	0.09	30.10	29.97		
SK 577	3025	CM	E	VI	a	(0.60)	(0.64)	(0.50)	(0.36)	30.09	29.65		SK571
SK 578	3026	CJ9	E	VI	a	(0.36)	(0.17)	(0.19)	(0.06)	30.18	29.94		
SK 579	3027	CK9	A	II	a	(0.22)	0.24	(0.15)	0.10	30.11	29.99		SK573
SK 580	3028	CK9	A	VI	a	(0.28)	(0.16)	(0.18)	(0.11)	30.10	29.98		
SK 581	3030	CM8	B2	II	a	(0.31)	(0.24)	0.12	0.10	30.08	29.79		SP297
SK 582	3031	CK9	B1	II	a	0.26	(0.21)	0.09	0.09	30.15	29.67		SP300
SK 583	3033	CM8	B2	II	a	0.34	0.28	0.21	0.15	30.08	29.98		
SK 584	3034	CN8	B3	I	a	0.26	0.25	0.16	0.14	30.05	29.94		
SK 585	3035	CK9	B2	VI	a	(0.65)	(0.10)	(0.49)	(0.05)	30.26	29.84		
SK 586	3036	CM8	B2	VI	a	(0.31)	(0.13)	(0.21)	(0.06)	30.26	29.74		SK571
SP 001	1	BC3	C	II	a	0.64	0.49	0.49	0.32	31.18	30.42	SK370・399	
SP 002	7	BE1	B1	II	a	1.36	0.83	0.24	0.20	31.05	30.37	SK022・026・027	SK004
SP 003	10	BE1	B3	II	a	0.73	0.61	0.40	0.31	31.04	30.63	SK022・024・067・078・110	
SP 004	22	BE1	C	VI	a	(0.76)	(0.54)	(0.76)	(0.54)	30.80	30.34	SP039	SK014・020
SP 005	24	BD・BE1	B2	I	b	1.02	(0.82)	0.46	0.30	31.06	30.75	SK021・025, SP021・038	
SP 006	25	AE20	B2	I	b	0.93	(0.85)	(0.71)	0.32	31.09	30.64	SK043・044, SP034	
SP 007	26	AF20	B1	II	b	1.41	1.23	1.12	0.84	31.06	30.71	SK116・125・127・173・177・248・439, SP210・229・234	
SP 008	27	BE1	B2	III	b	1.20	(1.02)	1.06	(0.94)	31.05	30.64	SK020・022・026・045・049・108・253・259	
SP 009	28	BE1	B2	I	b	1.31	(1.20)	(0.90)	0.88	31.19	30.70	SK011・034・045・062・079・306, SP227	
SP 010	29	BF1	B2	I	b	1.04	0.94	0.74	0.62	31.18	30.64	SK035・036・051・116・167・174・364・423, SP217	
SP 011	30	AF20, BF1	B1	I	b	0.92	0.87	0.72	0.57	31.16	30.78	SK040・116・366・448, SP049・186・232	
SP 012	33	BD2	B2	I	a	0.42	0.36	0.24	0.24	31.17	30.73	SK012・030	
SP 013	35	AF20	A	I	b	0.63	0.62	0.47	0.44	31.12	30.82	SK066・115・116・117・430, SP047	
SP 014	37	BD・BE1	C	I	c2	0.46	(0.41)	0.33	(0.27)	30.78	右30.50 掘30.45		SK006・018
SP 015	40	BF・BE1	B1	II	b	1.05	(0.58)	0.38	(0.38)	31.15	30.66	SK011・046・260, SP221	
SP 016	56	AE20, BE1	C	II	a	(1.06)	1.00	(0.72)	0.70	30.94	30.48	SK025・044・071・111, SP019・020	SK014
SP 017	74	AF20	C	II	a	0.59	0.51	0.38	0.36	30.40	29.81	SK362・363	SK032
SP 018	291	AJ18	C	I	a	0.46	0.46	0.26	0.22	30.84	30.41	SK312・331・351, SP068・148	
SP 019	83	AE20・BE1	B1	I	a	0.53	0.51	0.22	0.19	30.90	30.43	SK044	SK025・SP016
SP 020	84	BE1	C	II	a	0.96	0.67	0.50	0.31	30.66	29.92	SK071・111	SK014・020, SP016
SP 021	88	BD1	C	II	a	0.62	0.15	0.23	0.18	30.67	30.24		SK021, SP005
SP 022	89	BD1	B1	I	c2	0.52	(0.36)	0.34	(0.26)	30.49	右30.39 掘30.32		SK023・048・055
SP 023	90	AG・AH19	B1	VI	b	0.97	(0.59)	0.24	0.20	31.08	30.67	SK085・089・096, SP044	
SP 024	91	AH19	B1	VI	b	1.08	(0.44)	0.56	(0.19)	31.11	30.57	SK095・099・102・335・336, SP054	
SP 025	92	AH・AI18	B1	VI	b	(0.59)	0.58	0.20	0.20	31.05	30.63	SK103・160・188, SP074	
SP 026	93	AI18	B1	II	b	0.82	0.72	0.36	0.25	31.06	30.58	SK279・329, SP075	
SP 027	94	AH19・20	B1	I	b	0.92	0.92	0.36	0.20	31.02	30.59	SK082・135・147・155・165・326, SP125・158	
SP 028	95	AH19	B1	I	b	0.86	0.81	0.26	0.22	31.02	30.62	SD2, SK132, SP045・133・134	
SP 029	96	AI19	B2	II	b	0.89	0.72	0.30	0.24	30.99	30.67	SD2, SK093・186	
SP 030	97	AI19	B3	I	b	0.74	0.74	0.26	0.22	30.97	30.71	SK158・201・214・418・440, SP131	
SP 031	98	AH20	B3	VI	b	0.79	(0.50)	0.34	(0.18)	31.09	30.67	SE3, SK091・348	

表20　遺構観察表（13）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	堆土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SP 032	99	AH20	B2	VI	b	0.72	(0.60)	0.27	(0.18)	31.06	30.74	SK356	
SP 033	100	AI19	A	I	b	(0.67)	0.66	0.26	(0.22)	30.98	30.67	SK094・161	
SP 034	105	AE20	C	II	a	0.68	0.67	(0.38)	0.34	30.54	30.09	SK044	SP006
SP 035	106	BD1	C	II	a	0.58	0.41	0.29	0.21	30.63	30.27		SK021
SP 036	109	BE1	B3	II	a	0.62	0.52	0.30	0.27	30.53	30.19	SK045, SP039	
SP 037	112	BE1	B2	I	a	0.53	0.49	0.29	0.26	30.46	30.07	SK045・259	
SP 038	113	BE1	C	II	a	0.58	0.35	(0.28)	0.14	30.71	30.37	SK071	SK021, SP005
SP 039	114	BE1	C	II	a	(0.50)	0.42	0.25	0.21	30.61	30.15	SK073	SK020, SP004・036
SP 040	115	AE・AF20, BE・BF1	C	VI	b	1.43	(1.12)	0.67	0.46	30.85	29.85	SK053・062・113・180・256	SK017・060
SP 041	148	AH19・20, AI19・20	D	II	a, c3	(1.41)	1.22	(0.66)	0.49	31.10	石30.50 掘30.39	SK094・164・200・202・268・278・356, SP213	SK058
SP 042	150	AH19	C	VI	a	0.86	(0.68)	0.60	0.43	30.78	30.27	SK107・135・221, SP175	SK056
SP 043	157	AH19	C	II	c2	1.21	0.98	0.51	0.46	30.82	石30.10 掘39.05	SD2, SK143・229・356	SK058
SP 044	160	AG・AH19	B3	II	a	0.98	0.66	0.73	0.46	30.70	30.15	SK085	SK089, SP023
SP 045	161	AH19	C	II	a	0.91	0.88	0.37	0.30	30.79	30.21	SD2・SK132・281・327, SP133・172	SP028
SP 046	176	BE1	C	II	a	0.84	0.53	0.48	0.31	30.69	30.14		SK020・049
SP 047	181	AF20	B2	II	c2	0.66	0.47	0.50	0.25	30.83	石30.37 掘30.25	SK115・116・126・430	SK066, SP013
SP 048	184	BE1	B1	I	a	0.58	0.53	0.31	0.26	30.84	30.20	SK072・250	SK011
SP 049	189	BF1	C	I	a	0.43	0.38	0.18	0.15	30.68	30.10	SK364・448	SK116, SP011
SP 050	201	AH18・19	C	II	a	0.80	0.45	0.27	0.26	30.80	30.30	SK162・188	
SP 051	204	AI・AJ18	B2	II	b	1.14	0.94	0.78	0.58	30.94	30.55	SD2, SK196・198・216・322・337, SP072・073・160	
SP 052	213	AH19	C	II	c2	1.09	0.64	0.45	0.41	30.51	29.95	SK138	SK095
SP 053	221	AH19	B3	II	a	(0.92)	0.72	(0.48)	0.29	30.82	30.03	SP060	SK095
SP 054	237	AH19	C	II	a	1.04	(0.68)	0.60	(0.27)	30.63	30.20	SK335・336, SP126・129	SK056・095・099・102・138, SP024
SP 055	241	AG19	C	II	c2	0.77	0.50	0.46	0.36	30.48	石30.24 掘30.19	SP069	SK042・089・096・153
SP 056	243	AH19	C	II	a	0.72	0.54	0.41	0.22	30.72	30.47	SD2, SK280・327	SK134・144・163
SP 057	244	AH19	C	I	a	0.42	0.40	0.24	0.21	30.62	30.10	SP058・097	SK139・144
SP 058	245	AH19	B3	II	a	0.56	0.42	0.32	0.23	30.71	30.28	SK163	SK139・144, SP057
SP 059	247	AH19	C	II	c2	0.94	0.60	0.42	0.29	30.53	石30.12 掘30.03	SD2, SP080	SK058・092
SP 060	248	AH18・19	C	VI	a	0.94	0.59	0.42	0.29	30.57	30.09		SK095, SP053
SP 061	253	AG20	C	I	a	0.31	0.28	0.16	0.14	30.68	30.31	SK361・425	SK100
SP 062	258	BE1	C	II	a	0.60	0.53	0.24	0.14	30.42	30.02		SK004・020・070・071・166
SP 063	259	AE・AF20	C	I	a	0.50	0.35	0.26	0.23	30.57	30.13	SK178・180・437	SK053
SP 064	270	BD1・2	A	II	a	(0.46)	0.46	(0.35)	0.28	30.78	30.60	SP081・220	SK181, SX1
SP 065	276	AI19	C	II	a	0.67	0.50	0.34	0.28	30.65	29.96	SK300・424, SP212	
SP 066	283	AJ・AK18	B1	II	b	1.08	(0.98)	0.26	0.16	30.84	30.43	SK263・264・292・311・339・349・354, SP119・139・156・164・173	SK194
SP 067	284	AK18	C	II	a	0.48	0.40	0.10	0.10	30.83	30.53	SK262・263・349・350・352	
SP 068	292	AJ18	B2	I	b	1.06	1.01	0.63	0.59	30.83	30.47	SK272・287・288・312・319・331・345・351・353, SP148	SP018
SP 069	296	AG19	B2	II	c2	(0.64)	0.55	(0.45)	0.33	30.51	石30.26 掘30.14		SK042・087・098・104・153, SP055
SP 070	302	AI19	C	II	a	0.64	0.52	0.26	0.23	30.80	30.33	SD2, SK265・318・440	SK141・186
SP 071	311	AI19	C	II	a	0.40	0.31	0.20	0.14	30.66	30.26	SK203・301・315・424	SK151
SP 072	314	AI・AJ18	C	I	a	0.72	(0.65)	0.43	0.39	30.82	30.48	SK216・219・231・271・322・337, SP152, SP160	SP051
SP 073	316	AI・AJ18	C	II	a	0.70	0.48	0.32	0.28	30.65	30.28	SD2, SK274・291	SK196・198, SP051
SP 074	320 588	AH・AI18	C	II	c2	0.79	(0.76)	0.25	0.22	30.65	石30.18 掘30.12	SK428, SP075	SK103・160, SP025
SP 075	321 578	AI18	C	VI	c2	(1.56)	(0.90)	(0.84)	(0.64)	30.76	石30.50 掘30.27	SK190・358・428	SK103・320, SP026・074・082
SP 076	324	AI18・19	C	I	a	0.92	0.85	0.24	0.22	30.78	29.91	SD2, SK218・279・316, SP096	SK214
SP 077	331	AJ19	C	II	a	0.52	0.38	0.30	0.24	30.60	29.85		
SP 078	344	AJ18	C	II	a	(0.46)	0.37	0.14	0.13	30.40	29.91	SK297	SK227
SP 079	345	AJ18	C	I	a	(0.47)	0.47	0.22	(0.13)	30.52	30.12		SK212
SP 080	348	AH19	C	II	a	0.46	(0.42)	0.30	(0.28)	30.79	30.44	SD2, SP170	SK092, SP059
SP 081	369	BD2	C	II	a	0.61	0.60	0.41	0.36	30.67	30.21	SK455, SP220	SK181, SP064, SX1
SP 082	211	AI18・19	B2	I	c2	1.02	0.93	0.65	0.58	30.70	30.43	SK136・189・190・358, SP075	SK103
SP 083	383	AI19	C	II	a	0.42	0.38	0.14	0.14	30.68	30.24	SK268	SK094・164・278
SP 084	387	AJ18	C	II	a	0.61	0.56	0.26	0.26	30.66	29.90	SK332, SP093	SK212・228, SP084
SP 085	388	AH19	C	I	a	0.29	0.27	0.15	0.14	30.56	30.19	SK283	SK132
SP 086	392	AJ18・19	C	II	a	(0.67)	0.58	0.24	0.17	30.80	29.72	SK302・313	SK224
SP 087	393	AJ18・19	C	II	c2	0.79	0.58	0.20	0.18	30.37	石30.16 掘29.92		SK224

表21　遺構観察表（14）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	堆土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SP 088	394	AJ18	C	II	a	0.41	0.33	0.21	0.20	30.50	29.93	SK297	
SP 089	397	AJ18	B3	II	c2	0.64	0.39	0.47	0.26	30.42	石30.27 掘30.26	SP130	
SP 090	398	AJ18	C	II	a	0.35	0.32	0.18	0.14	30.30	30.09		
SP 091	399	AJ18	C	II	a	0.30	0.26	0.14	0.13	30.32	29.95		
SP 092	400	AJ18	C	II	a	0.27	0.23	0.15	0.11	30.35	30.12		
SP 093	401	AJ18	B1	I	c2	(0.47)	0.47	0.29	0.25	30.39	石30.12 掘30.05		SK212・228, SP084
SP 094	405	AJ18	C	II	c2	0.82	0.68	0.34	0.30	30.64	石30.02 掘29.98	SK331・347・355	SK137・226
SP 095	412	AJ18	C	I	c3	0.58	0.53	0.43	0.26	30.53	30.10	SK286・331, SP118	SK212
SP 096	413	AI18	C	II	a	0.73	0.63	0.45	0.37	30.66	30.41	SK279・316・328・344, SP103・117・142・136	SK218, SP076
SP 097	415	AH19	C	II	a	0.51	0.36	0.18	0.15	30.75	30.07	SD2	SK139・144, SP057
SP 098	419	AH19	C	I	a	0.25	0.24	0.14	0.14	30.62	30.46	SK221	SK106・135
SP 099	336	AH・AI19	C	I	b	0.79	(0.74)	0.40	0.35	30.70	石30.55 掘30.37	SK222	SK139・156・157
SP 100	424	AF20	C	I	a	0.52	0.50	0.28	0.26	30.46	30.25	SK439, SP229	SK113・127・172・178
SP 101	435	AI18	C	II	a	0.91	0.48	0.37	0.34	30.63	29.83	SK329, SP117	SK218・279
SP 102	436	AI18	C	II	a	0.89	0.64	0.25	0.20	30.74	29.97	SK321・329	SK279
SP 103	437	AI18	C	II	a	0.44	0.34	0.19	0.17	30.63	29.98	SK316・328, SP136・142	SK218, SP096
SP 104	440	AH19	C	I	a	0.31	0.28	0.18	0.16	30.50	30.23		SK159
SP 105	441	AI18	C	II	a	0.56	0.49	0.24	0.22	30.55	29.77	SP114	SD2, SK274
SP 106	444	AI19	C	I	a	0.51	0.50	(0.18)	0.18	30.52	30.22	SP155	SK215・261・277
SP 107	451	AI18	C	I	a	0.43	0.39	0.29	0.24	30.38	29.80		SK297
SP 108	452	AI18	C	II	a	0.71	0.54	0.36	0.34	30.51	30.04	SP120・121・122	SK219・293
SP 109	454	AG19・20, AH19・20	C	I	a	0.42	0.42	0.29	0.25	30.51	30.19		SK082・147・294
SP 110	458	BE1・2	C	II	a	1.21	0.87	0.43	0.42	31.02	30.10		SK009・013・250・253・257・308・324
SP 111	459	AJ19	C	VI	a	0.71	(0.48)	0.61	(0.26)	30.80	30.36		SK270
SP 112	461	AI19	C	II	a	0.49	0.30	(0.16)	0.12	30.61	30.34	SK418・424・440	SK150・158・201
SP 113	463	BE1	C	II	a	0.46	0.31	0.26	0.24	30.51	30.09		
SP 114	466	AI18	C	II	a	0.37	0.30	0.23	0.21	30.37	29.96		SD2, SP105
SP 116	470	AI19	C	II	a	0.67	0.64	0.32	0.24	30.62	30.22	SK418	SK150・158・207・215・277・289
SP 116	473	AI18・19	C	I	a	0.60	0.55	0.40	0.36	30.57	29.93	SK330・333	SK133・214・289
SP 117	478	AI18	B2	II	c2	0.57	0.39	0.41	0.23	30.50	石30.20 掘30.09	SK329・344	SK218・279, SP096・101
SP 118	571	AJ18	C	II	a	0.56	0.44	0.26	0.23	30.34	30.06	SP178	SK286・331, SP095
SP 119	482	AK18	C	I	a	0.64	0.55	0.48	0.43	30.49	29.83		SK263・311, SP066
SP 120	484	AI・AJ18	C	II	a	(0.76)	0.49	(0.17)	0.16	30.70	30.09	SK332, SP151	SK219・228・293, SP108
SP 121	487	AI18	C	I	a	(0.15)	0.30	0.09	0.17	30.46	30.05	SP122	SK293, SP108
SP 122	488	AI18	C	II	a	(0.31)	0.42	(0.29)	0.29	30.42	30.08		SK219・293, SP108・121
SP 123	489	AJ18	C	II	c2	0.75	0.52	0.38	0.37	30.36	石29.83 掘29.76	SK354, SP156・163	SK217・264・296・298・311
SP 124	490	AJ18	C	I	a	0.41	0.40	0.17	0.16	30.51	29.93		SK297
SP 125	492	AH19・20	C	II	a	1.39	1.16	0.36	0.30	30.86	29.94	SD2, SK326・338・359, SP158	SE3, SK057・135・317, SP027
SP 126	494	AH19	C	III	a	0.42	0.38	0.28	0.27	30.43	30.10		SK056・099・138, SP054
SP 127	497	AJ18	B2	I	c2	0.53	0.52	0.25	0.22	30.79	石30.29 掘30.14	SK339・354, SP132	SK194・264・298・299
SP 128	499	AI・AJ19	C	II	a	0.29	0.24	0.20	0.16	30.40	30.05		SK300
SP 129	500	AH19	C	I	a	0.36	0.36	0.25	0.23	30.30	30.06		SK099・284, SP054
SP 130	501	AJ19	E	II	c2	0.45	0.36	0.27	0.20	30.46	石30.32 掘30.22		SP089
SP 131	502	AI18・19	C	I	a	0.49	0.41	0.30	0.28	30.66	29.93	SD2	SK214, SP030
SP 132	507	AJ18	C	II	a	0.49	0.36	0.30	0.24	30.30	30.04	SK339・354	SK264・296・298, SP127
SP 133	508	AH19	C	I	c3	0.66	0.62	0.39	0.39	30.77	30.02	SD2	SK132・229, SP028・045
SP 134	509	AH19	C	I	c2	0.51	0.46	0.29	0.26	30.76	石30.60 掘30.53	SD2	SK132・229, SP028
SP 135	513	AI18	C	II	a	0.53	0.45	0.21	0.21	30.74	30.14	SK321	SK216・218・328
SP 136	514	AI18	C	II	a	0.58	0.47	0.20	0.20	30.56	29.98	SK328, SP142	SK214・218・316, SP096・103
SP 137	515	AI19	C	II	a	0.62	0.52	0.18	0.18	30.66	30.18	SK418・424, SP155	SK150・215
SP 138	516	AI19	C	II	a	0.36	0.30	0.20	0.17	30.42	29.98	SK418	SK207・214・330
SP 139	517	AI18	C	II	a	0.66	0.46	0.17	0.14	30.84	29.94	SK339・349・354, SP164	SK193・194, SP066
SP 140	519	AI・AJ19	C	I	a	0.40	0.36	0.23	0.22	30.57	30.00		SK191・314
SP 141	521	AJ17	C	VI	a	(0.31)	0.51	(0.20)	0.27	30.37	29.87		SK290
SP 142	522	AI18	C	II	c2	(0.84)	0.67	0.41	0.36	30.58	石30.29 掘30.16	SK344	SK214・218・309・328, SP096・103・136
SP 143	525	AJ18	C	I	a	0.37	0.33	0.26	0.24	30.35	30.11		SK286
SP 144	527	AJ18	C	I	a	0.47	0.44	(0.29)	0.27	30.31	29.99		SK288・312
SP 145	530	AJ・AK18	C	II	a	(0.32)	0.29	(0.16)	0.15	30.30	30.07		SK319
SP 146	531	AK18	C	I	a	0.32	0.30	0.18	0.18	30.41	30.13	SP157	SK263・311

表22 遺構観察表（15）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模(m) 長軸	上端規模(m) 短軸	下端規模(m) 長軸	下端規模(m) 短軸	標高(m) 上端	標高(m) 下端	重複関係 >(切る)	重複関係 <(切られる)
SP 147	533	AJ18	C	II	a	0.38	0.32	0.18	0.17	30.51	30.13		SK286
SP 148	534	AJ18	B2	I	a	0.39	0.39	0.17	0.16	30.37	29.89	SK351・353	SK387・331, SP018・68
SP 149	536	AJ18	C	II	a	0.35	0.26	0.22	0.18	30.38	30.16		SK227
SP 150	537	AJ18	C	I	a	0.24	0.24	0.10	0.09	30.41	29.94	SP159	SK285
SP 151	540	AI・AJ18	C	I	a	0.29	0.28	0.13	0.13	30.38	30.03		SK219・293・332, SP120
SP 152	541	AI・AJ18	C	II	c3	(1.25)	0.89	0.54	0.31	30.66	29.97	SP160	SK212・219・228・231・271・273・322・337, SP072
SP 153	543	AJ18	A	I	a	0.28	0.28	0.17	0.16	30.40	30.33		SK208・213・286・288
SP 154	544	AJ・AK18	C	I	a	0.38	0.38	0.26	0.25	30.33	29.88	SK342	SK262・319
SP 155	545	AI19	C	II	c2	(0.69)	0.43	0.31	0.24	30.50	石30, 21 掘30, 11		SK215・261・300, SP106・137
SP 156	546	AJ18・19	C	VI	a	(1.45)	(0.84)	(0.38)	(0.14)	30.58	29.90		SK217・224・264・276・292・296・311・339・354, SP066・173・123・163
SP 157	547	AK18	C	I	a	(0.21)	0.28	(0.12)	0.15	30.44	30.07		SK263, SP146
SP 158	548	AI20	C	II	a	0.78	(0.44)	0.49	(0.32)	30.62	30.26	SD2	SK326, SP027・125
SP 159	550	AJ18	C	II	a	0.41	0.36	0.25	0.20	30.45	29.89		SK285・299, SP150
SP 160	551	AI・AJ18	B3	II	c2	0.99	0.68	0.66	0.44	30.54	石30, 34 掘30, 21		SD2, SK216・271・322・337, SP051・072・152
SP 161	554	AI18	C	II	a	0.70	0.52	0.25	0.23	30.57	29.96		SK205・216・219・231・273・321
SP 162	559	AI18	C	I	a	0.24	0.21	0.11	0.09	30.44	30.26		SK216・231
SP 163	561	AJ18	C	II	a	(0.34)	0.25	0.22	0.15	30.37	29.70	SP156	SK264・296・298・354, SP123
SP 164	562	AJ18	C	II	a	(0.31)	0.31	(0.16)	0.16	30.41	29.95		SK194・354, SP066・139
SP 165	563	AI19	C	III	c2	0.82	0.74	0.64	0.51	30.67	石30, 53 掘30, 42	SK440, SP177	SD2, SK158・186
SP 166	564	AI19	C	I	a	0.54	0.50	0.28	0.24	30.68	30.01		SD2, SK136
SP 167	565 682	AI19	C	II	a	1.01	0.66	0.64	0.34	30.60	30.08		SK092・093・164・210・422, SP168
SP 168	566	AI19	C	II	a	(0.49)	0.50	0.36	0.26	30.62	30.34	SK422, SP167	SD2, SK092・093・210
SP 169	567	AI19	C	II	a	0.69	0.46	0.28	0.22	30.44	30.04		SD2, SK093・157・199
SP 170	568	AH19	C	II	a	0.36	0.28	0.23	(0.15)	30.54	30.06		SD2, SK092, SP080
SP 171	569	AH19	C	II	a	0.31	0.23	0.14	0.11	30.53	30.21		SK134・327, SP056
SP 172	570	AH19	C	II	a	0.28	0.26	0.17	0.16	30.41	30.21		SK132・134・327, SP045
SP 173	481	AI18	A	I	a	0.30	0.26	0.08	0.08	30.43	30.12	SP156	SK311・292, SP066
SP 174	573	AH19	C	II	a	0.66	0.44	0.40	0.24	30.47	30.12		SD2, SK106・132・317
SP 175	574	AH19	C	II	a	0.64	0.44	0.16	0.16	30.70	30.13		SK135・221, SP042
SP 176	575	AG19・20	C	II	a	(0.51)	0.46	(0.41)	0.28	30.61	30.38		SK082・149・242
SP 177	576	AI19	C	II	a	0.63	0.52	0.40	0.37	30.56	29.98	SK440	SK158・186, SP165
SP 178	577	AJ18	C	II	a	0.63	0.52	0.21	0.20	30.37	29.88		SK213・286・312・331, SP118
SP 179	581	BF1	C	I	a	0.32	0.30	0.22	0.20	30.45	30.09		SK011・034・046
SP 180	582	BD・BE1	B3	II	a	(0.58)	0.56	(0.36)	0.34	30.60	30.30		SK021・061・069・075・166
SP 181	583	BD1	C	II	c2	(0.86)	0.60	(0.44)	0.40	31.01	石30, 56 掘30, 32	SP223・224	SK023・170・238, SX1
SP 182	584	BD1	C	VI	a	(0.61)	0.52	(0.21)	0.29	30.87	30.45	SK445	
SP 183	585	BD2	B2	I	a	(0.41)	0.46	(0.35)	0.31	30.76	30.43		SK012・030・063・064
SP 184	586	BD・BE2	C	VI	a	(0.46)	0.57	(0.20)	0.37	31.12	30.77		SK179
SP 185	594	BF1	C	II	a	(0.61)	(0.54)	0.39	0.32	30.69	30.56	SP217・233	SK051・052・116・119・175
SP 186	596	BF1	C	II	a	(0.42)	0.34	(0.28)	0.19	30.65	30.46	SK448	SK116, SP011
SP 187	600	AF20	C	II	a	0.53	0.40	0.26	0.25	30.58	29.98		SK041
SP 188	605	BC3	C	I	a	0.60	0.59	0.35	(0.28)	30.98	30.35	SP193	SK373
SP 189	607	BC2・3	C	II	a	1.14	0.77	0.39	0.27	30.91	30.15	SK379・385・398・405・406・410, SP196	
SP 190	609	BD2	C	II	a	(0.62)	(0.64)	(0.28)	(0.33)	30.88	30.33	SK378, SP191・202	
SP 191	610	BC・BD2	C	VI	a	(0.99)	(0.70)	0.38	0.31	30.90	30.50	SK378・386・387, SP197・202	SP190
SP 192	612	BC3	C	II	a	0.61	0.38	0.33	0.20	30.97	30.55	SK369・371・406・407・413	
SP 193	614	BC3	C	II	a	0.94	0.78	0.53	0.42	30.99	30.58	SK393・398・403・413・415, SP205	SK373, SP188
SP 194	622	BC2	C	V	a	1.08	0.85	0.30	0.30	30.92	30.13	SK384・389・400・401	SK375
SP 195	625	BD2	C	I	a	0.24	0.22	0.14	0.13	30.65	30.31		SK374・378・382
SP 196	626	BC3	C	II	a	0.54	0.33	0.31	0.21	30.68	30.30		SK379, SP189
SP 197	643	BC2	C	II	a	0.80	0.53	(0.54)	0.38	30.90	30.47		SK383・386・387, SP191
SP 198	644	BC2	C	IV	a	(0.70)	0.49	(0.57)	0.52	30.83	30.26	SP208	SK386
SP 199	648	BC3	C	II	a	0.38	(0.28)	0.23	(0.21)	30.67	30.42		SK371・381・395
SP 200	652	BC3	C	VI	a	0.92	(0.52)	(0.58)	(0.18)	30.90	30.39	SK416	SK380・381・390・395・407
SP 201	655	BC2	C	II	a	0.62	0.55	0.38	0.27	30.75	30.36	SK414	SK383・400
SP 202	656	BD2	C	VI	a	(0.61)	(0.44)	(0.27)	(0.22)	30.76	30.21		SP190・191
SP 203	657	BB・BC3	C	II	a	0.46	0.36	0.26	0.20	30.77	30.43		SK003・399
SP 204	660	BD2	C	II	a	0.36	0.28	0.13	0.12	30.78	30.28	SK412	SK001・016・397
SP 205	663	BC3	C	II	a	0.34	0.27	0.24	0.15	30.68	30.46		SK389・398, SP193
SP 206	666	BC3	C	II	a	(0.40)	0.38	(0.20)	0.18	30.75	30.46		SK406・410・413
SP 207	667	BC3	C	VI	c3	(0.34)	(0.54)	(0.14)	0.22	30.93	30.58	SK415	SK002・372・373・407・413
SP 208	668	BC2	C	II	a	0.97	0.66	0.66	0.35	30.74	30.32		SK383・386・414, SP198

表23　遺構観察表（16）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SP 209	671	BC3	C	II	a	0.22	0.18	0.13	0.10	30.74	30.43		SK002・380・407
SP 210	673	AF20	C	II	a	0.90	0.66	0.45	0.36	30.76	30.35	SK430・442	SK116・125・126・127・177・248、SP007
SP 211	675	AG20	C	I	a	0.27	0.25	0.13	0.12	30.67	30.26		SK028・032・361
SP 212	679	AI19	C	VI	a	1.14	(0.71)	(0.29)	0.56	30.84	30.42	SK424	SK187・300・314・315、SP065
SP 213	680	AI19	B3	II	a	(0.70)	(0.49)	(0.32)	(0.34)	30.80	30.22		SK094・142・278、SP041
SP 214	691	AF20	C	I	c3	0.59	0.58	0.32	0.32	30.72	30.41	SK451	SK115・117・122・123・365
SP 215	692	AG20	C	II	a	1.42	1.10	0.41	0.36	30.55	30.15		SK028・041・047・080・083・240・360・420・421
SP 216	696	AE20	C	I	a	0.60	0.53	0.53	0.26	30.76	30.24	SK437・439	SK010・039・113・127・180
SP 217	697	BF1	C	II	a	0.80	0.54	0.57	0.40	30.68	30.52		SK051・052・423、SP010・185
SP 218	700	BD2	C	II	a	0.54	0.47	0.30	0.27	30.69	30.21		
SP 219	702	BD2	C	II	a	0.46	0.38	0.20	0.19	30.76	30.41		
SP 220	705	BD1・2	C	II	a	1.18	1.02	0.27	0.24	30.81	29.98	SK454・455	SK181・235、SP064・081、SX1
SP 221	713	BE・BF1	C	II	a	0.52	0.48	0.36	0.28	30.56	30.16		SK011・034・046・260、SP015
SP 222	714	BD1	C	II	a	(1.52)	0.96	(0.51)	(0.52)	30.66	30.24	SP228	SK021・023・068・074
SP 223	715	BD1	C	II	a	1.00	(0.73)	0.79	(0.56)	30.67	30.35	SK447	SK005、SP181・224
SP 224	716	BD1	C	II	a	0.45	0.16	0.18	0.16	30.66	30.29	SP223	SP181、SX1
SP 225	718	BD1・2	C	II	a	(0.61)	(0.56)	(0.42)	0.35	30.64	30.38		SK171
SP 226	721	BF1	C	I	a	0.55	(0.47)	0.22	0.20	30.79	30.06	SK448・456・SP231	SK116・119・176、SP233
SP 227	722	BE・BF1	B3	II	a	(0.93)	0.67	(0.76)	0.52	30.63	30.29		SK034・062・306、SP009
SP 228	729	BD1	C	II	a	0.80	(0.46)	0.21	0.19	30.73	30.14		SK023、SP222
SP 229	732	AF20	C	II	a	0.64	0.51	0.29	0.26	30.50	29.98		SK113・127・173・177・439、SP007・100
SP 230	733	AF20	C	I	a	0.40	0.36	0.20	0.18	30.30	30.14		SK037・444
SP 231	734	BF1	C	VI	a	(1.13)	(0.40)	(0.23)	(0.12)	30.72	30.13	SK456	SK076・116・431、SP226
SP 232	736	AF20	C	II	a	0.75	0.63	0.53	0.46	30.36	30.08	SK367・448	SK065・366、SP011
SP 233	737	BF1	B1	II	a	0.69	0.60	0.45	0.40	30.70	29.98	SK448、SP226	SK076・116・119・175、SP185
SP 234	738	AF20	B2	V	a	(0.78)	0.80	0.34	0.30	30.53	29.73		SK128・177・248、SP007
SP 235	1005	AP15	C	II	a	0.32	0.26	0.24	0.21	30.13	29.96	SK462	
SP 236	1010	AO15	C	II	c2	0.80	0.53	0.58	0.34	30.14	石29.87 掘29.82	SK471・482、SP250	
SP 237	1015	AP15	C	II	a	0.28	0.24	0.11	(0.09)	29.89	29.55		
SP 238	1023	AP15	A	II	a	0.28	(0.22)	0.18	0.15	30.05	29.80		SK472
SP 239	1026	AO15	C	I	a	(0.25)	0.24	0.26	0.11	30.10	30.01	SK493	SK470
SP 240	1028	AO15	C	I	a	0.52	0.47	0.27	0.22	30.11	29.83	SK482・493、SP244	
SP 241	1029	AO15	B3	II	a	0.70	0.55	0.51	0.37	30.13	29.84		SP243
SP 242	1032	AO15	C	I	a	0.25	0.24	0.08	0.08	29.79	29.58		SK468・475
SP 243	1033	AO15	C	II	a	0.58	0.44	0.16	0.14	30.16	29.82	SK481、SP241	
SP 244	1034	AO15	C	II	a	(0.37)	0.40	0.14	0.13	30.10	29.80	SK482・488・493	SK475、SP240
SP 245	1039	AO15・16、AP15・16	C	VI	a	(0.26)	(0.60)	(0.26)	(0.28)	30.50	29.71		SK475
SP 246	1040	AO15・16	B3	I	a	0.95	0.84	0.48	0.40	30.13	29.71	SK493	SK480
SP 247	1045	AP15	B3	II	a	0.60	0.41	0.42	0.30	29.96	29.60		SK464
SP 248	1049	AO15	C	I	a	(0.40)	(0.38)	0.19	0.18	29.94	29.72		SK476・481・486
SP 249	1053	AO16	A	II	a	0.48	0.34	0.37	0.22	30.09	29.87		
SP 250	1055	AO15	C	VI	a	(0.51)	(0.33)	(0.18)	0.25	30.28	29.90		SK476, SP236
SP 251	1059	AN16	D	I	a	0.41	(0.35)	0.13	0.11	30.13	29.85	SP495	SK494
SP 252	2003	AS14	C	I	a	0.56	0.51	0.37	0.33	30.16	29.87	SK533・553	SK500・518
SP 253	2004	AR14	C	II	a	(0.53)	0.44	(0.43)	0.29	30.20	29.84	SK524・537・545・548, SP279	SK498, SP264
SP 254	2006	AR14	C	I	a	0.49	0.48	0.37	0.36	30.17	29.64	SK537・540・548, SP279・288	SK498
SP 255	2012	AS13	C	VI	a	(0.52)	(0.52)	(0.40)	(0.38)	30.62	29.78	SK542・565, SP258	SK516
SP 256	2013	AT13	C	I	a	0.46	0.43	0.30	0.26	30.13	29.54	SK534・543・549, SP271・277・283	
SP 257	2014	AT13	C	II	a	(0.22)	0.31	(0.12)	0.21	30.37	29.70	SK536・547, SP260・284	
SP 258	2017	AS・AT13	C	II	a	0.65	0.54	0.47	0.38	30.14	29.82	SK542, SP275	SP255
SP 259	2021	AT13	C	II	a	0.51	0.43	(0.32)	0.30	30.10	29.82	SK504・536・550・534・562, SP274	
SP 260	2022	AT13	C	VI	a	(0.62)	(0.19)	(0.48)	(0.13)	30.27	29.61	SK547, SP278・284・285	SK503, SP257
SP 261	2023	AT13	C	I	a	0.33	(0.26)	0.18	0.18	29.90	29.57		SK504, SP274
SP 262	2025	AS14	B2	VI	a	(0.68)	(0.48)	(0.35)	(0.29)	30.46	29.88	SK518・533	SK505・508
SP 263	2028	CB12	C	II	a	0.47	0.44	0.23	0.17	30.12	29.79	SK522	
SP 264	2030	AR14	C	VI	a	(0.35)	(0.10)	(0.23)	(0.05)	30.37	30.06	SK524・548, SP253	
SP 265	2032	CA12	C	II	a	0.47	0.36	0.35	0.24	30.13	29.91		
SP 266	2033	CA13	C	II	a	0.39	0.30	0.18	0.12	30.16	29.92		
SP 267	2034	AS13	C	I	a	0.50	0.47	0.37	0.36	30.13	29.76	SP268・272	SK502
SP 268	2035	AS13	B2	II	a	(0.58)	0.54	0.29	0.25	30.15	29.47	SK528・529・533・542・565, SP282	SK502, SP267
SP 269	2042	CB12	B3	II	a	(0.32)	0.36	(0.21)	0.20	30.10	29.67		SK511
SP 270	2043	CB12	C	II	a	0.37	0.30	0.18	0.14	30.11	29.85		
SP 271	2048	AT13	C	I	a	0.53	(0.24)	(0.33)	(0.10)	30.60	29.80	SP277	SK517, SP256
SP 272	2051	AS13	C	II	a	(0.46)	0.43	(0.12)	0.14	30.15	29.70	SK533・544, SP282	SK502, SP267
SP 273	2054	AT13	D	VI	a	(1.28)	(0.50)	(1.14)	(0.33)	29.86	29.58		SK509

表24　遺構観察表（17）

遺構番号	遺構仮番号	グリッド名	埋土	平面形	種別	上端規模（m）		下端規模（m）		標高（m）		重複関係	
						長軸	短軸	長軸	短軸	上端	下端	>（切る）	<（切られる）
SP 274	2055	AT13	C	I	a	0.28	0.26	0.16	0.16	29.92	29.79	SK562, SP261	SK504, SP259
SP 275	2056	AS·AT13	C	I	a	0.31	0.28	0.25	0.22	30.12	29.76	SK542·543	SP258
SP 276	2059	AS14	C	II	a	0.56	0.38	0.29	0.18	30.03	29.73	SK544	SK510·518
SP 277	2060	AT13	C	VI	a	0.87	(0.55)	0.42	(0.10)	30.25	29.56	SK534·549, SP283	SK517, SP256·271
SP 278	2064	AT13	C	IV	a	(0.77)	(0.46)	(0.63)	(0.35)	29.94	29.71	SK547, SP285	SK503, SP260
SP 279	2065	AR14	B3	II	a	0.60	0.55	(0.39)	0.30	30.14	29.82	SK537·545·548	SK498·515, SP253·254
SP 280	2066	AR·AS14	C	II	a	0.36	0.26	0.16	0.10	30.12	29.90	SK548	SK498
SP 281	2070	AT13	C	IV	a	0.80	(0.60)	0.53	0.30	30.10	29.72	SK542·543·549·560·561, SP283	SK516·517
SP 282	2072	AS13	D	II	a	1.21	0.97	0.80	0.50	30.10	29.49	SK533·544·565	SK502·529·542, SP268·272
SP 283	2078	AT13	C	VI	a	0.62	0.40	0.48	0.20	30.16	29.59	SK543·549	SK516·517, SP256·277·281
SP 284	2081	AT13	C	I	a	(0.47)	0.43	0.34	0.30	30.12	29.72	SK547·552, SP285	SP257·260
SP 285	2083	AT13	C	II	a	(0.50)	0.44	0.28	0.22	29.96	29.52	SK547	SP260·278·284
SP 286	2087	AR14	C	II	a	(0.71)	(0.68)	(0.36)	0.37	30.13	29.79	SP287·291	SK496·537·545
SP 287	2090	AR14	C	II	a	(0.28)	0.26	0.15	0.13	29.79	29.61		SK496·506·539·545, SP286
SP 288	2094	AR14	C	II	a	0.30	0.20	0.10	(0.09)	29.77	29.61		SK548, SP254
SP 289	2097	AS13·14	C	II	a	0.53	0.44	0.26	0.22	29.69	29.50		SK533·538
SP 290	2098	AS13·14	C	II	a	0.60	0.43	0.36	0.26	29.74	29.55	SK563	SK533
SP 291	2099	AR14	C	VI	a	(0.50)	(0.32)	(0.40)	(0.29)	30.12	29.82		SK496·545, SP286
SP 292	2104	AS13	C	II	a	0.48	0.40	0.21	0.20	29.71	29.23	SK565	SK533·542
SP 293	3001	CN8	A	I	c2	0.28	0.28	0.22	0.20	30.05	右30.02 掘29.97		
SP 294	3002	CN8	C	II	a	0.37	0.30	0.19	0.13	30.04	29.85		
SP 295	3005	CM·CN8	A	I	a	0.27	0.26	0.14	(0.11)	30.05	29.77		
SP 296	3008	CM8	B2	II	a	0.30	0.24	0.18	0.18	30.09	29.87		
SP 297	3009	CM8	C	II	c3	(0.36)	0.29	(0.27)	0.19	30.09	右30.00 掘29.91	SK581	
SP 298	3011	CL8	C	I	a	0.24	0.23	(0.16)	0.17	30.09	29.80		
SP 299	3012	CL8·9	C	I	a	0.20	0.20	0.11	0.10	30.13	29.90		
SP 300	3015	CK9	C	I	a	0.47	0.43	0.20	0.18	30.16	29.72	SK582, SP302	
SP 301	3019	CN7	C	V	c3	0.39	(0.30)	0.28	(0.16)	30.06	29.95		
SP 302	3021	CK9	C	II	a	(0.60)	0.49	0.36	0.36	30.15	29.84		SP300
SP 303	3022	CK9	C	VI	a	0.40	(0.17)	0.23	(0.05)	30.29	29.90		
SP 304	3023	CK8	C	II	a	(0.27)	(0.32)	(0.15)	(0.16)	30.16	29.87	SP306	
SP 305	3024	CK9	C	II	a	(0.46)	0.33	0.22	0.11	30.13	29.66		SK572
SP 306	3029	CK8·9	C	II	a	(0.26)	0.27	0.15	0.15	30.15	29.84		SP304
SP 307	3032	CM8	B2	II	a	0.43	0.35	0.29	0.22	30.08	29.93		
SP 308	3037	CL·CM8	C	VI	a	(0.45)	(0.14)	(0.37)	(0.10)	30.28	29.72		
SP 309	3038	CK9	B3	VI	a	(0.29)	(0.11)	(0.13)	(0.04)	30.09	29.72		
SX 1	178	BD1·2	A	VI	b	2.70	(2.35)	2.26	(2.35)	30.88	30.69	SK120·170·171·181·232·233·234·235·238·434·454, SP064·081·181·220·224	SK007·008·023

凡例

埋土　A単層、B1水平堆積、B2中央が回む堆積、B3片側に堆積が偏る、C柱痕跡がある

平面形　Ⅰ円形、Ⅱ楕円形、Ⅲ方形、Ⅳ長方形、Ⅴ不定形、Ⅵ不明

種別　a構造物を持たないもの、b多数の礫を含むもの、c意図的に礫を並べるもの（c1礫を壁際に置く、c2礫を底面に置く、c3礫を埋土上部に置く）

複数の種別が当てはまる場合は、併記した。

下端標高　「右」は底面に置かれた礫上面、「掘」は掘方を示す。

重複関係　調査所見の切り合い関係を示し、出土遺物の年代による変更は敢えて行っていない。

表25　遺物観察表（1）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（=は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
1	土師器	皿	M3類（B2c類）	SD2	(11.2)	5.7	2.8	外面底部板目圧痕、外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	77	13
2	土師器	不明		SD2				胎土・焼成が土師器皿と類似	77	12
3	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式頃	SD2		台(5.5)		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	77	
4	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SD2	(12.5)	台(4.5)	4.3	穴の開いた底部に円盤（内外面回転糸切痕）を貼付、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	77	
5	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式新段階	SD2	(13.7)	台(3.5)	3.6	内面口縁部から体部にかけて自然釉	77	
6	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式新段階	SD2	(12.7)	台(4.5)	4.0	内面底部静止指ﾅﾃﾞ	77	
7	東濃型山茶碗類	山茶碗	大洞東1号窯式	SD2	(12.2)	台(3.9)	4.2	穴の開いた底部に円盤を貼付、内面摩滅	77	
8	東濃型山茶碗類	山茶碗	大洞東1号窯式	SD2	(12.5)	台(4.2)	3.5	穴の開いた底部に円盤を貼付、内外面口縁部から体部にかけて多数の擬ﾅﾃﾞ痕	77	
9	東濃型山茶碗類	山茶碗	大洞東1号窯式	SD2	(12.8)	台(4.2)	3.8	穴の開いた底部に円盤を貼付	77	
10	東濃型山茶碗類	山茶碗	脇之島3号窯式	SD2		4.6		外面体部ﾍﾗﾅﾃﾞ目顕著、内面摩滅	77	
11	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SD2	7.4	4.4	1.3	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	77	
12	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式新段階	SD2	(9.5)	3.0	0.9	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	77	15
13	東濃型山茶碗類	小皿	大洞東1号窯式	SD2	(7.9)	5.3	0.9	口縁端部煤付着	77	
14	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SD2	7.7	6.1	1.0	外面底部墨痕、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	77	
15	東濃型山茶碗類	小皿	脇之島3号窯式	SD2	(8.5)	6.3	1.1	内面底部静止ﾅﾃﾞなし、内面摩滅	77	
16	尾張型山茶碗類（瀬戸産）	片口鉢	第8小9型式	SD2+SK106		台(8.9)		外面体部下半ﾀﾃﾅﾃﾞ、内面敲打痕	77	
17	常滑産陶器	甕	第6a型式	SD2+SK418					77	16
18	瀬戸美濃産陶器	直縁大皿	古瀬戸後Ⅰ期	SD2+SK358				体部上方から内面にかけて灰釉が塗り	77	17
19	瀬戸美濃産陶器	梅瓶	古瀬戸中Ⅰ期小Ⅱ期	SD2				外面体部に印花文、灰釉	77	18
20	石器	輪羽口		SD2				砂岩製、長さ（7.2）cm、幅9.1cm、厚さ9.6cm、羽口厚1.8～4.9cm、羽口径2.9cm	77	23
21	銭貨	至道元寶	北宋、初鋳995年	SD2					77	24
22	銭貨	皇宋通寶	北宋、初鋳1038年	SD2				篆書	77	24
23	銭貨	熙寧元寶	北宋、初鋳1068年	SD2				真書	77	24
24	銭貨	大観通寶	北宋、初鋳1107年	SD2					77	24
25	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK072	8.0	5.1	1.4	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
26	金属製品	和釘		SK072				長さ(6.5)cm、幅1.2cm、厚さ1.2cm、上半欠損	78	24
27	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK259	(8.2)	4.6	1.3	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
28	金属製品	和釘		SK259				長さ(5.9)cm、幅0.7cm、厚さ0.7cm、両端欠損	78	24
29	金属製品	和釘		SK259				長さ(8.5)cm、幅0.7cm、厚さ0.9cm、両端欠損	78	24
30	土師器	皿	B1類	SK278	8.2	4.6	2.3	外面体部横ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	78	13
31	銭貨	明道元寶	北宋、初鋳1032年	SK278				篆書	78	24
32	銭貨	皇宋通寶	北宋、初鋳1038年	SK278				真書	78	24
33	銭貨	治平通寶	北宋、初鋳1064年	SK278				篆書	78	24
34	銭貨	元祐通寶	北宋、初鋳1086年	SK278				行書	78	24
35	銭貨	元祐通寶	北宋、初鋳1086年	SK278				行書	78	24
36	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK495	(11.7)	6.6	2.9	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	78	

表26　遺物観察表（2）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（+は接合関係）	口径(cm)	底径・台径(cm)	器高(cm)	備考	挿図番号	図版番号
37	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK495		台5.1		内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
38	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK495	8.0	5.0	1.3	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	14
39	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK495	8.8	4.7	1.3	内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	14
40	土師器	皿	M3類（B2a類）	SK366	(12.0)	6.2	3.2	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ	78	
41	土師器	皿	M3類（B2a類）	SK366+SK426	12.3	7.8	3.5	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ	78	13
42	土師器	皿	M3類（B2a類）	SK366	11.3	8.0	3.4	外面体部一段ﾅﾃﾞ、内面摩耗のため調整不明	78	
43	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK366	11.8			外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ	78	
44	土師器	伊勢型鍋	A4か5類	SK366				口縁端部の折り返しはやや薄く、端面が内彎する	78	12
45	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK366			4.9	内面底部静止指ﾅﾃﾞ	78	
46	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK366	(14.1)	台(5.2)	5.4	内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
47	東濃型山茶碗類	小皿	白土原1号窯式	SK366	(8.2)	4.1	1.5	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
48	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK366	7.8	4.2	1.6	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
49	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK366	8.1	5.0	1.4	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
50	土師器	皿	M2類かM3類（B2c類）	SK367	11.7	6.0	3.3	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ、器壁厚い	78	
51	土師器	皿	M3類かM4類（B2aかB2c類）	SK367	11.8	7.9	2.7	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	78	
52	土師器	皿	M3類（A2b類）	SK367	7.9	5.3	1.8	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	78	13
53	土師器	伊勢型鍋	A5かA6類	SK367				口縁部端面が上を向く、器壁薄い	78	12
54	東濃型山茶碗類	山茶碗	浅間窯下1号窯式か丸石3号窯式	SK367				内面摩滅	78	
55	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK367		台5.4		外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	78	
56	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK367	(14.1)	5.2	5.5	内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	14
57	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK367		台4.8		外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	78	
58	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK367	(8.5)	5.3	1.4	内面底部静止ﾅﾃﾞ	78	
59	常滑産陶器	甕	第6a型式	SK367					78	16
60	土師器	皿	C2類	SK003	7.2	4.1	1.7	外面無調整、口縁端部に煤付着	79	13
61	土師器	皿	D類4型式	SK003				内面一方向ﾅﾃﾞ	79	
62	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿3類	SK003	(8.0)	3.1	2.3	ﾛｸﾛ調整、外面底部に回転糸切痕	79	
63	美濃産陶器	柳茶碗	登窯第8～11小期	SK003				内外面灰釉	79	
64	美濃産陶器	擂絵皿	登窯第7小期	SK003	12.5	台5.5	3.3	高台を除き灰釉	79	19
65	美濃産陶器	小瓶	登窯第10か11小期	SK003		4.8		灰釉地に呉須絵	79	21
66	瀬戸産陶器	半胴	登窯第10か11小期	SK003				口縁端部が内外に張り出す、内外面柿釉	79	
67	常滑産陶器	火鉢	18世紀	SK003			8.8	内面体部から口縁部にかけて板ﾅﾃﾞ	79	21
68	常滑産陶器	甕	19世紀	SK003				外面体部上半板状工具によるﾅﾃﾞ、内面体部上半指頭圧痕	79	21
69	土師器	皿	C2類	SK509	(8.2)		1.6	外面無調整、内面摩耗	79	
70	土師器	皿	D類4型式	SK509	(5.5)	3.4	1.0	内外面無調整	79	
71	土師器	ﾎｳﾛｸ	D6類	SK509	(38.1)			外面体部上半部ﾅﾃﾞと指押え、体部下半部ｹｽﾞﾘ、口縁部内側横ﾊｹ、内面体部下半ﾅﾃﾞ	79	12
72	美濃産陶器	天目茶碗	登窯第5か6小期	SK509	9.4	台4.7	5.3	削り出し高台、高台周辺を除き鉄釉	79	20

表27　遺物観察表（3）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（※は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
73	瀬戸産陶器	碗	登窯第8小期	SK509	(10.7)	台4.6	5.2	削り出し高台、内面及び高台周辺を除き灰釉	79	20
74	瀬戸産陶器	碗	登窯第10か11小期	SK509	(12.8)	台4.6	6.3	高台周辺を除き灰釉	79	20
75	瀬戸産陶器	碗	登窯第10か11小期	SK509	(13.6)			内外面灰釉	79	
76	美濃産陶器	柳茶碗	登窯第9小期	SK509	12.2	台4.3	5.8	高台周辺を除き灰釉	79	20
77	美濃産陶器	湯呑	登窯第10か11小期	SK509	(9.4)	台3.3	5.8	高台周辺を除き灰釉	80	20
78	瀬戸産陶器	せんじ	登窯第8小期	SK509	(9.6)	台4.0	6.0	高台周辺を除き灰釉	80	20
79	美濃産陶器	輪花皿	登窯第7小期	SK509	12.0	台5.6	2.7	高台端部を除き全面灰釉	80	20
80	美濃産陶器	摺絵皿	登窯第5小期	SK509		台(7.2)		外面高台周辺露胎、内面透明釉	80	
81	瀬戸産陶器	梅文皿	登窯第8小期	SK509		台4.1		高台周辺を除き灰釉	80	
82	瀬戸産陶器	練鉢	登窯第8小期	SK509				内外面灰釉	80	
83	瀬戸産陶器	練鉢	登窯第10か11小期	SK509		台12.7		付高台、底部外面に団子ｶｹ圧痕、高台周辺を除き灰釉	80	20
84	美濃産陶器	製塩	登窯第7小期	SK509			3.2	長さ(8.4)cm、幅2.8cm、平面形は長円形、底部外面に板目痕、底部外面を除き灰釉、摺絵	80	20
85	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第6か7小期	SK509				内外面鉄釉	80	
86	美濃産陶器	耳付水注	登窯第6か7小期	SK509	3.3	台4.8	5.3	高台周辺を除き飴釉	80	20
87	美濃産陶器	錆釉徳利	登窯第8～11小期	SK509	(3.1)			内外面口縁部錆釉	80	
88	美濃産陶器	舟徳利	登窯第8～11小期	SK509	(3.9)			内外面柿釉	80	
89	瀬戸産陶器	香炉	登窯第8～11小期	SK509		台7.4		付高台の可能性あり、内面及び高台周辺を除き鉄釉	80	20
90	肥前産磁器	碗	近世	SK509		台4.3		外面体部青磁釉、内面と高台内透明釉	80	
91	肥前産磁器	碗	近世	SK509		台(3.9)		外面体部に呉須絵、全面透明釉	80	
92	常滑産陶器	くど	18世紀後半	SK509･SP273	(30.5)	20.5	26.5	内外面上半板状工具によるﾅﾃﾞ、不整楕円形の窓部（高さ（14.9）cm、幅21.2cm）に板状工具のﾅﾃﾞ、内外面煤ｽﾐ部分的に付着	80	20
93	土製品	土鈴		SK509				長さ(3.3)cm、幅4.7cm、穿孔径0.3cm	80	22
94	土製品	加工円盤		SK509				瓦を転用、長さ5.0cm、幅5.0cm、側面に磨痕	80	22
95	土製品	土錘		SK509				長さ4.8cm、小径0.5cm、大径1.0cm、孔径0.3cm	80	22
96	瀬戸美濃産陶器	小碗	登窯第11小期	SK033	(9.1)	台(3.4)	4.1	外面体部に櫛、全面透明釉	81	20
97	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第11小期	SK033				内外面鉄釉	81	
98	瀬戸産陶器	土瓶	登窯第11小期	SK033+攪乱(AJ18･19)				外面底部周辺を除き鉄釉、内面灰釉	81	
99	瀬戸産陶器	灯明皿	登窯第11小期	SK033	(10.2)	3.8	5.7	外面底部周辺を除き灰釉、口縁部被熱	81	
100	瀬戸美濃産陶器	端反碗（蓋）	登窯第11小期	SK033	(9.1)		2.9	摘み径3.3cm、天井部内面に露、口縁内面に縁描き、全面透明釉	81	20
101	瀬戸美濃産陶器	筒形湯呑	登窯第10か11小期	SK033	(6.5)	台(2.9)	5.4	陰刻･ﾀﾞﾐ、全面透明釉	81	20
102	瀬戸美濃産陶器	小杯	近代	SK033･SK080	(6.5)	2.6	3.4	外面体部に銀、外面ﾛｽ青磁で他は透明釉	81	
103	常滑産陶器	鉢	19世紀	SK033				内面煤付着	81	
104	常滑産陶器	火鉢か	19世紀	SK033		15.6			81	
105	瓦			SK033				瓦当に押印	81	
106	瓦			SK033				瓦当厚1.5cm、周縁厚1.1cm、周縁高0.5cm	81	22
107	瓦			SK033				瓦当厚1.8cm、瓦当に押印	81	22
108	瓦			SK033				瓦当厚1.3cm、周縁厚1.2cm、周縁高0.6cm、瓦当に押印	81	

表28　遺物観察表（4）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（○は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
109	石器	砥石		SK033				凝灰岩製、長さ（9.2）cm、幅（5.7）cm、厚さ（1.0）cm	81	23
110	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第10小期	SK093		15.5		外面体部から底部にかけて回転ヘラ削り調整、擂目一単位18本、内面体部上方に「大」押印、全面鉄釉	81	20
111	土師器	ﾐｶﾜｷ	J5類	SK093				外面体部上半部ﾅﾃﾞと指押え、体部下半部ﾊｹﾒﾅﾃﾞ、口縁部内側横ﾅﾃﾞ、内面体部下半ﾅﾃﾞ	82	12
112	瀬戸美濃産陶器	端反碗	登窯第11小期	SK105				手描き（体部外面に楕円区画と蛇行線、口縁内面に縁描き）	82	
113	瀬戸産陶器	刷毛目皿	登窯第11小期	SK105	（13.0）	台（6.8）	3.6	白化粧土を施した後に4ヶ目状工具で螺旋状の文様、全面透明釉、口縁部被熱	82	20
114	瀬戸産陶器	片口	登窯第11小期	SK093				内外面灰釉	82	
115	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第11小期	SK093				内外面灰釉、折返口縁が体部と密着、口縁部以下に緑釉掛け流し	82	
116	瀬戸産陶器	土瓶	登窯第10ホ-11小期	SK093	（8.3）			口縁部を除き内外面鉄釉、把手欠損後の使用痕あり	82	
117	瀬戸美濃産陶器	水滴	登窯第10ホ-11小期	SK105				長さ（5.5）cm、幅（5.3）cm、底部内外面に布目痕、型押しによるﾊﾘｰ	82	20
118	瀬戸美濃産陶器	行平（蓋）	近代	SK093	（18.9）			内外面灰釉	82	
119	瀬戸産陶器	織部盞	幕末～明治	SK033+SK105	（18.2）		3.5	横み径6.6cm、横み部及び内面口縁部を除き長石釉	82	20
120	瀬戸美濃産陶器	湯呑	近代	SK093	（10.7）			全面透明釉、手描き（内外面体部に竹）	82	
121	瀬戸美濃産陶器	湯呑	近代	SK033+SK105	（8.8）	台（3.4）	4.6	手描き（体部外面に竹、体部下端に腰描き）、全面透明釉	82	20
122	瀬戸美濃産陶器	筒形湯呑	近代	SK105+SK093	（7.4）	台3.4	6.3	陰刻・ﾀﾞﾐ、全面透明釉	82	20
123	瀬戸美濃産陶器	小皿	近代	SK093	11.0	台6.9	2.3	手描き（見込み葡萄・蝶々）、全面透明釉、内外面被熱痕	82	20
124	瀬戸美濃産陶器	猪口	近代	SK105+SK093	（9.6）			手描き（口縁内面に縁描き）、全面透明釉	82	
125	瀬戸美濃産陶器	灯明皿	近代	SK093	（10.7）	3.5	2.2	内面体部被熱痕	82	
126	瀬戸美濃産陶器	端反碗（盞）	登窯第11小期	SK093	（9.2）		2.7	横み径（3.8）cm、天井部内面に「口明口厘」銘、口縁内面に雷文、全面透明釉、外面被熱痕	82	20
127	肥前産磁器	丸碗	近代か	SK105	（11.8）	台4.8	5.7	手描き・ダミ、底裏に角銘、外面体部のみ青磁釉で他は透明釉	82	20
128	肥前産磁器	丸碗	近世	SK093	（10.0）	台4.0	7.4	見込みに蔓状の松竹梅文、口縁内面に縁描き、体部下端に腰描き、全面透明釉、内面体部被熱痕	82	20
129	肥前産磁器	丸碗	近代	SK093	（10.2）	台（3.8）	5.7	手描き（外面体部に竹、見込みに蔓状の松竹梅文、口縁内面に四方襷文）、全面透明釉	82	20
130	肥前産磁器	端反碗	近代か	SK093	（10.3）	台（4.0）	5.6	手描き（口縁内面に縁描き、体部下端に腰描き）、全面透明釉	82	
131	肥前産磁器	筒形湯呑	近世か	SK093		台（4.7）		体部呂須絵、全面透明釉	82	
132	瓦			SK105				瓦当厚1.5cm、周縁厚1.1cm、周縁高0.6cm	82	22
133	土師器	皿	M3類（不明）	SP004	6.4	4.2	1.5	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ	83	
134	土師器	皿	M3類か4類（不明）	SP004+SK021	6.9	4.3	1.3	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	83	13
135	土師器	皿	M3類（A2c類）	SK331	7.8	4.3	1.8	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ	83	13
136	土師器	皿	M4類（A2c類）	SK066	8.2	5.6	1.3	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ	83	13
137	土師器	皿	M3類（A2c類）	SK373	7.8	5.9	1.2	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部無調整、体部横ﾅﾃﾞ	83	
138	土師器	皿	M3類（A2c類）	SK255	（7.7）	4.2	1.5	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	83	
139	土師器	皿	M3類（A2d類）	SK063	（8.0）	4.3	1.8	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	83	
140	土師器	皿	M3類（A2d類）	B地点Ⅰ層	（8.5）	4.9	1.6	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	83	
141	土師器	皿	M3類（A2d類）	A015Ⅲ層	8.0		2.1	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面底部一方向ﾅﾃﾞ後横ﾅﾃﾞ	83	
142	土師器	皿	M3類（A2d類）	B地点東壁	8.2	4.5	1.7	外面体部1段ﾅﾃﾞ、内面体部横ﾅﾃﾞ	83	

表29　遺物観察表（5）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（×は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
143	土師器	皿	M3類（A2d類）	A015Ⅲ層	(8.2)	4.7	1.7	外面体部1段ナデ、内面底部一方向ナデ後体部横ナデ	83	
144	土師器	皿	M3類（A2e類）	SP016	(7.7)	5.3	1.0	外面体部1段ナデ、内面底部一方向ナデ後体部横ナデ	83	
145	土師器	皿	M3類（B2a類）	SK047	(11.5)	6.0	2.6	外面体部1段ナデ、内面体部横ナデ	83	
146	土師器	皿	M3類（B2c類）	B地点東壁	(12.4)	3.8	2.9	外面底部ﾅﾃﾞｷ、外面体部1段ナデ、内面底部一方向ナデ後横ナデ	83	
147	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK023	12.2	7.6	3.2	外面体部1段ナデ、内面体部横ナデ	83	
148	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK048	(11.7)	4.6	2.9	外面体部1段ナデ、内面体部横ナデ、器壁厚い	83	
149	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK255	(12.4)	6.0	2.7	外面体部1段ナデ、内面底部一方向ナデ後横ナデ	83	
150	土師器	皿	M3類（B2c類）	SP016	11.5	6.0	3.2	外面体部1段ナデ	83	
151	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK178	(11.9)	7.0	2.9	外面体部1段ナデ、内面体部横ナデ	83	
152	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK180	11.5	7.2	3.7	外面体部1段ナデ、内面体部横ナデ	83	13
153	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK361	11.7			外面体部一段ナデ、内面摩耗のため調整不明	83	
154	土師器	皿	M3類（B2c類）	SK379	12.0	6.8	3.7	外面体部1段ナデ、内面底部一方向ナデ後体部横ナデ	83	
155	土師器	皿	M3類か4類（B2c類）	SK099	(12.7)	3.2	3.6	外面体部1段ナデ、内面体部横ナデ	83	
156	土師器	皿	M3類か4類（B2c類）	攪乱（A119）	(11.8)		2.8	外面体部1段ナデ、内面体部横ナデ	83	
157	土師器	皿	A2類	SP074+SP075+SK103				内外面口縁部横ナデ、内面体部黒色有機物付着	83	13
158	土師器	皿	A3類	SP070		台(8.0)		体部直線的、内外面体部ナデ	83	13
159	土師器	皿	B1類	SK212	(11.7)	6.2	2.4	外面指頭圧痕、内面体部横ナデ	83	
160	土師器	皿	B1類	SK235	(10.2)	4.0	2.1	外面体部指頭圧痕、内面底部一方向ナデ後体部横ナデ	83	
161	土師器	皿	B1類	SP155	(17.1)	11.2	3.2	外面底部指頭圧痕・板目圧痕、体部横ナデ、内面底部一方向ナデ後に体部横ナデ	83	
162	土師器	皿	B2a類	A118Ⅲ層				外面口縁部横ナデ、内面底部から口縁部にかけて横ナデ	83	13
163	土師器	皿	B2b類	SK094	(11.5)	6.1	2.0	外面体部指頭圧痕、内面体部横ナデ	83	13
164	土師器	皿	B類かC類	SK509	(8.8)	5.0	2.2	摩滅により調整不明	83	
165	土師器	皿	C1類	SK331	8.5	4.8	1.8	外面体部指頭圧痕、内面底部に二方向ナデ後に体部から口縁部にかけて横ナデ、口縁端部に煤付着	84	13
166	土師器	皿	C1類	SK006	8.0	4.4	2.3	外面底部指頭圧痕、内面底体部一方向ナデ	84	
167	土師器	皿	C1類	SK071	8.7	5.5	1.9	外面体部指頭圧痕、内面底部無調整	84	
168	土師器	皿	C1類	SK139	8.3	5.2	2.2	外面体部指頭圧痕残る、内面調整不明	84	
169	土師器	皿	C1類	SP133	(7.0)	1.5	1.8	外面底部ヘラ状に頂む、口縁端部に煤付着	84	
170	土師器	皿	C1類	SK077	7.0	4.1	1.2	外面指頭圧痕残	84	
171	土師器	皿	C1類	SK121	8.8	4.5	1.7	外面体部指頭圧痕、口縁端部に煤付着	84	13
172	土師器	皿	C1類	SK029	7.2	2.9	1.6	外面体部指頭圧痕、口縁端部に煤付着	84	
173	土師器	皿	C1類	SK135	10.1	4.8	2.4	外面体部指頭圧痕、内面底部一方向ナデ	84	13
174	土師器	皿	C1類	SP023	(9.6)	5.1	1.4	外面体部指頭圧痕、内面底部一方向ナデ	84	
175	土師器	皿	C2類	SK495	(7.8)	3.4	1.1	外面無調整、内面底体部一方向ナデ	84	
176	土師器	皿	C2類	SK020	(6.8)	2.9	1.2	内外面無調整、口縁端部に煤付着	84	
177	土師器	皿	C2類	攪乱（A119）	(6.5)	4.0	1.3	内外面無調整	84	
178	土師器	皿	C2類	SK356	6.4	2.0	1.6	内外面無調整	84	13

表30　遺物観察表（6）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（+は接合関係）	口径(cm)	底径・台径(cm)	器高(cm)	備考	挿図番号	図版番号
179	土師器	皿	C2類	SP053	6.7	4.1	1.6	外面無調整、内面底体部不定方向ﾅﾃﾞ	84	13
180	土師器	皿	C2類	SP133	6.8	3.8	1.5	外面無調整、底部板目圧痕、内面底部二方向ﾅﾃﾞ後体部横ﾅﾃﾞ	84	13
181	土師器	皿	C2類	SK047	6.7	3.7	1.7	外面無調整、内面体部一方向ﾅﾃﾞ	84	
182	土師器	皿	C2類	攪乱(BE1)	5.0	3.0	2.0	外面無調整、内面底部二方向ﾅﾃﾞ	84	
183	土師器	皿	C2類	SP044	5.8	2.5	1.5	外面無調整、内面底部から体部にかけて不定方向ﾅﾃﾞ、口縁端部に煤付着	84	
184	土師器	皿	D類4型式	AH19Ⅲ層			0.9	内外面無調整	84	13
185	土師器	皿	D類4型式	SK028	(3.3)	5.5	0.4	内面一方向ﾅﾃﾞ	84	
186	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿1類	SK073			2.3	ﾛｸﾛ調整、外面底部回転糸切痕	84	13
187	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿2類	攪乱(BD2)	(8.4)	4.3	1.7	ﾛｸﾛ調整、底部外面回転糸切痕	84	
188	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿2類	攪乱(BD1・2、BE1・2)	7.5	4.3	1.5	ﾛｸﾛ調整、外面底部回転糸切痕	84	13
189	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿3類	SK179	4.6	3.2	1.3	ﾛｸﾛ調整、高台内に回転糸切痕	84	
190	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿3類	BF1Ⅲ層	4.3	2.5	1.3	ﾛｸﾛ調整、外面底部に回転糸切痕	84	
191	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿3類	攪乱(CA12・13、CB12・13)	7.4	3.4	1.9	ﾛｸﾛ調整、外面底部に回転糸切痕	84	13
192	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿3類	攪乱(CA12・13、CB12・13)	(8.6)	3.7	2.1	ﾛｸﾛ調整、外面底部に回転糸切痕、口縁端部に煤付着	84	
193	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿3類	攪乱(CA12・13、CB12・13)	8.5	3.5	2.2	ﾛｸﾛ調整、外面底部回転糸切痕	84	
194	土師器	皿	ﾛｸﾛ調整皿3類	攪乱(CA12・13、CB12・13)	8.2	3.9	2.3	ﾛｸﾛ調整、外面底部に回転糸切痕	84	
195	土師器	ﾄﾘﾍﾞ		SK242				内外面及び断面に黒色物付着、分析No.6	84	23
196	土師器	羽釜	A3類	A地点清掃				外面体部ﾊｹ、内面ﾅﾃﾞ、鍔以下に煤付着	84	12
197	土師器	羽釜	A3類	SK444	(19.0)			体部外面ﾊｹ、内面ﾅﾃﾞ、鍔以下に煤付着	84	12
198	土師器	羽釜	A4類	SK133				内外面体部ﾊｹ	84	12
199	土師器	ﾎｳﾛｸ	E類	攪乱(AG19・20)				外面体部ｹｽﾞﾘ、外面煤付着	84	
200	須恵器(美濃須衛産)	坏蓋	7世紀末	SK317				焼成不良、天井部の器壁薄い	85	12
201	須恵器	坏蓋	7世紀末	SP044				鈕径(3.2)cm、天井部回転ﾍﾗ削り	85	12
202	須恵器(美濃須衛産)	坏身	8世紀中葉～後葉	攪乱(AG19)	(11.7)	台8.7	3.2	外面底部回転ﾅﾃﾞ	85	12
203	須恵器	広口短頸壷か鉢	8世紀	SK162				体部下半回転ﾍﾗ削り	85	12
204	灰釉陶器	段皿	10世紀後半	SK043+攪乱(BB2・3、BC2・3)		台(6.7)		内面灰釉、高台摩滅	85	12
205	灰釉陶器	不明		SP157				内面底部灰釉ﾊｹ塗り	85	12
206	灰釉陶器	窯道具(蓋)	10世紀後半	SK023		4.0		外面全体に自然釉	85	12
207	東濃型山茶碗類	山茶碗	窯洞1号窯式	SK017		台(6.5)		外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ	85	
208	東濃型山茶碗類	山茶碗	白土原1号窯式	攪乱(AJ18・19)	(15.8)	台(6.0)	5.4	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ	85	
209	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	攪乱(AJ18)	(14.6)	台4.9	5.2	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	85	
210	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK448	(14.3)	台(4.5)	5.7	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	85	
211	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	攪乱(BE1)	(13.6)		5.2	外面底部赤色顔料付着、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	85	
212	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	B地点東壁	(11.2)	台5.1	4.9	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	85	
213	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK312	(14.1)	台(5.0)	5.1	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	85	
214	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	A地点清掃	13.5	台4.8	5.5	内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	85	14

表31　遺物観察表（7）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（×は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
215	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK162	(13.2)	台(4.7)	5.2	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	85	
216	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK448		台5.0		外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	85	
217	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式新段階	SK014	(14.2)	台(5.1)	5.0		85	
218	東濃型山茶碗類	山茶碗	大洞東1号窯式	SK116	12.6	台4.2	4.0	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	85	14
219	東濃型山茶碗類	山茶碗	大洞東1号窯式	SK094			3.6	内外面に黒色有機物付着	85	
220	東濃型山茶碗類	山茶碗	大洞東1号窯式	SK529+SK544	(11.7)	台(4.5)	3.4	穴の開いた底部に円盤を貼付	85	
221	東濃型山茶碗類	山茶碗	脇之島3号窯式	SK037	(14.7)	台(6.0)	4.0	高台剥離、内面摩滅	85	
222	東濃型山茶碗類	山茶碗	生田2号窯式	SK167			2.4	内面摩滅	85	
223	東濃型山茶碗類	山茶碗	生田2号窯式	SP035	(11.3)	4.1	2.5		85	14
224	東濃型山茶碗類	山茶碗	生田2号窯式	SK231	(10.1)	4.0	2.4	内面摩滅	85	
225	東濃型山茶碗類	山茶碗	生田2号窯式	SK224	(10.2)	3.5	2.8		85	
226	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式か同式新段階	SD4					85	
227	美濃須衛型山茶碗類	山茶碗		SK178		台(8.0)		高台に籾殻痕あり、内面摩滅	85	
228	尾張型山茶碗類	山茶碗	第4型式	TP7		8.8		高台に籾殻痕、内面摩滅	85	
229	尾張型山茶碗類	山茶碗	第5型式	SK427		台(9.0)		内面摩滅	85	14
230	尾張型山茶碗類	山茶碗	第6型式	SK158		台(5.6)		内面底部静止ﾅﾃﾞ	85	
231	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK064	(13.4)	台4.8	5.6	外面底部墨書	86	15
232	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK444	13.2	台(5.0)	5.8	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	86	15
233	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK370+SK064		台(5.2)		外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ、底部外面に墨書、内面摩滅	86	
234	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK029		台(5.0)		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	86	15
235	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SK321		台(5.0)		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	86	
236	東濃型山茶碗類	山茶碗	明和1号窯式	SP046		台(5.6)		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	86	
237	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK373		台(4.2)		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	86	
238	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	焼乱(BD2)		台(5.0)		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	86	15
239	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK019		台4.7		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	86	15
240	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SP119		台5.0		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、外面煤付着	86	15
241	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK099		台(4.2)		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	86	15
242	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式	SK441		5.0		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	86	
243	東濃型山茶碗類	山茶碗	大畑大洞4号窯式か同式新段階	SK013		台3.6		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	86	
244	東濃型山茶碗類	山茶碗	大洞東1号窯式	BD1Ⅲ層			2.5	穴の開いた底部に円盤を貼付、外面体部に墨書	86	15
245	東濃型山茶碗類	山茶碗	脇之島3号窯式	SK081	(12.7)	5.0	4.4	外面底部墨書、外面底部板目圧痕	86	15
246	東濃型山茶碗類	小皿	黒笹1号窯式	SK329	(8.2)	4.6	1.7	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	
247	東濃型山茶碗類	小皿	白土原1号窯式	SK547	(8.2)	5.0	1.8	内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	14
248	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	AP15Ⅲ層	8.0	5.3	1.6	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	
249	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	BF1Ⅲ層	7.9	4.4	1.5	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ	87	
250	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	A015Ⅲ層	8.4	5.4	1.5	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ	87	
251	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK444	8.2	4.9	1.7	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	87	

表32　遺物観察表（8）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（+は接合関係）	口径(cm)	底径・台径(cm)	器高(cm)	備考	挿図番号	図版番号
252	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK320	8.0	4.7	1.1	外面底部板目圧痕、内面全面に自然釉、底部静止指ﾅﾃﾞ	87	
253	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK543	7.7	4.2	1.2	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	
254	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK487	8.5	4.6	1.5	外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	
255	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式新段階	SK543	7.7	5.8	1.1	内面底部静止ﾅﾃﾞ	87	
256	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式新段階	SP165	8.7	4.3	1.3	外面底部板目圧痕、内面底部静止ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	
257	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式新段階	SK204	8.5	4.5	0.9	内面摩滅	87	
258	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式新段階	SP165	8.3	台4.1	1.7	内面底部静止ﾅﾃﾞ	87	14
259	東濃型山茶碗類	小皿	脇之島3号窯式	SK252	(8.2)	6.0	1.2		87	
260	尾張型山茶碗類	小碗	第4型式	SK064		台(4.0)		内面摩滅	87	
261	尾張型山茶碗類	小皿	第5型式	SK006	8.2	3.6	2.2	内面摩滅	87	14
262	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK188	(8.9)	5.0	1.4	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	15
263	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK399	(7.5)	4.0	1.5	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	15
264	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK373	7.8	4.4	1.4	外面底部墨書、外面全体に墨痕、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	87	15
265	東濃型山茶碗類	小皿	明和1号窯式	SK275	(7.2)	3.9	1.3	外面底部墨書、内面全体に墨痕、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	87	15
266	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	TP3埋め戻し土	(8.7)	5.6	1.3	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	87	
267	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK224	(7.8)	4.8	1.2	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	15
268	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式	SK539	7.8	4.4	1.3	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	15
269	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式か同式新段階	攪乱(BD2)		5.5		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	15
270	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式か同式新段階	TP7		4.6		外面底部墨書、内面摩滅	87	15
271	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式か同式新段階	SP133		5.0		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	
272	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式新段階	SK070	8.2	5.7	1.3	外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ	87	15
273	東濃型山茶碗類	小皿	大畑大洞4号窯式新段階	SK122		5.0		外面底部墨書、外面底部板目圧痕、内面底部静止指ﾅﾃﾞ、内面摩滅	87	
274	東濃型山茶碗類	小皿	大洞東1号窯式	SK271	8.4	1.4	5.0	外面底部墨書、内面摩滅	87	14
275	東濃型山茶碗類	小皿	大洞東1号窯式	SK043	8.0	4.4	1.0	外面底部墨書、内面摩滅	87	
276	東濃型山茶碗類	窯道具（蓋）	明和1号窯式頃	SK092	(13.5)	6.0	3.3	内外面ﾛｸﾛ目顕著、外面全体に自然釉、内面摩滅	87	14
277	東濃型山茶碗類か	陶丸		攪乱(AP15)				径2.0～2.2cm、10.2g	87	14
278	東濃型山茶碗類か	陶丸		BE1Ⅲ層				径2.1～2.3cm、11.6g	87	14
279	尾張型山茶碗類（猿投から知多産）	片口鉢	第6型式	SK064				外面体部下半ｹｽﾞﾘ	88	
280	尾張型山茶碗類（猿投から知多産）	片口鉢	第7型式	AG20Ⅲ層				外面体部下半ｹｽﾞﾘ、内面摩滅	88	
281	尾張型山茶碗類（瀬戸産）	片口鉢	第8型式	SP075	(28.0)	9.8	10.6	体部下半ｹｽﾞﾘ、内面摩滅	88	16
282	尾張型山茶碗類（瀬戸産）	片口鉢	第10型式	SK425				体部下半は縦方向のｹｽﾞﾘ、内面摩滅	88	
283	尾張型山茶碗類（瀬戸産）	片口鉢	第10型式	SK070				体部下半ｹｽﾞﾘ	88	
284	尾張型山茶碗類（常滑産）	片口鉢	第7型式	SK289+SK092+SK164				外面体部下半ｹｽﾞﾘ、内面敲打痕	88	16
285	尾張型山茶碗類（瀬戸産）	片口鉢	第11型式	SK032				外面体部下半ｹｽﾞﾘ、内面摩滅	88	
286	東濃型山茶碗類（中津川産）	片口鉢	第6～8型式	SK272+SK285+SP150					88	
287	東濃型山茶碗類（中津川産）	片口鉢		SP134				外面体部下半ｹｽﾞﾘ	88	16
288	美濃須衛型山茶碗類	片口鉢	第5か6型式	SK210				外面体部下半ｹｽﾞﾘ、内面摩滅	88	16

表33　遺物観察表（９）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（+は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
289	美濃須衛産陶器	水注		TP3				内面と注口部に有機物付着	88	
290	常滑産陶器	甕	第3型式	SK116					88	16
291	常滑産陶器	甕	第4型式	SK377					88	16
292	常滑産陶器	甕	第5型式	SP095+SX1					88	16
293	常滑産陶器	甕	第7型式	B地点東壁					88	16
294	常滑産陶器	甕	第8型式	SP100					88	16
295	中国青磁	碗	龍泉窯系碗Ⅰ類	SK116				内面体部に飛雲文	88	19
296	中国青磁	碗	龍泉窯系碗B1類	SK159				鎬のない連弁文	88	19
297	中国青磁	碗	龍泉窯系碗B1類	SP094				高台部畳付とその内部露胎、見込みに「金玉満堂」のスタンプ、加工円盤の可能性あり	88	19
298	中国青磁	碗	龍泉窯系碗B1類	SK545		台(4.4)		外面体部に鎬連弁、見込みに花文様を片彫り	88	19
299	中国青磁	碗	龍泉窯系碗B2類	SP133	(14.0)			線描きの粗略な連弁文	88	19
300	中国青磁	碗	龍泉窯系碗B3類	攪乱(AG20)				片切彫による連弁文	88	19
301	中国青磁	碗	龍泉窯系碗C2類	SP048				外面口縁部に雷文帯	88	19
302	中国青磁	碗	同安窯系碗Ⅰ類	SE3				見込みと体部との境に有段、外面に櫛目	88	19
303	中国青磁	皿	同安窯系	SK093					88	19
304	中国青磁	皿	同安窯系	SK032		4.6		外面底部露胎、見込みに櫛状施文具による文様	88	19
305	中国青磁	鉢		SK020				内面体部に丸のみ状施文具により連弁を表現	88	19
306	中国青磁	盤		SK045					88	19
307	中国白磁	碗	Ⅳ類	SK528				外面体部下半にカンナ痕、高台周辺は露胎	88	19
308	中国白磁	碗	B群	SK116				「枢府磁」	88	19
309	中国白磁	多角坏		SK532				8単位、高台周辺は露胎	88	19
310	中国白磁	皿	A群	TP16埋め戻し土				内面口縁部口禿	88	19
311	中国白磁	四耳壺		SK188					88	19
312	中国陶器	褐釉壺		攪乱(AJ18)				外面褐釉	88	19
313	瀬戸美濃産陶器	茶壺	古瀬戸後期	攪乱(B83、BC2・3)				外面鉄釉	88	19
314	瀬戸美濃産陶器	平碗	古瀬戸後Ⅲ期	攪乱(AE20・BE1)				内外面灰釉、内面被熱痕	89	17
315	瀬戸美濃産陶器	天目茶碗	古瀬戸後Ⅱ期	SK128				高台周辺を除き鉄釉	89	
316	瀬戸美濃産陶器	天目茶碗	古瀬戸後Ⅳ期古	SK239				高台周辺を除き鉄釉	89	17
317	瀬戸美濃産陶器	灰釉天目	古瀬戸後Ⅱ期	SK104				高台周辺を除き灰釉	89	17
318	瀬戸美濃産陶器	底卸目皿	古瀬戸中Ⅱ期	SK085				内外面灰釉	89	
319	瀬戸美濃産陶器	底卸目皿	古瀬戸中Ⅱ期	SK432		台(9.5)		外面底部に格子状の卸目、内面底部中央に1単位4本の櫛描沈線、高台周辺を除き灰釉	89	17
320	瀬戸美濃産陶器	折縁小皿	古瀬戸後Ⅱ期	SP034	9.1	5.0	2.3	外面底部周辺を除き灰釉	89	17
321	瀬戸美濃産陶器	折縁小皿	古瀬戸後Ⅲ期	SP039+SK073+TP3	(8.5)	4.3	2.3	外面底部周辺を除き灰釉	89	17
322	瀬戸美濃産陶器	縁釉小皿	古瀬戸後Ⅰ期	発掘区内Ⅲ層	(12.6)			体部上方内外面に灰釉漬け掛け、内面底部冷塗り	89	
323	瀬戸美濃産陶器	縁釉小皿	古瀬戸後Ⅳ期古	SK053+SK091	(10.0)	4.8	2.5	内面底部露胎	89	17
324	瀬戸美濃産陶器	縁釉小皿	古瀬戸後Ⅳ期古	SK279+SP101	(10.1)	4.8	2.5	口縁部から内面体部上方にかけて鉄釉	89	

表34　遺物観察表（10）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（×は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
325	瀬戸美濃産陶器	緑釉小皿	古瀬戸後Ⅳ期古	SK122	10.0	4.5	1.8	体部上方から内面体部にかけて施釉	89	17
326	瀬戸美濃産陶器	入子	古瀬戸前Ⅲ期～中Ⅱ期	攪乱(A015・16)	(5.9)	3.3	2.3		89	17
327	瀬戸美濃産陶器	折縁中皿	古瀬戸後Ⅲ期	SP041×SK017	(12.8)	6.3	3.8	口縁部波状、外面体部下半から口縁部にかけて灰釉	89	17
328	瀬戸美濃産陶器	卸皿	古瀬戸前Ⅳ期	攪乱(AE20・BE1)				口縁部が角張り端部に浅い溝、口縁部から内面体部灰釉ﾏﾒ塗り	89	
329	瀬戸美濃産陶器	卸皿	古瀬戸中Ⅱ期	SK085				口縁部が角張り端部に浅い溝、体部上方から内面体部灰釉ﾏﾒ塗り	89	17
330	瀬戸美濃産陶器	卸皿	古瀬戸後Ⅲ期	SK252	(12.8)	6.1	3.3	口縁部内外面に灰釉	89	17
331	瀬戸美濃産陶器	壺	古瀬戸前Ⅰb期	8C3Ⅰ層				口縁端部は角張り片口がつく、内外面灰釉ﾏﾒ塗り	89	17
332	瀬戸美濃産陶器	折縁深皿	古瀬戸中Ⅱ期	SK120				内外面灰釉ﾏﾒ塗り	89	
333	瀬戸美濃産陶器	折縁深皿	古瀬戸中Ⅳ期	攪乱(AJ18)				灰釉薄く剥離	89	
334	瀬戸美濃産陶器	折縁深皿	古瀬戸後Ⅱ期	A118Ⅲ層				口縁部は指押さえにより波状、内外面灰釉	89	17
335	瀬戸美濃産陶器	折縁深皿	古瀬戸後Ⅳ期古	SK115				内外面灰釉	89	
336	瀬戸美濃産陶器	直縁大皿	古瀬戸後Ⅱ期	SK017				体部上方から内面にかけて灰釉ﾏﾒ塗り	89	
337	瀬戸美濃産陶器	直縁大皿	古瀬戸後Ⅳ期古	攪乱(AJ18)				底部周辺を除き灰釉	89	
338	瀬戸美濃産陶器	小鉢	古瀬戸後Ⅲ期	SK133				内外面灰釉	89	
339	瀬戸美濃産陶器	盤類	古瀬戸後Ⅲ期	SK119×SK176				外面底部周辺露胎、内面底部周辺ﾏﾒ塗り	89	17
340	瀬戸美濃産陶器	卸目付大皿	古瀬戸後Ⅲ期	SK437				内外面灰釉	89	17
341	瀬戸美濃産陶器	卸目付大皿	古瀬戸後Ⅳ期古	SD3				外面体部から内面体部上方にかけて灰釉ﾏﾒ塗り	89	
342	瀬戸美濃産陶器	柄付片口	古瀬戸後Ⅰ期ｂ-Ⅱ期	SK326				把手の最大径3.3cm、口縁部は内帽、外面体部から内面体部上方にかけて灰釉	89	17
343	瀬戸美濃産陶器	擂鉢	古瀬戸後Ⅳ期古	SK439				擂目一単位6本、鏑頼	89	17
344	瀬戸美濃産陶器	擂鉢	古瀬戸後Ⅳ期新	SK375				擂目一単位4本、鏑頼	89	
345	瀬戸美濃産陶器	擂鉢	古瀬戸後Ⅳ期新	SK053				内外面鏑頼	89	
346	瀬戸美濃産陶器	四耳壺	古瀬戸後Ⅲ期ｂ-Ⅳ期	攪乱(AJ18)				内外面灰釉	90	18
347	瀬戸美濃産陶器	四耳壺	古瀬戸後Ⅲ期ｂ-Ⅳ期	SK053				櫛描沈線4本、外面体部灰釉	90	18
348	瀬戸美濃産陶器	耳付合子	古瀬戸後Ⅲ期ｂ-Ⅳ期古	SK057				内外面灰釉	90	18
349	瀬戸美濃産陶器	梅瓶	古瀬戸前Ⅳ期	SK212				外面に薄い灰釉	90	18
350	瀬戸美濃産陶器	梅瓶	古瀬戸前Ⅲ期ｂ-Ⅳ期	SK127				外面体部に櫛描沈線4本、外面体部灰釉	90	18
351	瀬戸美濃産陶器	梅瓶	古瀬戸前Ⅲ期ｂ-Ⅳ期	SP045×SK032		7.9		外面底部周辺に灰釉	90	18
352	瀬戸美濃産陶器	梅瓶	古瀬戸中Ⅰ期ｂ-Ⅱ期	SK444		7.7		外面底部から体部にかけて灰釉	90	18
353	瀬戸美濃産陶器	梅瓶	古瀬戸中Ⅰ期ｂ-Ⅱ期	SK094				外面画花文、外面体部灰釉	90	18
354	瀬戸美濃産陶器	瓶子	古瀬戸後Ⅲ期ｂ-Ⅳ期	SK240				外面体部に櫛描沈線4本、内外面灰釉	90	18
355	瀬戸美濃産陶器	片口小瓶	古瀬戸後期	SK319				内外面灰釉	90	18
356	瀬戸美濃産陶器	仏花瓶	古瀬戸後Ⅰ期ｂ-Ⅱ期	SK075		5.4		焼成不良、外面体部に薄い灰釉	90	17
357	瀬戸美濃産陶器	水注	古瀬戸中Ⅰ期ｂ-Ⅱ期	SP050				外面から内面口縁部にかけて灰釉、把手欠損	90	18
358	瀬戸美濃産陶器	土瓶	古瀬戸後期	SK124				外面煤付着	90	18
359	瀬戸美濃産陶器	水滴	古瀬戸中Ⅰ期ｂ-Ⅱ期	SK028				外面体部に印花文を押印、外面灰釉	90	18
360	瀬戸美濃産陶器	袴腰形香炉	古瀬戸後Ⅲ期	SP212	(11.1)	6.0	4.8	外面底部糸切痕未調整、外面体部上方から口縁部内面にかけて鉄釉	90	17
361	瀬戸美濃産陶器	内耳鍋	古瀬戸後Ⅱ期	攪乱(A015・16・A0・AP15)				内外面鉄釉、外面体部に煤少量付着	90	18

表35　遺物観察表（11）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（※は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
362	瀬戸美濃産陶器	釜	古瀬戸後Ⅲ期か-Ⅳ期	SK189				内外面鉄釉	90	18
363	瀬戸美濃産陶器	仏供	古瀬戸後Ⅳ期古	SK153+SK058	(10.0)		3.2	高台周辺・内底底部を除き鉄釉	90	17
364	瀬戸美濃産陶器	筒形容器	古瀬戸後Ⅰ期	SK287+SP068				内面体部ﾊｹﾒ目顕著、外面体部中央に平行沈線、外面から内面体部上半灰釉	90	18
365	瀬戸美濃産陶器	天目茶碗	大窯第3段階	AG19Ⅲ層				外内面鉄釉	90	17
366	瀬戸美濃産陶器	丸皿	大窯第3段階	SP020				外面底部にピン付着、外面底部を除き灰釉	90	17
367	瀬戸美濃産陶器	縁釉はさみ皿	大窯第1段階	SK080		6.0		内外面底部周辺を除き灰釉	90	17
368	瀬戸美濃産陶器	擂鉢	大窯第2段階	SK047				内外面鉄釉	90	
369	美濃産陶器	鉄釉碗	登窯第7小期	攪乱（B82・3、BC2・3）	(10.2)			外面口縁部から体部にかけて平行沈線、内外面鉄釉	91	
370	瀬戸産陶器	せんじ	登窯第8小期	CA13Ⅲ層+AT13Ⅲ層	(9.8)	台3.9	5.6	削り出し高台、高台周辺を除き灰釉、口縁部に鉄釉流し掛け	91	21
371	美濃産陶器	湯呑	登窯第10か11小期	攪乱（CA12・13、CB12・13）	(9.7)	台(3.7)	4.8	削り出し高台、底部周辺を除き灰釉、口縁部に鉄絵	91	21
372	美濃産陶器	筒形湯呑	登窯第10小期	AH20Ⅲ層				体部外面に呉須による文様（竿菊と斜格子）	91	
373	美濃産陶器	小杯	登窯第8か9小期	攪乱（CA12・13、CB12・13）	(6.3)	台3.0	3.5	底部周辺を除き灰釉	91	
374	瀬戸美濃産陶器	小杯	時期不明	SP003	6.0	2.8	1.6	焼成不良	91	
375	瀬戸美濃産陶器	志野皿	登窯第1か2小期	SK533				付高台、高台周辺を除き長石釉	91	19
376	美濃産陶器	菊皿	登窯第4小期	SK020	(12.9)	台(6.9)	3.3	口縁端部をﾍﾗでﾅｯﾄﾞし外面胴部にﾍﾗ削線、高台周辺を除き灰釉、口縁部内外面に緑釉濃け掛け	91	21
377	美濃産陶器	折縁鉄絵皿	登窯第3小期	SP044	(11.6)	7.0	2.7	削り出し高台、内面に櫛ｹﾒ文、外面口縁部から内面にかけて灰釉	91	19
378	美濃産陶器	摺絵皿	登窯第7小期	SP041	(12.6)	台(6.9)	2.7	削り出し高台、口縁部輪花、内面底部に鉄絵、高台内側を除き灰釉	91	19
379	美濃産陶器	片口	登窯第11小期	AP20Ⅲ層	(15.7)	台(6.7)	6.6	高台周辺を除き灰釉	91	
380	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第3小期	SK020				内外面鉄釉	91	19
381	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第6小期	AI19Ⅲ層				内外面鉄釉	91	19
382	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第7小期	C地点東壁				擂目一単位7本、内外面鉄釉	91	19
383	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第5～7小期	SK535		14.0		擂目一単位13本、内外面鉄釉、内面摩滅顕著	91	21
384	瀬戸産陶器	擂鉢	登窯第11小期	攪乱（AE20・BE1）				内外面鉄釉	91	19
385	美濃産陶器	火鉢	登窯第8～11小期	攪乱（CA12・13、CB12・13）				口縁部内縁、体部外面から内面上部にかけて鉄釉	91	
386	瀬戸産陶器	甕	登窯第10か11小期	TP6				肩部に並行沈線、内外面格子・肩部に灰釉流し掛け	91	
387	美濃産陶器	灯明皿	登窯第10か11小期	攪乱（BD1・2、BE1・2）	5.3	2.6	1.4		91	
388	瀬戸産陶器	刷毛目徳利	登窯第11小期	SP003		6.6		外面体部に6ｹ目状工具による螺旋状の文様、外面底部に墨書	91	21
389	瀬戸産陶器	仏餉具	登窯第10か11小期	SK179	(6.7)	台(4.2)	5.2	坏部に呉須絵、脚部周辺を除き灰釉	91	
390	常滑産陶器	甕	18世紀前半	SK022+SK026+SP002	(60.6)			内面斜縦刷毛、外面体部板状工具によるﾅﾃﾞ	92	21
391	常滑産陶器	甕	18世紀前半	SK022+SP002		21.8		390と同一個体	92	21
392	唐津産陶器	鉢か皿		SK024				内面に印花文、6ｹ目による波状文・縦線、白化粧土を6ヶ塗り	92	
393	肥前産陶器	碗		SK084	(8.5)	台3.1	4.9	高台部畳付を除き灰釉	92	
394	肥前産磁器	香がか	近世か	AH19Ⅲ層				外面青磁釉、口縁端部に最行疵あり	92	
395	肥前産磁器	紅皿	幕末	SK023		台(1.8)		高台周辺を除き白磁釉	92	
396	産地不明	火鉢		SK179	(17.2)	22.3	16.3	外面口縁部横位のﾐｶﾞｷ、体部は縦位のﾅﾃﾞ	92	21
397	産地不明	十能		SK179				長さ(17.1)cm、幅19.0cm、瓦質	92	21

表36　遺物観察表（12）

掲載番号	産地・材質	器種	時期、分類名	出土地点（+は接合関係）	口径(cm)	底径・台径(cm)	器高(cm)	備考	挿図番号	図版番号
398	産地不明	鉢		AG19Ⅲ層			5.0		92	
399	土製品	飾り面		BD2Ⅲ層、BE2東壁				長さ(12.4)cm、幅(11.3)cm、型押しによる成形、内面に布目痕、右耳に焼成前穿孔、外面に顔料付着	93	22
400	土製品	飾り面		表採				長さ(6.3)cm、幅(3.9)cm、型押しによる成形、内面に布目痕、右耳に焼成前穿孔、外面に顔料付着	93	22
401	土製品	土鈴か		AG19Ⅲ層				長さ(3.2)cm、幅8.7cm、穿孔径0.4cm、内面に剥離痕	93	22
402	土製品	土鈴		CA13Ⅲ層				長さ3.4cm、幅2.9cm、穿孔径0.5cm	93	22
403	土製品	土鈴		攪乱(AK18)				長さ(4.4)cm、幅4.3cm、穿孔径0.6cm、紐状の金属を水平に貼付してその上半を赤彩	93	22
404	土製品	土錘		SK286				長さ4.9cm、小径2.9cm、大径3.5cm、孔径1.8cm	93	22
405	土製品	土錘		SK375				長さ5.3cm、小径1.8cm、大径2.0cm、孔径0.4cm	93	22
406	土製品	土錘		SK286				長さ4.4cm、小径1.1cm、大径1.6cm、孔径0.5cm	93	22
407	土製品	陶錘		AI18Ⅲ層				長さ4.5cm、小径0.8cm、大径1.2cm、孔径0.4cm	93	22
408	土製品	陶錘		AF20西壁				長さ6.1cm、小径0.7cm、大径1.4cm、孔径0.5cm	93	22
409	土製品	灯心おさえ		SP005				土師器転用、長軸長2.0cm、短軸長(1.9)cm、穿孔径0.4cm、質量1.8g	93	22
410	石器	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ		SK041				チャート製、長さ2.3cm、幅3.2cm、厚さ0.9cm	93	23
411	石器	火打石		TP9				チャート製、長さ2.6cm、幅2.2cm、厚さ3.5cm	93	23
412	石器	砥石		SK328				凝灰岩製、長さ(8.3)cm、幅3.4cm、厚さ1.1cm	93	23
413	石器	砥石		SP106				凝灰岩製、長さ(3.4)cm、幅4.9cm、厚さ1.9cm	93	23
414	石器	硯		SE3+SK057				泥岩製、長さ(10.9)cm、幅(3.2)cm、高さ1.3cm、硯縁に削痕、硯面に使用痕、墨堂が深く抉れて破損	93	23
415	石器	石臼（下臼）		SP099				花崗岩製、幅27.4cm、厚さ9.4cm、芯棒孔径2.0～5.4cm、主溝8分割・側面剥離	93	23
416	石器	輪羽口		SK436				砂岩製、長さ(3.4)cm、幅(2.8)cm、厚さ(3.1)cm、羽口厚2.4cm、分析№5	93	23
417	金属製品	和釘		SK188				長さ(7.8)cm、幅0.6cm、厚さ0.9cm、末端欠損	94	24
418	金属製品	和釘		SK030				長さ(6.2)cm、幅0.7cm、厚さ0.8cm、末端欠損	94	24
419	金属製品	和釘		SK080				長さ(5.4)cm、幅1.0cm、厚さ0.9cm、末端欠損	94	24
420	金属製品	和釘		AI18Ⅲ層				長さ5.2cm、幅1.6cm、厚さ0.7cm	94	24
421	金属製品	和釘		SP065				長さ(4.5)cm、幅0.9cm、厚さ0.8cm、末端欠損	94	24
422	金属製品	和釘		SP047				長さ6.7cm、幅0.9cm、厚さ1.1cm	94	24
423	金属製品	和釘		AI19Ⅲ層				長さ(10.5)cm、幅1.0cm、厚さ0.7cm、頭・脚部欠損	94	24
424	金属製品	和釘		AH20Ⅲ層				長さ(8.7)cm、幅0.7cm、厚さ0.8cm、頭・脚部欠損	94	24
425	金属製品	和釘		SP075				長さ(6.1)cm、幅0.7cm、厚さ0.8cm、頭・脚部欠損	94	24
426	金属製品	和釘		SK298				長さ(6.0)cm、幅0.8cm、厚さ0.7cm、頭・基部欠損	94	24
427	金属製品	洋釘		SX1				長さ(6.3)cm、幅0.4cm、厚さ0.4cm、末端欠損	94	24
428	金属製品	洋釘か		SK012				長さ(5.1)cm、幅0.5cm、厚さ0.5cm、末端欠損	94	24
429	金属製品	小刀		SP045				長さ(8.5)cm、幅1.5cm、厚さ0.3cm	94	24
430	金属製品	雁首	第5段階	攪乱(BD1・2)				長さ5.0cm、火皿径1.0cm、小口径1.2cm	94	24
431	金属製品	雁首	第5段階	攪乱(AE20・BE1)				長さ4.9cm、火皿径1.2cm、小口径1.0cm	94	24
432	金属製品	吸口		AF20Ⅲ層				長さ5.3cm、小口径1.1cm、口付径0.6cm	94	24

表37　遺物観察表（13）

掲載番号	産地・材質	器種	時期，分類名	出土地点（×は接合関係）	口径（cm）	底径・台径（cm）	器高（cm）	備考	挿図番号	図版番号
433	金属製品	吸口		SK106				長さ5.4cm，小口径1.0cm，肩に平行線，口付径0.7cm，肩に平行線．	94	24
434	金属製品	吸口		AG20Ⅲ層				長さ7.1cm，小口径0.9cm，口付径0.9cm	94	24
435	金属製品	吸口		BD1Ⅲ層				長さ8.1cm，小口径0.8cm，口付径0.7cm	94	24
436	銭貨	天禧通寶	北宋，初鋳1017年	SK043					94	24
437	銭貨	天聖元寶	北宋，初鋳1023年	SK228				真書	94	24
438	銭貨	皇宋通寶	北宋，初鋳1038年	SK017				篆書	94	24
439	銭貨	皇宋通寶	北宋，初鋳1038年	SK056				篆書	94	24
440	銭貨	皇宋通寶	北宋，初鋳1038年	SK219				篆書	94	24
441	銭貨	熙寧元寶	北宋，初鋳1068年	SK313				真書	94	24
442	銭貨	熙寧元寶	北宋，初鋳1068年	SK056				篆書	94	24
443	銭貨	熙寧元寶	北宋，初鋳1068年	SK510				篆書	94	24
444	銭貨	元豊通寶	北宋，初鋳1078年	SP007				行書	95	24
445	銭貨	元祐通寶	北宋，初鋳1086年	SK043				行書	95	24
446	銭貨	元祐通寶	北宋，初鋳1086年	SP072				行書	95	24
447	銭貨	元祐通寶	北宋，初鋳1086年	SK092				篆書	95	24
448	銭貨	元祐通寶	北宋，初鋳1086年	SK548				篆書	95	24
449	銭貨	紹聖元寶	北宋，初鋳1094年	SP072				行書	95	24
450	銭貨	崇寧重寶	北宋，初鋳1103年	SK217				当十	95	24
451	銭貨	宣和通寶	北宋，初鋳1119年	SP082				篆書	95	24
452	銭貨	寛永通寶		SK187				古寛永	95	24
453	銭貨	寛永通寶		BF1Ⅲ層				古寛永	95	24
454	銭貨	寛永通寶		BF1Ⅲ層				古寛永	95	24
455	銭貨	寛永通寶		AH20Ⅲ層				四分銭	95	24
456	銭貨	文久永寶		AG19Ⅲ層					95	24
457	鉄滓			SK484				長さ12.5cm，幅9.7cm，厚さ6.1cm，919.8g，分析№3	—	23
458	鉄滓			SK059				長さ12.2cm，幅7.9cm，厚さ4.3cm，721.3g，分析№1	—	23
459	鉄滓			SK399				長さ9.8cm，幅6.8cm，厚さ4.0cm，295.5g，分析№2	—	23

注）口径・底径・台径・器高・備考欄における括弧内の数値は現存値

表38　出土遺物一覧表（1）

遺構番号	古代 須恵器	古代 灰釉陶器	中世 土師器皿	中世 土師器（皿以外）	中世 山茶碗類	中世 片口鉢	中世 古瀬戸・大窯	中世 常滑産陶器	中世 中国産陶磁器	中世 その他	近世 土師器皿	近世 土師器（皿以外）	近世 陶磁器	近代 陶磁器	その他 瓦	その他 土製品・焼成粘土塊	その他 石器	その他 金属製品	その他 銭貨	その他 鉄滓	その他 不明	総数
SD 1														1								1
SD 2			93	8	158	14	4	9	2								1	3	4			296
SD 3			4		5		1	1								1						12
SD 4					2																	2
SE 1			2		3		1						6		8	1						21
SE 2	2		5		26	1	4	1				1	13	17	26	2	1	1				100
SE 3			23	1	23	2	5	2	1				10			1	1					69
SK 001	1		2		1								2							1		7
SK 002			2																			2
SK 003			8		3	1	2				2		39		1	1						57
SK 004			6		6		1						3					1				17
SK 005			1																			1
SK 006			11		16	1	2			1			1			1						33
SK 007																		3				3
SK 008																						0
SK 009			10		9		3	2					7		6							37
SK 010			3	1	7		1						3		1						1	17
SK 011			7	1	17		2				1	1	3									32
SK 012			3	1	5			1					1					1		1		13
SK 013			15		24		3	1	1				6							1	1	52
SK 014			12	1	9		1						1			1		1				26
SK 015							1															1
SK 016																						0
SK 017			26		40	1	8	1		1			2			1			1			81
SK 018					1																	1
SK 019			11	2	20		1						1					1		4		40
SK 020			37		34		2		2		4		14			1	1			1		96
SK 021			24		25		5						10					1				65
SK 022			7		6								38			1						52
SK 023		1	69		42		6	2					13		1	1						135
SK 024			5		1				2				2							1		11
SK 025			12		19		2	1					3			1						38
SK 026			2		1	1							4									8
SK 027			4		11		1						9									25
SK 028			20		28		3				1		21		1	2	1					77
SK 029	1		41		33	1	3	2	2				7			1						91
SK 030			15	1	31		3		1	1	2		8	2	5			4		1		74
SK 031			7		16			1														24
SK 032			39	1	41	2	8	2	1				16			1						111
SK 033			9	1	13	1	1	2				1	35	9	132	1	1	2		1	3	212
SK 034			2		13								1									16
SK 035			11		2		2															15
SK 036			2		1																	3
SK 037			9	5	24	1	1	1														41
SK 038			9		2								8									19
SK 039			6		7		2	1														16
SK 040			2																			2
SK 041			6		18		2	2					1	1			1					31
SK 042			1		3																	4
SK 043		1	67		44		4	1	1		1								2			121
SK 044			28		38		1				1		5			2		1			1	77
SK 045			40	2	98		5	1	1				1					1		1		150
SK 046			7	2	7		1						1									18
SK 047	1		47		64	2	6	4					6			1				2		133
SK 048			6		11																	17
SK 049			4		12								1									17
SK 050			1		1																	2
SK 051																						0
SK 052					4																	4
SK 053			21		26		9		1		3		1							1		62
SK 054			1																			1
SK 055			1																			1
SK 056			15		18	1	1	2	2				1	3					2			45
SK 057	1		21		25	1	4	3	1		1	1	4	1	1	1	1					66
SK 058	1		14		21		2	1					4		4							47
SK 059			12		23	1	2	2								1				1		42
SK 060			8		6		1						1									16

表39　出土遺物一覧表（2）

遺構番号	古代		中世							近世			近代	その他						総数
	須恵器	灰釉陶器	土師器皿	土師器（皿以外）	山茶碗類	片口鉢	古瀬戸・大窯	常滑産陶器	中国産陶磁器	その他	土師器皿	土師器（皿以外）	陶磁器	陶磁器	瓦	土製品・焼成粘土塊	石器	金属製品	銭貨	鉄滓	不明	
SK 061			6	1																		7
SK 062			10	1	21						1	2									1	36
SK 063			3		3																	6
SK 064			15	2	29	1	1	2										2		2		54
SK 065			12	1	27	2	1	4					1									48
SK 066			19		39			1	1													60
SK 067			3		9			1					1									14
SK 068			8		11		1						2									22
SK 069			19		11		3									1				1		35
SK 070			16	1	12	1		1								1		1			1	34
SK 071			13		3																	16
SK 072			11		18	2												1				32
SK 073			4				1	1		7												13
SK 074			2		3								1			1						7
SK 075			3		5		1													1		10
SK 076			1		2																	3
SK 077			2		2																	4
SK 078			2		1		1															4
SK 079					1																	1
SK 080			12		21		3	1			1	5	3	1				1			1	49
SK 081	1		3		13	2	1	1														22
SK 082		1	8		26	1	3	2										1				42
SK 083	1		10		19		2	1				3				1	1					38
SK 084			3		10		1					3										17
SK 085			15		23	1	2	2				1										44
SK 086			28		15		2					5										50
SK 087			5		10									1								16
SK 088			6		9	1	1								1							18
SK 089	1		17		21		4					1										44
SK 090														1								1
SK 091			26	1	21		7	2	1			5				1						64
SK 092			11		22	2	2	1						1					1	1		41
SK 093			1		7				1		17	23	22	44	1							116
SK 094			6		15	1	4					1	2	65								94
SK 095	1		5		16		2	1				2										27
SK 096			19		38		2	1				1										61
SK 097					2																	2
SK 098			9		23	1	6	2				1				2						44
SK 099			10		40		3	1				2						2				58
SK 100			4		10				1													15
SK 101																						0
SK 102			2		4															1		7
SK 103			5		6	3	1					2										17
SK 104			5		20	1	2									1						29
SK 105			2		1		1	1				6	6	13								30
SK 106			10		29	2	1	1		1		4		1	2		6		1			58
SK 107			1		6							1										8
SK 108					3																	3
SK 109					1																	1
SK 110					4													1				5
SK 111			1		6		1	1														9
SK 112																1						1
SK 113			13		11		2					2				2						30
SK 114																						0
SK 115			2		5		1	1														9
SK 116			48	1	112	3	20	10	2			2				1		2		1		202
SK 117					2																	2
SK 118			1		1																	2
SK 119			2		9		3									1						15
SK 120		1	22		24	2	5	1				3	1							6		65
SK 121			1		1																1	3
SK 122			1		3		5															9
SK 123																						0
SK 124							1															1
SK 125			1		4																	5
SK 126			1	1	1		3													1		7
SK 127			23		31		10	1							2					1		68

表40　出土遺物一覧表（3）

遺構番号	古代		中世							近世			近代	その他						総数
	須恵器	灰釉陶器	土師器皿	土師器（皿以外）	山茶碗類	片口鉢	古瀬戸・大窯	常滑産陶器	中国産陶磁器	その他	土師器皿	土師器（皿以外）	陶磁器	陶磁器	瓦	土製品・焼成粘土塊	石器	金属製品	銭貨	鉄滓	不明	
SK 128			4		4		1														9
SK 129			1		2	1															4
SK 130					3		1														4
SK 131					3																3
SK 132			5		6								1					2			14
SK 133			5	105	13		3						17		1	1		1			145
SK 134			2		7		1														10
SK 135			16		15	1						1	1	1	1			1			37
SK 136			4		14		1														19
SK 137			5		2			1													8
SK 138			6		2		1														9
SK 139			5		1																6
SK 140			1		1																2
SK 141					1																1
SK 142			1		1										1						3
SK 143				1	1								1								3
SK 144					6																6
SK 145																					0
SK 146				1	4		2						2								9
SK 147			2		9																11
SK 148			3		4		1	1													9
SK 149		1	7		12		1	3					1			2					27
SK 150	1		5		14			2					2								24
SK 151		1	7	1	11		4		1				1				1				27
SK 152			1										9								10
SK 153			5		6		1						1								13
SK 154																					0
SK 155			2		3				1												6
SK 156					4			1													5
SK 157			3		8																11
SK 158			9	1	10			1					1								22
SK 159			2		19			2	1												24
SK 160			7		2																9
SK 161			2		5	1	3														11
SK 162	1		3		12	1	1														18
SK 163			1		3								1								5
SK 164			22		7	1	1	1					1								33
SK 165			17		26	1		9	1				2								56
SK 166			1																		1
SK 167					7																7
SK 168																					0
SK 169			2		3		1						1								7
SK 170			3		7			1											2		13
SK 171			2		1		1														4
SK 172			3				1														4
SK 173			1		2																3
SK 174			3		4																7
SK 175					1		1						1								3
SK 176				1	2		2														5
SK 177			8		16		2												1		27
SK 178			10		13		1									1			1		26
SK 179			4							1			3							4	12
SK 180			12		5		1												1		19
SK 181					4		2						1								7
SK 182			6		5		1						1	1	4						18
SK 183			3		3											2					8
SK 184			2		4																6
SK 185			1		4		1	1													7
SK 186			1		2			1					1								5
SK 187			1		3		1											1			6
SK 188			22		9			2	1									1			35
SK 189					2																2
SK 190																					0
SK 191																					0
SK 192							1													1	2
SK 193																					0
SK 194																					0

表41　出土遺物一覧表（4）

遺構番号	古代		中世							近世			近代	その他						総数
	須恵器	灰釉陶器	土師器皿	土師器（皿以外）	山茶碗類	片口鉢	古瀬戸・大窯	常滑産陶器	中国産陶磁器	その他	土師器皿	土師器（皿以外）	陶磁器	陶磁器	瓦	土製品・焼成粘土塊	石器	金属製品	銭貨	鉄滓	不明	
SK 195			2		5		1														8
SK 196				4	2		1						1								8
SK 197			1		3		1	1													6
SK 198				6	6		1						4								17
SK 199			1		1	1												1			4
SK 200																					0
SK 201			1	2	4	1		1													9
SK 202					1																1
SK 203			1		1		1														3
SK 204					1																1
SK 205					2	1		1													4
SK 207					6		1						1								8
SK 208			5		2		4														11
SK 209			1	2																	3
SK 210			12		11	1		5					3			1					33
SK 211			1		1																2
SK 212			10		18	1	2									1					32
SK 213			2		1								1								4
SK 214			6	5	14			2					14								41
SK 215			6		16		1						1								24
SK 216			3	8	5								1								17
SK 217			9	1	8	1										1		1			21
SK 218			5	11	32		2	3					1								54
SK 219			6		14		1												1		22
SK 220			2		2																4
SK 221			1		4											1					6
SK 222			1	1																	2
SK 223			1		17								1								19
SK 224	1		7		20		3														31
SK 225																		1			1
SK 226																					0
SK 227					1																1
SK 228			1		6														1		8
SK 229			5		3																8
SK 230																					0
SK 231			8		10		1	2										1			22
SK 232				1	4																5
SK 233			1		1																2
SK 234			2		12				1				5							1	1	22
SK 235			3		5								1							1		10
SK 236			1		1																2
SK 237																					0
SK 238					3																3
SK 239					4		1						1	1							7
SK 240			12		9		3														24
SK 241			2		1								2								5
SK 242			3	1	6		1	3												2	16
SK 243			1		1		2														4
SK 244																					0
SK 245																					0
SK 246			5		2				1												8
SK 247																					0
SK 248			14	1	15		4									1					35
SK 249			1		1																2
SK 250			22		12		2	2								1				1	40
SK 251			1																		1
SK 252					20		1		1												22
SK 253					5								1								6
SK 254																					0
SK 255			2		2																4
SK 256			2		1																3
SK 257					3																3
SK 258			1																		1
SK 259			10		13													2			25
SK 260					2																2
SK 261			2		2																4
SK 262	1		6	1	4		2	1													15

表42　出土遺物一覧表（5）

遺構番号	古代 須恵器	古代 灰釉陶器	中世 土師器皿	中世 土師器（皿以外）	中世 山茶碗類	中世 片口鉢	中世 古瀬戸・大窯	中世 常滑産陶器	中世 中国産陶磁器	中世 その他	近世 土師器皿	近世 土師器（皿以外）	近世 陶磁器	近代 陶磁器	その他 瓦	その他 土製品・焼成粘土塊	その他 石器	その他 金属製品	その他 銭貨	その他 鉄滓	その他 不明	総数
SK 263			5		4			1														10
SK 264			8	1	11		6		1													27
SK 265					2								1									3
SK 266			1		1		1															3
SK 267					1																	1
SK 268					3																	3
SK 269																						0
SK 270					1										1							2
SK 271			1		12								1									14
SK 272			1		1	1																3
SK 273			5		7																	12
SK 274			2	38	7		1															48
SK 275					1																	1
SK 276					6		1															7
SK 277			2	1	2		1															6
SK 278			2																5			7
SK 279			11	4	16		3															34
SK 280																						0
SK 281			1		4																	5
SK 282			2		2																	4
SK 283			2		3													1				6
SK 284			4		4	1																9
SK 285			4		10	1	2	1														18
SK 286			10		19		9	2					1			2					1	44
SK 287			2		2		2				1							1				8
SK 288	1		15	1	13		3						1									34
SK 289			3	10	27	3	2	1					2									48
SK 290	1		10		9		2						2									24
SK 291				5	5																	10
SK 292																						0
SK 293			3		14		1						1									19
SK 294			2		5	1	1							1	1							10
SK 295	1		1		7		2	1														12
SK 296			1		3																	4
SK 297	1			4	5	1	2	1					1									15
SK 298			10	2	7	2	1		1									1				24
SK 299			5		5	1							1							1		13
SK 300			1		6				1													8
SK 301			2		1																	3
SK 302																						0
SK 303																						0
SK 304			2		1																	3
SK 305					1		1															2
SK 306					6																	6
SK 307					3		1	1														5
SK 308			1		11		1															13
SK 309			1	3	5	1	1	1														12
SK 310																				1		1
SK 311			6		6																	12
SK 312			10		18		1	5														34
SK 313			1	1	5													1	1			9
SK 314			3		3			1	1				1							1		10
SK 315			1			1														1		3
SK 316					1																	1
SK 317	2		22		9		1	1					1							2		38
SK 318			4		3																	7
SK 319			12		13		1	1					1									28
SK 320			2		9			2														13
SK 321			5	1	26		4	3														39
SK 322																						0
SK 323					1																	1
SK 324					2																	2
SK 325																						0
SK 326			18		12	1	3	4														38
SK 327			1		1																	2
SK 328			3	1	11	1		1									2					19
SK 329			2		12																	14

表43　出土遺物一覧表（6）

遺構番号	古代		中世								近世			近代	その他						総数
	須恵器	灰釉陶器	土師器皿	土師器（皿以外）	山茶碗類	片口鉢	古瀬戸・大窯	常滑産陶器	中国産陶磁器	その他	土師器皿	土師器（皿以外）	陶磁器	陶磁器	瓦	土製品・焼成粘土塊	石器	金属製品	銭貨	鉄滓	不明	
SK 330			1	1	4																6
SK 331			13		19		1	4													37
SK 332			2		3																5
SK 333					3																3
SK 334																					0
SK 335																					0
SK 336																					0
SK 337				1																	1
SK 338			4		2			1								1					8
SK 339			3		3																6
SK 340			1		1		1														3
SK 341																					0
SK 342																					0
SK 343								1													1
SK 344			1		2																3
SK 345					2																2
SK 346																					0
SK 347								1													1
SK 348																					0
SK 349					6			1								1					8
SK 350			2	1	1		1														5
SK 351					1																1
SK 352					4																4
SK 353			2		2			1													5
SK 354			1																		1
SK 355			1																		1
SK 356			9		12		2	3					3			1				1	31
SK 357																					0
SK 358			1		5		1														7
SK 359					2		1														3
SK 360			1				1														2
SK 361			11		4																15
SK 362																1					1
SK 363					1	2															3
SK 364					1																1
SK 365																					0
SK 366			78	5	73	5	1	3													165
SK 367			19	2	20	1		3													45
SK 368																					0
SK 369					1				1				1							1	4
SK 370			1		1																2
SK 371			9		5																14
SK 372																					0
SK 373			5		5		1	1												1	13
SK 374			1							1											2
SK 375			4		11		5	2	1							1					24
SK 376			1				1														2
SK 377			1	1	2		1	1					1								7
SK 378			1		2			1													4
SK 379			27		4		1						1								33
SK 380																					0
SK 381					4																4
SK 382			7	1	2			1													11
SK 383			3		5		2														10
SK 384			10	1	26	1														2	40
SK 385					3																3
SK 386				1	3																4
SK 387								1													1
SK 388			2				1														3
SK 389			4		3																7
SK 390					2																2
SK 391	1				2								1								4
SK 392					1																1
SK 393																					0
SK 394					3								1							1	5
SK 395					3		1														4
SK 396																					0

表44　出土遺物一覧表（７）

遺構番号	古代 須恵器	古代 灰釉陶器	中世 土師器皿	中世 土師器（皿以外）	中世 山茶碗類	中世 片口鉢	中世 古瀬戸・大窯	中世 常滑産陶器	中世 中国産陶磁器	中世 その他	近世 土師器皿	近世 土師器（皿以外）	近世 陶磁器	近代 陶磁器	その他 瓦	その他 土製品・焼成粘土塊	その他 石器	その他 金属製品	その他 銭貨	その他 鉄滓	その他 不明	総数
SK 397			3		1		1													1		6
SK 398								1		1								1		1		4
SK 399			1		5		3													2		11
SK 400																						0
SK 401					1																	1
SK 402			1				1													1		3
SK 403			1		2																	3
SK 404																				1		1
SK 405					1		1						1							2		5
SK 406			1						1													2
SK 407			1		2																	3
SK 408																						0
SK 409																						0
SK 410			1					1														3
SK 411					1																	1
SK 412			1		1																	2
SK 413																						0
SK 414																						0
SK 415			1		1																	2
SK 416																						0
SK 417					1															1		2
SK 418			5	1	8			2									1					17
SK 419					1																	1
SK 420																						0
SK 421			1		5		1	1								1						9
SK 422					1																	1
SK 423			2		2													1				5
SK 424			10		9															1		20
SK 425			4		6	1	1	4														16
SK 426			4		3	1		1														9
SK 427			1		6		2															9
SK 428																						0
SK 429										1												1
SK 430			2		4		1	2												1		10
SK 431							1															1
SK 432					5	3	1															9
SK 433			2		5			1														8
SK 434			1		3																	4
SK 435					1															1		2
SK 436					4								1				3					8
SK 437			5		2		2															9
SK 438					1											1						2
SK 439			20		30		3															53
SK 440			13		11			1					1									26
SK 441	1		1		3		2						1									8
SK 442					2																	2
SK 443					3																	3
SK 444			11	9	23		1										1					45
SK 445																						0
SK 446																						0
SK 447			1		1																	2
SK 448			20	1	20		1															42
SK 449																						0
SK 450																						0
SK 451																						0
SK 452																						0
SK 453							1															1
SK 454					3											1						4
SK 455			1		1																	2
SK 456			1		3																	4
SK 457					1																	1
SK 458																						0
SK 459					1																	1
SK 460																						0
SK 461																						0
SK 462	1		5		4																	10
SK 463																						0

表45　出土遺物一覧表（8）

遺構番号	古代		中世							その他	近世			近代	その他							総数
	須恵器	灰釉陶器	土師器皿	土師器（皿以外）	山茶碗類	片口鉢	古瀬戸・大窯	常滑産陶器	中国産陶磁器		土師器皿	土師器（皿以外）	陶磁器	陶磁器	瓦	土製品・焼成粘土塊	石器	金属製品	銭貨	鉄滓	不明	
SK 464																						0
SK 465																						0
SK 466																						0
SK 467																						0
SK 468			11		9		1	1														22
SK 469																						0
SK 470			3		3																	6
SK 471					1																	1
SK 472			2																			2
SK 473			4		1																	5
SK 474					2																	2
SK 475			2		1		1															4
SK 476			12		20	1																33
SK 477																						0
SK 478																						0
SK 479																						0
SK 480																						0
SK 481			3		6															1		10
SK 482			1																			1
SK 483																						0
SK 484			2		1													1		2		6
SK 485																						0
SK 486					1	1																2
SK 487			9		3	1																13
SK 488			3																			3
SK 489																						0
SK 490																						0
SK 491																						0
SK 492																						0
SK 493			3		2																	5
SK 494																						0
SK 495			15		6		1													1		23
SK 496			1																			1
SK 497					3																	3
SK 498			1																			1
SK 499																		2				2
SK 500																						0
SK 501			1										1									2
SK 502					1																	1
SK 503					1		1															2
SK 504			3	3	6							2	2									16
SK 505			1		1								1									3
SK 506					1																	1
SK 507			1	1	7							1										10
SK 508			2		3		1					1	1									8
SK 509			13	1	7						2	46	113	3	11	5	1	1				203
SK 510				1	1		1				1								1			5
SK 511													2									2
SK 512																						0
SK 513					1																	1
SK 514			3		3																	6
SK 515					4								1									5
SK 516																						0
SK 517																						0
SK 518			4		4		3					1	1									13
SK 519					3																	3
SK 520					1								1									2
SK 521			1		1																	2
SK 522																						0
SK 523																						0
SK 524			2		1	1																4
SK 525							1															1
SK 526																						0
SK 527			3										2									5
SK 528			7		10	1			1											1		20
SK 529			5		5																	10
SK 530			1										2									3

表46　出土遺物一覧表（９）

遺構番号	古代 須恵器	古代 灰釉陶器	中世 土師器皿	中世 土師器（皿以外）	中世 山茶碗類	中世 片口鉢	中世 古瀬戸・大窯	中世 常滑産陶器	中世 中国産陶磁器	中世 その他	近世 土師器皿	近世 土師器（皿以外）	近世 陶磁器	近代 陶磁器	その他 瓦	その他 土製品・焼成粘土塊	その他 石器	その他 金属製品	その他 銭貨	その他 鉄滓	その他 不明	総数
SK 531			1		1																	2
SK 532					2		1		1				1									5
SK 533			6		27		1						1			1				2		38
SK 534			4		6															2		12
SK 535													2									2
SK 536			2		6			1												1		10
SK 537			3		3																	6
SK 538			1		4																	5
SK 539			2		9	2														1		14
SK 540			4		5																	9
SK 541																						0
SK 542			2		7																	9
SK 543			5		12			1														18
SK 544			2		9															1	1	13
SK 545			2		5				1											1		9
SK 546			3		2																	5
SK 547			2		6																	8
SK 548			2		9														1	1		13
SK 549					1		1													1		3
SK 550					3			1												1		5
SK 551																						0
SK 552																						0
SK 553			1																			1
SK 554			1																			1
SK 555																						0
SK 556																						0
SK 557																						0
SK 558																						0
SK 559																						0
SK 560																						0
SK 561																				1		1
SK 562					3																	3
SK 563						1																1
SK 564							1															1
SK 565																						0
SK 566																						0
SK 567																						0
SK 568																						0
SK 569																						0
SK 570																						0
SK 571																						0
SK 572																						0
SK 573			1		1															1		3
SK 574					1																	1
SK 575																						0
SK 576																						0
SK 577																						0
SK 578																						0
SK 579																						0
SK 580																						0
SK 581																						0
SK 582																						0
SK 583			1																			1
SK 584																						0
SK 585					1																	1
SK 586																						0
SP 001			2		8		1		1				6									18
SP 002			8		10		2				1		9									30
SP 003			1		1								2									4
SP 004			9		5		1				3									1		19
SP 005			3		9											2						14
SP 006			11		12	1	1						2							1		28
SP 007			9		12		2												1			24
SP 008			6		9			1					5		3					1		25
SP 009			6		10						1		5			2					1	25
SP 010	1		5		1								1									8
SP 011			3		3								1									7

表47　出土遺物一覧表（10）

遺構番号	古代		中世								近世			近代	その他						総数
	須恵器	灰釉陶器	土師器皿	土師器（皿以外）	山茶碗類	片口鉢	古瀬戸・大窯	常滑産陶器	中国産陶磁器	その他	土師器皿	土師器（皿以外）	陶磁器	陶磁器	瓦	土製品・焼成粘土塊	石器	金属製品	銭貨	鉄滓	不明	
SP 012			1		2																3
SP 013					1								1								2
SP 014			2		3																5
SP 015			2				1														3
SP 016			12		12		1						1								26
SP 017			2		4								1								7
SP 018			2		1																3
SP 019																					0
SP 020			12		4		3	1					1			1					22
SP 021			4		3																7
SP 022																					0
SP 023			10		3											1					14
SP 024			6		7								1								14
SP 025			5		7								2								14
SP 026			6	1	6							1	1								15
SP 027			3		12			4													19
SP 028			2		3																5
SP 029			1		6																7
SP 030			1																		1
SP 031			2		3								1								6
SP 032																					0
SP 033			1		1																2
SP 034			11		9		3														23
SP 035					4																4
SP 036			2		1																3
SP 037					1																1
SP 038																					0
SP 039			4		1		1														6
SP 040			8		26								6			1		1			42
SP 041			17		20		5	4	1				2		1		1				51
SP 042		1	4		8													1		1	15
SP 043			4		5		2	1													12
SP 044	1		3		2		1						1								8
SP 045			14		21	1	1	1										5			43
SP 046			8		17																25
SP 047			2		8		3									3		1			17
SP 048			5		3				1												9
SP 049					1	1	2														4
SP 050			21		6	1	5									1					34
SP 051			4	7	10		1						3	2		2					29
SP 052			3		2								2								7
SP 053			11		6		1						3								21
SP 054			2	1	10			2										1		1	17
SP 055					1								1								2
SP 056			1		5																6
SP 057			1		2		1														4
SP 058			1																		1
SP 059			6		16								1							1	24
SP 060								1													1
SP 061																					0
SP 062					1																1
SP 063					1																1
SP 064					1	1															2
SP 065			6		10	1	2	2										1			22
SP 066			7	1	19	1	1	1	1						1	1		2			35
SP 067																					0
SP 068			1		2		7						8								18
SP 069					1	1															2
SP 070			13		4		1						1								19
SP 071			1				1														2
SP 072			4		9		1												2		16
SP 073			1	9	4	1	1														16
SP 074			8		3			1													12
SP 075			7		15	2	2											1			27
SP 076			4	1	8			3					1								17
SP 077			2		5				1												8
SP 078			1		1			1													3

表48　出土遺物一覧表（11）

遺構番号	古代 須恵器	古代 灰釉陶器	中世 土師器皿	中世 土師器（皿以外）	中世 山茶碗類	中世 片口鉢	中世 古瀬戸・大窯	中世 常滑産陶器	中世 中国産陶磁器	中世 その他	近世 土師器皿	近世 土師器（皿以外）	近世 陶磁器	近代 陶磁器	その他 瓦	その他 土製品・焼成粘土塊	その他 石器	その他 金属製品	その他 銭貨	その他 鉄滓	その他 不明	総数
SP 079				1	6																	7
SP 080					2																	2
SP 081			3																			3
SP 082			7		10		2	3					10					1				33
SP 083					1								1									2
SP 084			1		3		2		1													7
SP 085																						0
SP 086			2		6		1															9
SP 087			2		5		1															8
SP 088					1			1														2
SP 089			1		1																	2
SP 090					1																	1
SP 091				1																		1
SP 092			3		2																	5
SP 093					1			1										1				3
SP 094			3		5				1													9
SP 095			7	1	4		1	3														16
SP 096					7											1						8
SP 097					2				1													3
SP 098					1																	1
SP 099			4		5											1						10
SP 100			5		2			3														10
SP 101			4	2	10		2															18
SP 102			1		6	1										1						9
SP 103			1	1	2																	4
SP 104					1																	1
SP 105			1	1	10													1				13
SP 106			1		2											1						4
SP 107					1		1	1														3
SP 108			1		6																	7
SP 109																						0
SP 110					4							1										5
SP 111			6		5		1	1					1									14
SP 112			4		3																	7
SP 113																						0
SP 114			1	1	1			1														4
SP 115			7		12		1						1									21
SP 116			3		2		1															6
SP 117			3		12		1	4													1	21
SP 118					3			1														4
SP 119			6	1	6											1		1				15
SP 120			2		4		1						1									8
SP 121																						0
SP 122																						0
SP 123			1		4		1															6
SP 124			1		4		1	1					1									8
SP 125			10		7			3	1							1						22
SP 126					3																	3
SP 127			2		1		1	2		1												7
SP 128																						0
SP 129					2			1														3
SP 130																						0
SP 131			1		1	1																3
SP 132			2																			2
SP 133			4		15	1	5		3							1						29
SP 134			1		2	1																4
SP 135			1	2	3																	6
SP 136				3																		3
SP 137			3																			3
SP 138					2																	2
SP 139			2		7	1		2												1		13
SP 140					1															1		2
SP 141																						0
SP 142			1		7			1												1		10
SP 143																						0
SP 144																						0
SP 145																						0

表49　出土遺物一覧表（12）

遺構番号	古代		中世							その他	近世			近代	その他						総数
	須恵器	灰釉陶器	土師器皿	土師器（皿以外）	山茶碗類	片口鉢	古瀬戸・大窯	常滑産陶器	中国産陶磁器		土師器皿	土師器（皿以外）	陶磁器	陶磁器	瓦	土製品・焼成粘土塊	石器	金属製品	銭貨	鉄滓	不明	
SP 146																					0
SP 147					1																1
SP 148			2		5		2														9
SP 149					1																1
SP 150					1	1	1														3
SP 151																					0
SP 152			3		6		1														10
SP 153																					0
SP 154					1		1														2
SP 155			1		2																3
SP 156			1		1			1													3
SP 157		1					1														2
SP 158			1		1			2					1								5
SP 159					1																1
SP 160				3	4			1													8
SP 161			1			1															2
SP 162																					0
SP 163																					0
SP 164																					0
SP 165			3		4															1	8
SP 166			2		3		1	1													7
SP 167			1		6																7
SP 168			1		2				1												4
SP 169					1																1
SP 170							1														1
SP 171			1			1															2
SP 172																					0
SP 173																					0
SP 174						1															1
SP 175					1																1
SP 176																					0
SP 177			1																		1
SP 178								1													1
SP 179					3																3
SP 180					1																1
SP 181					1		1														2
SP 182					1																1
SP 183					1			2													3
SP 184			2					1													3
SP 185					1																1
SP 186																					0
SP 187					6																6
SP 188					1		2														3
SP 189			6	1	6		3									1	1				18
SP 190			2		1		1									1					5
SP 191					2		1	1					2								6
SP 192																					0
SP 193			3		3			1													7
SP 194	1		2		12																15
SP 195																					0
SP 196			1																		1
SP 197					2																2
SP 198			1													1				1	3
SP 199																					0
SP 200																					0
SP 201					3			1												1	5
SP 202			1																		1
SP 203																					0
SP 204			1		3																4
SP 205					1																1
SP 206																					0
SP 207																					0
SP 208																					0
SP 209					1																1
SP 210			4		12		1														17
SP 211					1																1
SP 212			3				1														4

表50　出土遺物一覧表（13）

遺構番号	古代 須恵器	古代 灰釉陶器	中世 土師器皿	中世 土師器（皿以外）	中世 山茶碗類	中世 片口鉢	中世 古瀬戸・大窯	中世 常滑産陶器	中世 中国産陶磁器	中世 その他	近世 土師器皿	近世 土師器（皿以外）	近世 陶磁器	近代 陶磁器	その他 瓦	その他 土製品・焼成粘土塊	その他 石器	その他 金属製品	その他 銭貨	その他 鉄滓	その他 不明	総数
SP 213			3		1																	4
SP 214			4	1	3																	8
SP 215							1															1
SP 216			1		8		2	2														13
SP 217					2																	2
SP 218					1																	1
SP 219																						0
SP 220			2		4		2															8
SP 221					2																	2
SP 222			3		2		2															7
SP 223					3																	3
SP 224					1																	1
SP 225																				1		1
SP 226			3		4			1														8
SP 227					1															1		2
SP 228					1																	1
SP 229					2																	2
SP 230																						0
SP 231								1														1
SP 232																						0
SP 233																						0
SP 234																						0
SP 235																						0
SP 236			7		2																	9
SP 237			2																			2
SP 238																						0
SP 239																						0
SP 240			2		1																	3
SP 241					1																	1
SP 242			1																			1
SP 243					1																	1
SP 244					1																	1
SP 245			1																			1
SP 246					1																	1
SP 247			4					2												1		7
SP 248																						0
SP 249																						0
SP 250			2	1	2																	5
SP 251																						0
SP 252			3			1																4
SP 253																						0
SP 254					1	1																2
SP 255			1																			1
SP 256				1	3		1															5
SP 257					1																	1
SP 258			1		6																	7
SP 259																						0
SP 260					1																	1
SP 261					1																	1
SP 262																						0
SP 263																						0
SP 264																						0
SP 265																						0
SP 266																						0
SP 267			2		3																	5
SP 268							1															1
SP 269																						0
SP 270																						0
SP 271																						0
SP 272			1																			1
SP 273													2									2
SP 274					1																	1
SP 275					5																	5
SP 276							1															1
SP 277																						0
SP 278			1																			1
SP 279					1																	1

表51　出土遺物一覧表（14）

遺構番号	古代 須恵器	古代 灰釉陶器	中世 土師器皿	中世 土師器（皿以外）	中世 山茶碗類	中世 片口鉢	中世 古瀬戸・大窯	中世 常滑産陶器	中世 中国産陶磁器	中世 その他	近世 土師器皿	近世 土師器（皿以外）	近世 陶磁器	近代 陶磁器	その他 瓦	その他 土製品・焼成粘土塊	その他 石器	その他 金属製品	その他 銭貨	その他 鉄滓	その他 不明	総数
SP 280																						0
SP 281			1		2															1		4
SP 282			1		7															1		9
SP 283																						0
SP 284																				1		1
SP 285					1																	1
SP 286			1		6															1		8
SP 287																						0
SP 288			1																			1
SP 289			1		1																	2
SP 290																						0
SP 291																						0
SP 292					2																	2
SP 293																						0
SP 294																						0
SP 295																						0
SP 296																						0
SP 297																						0
SP 298																						0
SP 299																						0
SP 300																						0
SP 301																						0
SP 302					1																	1
SP 303																						0
SP 304																						0
SP 305			1																			1
SP 306																						0
SP 307																						0
SP 308																						0
SP 309																						0
SX 1			2					1					2			1		1				7
小　計	27	8	3,040	334	4,576	127	519	275	56	6	35	77	728	78	338	92	25	71	26	100	23	10,561
A地点 I層	6	2	297	17	594	8	84	26	18		13	11	281	37	11	46	2	20	6	1	36	1,516
A地点 III層	10	3	529	27	947	12	134	31	10		18	43	634	47	15	37	8	28	15	6	34	2,588
A地点 検出不明	1		13	1	35	1	6		1			1	43	3		3					6	114
B地点 I層			25	2	35	1	7	2		1			2	1		1				1		78
B地点 第IV層			26		25		4	2			1									2		60
B地点 検出不明			35	2	31		1	4														
C地点 I層			5		1						11	1	21	2								41
C地点 III層			12	1	14		3						17	1		1		1				50
C地点 検出不明	1		3	1	6		1	2			2	2	18			6						42
D地点 I層					1		2						2									5
D地点 第IV層		1	3		2							1	3									10
D地点 検出不明					2			1														3
発掘区内試掘		1	18	2	42	1	6	4	1	2	1		28		1	3	1	1	1		2	115
総　数	45	15	4,006	387	6,311	150	767	347	86	9	81	136	1,777	169	365	189	36	120	49	110	101	15,256

第４章　自然科学分析

第１節　鍛冶・鋳造関連遺物の分析

１　はじめに

当遺跡では、多数の鍛冶関連遺物と鋳造関連遺物が出土した。そこで原材料や鍛冶工程を特定し、遺跡の性格を明らかにするため、鍛冶関連遺物の一部と鋳造関連遺物を分析した。これらのうち鉄滓は、黒色磁着微細物が出土したＳＫ399出土の鉄滓１点、大型の椀形滓２点（Ａ・Ｂ地点各１点）、輪羽口に付着する溶融物を選択した。また黒色磁着微細物は、現地で検出した①黒色物（約20kg）と②周囲の土壌（約49kg）を乾燥後に選別した磁着物（①1,977ｇ②2,577ｇ）のうち、①を対象とした。分析は、竹原弘展（株式会社パレオ・ラボ）が担当し、走査型電子顕微鏡及び付属するエネルギー分散型X線分析装置による鉄滓の観察と分析、蛍光X線分析装置によるトリベの元素マッピング分析を行った。なお、第１・４項は編集者、第２・３項は竹原が執筆した。

２　試料と方法

分析対象は、各遺構より出土した鉄滓４点（分析№１～３、５）、磁着のある黒色微細物（分析№４）、トリベ（分析№６）である。表52に一覧を示す。

鉄滓は、断面プレパラートを作製し、観察、分析を行った。試料の作製には、包埋樹脂に注型用高透明エポキシ樹脂を使用し、鉄滓の一部を岩石カッターで切り取った後包埋した。包埋試料は、ディスコプランで研磨した後、コランダムの#3000、ダイヤモンド粒子の１μmの順で研磨し、観察、分析面とした。採取した断面の位置を写真１～３の写真中に白線で示す。試料は、カーボン蒸着を施し、走査型電子顕微鏡（日本電子株式会社製JSM-5900LV、以後SEM）による反射電子像の観察及び付属するエネルギー分散型X線分析装置（同JED-2200、以後EDS）による鉱物組織の定性分析を行った。

黒色磁着微細物は、土砂が多く混ざっており、分析に先立って、超音波洗浄器と磁石を用いて磁着物の洗浄、抽出を行った。磁着物は、実体顕微鏡下で観察し、観察、分析用試料をピックアップした。

トリベは、非破壊で分析を行った。試料を、エネルギー分散型蛍光X線分析装置である（株）堀場製作所製分析顕微鏡XGT-5000TypeⅡの試料ステージに固定し、ステージを走査させながら測定する元素マッピング分析を実施した。

３　分析結果

鉄滓のSEM反射電子像を写真１～３にそれぞれ示す。SEM反射電子像に記された各ポイントのEDSに

表52　分析対象一覧

分析№	種別	遺構名	掲載番号	取上番号	備考	実施項目
1	鉄滓	SK059	458	3875		SEM観察、EDS分析
2	鉄滓	SK399	459	11448		SEM観察、EDS分析
3	鉄滓	SK484	457	20170		SEM観察、EDS分析
4	黒色磁着微細物	SK399	—	12351	塊状に出土	超音波洗浄、SEM観察、EDS分析
5	鉄滓	SK436	416	12223	輪羽口に付着	SEM観察、EDS分析
6	トリベ	SK242	195	9548		元素マッピング分析、ポイント分析

よる検出元素を表53に示す。分析№４は、洗浄の結果、写真２－④のような粒状及び薄片状の磁着する物質が得られた。それぞれ粒状滓と鍛造剥片と見られる。洗浄物よりピックアップした粒状滓を分析№４－１、鍛造剥片を分析№４－２として、他の鉄滓と同様に断面の観察、分析を行った。また、トリベの元素マッピング図、及び主要元素のマッピング図で輝度の高い箇所をポイント分析した結果得られたスペクトルを図96・97に、半定量値を表54に示す。

［分析№１（写真１－①～③）］

椀形を呈し、磁着がある。SEM反射電子像では、写真１－②、③のような結晶組織が観察された。EDS分析結果と併せると、明色の樹枝状ないし粒状組織（写真１－③のa）では鉄(Fe)と酸素(O)のみが検出されウスタイト(FeO)と見られる。中間色木ずれ状組織（同図b）では鉄とケイ素(Si)と酸素が検出されファイヤライト(2FeO･SiO2)と見られる。これらが、基質となる暗色ガラス質（同図c）上に晶出している。

［分析№２（写真１－④～⑥）］

磁着はやや弱い。SEM反射電子像では、写真１－⑤、⑥のような結晶組織が観察された。EDS分析結果と併せると、中間色木ずれ状組織（写真１－⑥のa）では鉄とケイ素と酸素が検出されファイヤライトと見られる。これが、基質となる暗色ガラス質（同図b）上に晶出している。

［分析№３（写真２－①～③）］

椀形を呈し、磁着は弱い。SEM反射電子像では、写真２－②、③のような結晶組織が観察された。EDS分析結果と併せると、明色の樹枝状ないし粒状組織（写真２－③のa）は鉄と酸素のみが検出されウスタイトと見られる。また、中間色木ずれ状組織（同図b）は鉄とケイ素と酸素が検出され、主な検出元素よりファイヤライトと見られる。これらが、基質となる暗色ガラス質（同図c）上に晶出している。

［分析№４－１（写真２－⑤～⑦）］

磁着のある粒状滓である。SEM反射電子像では、写真２－⑥、⑦のような結晶組織が観察された。極めて微小な明色樹枝状組織が見られ、EDS分析では組織単独での分析はできなかったものの、鉄・ケイ素・アルミニウム・酸素が検出された。ガラス質上にウスタイトが晶出しているものと考えられる。

［分析№４－２（写真３－①～②）］

磁着のある鍛造剥片である。厚さは約160μmで、SEM反射電子像では写真３－②のように表面の約12μm（写真３－②のa）と残りの部分（同図b）の計２層に分かれている様子が観察された。EDS分析では、２層とも鉄と酸素が検出された。反射電子像では、像のコントラストは物質の原子番号に依存するため、暗く映し出されている表層の方が、原子番号の小さい酸素の割合が高いと考えられる。したがって、表層がマグネタイト(Fe3O4)、内層がウスタイトと推定される。

［分析№５（写真３－③～⑤）］

輪羽口に付着しており、磁着がある。SEM反射電子像では、写真３－④、⑤のような結晶組織が観察された。明色の多角形組織（写真３－⑤のa）は、形状よりウルボスピネル(2FeO･TiO2)とも考えられたが、EDS分析結果では鉄と酸素のみが検出されチタンが検出されないことから、チタンを固溶していないマグネタイトと見られる。基質となる暗色ガラス質（同図b）上に晶出している。

［分析№6（図96・97）］

トリベ破片で、内面全体に付着物が見られる。内面の元素マッピング分析の結果、銅(Cu)と鉛(Pb)が主に検出された。付着物のうち、緑がかっている箇所は銅の輝度が高く、黒い箇所は鉛の輝度が高い傾向が見られた。また、スズ(Sn)も含まれており、局所的に濃度の高い箇所も検出されている（図97下）。他に付着物に伴う微量元素として、ニッケル(Ni)・ヒ素(As)・アンチモン(Sb)・ビスマス(Bi)が検出された。

一般に砂鉄製錬の場合、原料中にチタンが多く含まれており、さらにその製錬滓にはチタンが濃縮され、チタンを含む結晶鉱物が晶出するが、今回の鉄滓の定性分析結果では、いずれの試料からもチタンは検出されなかった。したがって、これらの鉄滓は製錬に伴う製錬滓ではなく、精錬鍛冶や鍛錬鍛冶に伴う鍛冶滓である可能性が高いと考えられる。また、鍛錬鍛冶に伴って発生する粒状滓及び鍛造剥片が検出されており、少なくとも鍛錬鍛冶が行われていたことが明らかとなった。

トリベ付着物は、Cu-Pb-Snの銅合金であることが判明した。青銅（銅とスズの合金）の一種ともいえるが、破片付着物の表面的な組成を見る限りではスズの割合はかなり少ない模様である。

4　考察

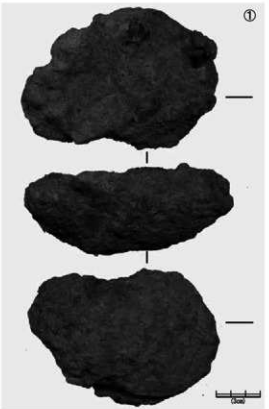
分析の結果、輪羽口・鉄滓・黒色磁着微細物は、鍛錬鍛冶が行われていたことを示す遺物である可能性が高くなった。これらと同一遺構内から共伴した最新型式の遺物の暦年代は、15世紀中葉（分析№3）と16世紀中葉～後葉（分析№4）である。ただし、これらを含む鍛冶関連遺物の出土位置は、限られた範囲ではない（第5章第2節参照）ことから、現段階では発掘区周辺で鍛冶工房が存在したと指摘するに留めたい。一方、トリベは鋳造又は鋳掛けの作業に伴う、専用容器である可能性が高くなった。同一遺構内から共伴した遺物の暦年代は14世紀後半～15世紀中葉であり、当該期に発掘区周辺で鋳造工房も存在したと考えられる。

表53　鉄滓EDS分析結果

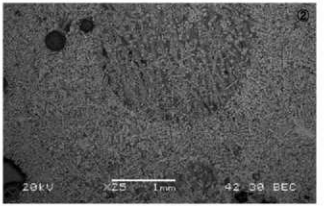
分析№		ポイント	検出元素	所見	
1		a	O, Fe	ウスタイト	椀形鍛冶滓
		b	O, Si, Fe	ファイヤライト	
		c	O, Al, Si, K, Ca, Fe	ガラス質	
2		a	O, Si, Fe	ファイヤライト	鍛冶滓
		b	O, Al, Si, K, Ca, Fe	ガラス質	
3		a	O, Fe	ウスタイト	椀形鍛冶滓
		b	O, Si, Fe	ファイヤライト	
		c	O, Na, Al, Si, K, Ca, Fe	ガラス質	
4	4-1	a	O, Al, Si, Fe	ウスタイト+ガラス質?	粒状滓
	4-2	a	O, Fe	マグネタイト?	鍛造剥片
		b	O, Fe	ウスタイト?	
5		a	O, Fe	マグネタイト	鍛冶滓
		b	O, Al, Si, K, Ca, Fe	ガラス質	

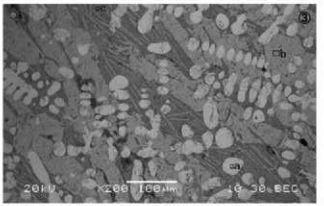
表54　トリベ蛍光X線半定量分析結果（mass%）

分析№	ポイント	Cu	Pb	Sn	Ni	As	Sb	Bi
6	a	82.27	16.08	0.82	0.07	0.75	—	—
	b	26.20	68.97	3.83	0.26	—	0.51	0.23
	c	47.60	9.46	42.94	—	—	—	—

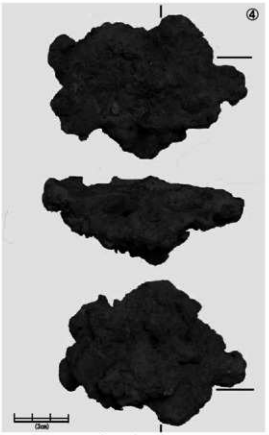


①　分析写真 NO.1

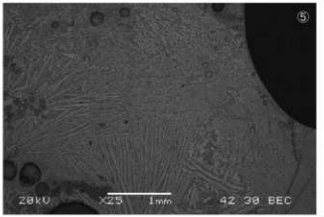


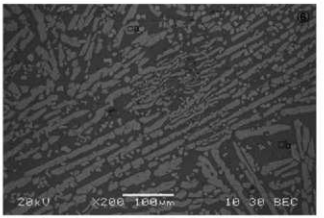


②·③　分析 NO.1 SEM 反射電子像（②×25,③×200）



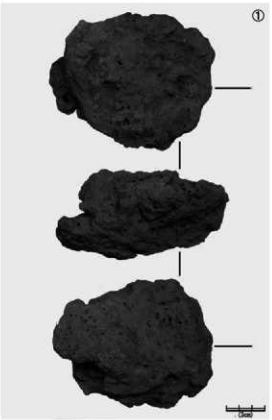
④　分析写真 NO.2



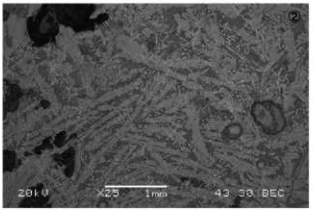


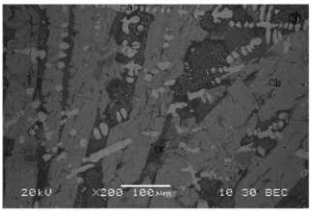
⑤·⑥　分析 NO.2 SEM 反射電子像（⑤×25,⑥×200）

写真1　鉄滓の自然科学分析（1）

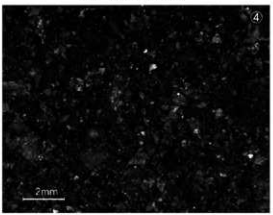


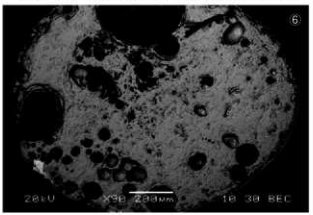
① 分析写真 NO.3

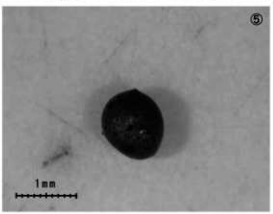


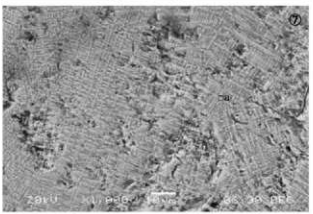


②・③ 分析 NO.3 SEM 反射電子像（②×25,③×200）





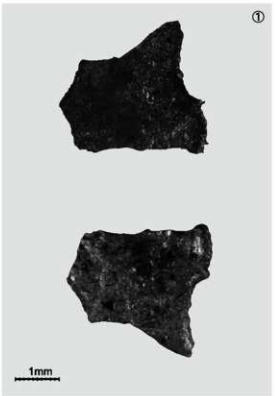




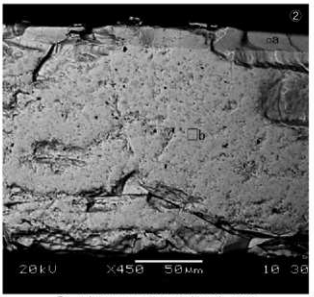
④ 分析写真 NO.4 抽出物、⑤ 分析 NO.4-1

⑥・⑦ 分析 NO.4-1SEM 反射電子像（⑥×90,⑦×1000）

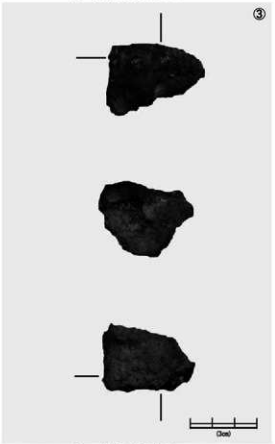
写真2　鉄滓の自然科学分析（2）



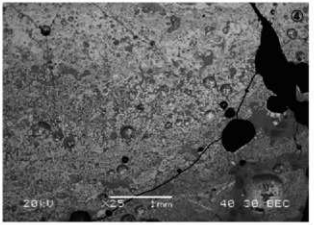
① 分析写真 NO.4-2

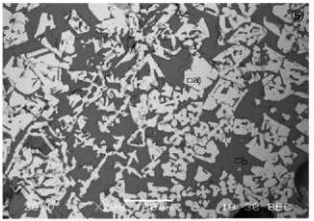


② 分析 NO.4-2 SEM 反射電子像 (450)



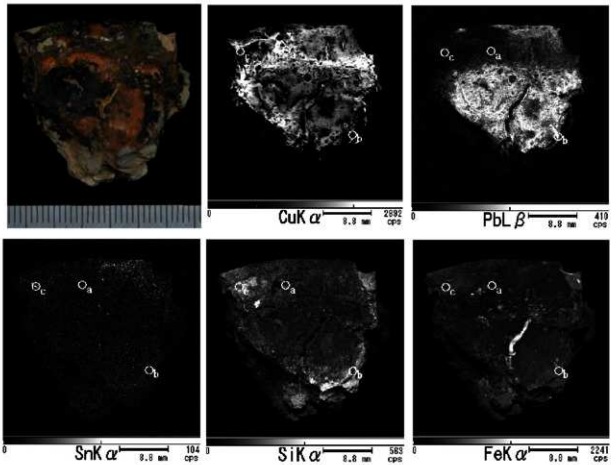
③ 分析写真 NO.5





④·⑤ 分析 NO.5 SEM 反射電子像 (④×25, ⑦×200)

写真3　鉄滓の自然科学分析（3）



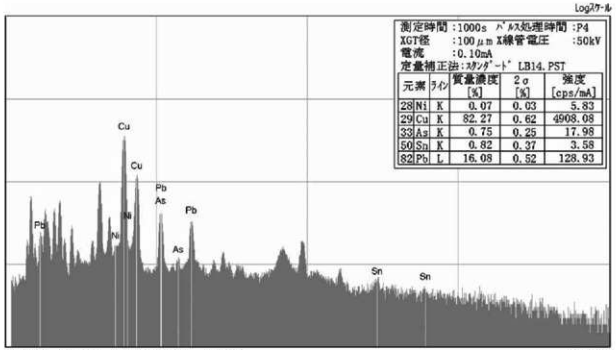
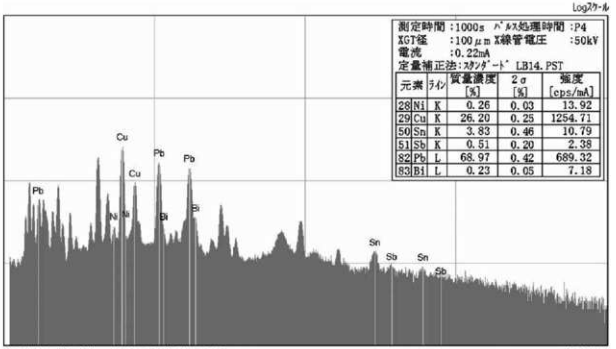


図96　分析NO.6の元素マッピング図及びポイント分析スペクトル（1）



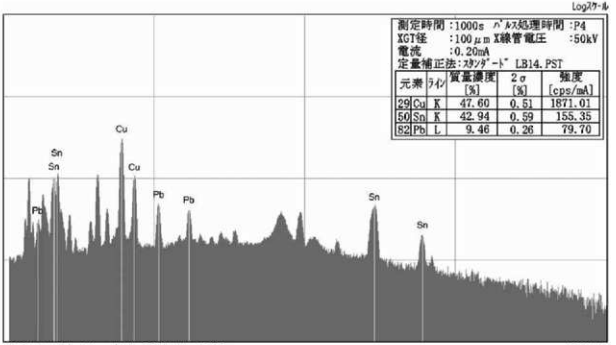


図97　分析NO.6のポイント分析スペクトル（2）

第２節　土製品付着顔料等の分析

１　はじめに

当遺跡では、近世と考えられる土製品２点（図93－399・400）が出土した。土製品の出土地点に隣接してＳＢ05・06を検出しており、宗教的な施設である可能性もある。このことから遺跡の性格を明らかにするため、遺存状況の良好な土製品１点（399）を対象に、付着する顔料の種類や漆質物を分析した。分析は、竹原弘展・藤根久（株式会社パレオ・ラボ）が担当した。なお第１・４項は編集者、第２・３項は竹原・藤根が執筆した。

２　試料と方法

分析対象は、ＢＤ２グリッドのⅢ層より出土した素焼きの土製品破片で、ふくよかな頬と福耳の形状をしており、耳孔にあたる部分は穿孔されている。このことから、右頬から右耳にかけてのお面の一部と考えられる。焼き物の素地が露出している箇所が多いが、白色、黒色、赤褐色の着色が肉眼観察で確認される。これら顔料の分布と種類を検討するべく、元素マッピング分析を行った。さらに、黒色部分については赤外分光分析を行った。分析は、蛍光X線分析を竹原が、赤外分光分析を藤根が行い、報告は竹原がまとめた。

（１）元素マッピング分析

分析装置はエネルギー分散型蛍光X線分析装置である（株）堀場製作所製分析顕微鏡XGT-5000TypeⅡを使用した。装置の仕様は、X線管が最大50kV・1mAのロジウムターゲット、X線ビーム径が100μm又は10μm、検出器は高純度Si検出器（Xerophy）である。この装置は、試料ステージを走査させながら測定することにより元素の二次元的な分布画像を得る、元素マッピング分析が可能である。なお、検出可能元素はナトリウム～ウランである。

本分析での測定条件は、50kV、1.00mA、ビーム径100μm、測定時間5000sを8回走査、パルス処理時間P3に設定した。

（２）赤外分光分析

分析試料は、黒色部分について手術用メスを用いて薄く削り取った後、押しつぶして厚さ1mm程度に裁断した臭化カリウム（KBr）結晶板に挟み、油圧プレス器を用いて約7トンで加圧整形した。採取箇所を図99－②に示す。測定は、フーリエ変換型顕微赤外分光光度計（日本分光㈱製FT/IR-410、IRT-30-16）を用いて透過法により赤外吸収スペクトルを測定した。

３　分析結果

（１）元素マッピング分析

元素マッピング分析により得られた元素マッピング図を図99－①に示す。元素マッピング分析により、白色部、黒色部では主にチタン(Ti)、赤褐色部では鉄(Fe)の分布が確認された。他に、カリウム(K)・カルシウム(Ca)・亜鉛(Zn)・鉛(Pb)の輝度がやや高い箇所がみられた。

（２）赤外分光分析

赤外分光分析を行った結果、複数の吸収ピークが得られた（図98）。この黒色部は、光沢があり漆質と予想されたが、生漆の吸収ピーク（吸収No.６～８、表55）はみられなかった。波数1070～1050(cm

[1]付近に劣化に伴う大きな吸収がみられるため、黒色部は劣化している可能性が高い。

［白色部］

白色部からは、チタンが主に検出されたことから、使用顔料はチタン白と考えられる。チタン白は、酸化チタン（Ⅳ）（TiO_2、二酸化チタンとも）からなり、1917年頃に工業用として開発され、1927年頃に本格的な量産体制に入ったとされる（丸尾・宇佐美2010、鈴木2010）。よって、少なくとも塗装自体は昭和以降のものである可能性が高い。

なお、頬下部の皺の白色部分においてはカルシウムと鉛がやや高い輝度を示す箇所があり、同じ白色顔料である炭酸カルシウム（胡粉）や鉛白などが少量存在している可能性がある。しかし、いずれの箇所もチタンが伴い、鉛やカルシウム以上に高い輝度を示しているため、基本的には白色部はチタン白によるものと考えられる。

着色部位的には、頬の皺や耳との境目などが特に多く検出されている。しかし、頬や耳（耳朶）全体にもうっすらとではあるが分布している様子が肉眼及びチタンのマッピング図においてみられ、また、後述する赤褐色部の下地にもみられることから、肌を表現する色として土製品全体の基調となる色であったと考えられる。

［黒色部］

黒色部からは、元素マッピング分析では、白色部と同様にチタンが検出された。なお、白色部と黒色部の分布上の区別は、元素マッピング図からはできなかった。また、赤外分光分析の結果より、塗膜形成は、漆ではない他の有機物である可能性が高いことが確認された。

チタンを主成分とする黒色顔料としては、チタンブラックがある。チタンブラックは、Ti_nO_{2n-1}であらわされる低次酸化チタンからなり、n=2.5のときが最も黒い（鈴木2010）。ただし、黒色顔料は他に炭素系（カーボンブラック）、鉄系（黒色酸化鉄）などがあり、鉄については元素マッピング分析結果で分布が一致していないため否定されるものの、最も一般的な黒色顔料である炭素系については、蛍光X線分析では炭素を検出できないため、チタン白の上に炭素系の黒色顔料が塗られている可能性も完全には否定できない。なお、黒色部を観察すると、白い下地の存在があるように見える箇所と、存在が明確には確認できない箇所と両方見受けられる。鈴木2010によると、「当時の二酸化チタンは耐光性に弱く、アルコールや水に分散させて太陽光線に当てると、半日から1日で太陽光線にあたっている方が灰色から青味の灰色に変色した。」とあることから、試料の黒色部の一部ではチタン白が劣化により変色した可能性も十分に考えられる。

表現という観点から考えると、耳という部位を考慮すれば、頬と同様、元は肌の色を表現した白色であったと捉えるのが自然ともいえる。しかしながら、黒色部位は、耳の上部から耳朶中ほどにかけて斜めに分布しており、耳に髪がかかっている表現があった可能性も否定できない。

表55　生漆の赤外吸収位置とその強度

吸収No.	生漆		ウルシ成分
	位置	強度	
1	2925.48	28.5337	
2	2854.13	36.2174	
3	1710.55	42.0346	
4	1633.41	48.8327	
5	1454.06	47.1946	
6	1351.86	50.8030	ウルシオール
7	1270.86	46.3336	ウルシオール
8	1218.79	47.5362	ウルシオール
9	1087.66	53.8428	
10	727.03	75.3890	

［赤褐色部］

赤褐色部からは、鉄が検出されたことから、使用顔料は鉄系、いわゆるベンガラに分類されるものと考えられる。なお、赤褐色の塗装面の下地には、チタン白による白色層が明瞭に観察される（図99－②）。

部位的には、耳の上部の破面に沿うように分布しており、欠損している頭部に頭巾などの存在が推測される。

［その他］

元素マッピング分析では、他にカリウムと亜鉛について特徴的な分布が見られた。なお、ケイ素(Si)についても耳朶や頬に輝度の高いエリアがあるが、これは土製品の凹凸に由来するものであり、ケイ素の含有量によるものではない。カリウムは、焼き物素地のやや色の濃い箇所に分布しており、焼成時に付着した灰由来などの可能性が考えられる。亜鉛については、白色顔料の亜鉛華などが考えられたが、カルシウムや鉛と違って分布域が白色部ではなく、比較的焼き物素地が露出しているように見える箇所であり、由来は不明であった。

分析の結果、白色部はチタン白、赤褐色部はベンガラであった。黒色部については、チタン白の劣化による可能性が考えられるが、チタンブラック又は炭素系黒色顔料の可能性も否定できない。

4　考察

出土した土製品は型押しによる成形であることから、当初は近世の所産と考えていたが、少なくとも顔料の塗装は昭和時代であり、土製品本体の製作時期も大きく遡らないと考えられる。よって、出土位置から、本遺物に伴う建物は、近代民家と考えられるＳＢ01の可能性が高まった。

引用文献

丸尾正剛・宇佐美輝男2010「酸化チタン（Ⅳ）、チタンホワイト、チタニア」『顔料の事典（普及版）』、朝倉書店pp186－198

鈴木福二2010「チタンブラック」『顔料の事典（普及版）』、朝倉書店pp198-200

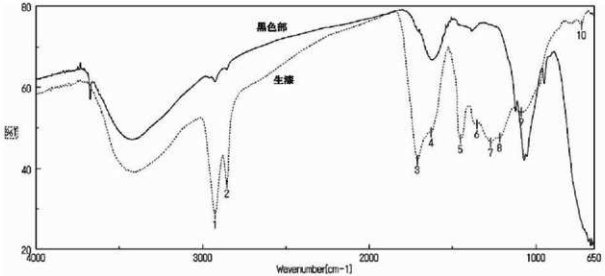
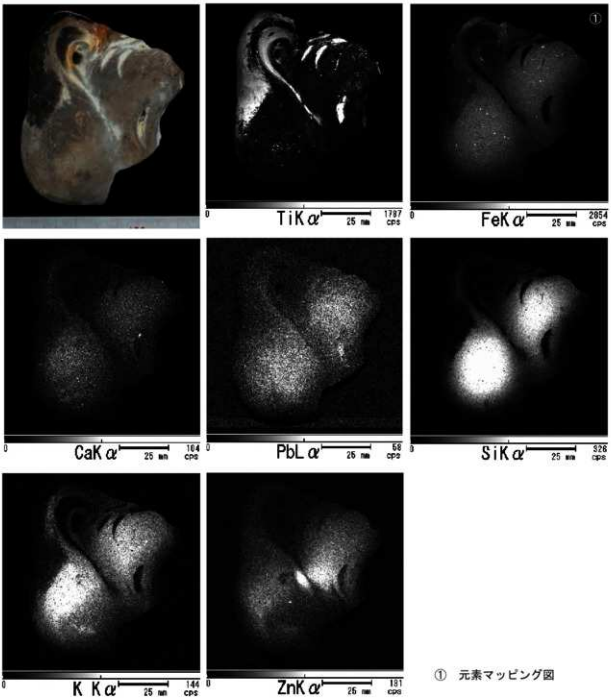


図98　黒色部の赤外分光スペクトル図（縦軸は透過率、横軸が波数を示す）



① 元素マッピング図

② 赤外分光分析試料採取位置

図 99　土製品に塗られた顔料の自然科学分析

第5章　総括

第1節　遺構

本節では、A地点の主要遺構の変遷を中心に述べる（図100、表56）。

1　Ia期

SD2・3により区画された屋敷地（14世紀中葉～15世紀中葉）が、発掘区外の東側に広がると推測される。SD2は後世の遺構等により一部滅失しているため、屋敷地の規模は不明である。ただし、SD2最上層の埋土の様子や鍛冶関連遺物の出土から当該屋敷地内に鍛冶工房が存在したと仮定すると、工房の廃絶時にSD2が埋め戻されたと解釈できる。屋敷地の外側には遺物集積土坑（SK367）がある。土坑も多数確認されているものの、礫を伴う同種の土坑はII期でも確認されており、II期の遺物を含んでいないものの時期が下る可能性はある。なお、D地点のSD4以南ではA～C地点に比べて遺構・遺物共に激減することから、SD4は町屋を区画する溝と考えられる。SD2の埋没時期と近く、遺跡全体の変遷を考える上で重要である。

2　Ib期

A地点のSB06・09～11、C地点のSA1・2が該当し、建物に伴う溝は確認されていない。SB09～11は短期間の建て替えが想定されるが、SB06周辺はII期以降の遺構等により建て替えの有無に

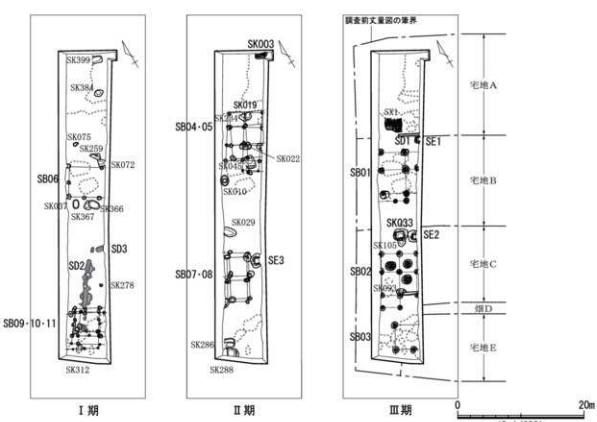


図100　A地点の主要遺構変遷図

ついては不明と言わざるを得ない。ただし、ＳＢ06南側からＳＤ３にかけてはⅡ～Ⅲ期の遺構が多数存在するものの、少なくとも柱穴は確認されておらず、建物が存在した可能性は極めて低い。なお、礫を伴う土坑（ＳＫ037・072・259・384）、土坑墓（ＳＫ075・278）、遺物集積土坑（ＳＫ366・399）がある。発掘区南端のＳＫ312ではⅡ期の遺物を出土していないが、周辺の遺構の状況からⅡ期に下る可能性はありうる。

３　Ⅱ期

ＳＢ07・08（17世紀前葉～中葉）とＳＢ04・05（18世紀後半～明治時代初頭）の建て替えが、ほぼ同じ位置で認められる。ＳＢ04には生活排水の処理施設ＳＫ003が伴う可能性があるが、ＳＥ３に伴う建物は確認されなかった。Ｃ地点でもＳＫ509から19世紀前葉の遺物が多数出土しており、少なくともＡ・Ｃ地点周辺に近世村落が展開する。なお、礫を伴う土坑（ＳＫ19・29・45・234・286・288）が点在する。

４　Ⅲ期

Ａ地点のＳＢ01にはＳＥ１、ＳＢ02にはＳＥ２と生活排水の処理施設（ＳＫ033）が伴う。Ⅱ期とⅢ期の遺構配置を比較すると、建物の北側に井戸を含む付属施設が配置されていることに気付く。ＳＢ02の柱穴に切られるＳＫ093が、濃尾地震後の廃棄土坑と解釈すると、これらの建物は地震後に造営されたと考えられる。調査前丈量図では、発掘区内に宅地４筆と畑地１筆（以下、北から順に「宅地Ａ」・「宅地Ｂ」、「宅地Ｃ」、「畑地Ｄ」、「宅地Ｅ」と呼称する。）があり、宅地Ｃ・畑地Ｄを除いて各々地権者は異なる。そこで、筆界と遺構の位置を比較する。宅地Ａ・Ｂ間ではＳＤ１がほぼ筆界と一致することから、Ⅲ期に宅地Ａ・宅地Ｂに分筆され、宅地ＢではＳＢ01が造営されたと考えられる。宅地Ｂ・宅地Ｃ間では筆界に相当する遺構は検出されなかったが、宅地ＣではＳＢ07・08とＳＢ02がほぼ同じ位置に重なる。なお、宅地Ｃ・宅地Ｅ、畑地Ｄの分筆時期を遺構から検証することは困難である。Ｉａ期のＳＤ２・３の北端が宅地Ｂ・宅地Ｃ間の筆界に近く、建物の主軸方位（表56）がＩｂ期からⅢ期に至るまでほぼ同一であることを考え合わせると、Ｉｂ期とⅢ期に再編されてはいるものの、現代の筆界は中世前期からの土地利用の痕跡を強く遺している可能性が高い。

表56　棟・建物一覧表

遺構名	規模（括弧内の数値は現存長）			主軸方位	重複関係（古→新）	時期
	南北長(m)	東西長(m)				
ＳＡ１	(7.02)	(1.56)	－	N-19.5°-E	SA2→SA1	15世紀中葉以降
ＳＡ２	(7.64)	(1.75)	－	N-23.0°-E		
ＳＢ01	7.71	(6.54)	民家Ｄ型（3間以上×2間）	N-29.0°-E	－	幕末・明治初頭以降
ＳＢ02	8.51	(6.26)	民家Ｄ型（3間以上×2間）	N-30.0°-E	－	明治時代中期以降
ＳＢ03	(4.89)	(3.81)	形式不明（2間以上×2間以上）	N-29.0°-E	－	SB01・02と同時期か
ＳＢ04	7.31	(5.33)	総柱建物（3間×3間）	N-26.5°-E	SB05→SB04	19世紀前半
ＳＢ05	7.61	(5.74)		N-33.0°-E		18世紀後半
ＳＢ06	4.76	(5.72)	側柱建物（3間以上×2間 ）	N-32.0°-E	－	15世紀中葉以降
ＳＢ07	7.03	(3.57)	総柱建物（2間以上×2間）	N-30.0°-E	SB08→SB07	17世紀前半
ＳＢ08	7.15	(3.93)		N-28.0°-E		
ＳＢ09	3.68	(4.62)	側柱建物（3間以上×2間 ）	N-29.0°-E	SB09→SB10	15世紀中葉以降
ＳＢ10	5.13	(4.98)	側柱建物（5?間×3間 ）	N-36.5°-E	SB11→SB10	
ＳＢ11	5.69	(5.05)	側柱建物（3間以上×3間 ）	N-32.5°-E		
ＳＢ12	1.37	(1.07)	側柱建物（2間以上×1間 ）	N-17.5°-E	－	不明
ＳＢ13	2.66	(0.81)	側柱建物（2間以上×3間 ）	N-24.0°-E	－	不明

第2節　遺物

1　中世遺物の様相（表57～61）

中世遺物のうち主体となる土師器皿、山茶碗類、片口鉢、古瀬戸・大窯、常滑産陶器、中国産陶磁器について、地点毎に接合後破片数を集計した（発掘区内の総数には、試掘・確認調査出土分を含む）。種別毎の時期の推移については、第3章第4節と重複するので参照いただきたい。A・C地点を比較すると発掘面積の比率では約3.5：1であるが、土器類の接合前破片数の比率では、A地点：C地点＝66：1（常滑産陶器）、40.6：1（古瀬戸・大窯）、37：1（土師器煮炊具）28.8：1（土師器皿）、23.6：1（山茶碗類）20.5：1（中国産陶磁器）と、総じてA地点の出土遺物の密度は高い。これらのうち、A地点出土の山茶碗類の100㎡当たりの接合前破片数は約1,472点（接合後破片数では約1,433点）であり、静岡県の集成では最も多いグループ「数量3～4桁の遺跡」（溝口2005）に相当する。ただし、出土した山茶碗類は使用痕が目立ち[1]、葬送や祭祀に関わる特徴的な出土は確認されなかったことから、日常的に供膳具又は調理具として使用された個体が相当数に及び、山茶碗類を含む陶磁器類の大量消費地であったといえる。ただし、博多などの中世都市を中心に出土（永井1996）する大型銭（図95－450）の存在から、物流拠点でもあったと考えられる。一方で地点間で器種構成の偏りがみられ、町屋内の居住者の階層差や業種差などが器種構成に影響を及ぼしていると考えられるが、現時点で具体的に検証することは困難である。

表57　山茶碗類（底部）・片口鉢（口縁部）の接合後破片数

地点名	器種	尾張型										東濃型														美濃須衛窯型	産地不明	総数	残存率1／2以上
		4型式	5型式	6型式	7型式	8型式	9型式	10型式	11型式	不明	小計	浅間窯下	丸石3	黛洞1	白土原1	明和1	大畑大洞4	大畑大洞4新	大洞東1	脇之島3	生田2	不明（内底ナデ）	不明	小計				
A	山茶碗	4	8	4	1						17		1	7	55	320	301	203	169	130	11			1,197	11	3		
											0	1				1	32		6					40				
											0					179		3		7				189			1,475	69
											0						17							17				
											0							1						1				
	小碗	3									3													0	3		6	0
	小皿		2	1							3			3	9	50	48	15	5	1				131				
											0						3		7					10			601	44
											0					3				27		318	109	457				
	片口鉢			4	15	1	2	3	2		27						1						1	2	1		30	
B											0				1	13	6	5		4				29				
	山茶碗										0						1		1					2			36	2
											0					4				1				5				
	小皿										0					4	6			1		9	1	21			21	7
	片口鉢			1	1						2													0			2	
C	山茶碗										0				11	15	10	9	5	2	2			54			55	1
											0													1				
	小皿										0				4	4	8	2		1		14	9	42			42	6
	片口鉢			4	1						5													0			5	
D	山茶碗										0					2		1			1			4			4	0
	小皿										0											1	2	3			3	0
発掘区外試掘	山茶碗	1									1						2			2				4			5	1
	小皿										0						1							1			1	1
総数		8	10	14	18	1	2	3	2	0	58	1	1	10	80	408	380	236	179	137	16	342	122	2,210	15	3	2,286	133
												1			1		37		14									
																187		3		8								
																	17			29								
																1			1									

２　古瀬戸・大窯（表62・63）

出土した古瀬戸・大窯（接合後破片数715点、試掘・確認調査出土分を含む）は、古瀬戸前Ｉｂ期から大窯第４段階後半にかけて認められる。古瀬戸後期が全体の約75％を占め、中でも後Ⅳ期古段階が最も多い。古瀬戸後期を除いた各段階では多くても全体の約４％で、細別時期が確定した資料（以下、「確定資料」という。）が若干量認められる。また、大窯第２～４段階では細別時期を特定できないため、破片数を想定される時期の合計数で按分した資料（以下、「按分資料」という。）が主体で、いずれの段階も全体の１％程度に留まる。

用途別の接合後破片数について、段階毎に述べる（各段階を跨ぐ按分資料を除く。用途は財団法人瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター2011を参考にした）。古瀬戸前期では供膳具１点、調理具５点、貯蔵具８点、貯蔵具か神仏具２点、古瀬戸中期では供膳具23点、調理具16点、貯蔵具25点、貯蔵具か神仏具28点、神仏具２点、住用具１点、器種不明３点、前期から中期にかけての化粧具１点が認められる。古瀬戸前期から中Ⅰ・Ⅱ期においては、鎌倉又は鎌倉との関係が示唆される遺跡に限って、古瀬戸が一定量出土することが指摘（藤澤2007）されている。美濃地区では、古瀬戸前期から中Ⅱ期にかけての壷・瓶類以外の器種が報告された事例は、戸入村平遺跡（揖斐川町）、加納城跡・岐阜千畳敷遺跡・城之内遺跡（岐阜市）、野笹遺跡（美濃加茂市）、喜田町東遺跡・野中遺跡・平田遺跡（多治見市）、大井城跡（恵那市）が挙げられる（財団法人瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター2011）がいずれの遺跡も数点程度であり、一定の期間にまとまって出土した遺跡は知られていない。よって、当遺跡において壷・瓶類以外の器種が、古瀬戸前期から後期までほぼ連続して出土した点に注意する必要がある。

古瀬戸後期では、喫茶具37点、供膳具212点、調理具107点、供膳具か調理具79点、貯蔵具36点、神仏具９点、貯蔵具か神仏具26点、器種不明16点が認められ、器種及び数量も豊富である。

表58　中国産陶磁器の接合後破片数

地点名	種別	器種	窯	型式	破片数	総数
A	青磁	碗	同安窯系	Ⅰ類	1	49
				Ⅰ類	4	
				B1類	16	
			龍泉窯系	B2類	3	
				B3類	1	
				C2類	3	
				D類	1	
				E類	1	
				D小平類	3	
		皿	同安窯系		2	
		盤			1	
		鉢			3	
		不明（碗・皿混在）			10	
	白磁	碗		B群	1	8
		皿		V群類	1	
		皿		A群	1	
		西耳壺			3	
		小坏			1	
		不明（碗・皿混在）			1	
	褐釉壺				22	22
C	青磁	碗	龍泉窯系	B1類	1	1
	白磁	碗		Ⅳ	1	3
		多角坏			1	
		不明（碗・皿混在）			1	
総数						83

表59　土師器皿（口縁部）の接合後破片数

地点名	M類				A類		B類		C類			不明	総数
	2	3	4		2	3	1	2	1	2			
A	9	861		220	3	2	82	56	295	293		207	2,074
	42												
		4											
B		80		5			2		4	5		1	101
	4												
C		20		5			1	8	12	19		6	75
	3								1				
D								1				2	3
発掘区外試掘									1	4			5
総数	9	961		230	3	2	85	65	312	321		216	2,258
	49								1				
		4											

表60　常滑産甕の接合後破片数

地点名	口縁部										口縁部以外の破片数
	3型式	4型式	5型式	6型式		7型式	8型式	9型式	不明	総数	
				a	b						
A	1	1	2	1	3	1	2	1	1	15	294
				2							
B						1				1	9
C										0	5
D										0	1
発掘区外試掘										0	1
				1	3						
総数	1	1	2	2		2	2	1	1	16	310

表61　古瀬戸・大窯の地点別接合後破片数

地点	用途	古瀬戸前期 I	古瀬戸前期 II	古瀬戸前期 III	古瀬戸前期 IV	古瀬戸中期 I	古瀬戸中期 II	古瀬戸中期 III	古瀬戸中期 IV	古瀬戸後期 I	古瀬戸後期 II	古瀬戸後期 III	古瀬戸後期 IV古	古瀬戸後期 IV新	大窯 1	大窯 2	大窯 3前	大窯 3後	大窯 4前	大窯 4後	不明	総数	
A	喫茶具										7	3	7	3	1					1		
										1					1		2				41	
											15											
	供膳具	1				1	5	2	4	7	27	35	60	3	11	1				1		
						2			8	7			12		1		3				250	
							1				1						3					
												13										
												24										
											1											
												1										
											15											
	供膳具か調理具									33	7											
													24								75	
												4										
											7											
	調理具			2	2	2	2	3		3	1	5	22	15	1	1					5	
				1			8			5			21		1							
												1										
												26									155	680
													5									
													14									
														9								
	貯蔵具				1					5		1										
				5		18		2					1									
		2					4					14									66	
											13											
	貯蔵具か神仏具			2		6		1		2		3										
							21				20										55	
	神仏具									1	1	2	2									
						1				3											11	
							1															
	住用具					1															1	
	灯火具																2				2	
	不明											1								6		
						3					14										24	
B	供膳具											1	1								3	
											1											
	供膳具か調理具												1								1	
	調理具									1			1								4	11
											1											
	化粧具				1																1	
	不明											1								1	2	
C	供膳具										1		1		2						5	
												1										
	供膳具か調理具												3								3	
	調理具							1			1			2						1	7	18
														2								
	貯蔵具					1						1									3	
												1										
D	供膳具																1				1	
	貯蔵具か神仏具												1								1	2
発掘区外試掘	喫茶具											1									1	
	供膳具																1				1	4
	調理具											1						1			2	
総数																					715	

表62　古瀬戸・大窯の器種別接合後破片数（1）

	器種		古瀬戸前期				古瀬戸中期				古瀬戸後期					大窯					不明	総数	
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV古	IV新	1	2	3前	3後	4前	4後			
碗	碗Ⅰ	平碗								1	2	5	11	17	2								79	129
											3			11									
													7										
											1												
													4										
									1			14											
	碗Ⅱ	天目茶碗									1	6	3	7	3	1		2				40	
											1					1							
													15					1					
	灰釉天目											1										1	
皿類	小皿	底卸目皿					1	2														3	174
		折縁小皿								1	1	7	5									16	
											1												
												1											
		緑釉小皿（灰釉）									3	6	8	21								45	
											1			1									
														5									
		緑釉小皿（鉄釉）											5	12								26	
														6									
														2		1							
		緑釉小皿（釉薬不明）												2								15	
														12									
													1										
		入子							1													1	
		緑釉はさみ皿														11						11	
		丸皿															1	4				8	
																		3					
		丸皿か端反皿														1						2	
																1							
		内売皿																1				1	
		志野丸皿																			1	1	
	中皿	折縁中皿											1									1	
	鉢皿	卸皿（灰釉）			2	2	2	2	3		2	2	4	4								40	
					1				9				7										
		卸皿（鉄釉）									1			1								4	
													2										
鉢・盤	盤	皿	1																			1	232
	大鉢	折縁深皿						3	2	3		9		5	1							34	
								1		7	1			1									
														1									
		直縁大皿									1	1	5	7								15	
											1												
	中・小鉢	小鉢											1									1	
	調理鉢	卸目付大皿											1	3	3							9	
														1									
		柄付片口									5											5	
	擂鉢	擂鉢												13	13							4	
															21	1	1		1			87	
															7		1						
																14							
																		9					
																			2				
		擂鉢型小鉢												1								1	
	盤類										33		7		28							79	
															4								
													7										

表63　古瀬戸・大窯の器種別接合後破片数（2）

	器種		古瀬戸前期				古瀬戸中期				古瀬戸後期					大窯						不明	総数	
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV古	IV新	1	2	3前	3後	4前	4後			
瓶・壺・甕	壺Ⅰ	四耳壺(有文)									1			3	1								5	
		四耳壺(無文)											1										5	
														4										
		四耳壺(文様有無?)			1		1				1			3									6	
		壺(灰釉無文)											2										2	
		壺(鉄釉無文)												1									1	
		小壺											4										4	
		耳付合子												1									1	
	壺Ⅰか瓶	壺か瓶(灰釉・有文)			1		2		1		2												11	
								3					2											
		壺か瓶(灰釉・無文)			1		4						4										43	
								18					16											
		壺か瓶(鉄釉・無文)											2										2	
		小壺か小瓶									1			1									5	
													3											
	壺Ⅱ	茶壺											1										1	
	瓶	梅瓶					9																16	
		(灰釉・有文)				1		4			1													
													1											
		梅瓶(灰釉・無文)			2		3		1														6	
		梅瓶(灰釉・文様有無?)			1		1																4	
					2																			
		梅瓶(鉄釉・文様有無?)												1									1	
		瓶子型瓶(灰釉・無文)												1									1	
		瓶子(灰釉・有文)					4				1			1									6	
		瓶子(灰釉・無文)							1														1	
		瓶子(鉄釉・無文)											1										1	
		小瓶			1																		1	
		片口小瓶											1										1	
		仏花瓶					1				1												2	
		花瓶						1			1												2	
		瓶類(灰釉・有文)											1										1	
		瓶類(灰釉・無文)												1									1	
	水注	水注					1																1	
		土瓶											7										7	
		水滴					1																1	
	水注か その他	土瓶か釜											1										1	
その他	火舎・香炉	柿膿形香炉									1	2	1										4	
	鍋・釜	内耳鍋									1			1	1								11	
													8											
		釜												1									1	
	灯明具	灯明皿															2						2	
	蓋	土瓶蓋											2										2	
	その他	仏供												1									1	
		筒形容器									1												2	
											1													
器種不明(鉄釉か褐釉)												2									1	5		
器種不明(灰釉)							3					12						1				2	18	26
								1																
器種不明(釉薬不明)												1										2	3	
確　定			1.0	0.0	2.0	3.0	3.0	7.0	5.0	4.0	11.0	39.0	54.0	94.0	23.0	15.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	9.0	273	
按　分			0.6	0.6	4.8	4.8	24.1	24.1	15.3	15.3	51.7	52.0	48.3	86.1	78.1	9.1	7.8	7.5	7.5	2.0	2.0	9.0	442	715
総　数			1.6	0.6	6.8	7.8	27.1	31.1	20.3	19.3	62.7	91.0	102.3	180.1	101.1	24.1	9.8	7.5	7.5	2.0	3.0	9.0	715	

大窯では、喫茶具４点、供膳具24点、調理具４点、灯火具２点が認められた。古瀬戸後Ⅳ期古段階に次いで同新段階の製品は多いため、大窯第１段階から第２段階にかけては著しく減少しており、遺跡の消長を考える上で重要である。

岐阜県内で古瀬戸後Ⅳ期新段階から大窯第１段階にかけての時期に廃絶する遺跡は数多く、「集落の廃絶が短期間で斉一的に起こった可能性」（小野木2004）が指摘されている。岐阜市城之内遺跡では、大窯第２段階までの製品が出土しているものの、大半は古瀬戸後Ⅳ期新段階と大窯第１段階で占められ、天文４年（1535年）に発生した洪水によって廃絶した可能性が指摘されている。当遺跡の大窯の出土傾向も城之内遺跡と類似しているものの、今回の調査では当該期の明確な洪水痕跡は確認されていない。ただし、遺構検出面が削平されている可能性があるため、集落の廃絶がどのような事情によるものか、直ちに判断することはできない。

３　中世遺物の出土状況（図101・102、表64）

Ａ地点出土中世遺物のうち、土師器、墨書土器、古瀬戸・大窯、中国産陶磁器、鍛冶・鋳造関連遺物の分布状況について述べる。

（１）土師器（図101－①）

皿は発掘区全域にわたって密に分布し、かつ、Ｍ類とＡ・Ｂ・Ｃ類との分布上の差異は認められなかったため、図示していない。煮炊具（伊勢型鍋・羽釜）は建物近辺で多いが、鍋と羽釜の分布に差異は認められない。

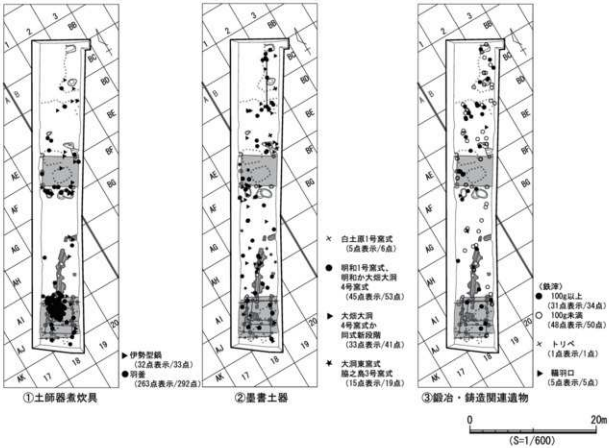


図101　中世遺物の分布状況（１）

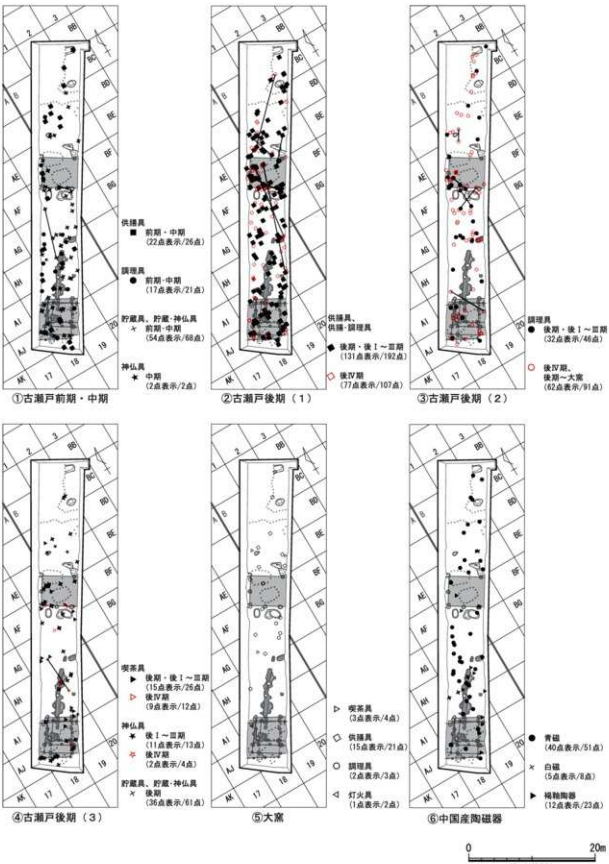


図102　中世遺物の分布状況（2）

（2）墨書土器（図101－②）

墨書のない山茶碗類は発掘区全域にわたって密に分布し、墨書の有無で分布の差異は認められなかった。墨書土器の分布をみる限り、時期別分布の差異を見い出すことは困難である。

（3）古瀬戸・大窯（図102－①～⑤）

出土した製品の多数が後期に帰属するため、前期・中期、後期、大窯に区分し、主な用途を対象に表示（個別遺物の分類が複数段階に跨る場合は、より古い段階に帰属）した。なお、古瀬戸後Ⅳ期にＳＤ２・３が埋め戻され、ＳＢ06・ＳＢ09～11が造営されると考えられるため、後Ⅳ期の確定資料のみ白抜きで表示した。

喫茶具　後Ⅰ～Ⅲ期では、発掘区のほぼ全域に散在し、後Ⅳ期ではＳＢ06周辺が多い（④）。

供膳具　前・中期（①）では、ＳＤ２・３周辺と発掘区北端に分布が分かれる。後Ⅰ～Ⅳ期（②）では、発掘区のほぼ全域に広がる。

調理具　前・中期（①）ではＳＤ２・３周辺が多いが、後Ⅰ～Ⅳ期（③）では少なく発掘区中央が多い。ただし、後Ⅰ～Ⅲ期と後Ⅳ期で分布の差異は認められない。ＳＢ06南側からＳＤ３にかけて後Ⅰ～Ⅲ期・後Ⅳ期共に集中し、かつ、建物の主軸と同一方向に集中することから、古瀬戸後期においてＳＤ３付近に何らかの遮蔽施設が存在したことが推測される。

貯蔵具、貯蔵・神仏具　前・中期（①）ではＳＤ２・３周辺が多いが、後期（④）では発掘区全域に広がる。

大窯（⑤）は、発掘区南半ではほとんど出土しておらず、発掘区北半が多い。

（4）中国産陶磁器（図102－⑥）

青磁は発掘区のほぼ全域に広がる。白磁・褐釉陶器は表示数が少なく、直ちに傾向を把握できない。

（5）鍛冶・鋳造関連遺物（図101－③）

鉄滓、羽口、トリベの平面分布を示した。鉄滓については、質量が100ｇ未満（50点）と100ｇ以上（34点）に分けて表示した。全般に発掘区北半に偏る傾向があるものの、発掘区南半でも100ｇ以上の鉄滓が散在する。粒状滓・鍛造剥片（16世紀中葉～後葉）が出土したＳＫ399は発掘区の北端に位置し、大型の羽口（15世紀中葉）は発掘区の南半で出土したこと、また大窯の分布状況（図102－⑤）も勘案すると、鍛冶関連遺物は南北間の分布に時期差が存在する可能性がある。

以上を整理すると、土師器煮炊具は使用された建物近辺、古瀬戸喫茶具・調理具は建物周辺に分布する傾向が強いが、土師器皿・山茶碗類・常滑産陶器・中国産青磁・鍛冶・鋳造関連遺物は、建物（又は屋敷地）より外側に分布すると解釈できる（表64）。

表64　中世遺物の出土分布傾向

	主体となる場所	土師器		山茶碗類、常滑産陶器	古瀬戸	中国産青磁	鍛冶・鋳造関連遺物
		皿	煮炊具				
Ⅰａ期	ＳＤ２・３周辺		不明		調理具・貯蔵具（前・中期）		○
	ＳＤ２・３の外側				調理具（後Ⅰ～Ⅲ期）		
	広域	○		○	貯蔵具・供膳具（前～後Ⅲ期）、神仏具（後Ⅰ～Ⅲ期）	○	
Ⅰｂ期	建物の周辺		○		喫茶具・調理具（後Ⅳ期）	不明	
	広域	○		○	供膳具（後Ⅳ期）		○

第３節　遺跡の検討

近代における遺跡周辺の土地利用の様子を知る史料として、①明治43年に大日本帝国陸地測量部が発行した２万分の１地形図と、②岐阜市役所が所蔵する『各務郡苅見村』（製作年代不詳）とがある。図103は②の一部をトレースし、現在の河道・旧河道（図４を参考）・遺跡範囲・過去の発掘調査等（表65）の位置を重ねて作成した。

これを見ると、山田川沿いの谷底平野・氾濫平野には水田、自然堤防上には畑・宅地等が立地する。宅地は郡上街道沿い（字町）と川沿い（字町屋）の２箇所に集中し、寺院・墓地は大船山南麓（図外）と、旧河道と本流が合流する左岸（墓地のみ）の２箇所が確認できる。また①の史料では、字藏前と字畑田の宅地内に神社の記号が表示されている。また、清水山東裾から真北を指向する痕跡（以下、「痕跡ａ」という。）と、郡上街道を東西に横断する道が「く」の字に折れず、東に直線的に延び、苅見長山遺跡が立地する下位面とを繋ぐ痕跡（以下、「痕跡ｂ」という。）とが認められ、当遺跡周辺では、痕跡ａ・痕跡ｂで代表される２種類の地割が認められるので、便宜上順に地割Ａ・地割Ｂと呼称し、過去の発掘調査等成果を踏まえ概要を述べる。

表65　過去の発掘調査等の成果

地割	No.	種別	遺構	遺物等	指摘事項
－		踏査	なし	土師器4点、製塩土器1点、須恵器5点、灰釉陶器3点、土師器皿1点、山茶碗6点、古瀬戸5点、土師器皿4点、連房2点、土錘3点、青磁2点、銅銭1点	須恵器が多く灰釉陶器が減少し、山茶碗（南部系＜北部系）で再び増加傾向を示す。13ｃ後～14ｃ前に急激に減少する
A	1	発掘	竪穴住居跡５軒	弥生土器（欠山式併行）、管玉半製品、砥石、土錘、山茶碗（古墳・奈良時代の遺物なし）	
	2	試掘	古代の溝か土坑?	土師器701点、須恵器203点（7c前半～9c初頃）、灰釉陶器14点、山茶碗20点（尾張6型式1、明和?1、脇之島1）、土錘1点、土師器皿2点（C2類）	遺物は8世紀前半中心、河川流通の集積場のような場所
		発掘			
	3	試掘	なし	なし	現地表-0.1～1.0mで洪水堆積層
	7	試掘立会	中世遺構の一部?	須恵器2点（8c代1）、土師器1点（古代）、灰釉陶器2点（大原～虎渓山）、山茶碗12（尾張3～4、白土原～大畑大洞新）、土師器皿2点（M3類1）、土錘3、多量の焼土・炭化物	中世の遺物が多いが、奈良～平安時代の遺物も一定量含まれる（試掘）
	9	試掘		土師器1点（7c代）、製塩土器1点（8c代）、須恵器3点（7c後半2）、陶錘1点、近世磁器1点	
	10	立会	なし	なし	
	12	踏査	なし	土師器皿23（M2～3類主体、C1類１）	中世前期の土師器皿がまとまって出土、何らかの遺構か?
	13	踏査	なし	須恵器3点（7c後半1）、山茶碗15点（尾張4～6、窯洞～大畑大洞新）、古瀬戸1点（後Ⅳ新）、大窯1点（2～3段階）、瀬戸美濃1点（連房3～4）	
	16	立会	なし	なし	自然堤防上の微高地と窪地の境界
B	4	試掘	なし	土師器皿（戦国期）	
	5	試掘	なし	山茶碗1点、土師器皿1点	
	6	試掘	なし	灰釉陶器1点（虎渓山）、土師器皿1点（B2b類）	
	8	試掘	なし	なし	
	11	立会	なし	なし	
	14	立会	なし	なし	
	15	立会	なし	なし	
	17	立会	なし	山茶碗1点	

※本表は、岐阜市・岐阜市教育委員会が発行した報告書を参考に作成した。表65のNo.は、図103のNo.と符合する。

地割Ａ

概ね真北を指向する地割で、後述する地割Ｂ以外に広がり、芥見長山遺跡の南東側に広がる条里地割と類似する。過去の調査では、№１[2]で弥生時代の遺構が検出され、№７・12では古代（８世紀前半）と中世前期が主体となる遺物が出土し、中世後期と近世の遺物は少量に留まる。郡上街道と渡船場へ向かう道の交差点には、「右　せき　かふつち　左　舟わたし　山かた」「文化六己巳仲秋」と記された文化６年銘の道標があったとされ（岐阜県教育委員会1982）、道標の南側（字一本松と字仲洞の西側）を中心に、異方向の地割が部分的に認められる。これは郡上街道の主軸方位と一致することから、街道が整備された17世紀以降に部分的に改変されたと考えられる。

地割Ｂ

旧河道の周辺から西側一帯に広がる地割で、字高瀬・町屋・砂畑で認められる。宇野隆夫氏によると旧河道より西側の一帯は旧中州と考えられ、過去の調査（№16）では旧河道と考えられる痕跡が検出されている。また、他の調査地点では古代と中世の遺物が少量出土した。今回の試掘・確認調査の結果（ＴＰ１～14）では、少なくとも事業予定地内の字砂畑では厚く盛土され、遺構が確認されていないことから、長良川の氾濫原と考えられる。図103では、字砂畑から町屋にかけて北東－南西方向に直線的な地割があり、これを「痕跡ｃ」（Ｎ－25.0°　－Ｅ）と仮称する。痕跡ｃは、調査坑のＴＰ14付近（№11の北東）と字高瀬で屈折するが、屈折した外側は後世に敷設されたと解釈しておきたい。また、痕跡ｃはＳＤ４や郡上街道から渡船場へ向かう道（痕跡ｂを含む。）に直交することから、地割Ｂの基準線であり、痕跡ｃと平行するＳＤ２の開削時期から、少なくとも14世紀中葉～後葉に遡ると考えられる。

以上から想定される、遺跡の形成過程を仮説として提示しておきたい。

地割Ａでは、弥生時代以前から土地利用が開始されている。旧河道と本流の合流地点（№２から12）に、古代から中世前期を中心とする集落や港湾施設が想定され、中世後期から近世において遺物量が激減することから、集落は郡上街道を積極的に利用できる宇町に移転したと推測される。

地割Ｂでは、複数地点で古代の遺物が少量ながら出土しており、古代には旧河道の埋没・乾燥化が進んで中州が居住に適合する環境として整い、何らかの土地利用がなされていたと考えられる。今回の発掘調査により、中世前期には本格的に中州が開発されたことが判明し、発掘区北に位置する黄檗宗多聞山永福寺[3]の前身が発掘区周辺に存在したと仮定すると、当遺跡は門前町として発展し、発掘区では大窯段階に断絶したものの、長良川の渡船場（芥見の渡し）と中世前期以来の町並みは現代まで引き継がれたといえる。

---

1)掲載した遺物では、山茶碗54点のうち27点、小碗１点、小皿42点のうち30点に、使用痕（煤付着、摩滅痕等）が認められる。

2)岐阜市1979の記載内容から、岐阜市教育委員会2011第69図に示された調査地点が該当すると判断した。

3)史料①②では確認できないが、芥見郷土誌編纂委員会1961によると室町時代中期創建の寺とされている。延宝４（1676）年に中興し、美渓庵と称し清水寺の末寺であったが、昭和時代に現在の号に改めたという。

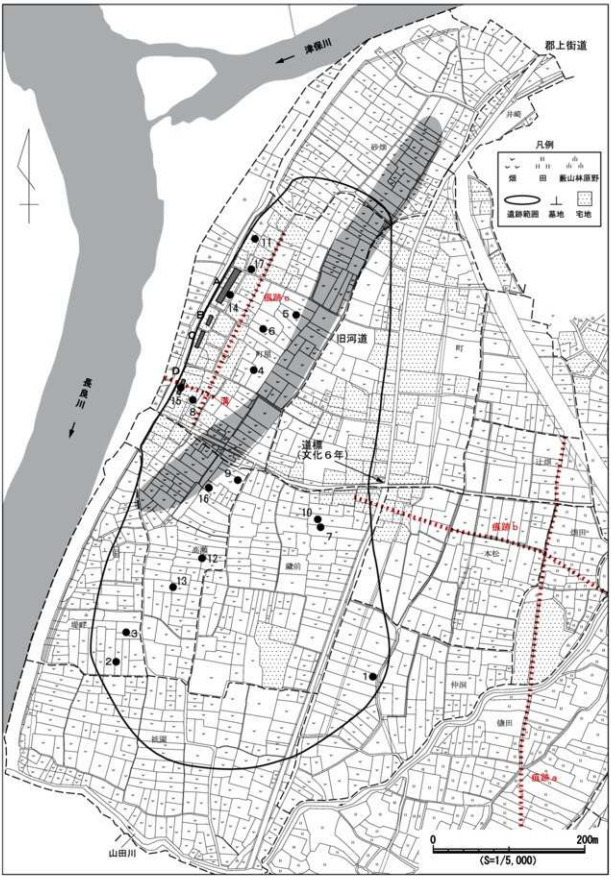


図103　遺跡周辺の土地利用と調査地点

引用・参考文献

芥見郷土誌編纂委員会1961『芥見郷土誌』、岐阜市芥見公民館

井川祥子2006「美濃中世後期土師器皿の分類と編年」『守護所と戦国城下町』、高志書院

小野木学1997「美濃地方における中世前期の土師器皿の様相」『美濃の考古学』第２号、美濃の考古学刊行会

小野木学2004「美濃の中世集落再考」『守護所・戦国城下町を考える』第１分冊　シンポジウム資料集（第12回東海考古学フォーラム岐阜大会）、守護所シンポジウム@岐阜研究会世話人

可児光生2001「中世の墨書土器～岐阜県を中心に～」『文字の登場、そして広まり―古代中世の人と文字をめぐって―』、美濃加茂市民ミュージアム

金子健一1996「ホウロクの分類」『鍋と甕そのデザイン』（第４回東海考古学フォーラム）、東海考古学フォーラム尾張大会実行委員会

北村和宏1996「尾張の「伊勢型鍋」」「尾張の羽釜」『鍋と甕そのデザイン』（第４回東海考古学フォーラム）、東海考古学フォーラム尾張大会実行委員会

岐阜県教育委員会1971「岐阜県の民家 岐阜県民家緊急調査報告書」『日本の民家調査報告書集成』第10巻、東洋書林

岐阜県教育委員会1982『歴史の道調査報告書 郡上街道』

岐阜市教育委員会1999『城之内遺跡―長良公園整備事業に伴う緊急発掘調査―』第１分冊（岐阜市文化財報告1999-2）

国立歴史民俗博物館1994『日本出土の貿易陶磁』東日本編２（国立歴史民俗博物館資料調査報告書５）

財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター2005『名古屋城三の丸遺跡Ⅶ―旧国立名古屋病院地点の調査―』（愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第127集）

財団法人岐阜市教育文化振興事業団2005『芥見町屋遺跡―芥見野村水源地建設事業に伴う緊急発掘調査―』（財団法人岐阜市教育文化振興事業団報告書第14集）

財団法人瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター2011『財団法人瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター研究紀要』第17輯

鈴木正貴2001「尾張の拠点城館遺跡出土の瀬戸美濃窯産陶器―時期別組成の分析を中心に―」『愛知県埋蔵文化財センター研究紀要』第２号、財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター

関市教育委員会1984『重竹遺跡』（関市文化財調査報告第８号）

永井久美男1996「中世の出土銭の総括」『中世の出土銭　補遺Ⅰ』、兵庫埋蔵銭調査会

中野晴久1995「生産地における編年について」『常滑焼と中世社会』、小学館

中野晴久2006「常滑窯」『江戸時代のやきもの―生産と流通―』、財団法人瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター

藤澤良祐2007「第１章 総論」『愛知県史 別編　窯業２ 中世・近世 瀬戸系』、愛知県史編さん委員会

溝口彰啓2005「山茶碗の流通と消費―遠江・駿河・伊豆地域の様相―」『陶磁器から見る静岡県の中世社会―東でも西でもない―』発表要旨・論考編（菊川城館遺跡群国指定記念シンポジウム資料集）、菊川シンポジウム実行委員会

写真図版

遺跡周辺の航空写真　昭和 23 年（1948 年）米軍撮影　約 1 万分の 1 に拡大（R1607-3）

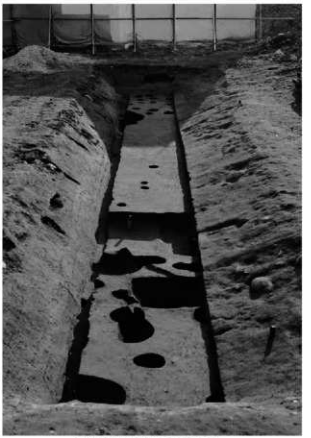
発掘区全景（北から）

図版２　発掘区近景

A地点完掘状況（北東から）

B地点完掘状況（北東から）

C地点完掘状況（北東から）



D地点完掘状況（北東から）

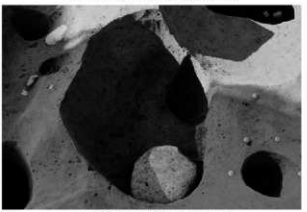
ＳＡ１・２完掘状況（北から）

ＳＢ04～06完掘状況（北東から）

ＳＰ055土層断面（北東から）

ＳＰ059礫出土状況（北東から）

ＳＰ087土層断面（北東から）



ＳＰ160礫出土状況（北東から）

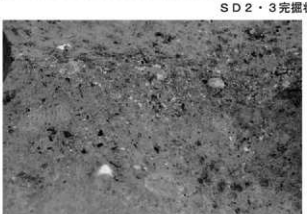
図版４　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（２）

ＳＢ07～11 完掘状況（北東から）

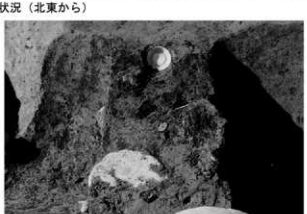
ＳＢ12 完掘状況（北東から）

ＳＢ13 完掘状況（南東から）

ＳＤ２・３完掘状況（北東から）



ＳＤ２埋土６上面詳細



ＳＤ２遺物出土状況　（南東から）

図版６　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（４）

ＳＤ２遺物出土状況（南西から）

ＳＤ４完掘状況（北西から）

ＳＥ３礫詳細（南東から）

ＳＫ003 礫出土状況（北東から）

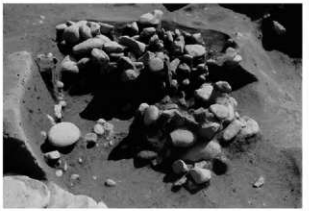
ＳＫ006 遺物出土状況（北東から）

ＳＫ010 検出状況（南西から）

ＳＫ019 礫出土状況（北から）

ＳＫ029 礫出土状況（北西から）

ＳＫ037 礫出土状況（南東から）



ＳＫ045 礫出土状況（北から）

ＳＫ072 礫出土状況（南東から）

ＳＫ045 底面被熱状況（北から）

ＳＫ259 礫出土状況（北東から）

ＳＫ278 遺物出土状況（南東から）

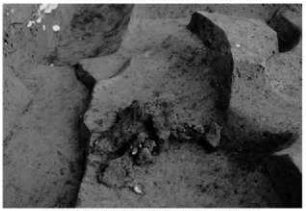
ＳＫ286 礫出土状況（北西から）

ＳＫ288 礫出土状況（北西から）

図版８　Ⅰ・Ⅱ期の遺構（６）

ＳＫ366 北西部遺物出土状況（南東から）

ＳＫ384 礫出土状況（南東から）



ＳＫ399 鍛冶関連遺物出土状況（西から）

ＳＫ481 礫出土状況（南東から）

ＳＫ483・484 礫出土状況（北東から）

ＳＫ509 礫出土状況（北東から）

ＳＰ099 礫出土状況（北東から）

ＳＢ01 検出状況（北西から）

ＳＰ009 土層断面（北西から）

ＳＥ１検出状況（北西から）

ＳＰ013 土層断面（南西から）

ＳＸ１検出状況（南東から）

図版10　Ⅲ期の遺構（２）

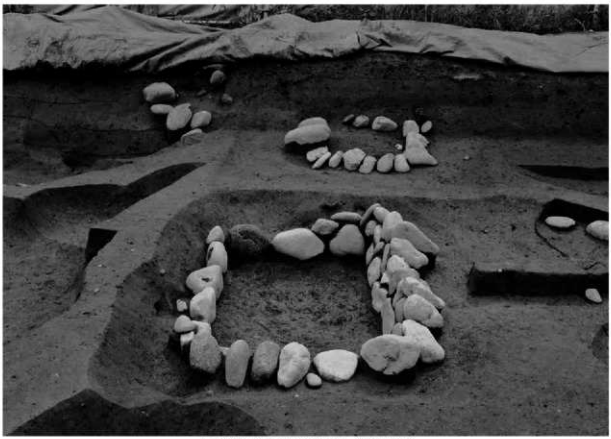
ＳＢ02 検出状況（北西から）

ＳＫ058 土層断面（南西から）

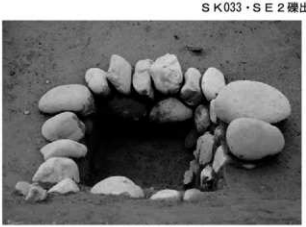
ＳＰ029 土層断面（南西から）

ＳＫ056 土層断面（南西から）

ＳＫ093 遺物出土状況（南西から）



ＳＫ033・ＳＥ２礫出土状況（北西から）



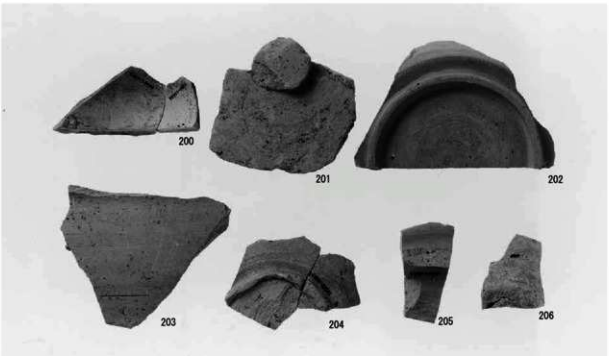
ＳＥ２礫詳細（南東から）

ＳＫ033 礫検出状況（北東から）

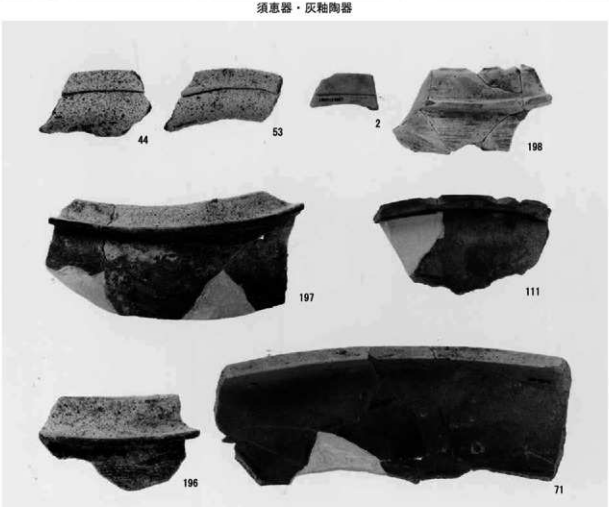
ＳＫ105 遺物出土状況（南東から）

ＳＫ033 遺物出土状況（北西から）

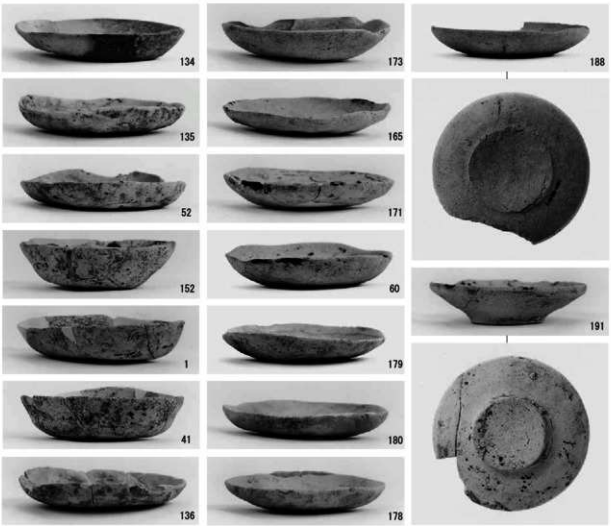
図版12　土器類（1）

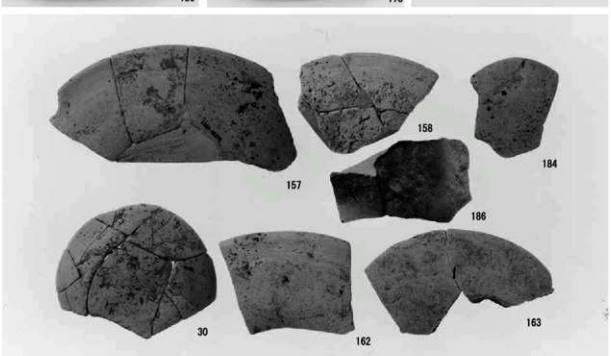


須恵器・灰釉陶器



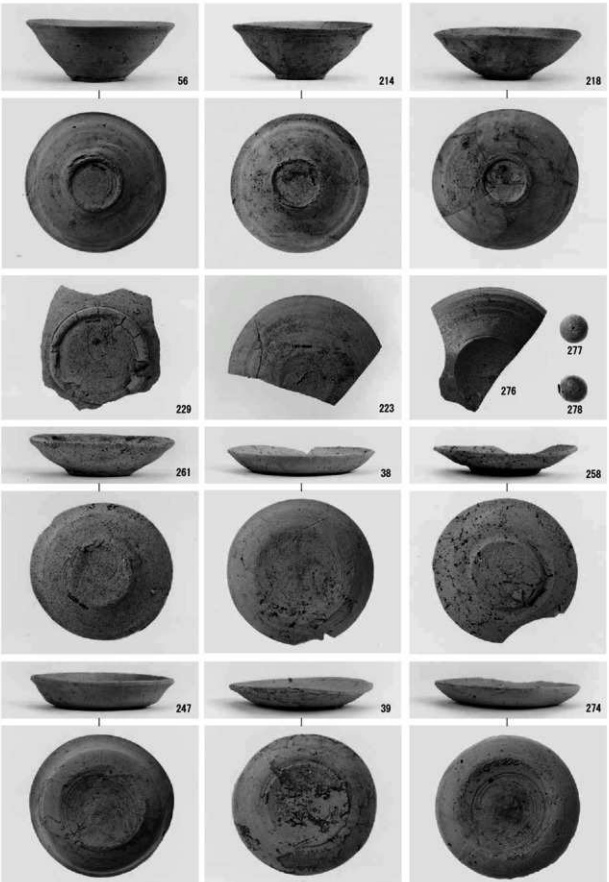
土師器（鍋・羽釜・ホウロク）


134
173
188
135
165
52
171
152
60
191
1
179
41
180
136
178

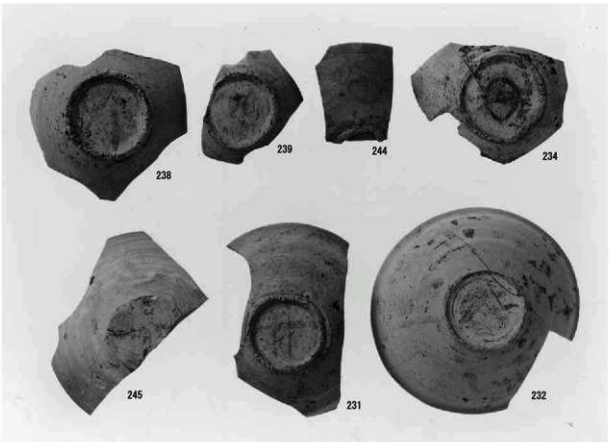

158
184
157
186
30
162
163

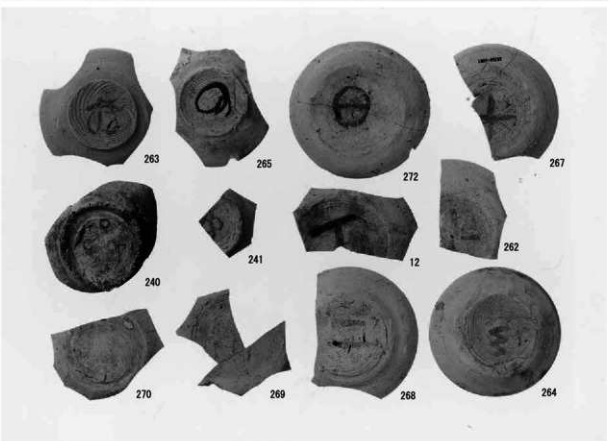
土師器皿

図版14　土器類（3）



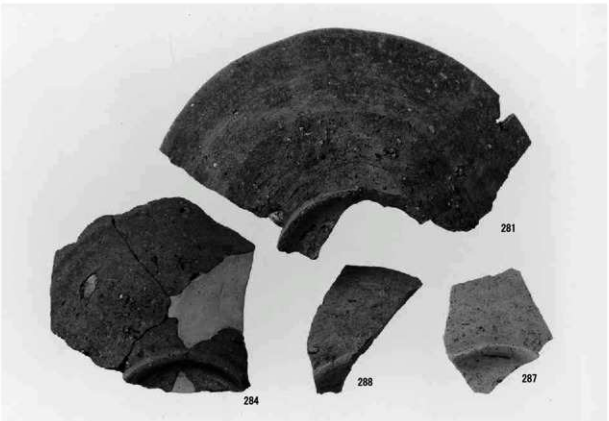
山茶碗類・窯道具・陶丸


238
239
244
234
245
231
232


263
265
272
267
240
241
12
262
270
269
268
264

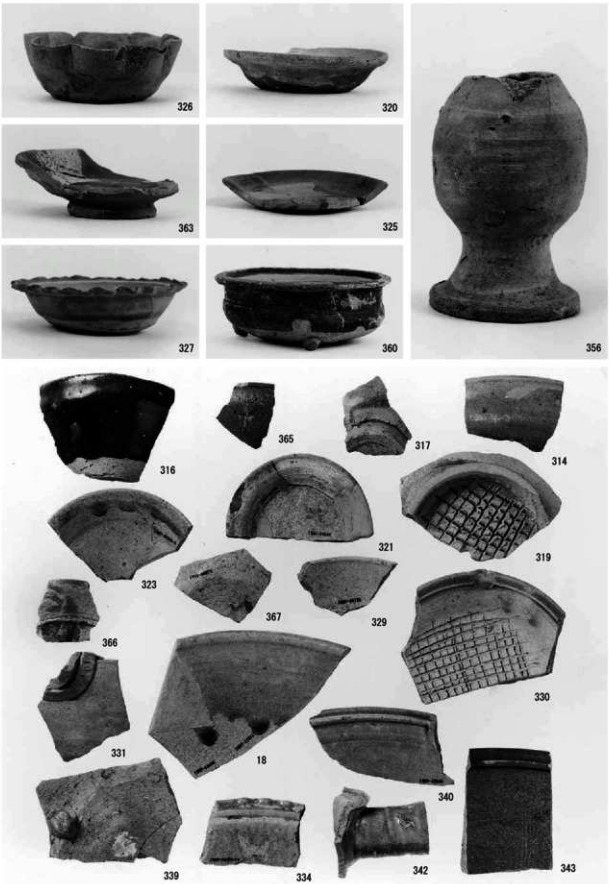
墨書土器

図版16　土器類（5）



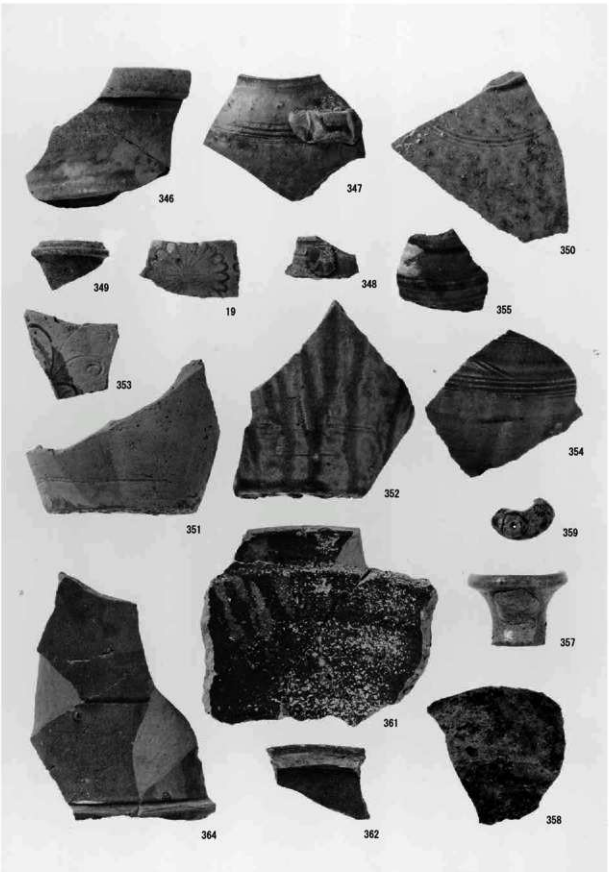
片口鉢

常滑産陶器


326
320
356
363
325
327
360
316
365
317
314
321
319
323
367
329
366
330
331
18
340
339
334
342
343

古瀬戸・大窯

図版18　土器類（7）



古瀬戸

302
295
296
299
297
298
303
305
300
301
304
306
311
308
307
310
309
312
313

中国産陶磁器

378
375
64
377
380
382
381
384

近世陶器

図版20　土器類（9）

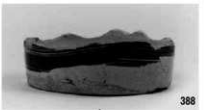
ＳＫ509 出土陶器

ＳＫ033・093・105 出土陶磁器

371

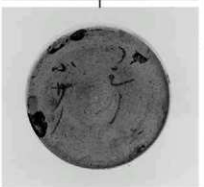
370

65


388

376

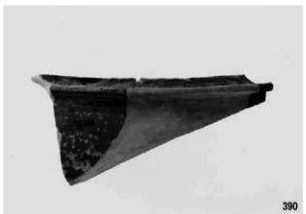
383



397

396

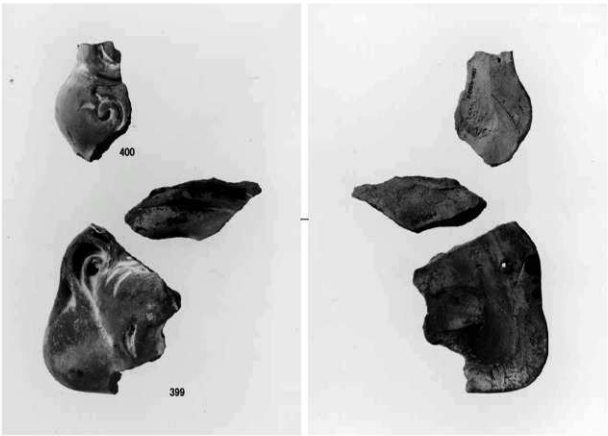
68


390

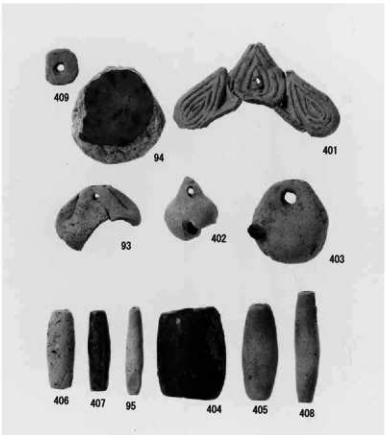
67

391

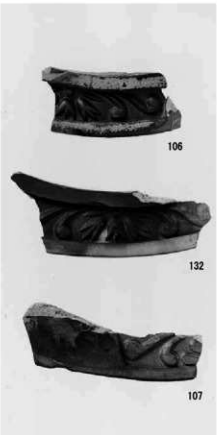
図版22　土製品、瓦



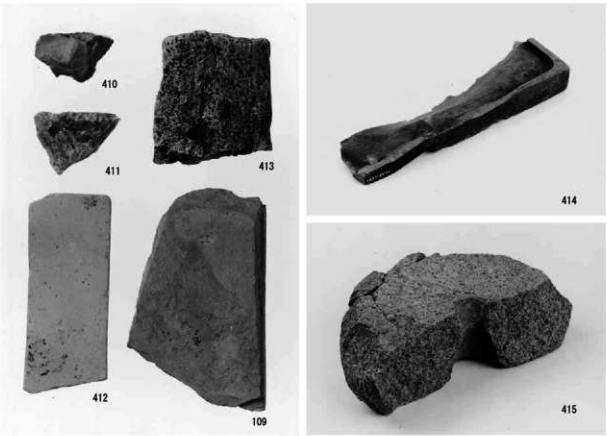
土製飾り面



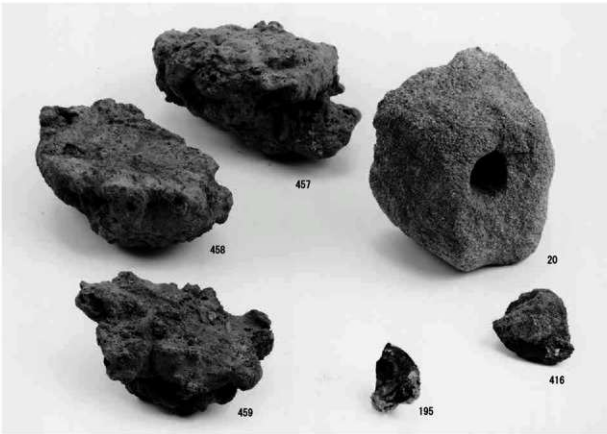
土製品



瓦

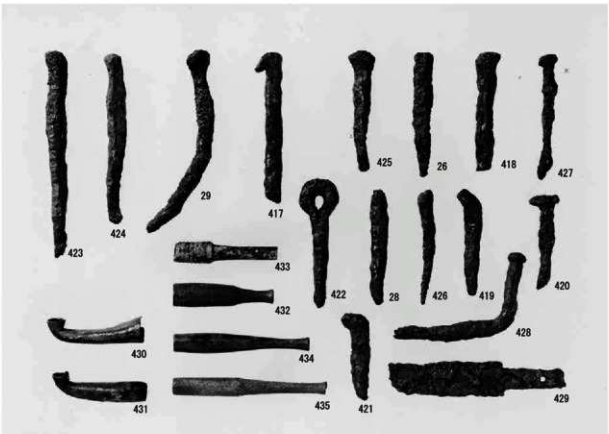


石器

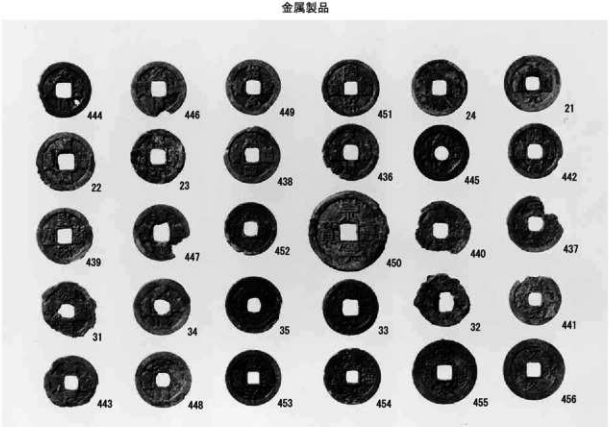


鍛冶・鋳造関連遺物

図版24　金属製品、銭貨



金属製品



銭貨

報告書抄録

ふりがな	あくたみまちやいせき
書名	芥見町屋遺跡
シリーズ名	岐阜県文化財保護センター調査報告書
シリーズ番号	第124集
編著者名	三輪晃三
編集機関	岐阜県文化財保護センター
所在地	〒502-0003　岐阜市三田洞東1-26-1　TEL058-237-8550　FAX058-237-8551
発行年月日	2012年3月23日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
芥見町屋遺跡（あくたみまちやいせき）	岐阜県（ぎふけん） 岐阜市（ぎふし） 芥見町屋（あくたみまちや）	21201	03185	35°27'31"	136°50'21"	20100616 ～ 20101217	681.54	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
芥見町屋遺跡	集落	弥生時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 江戸時代	柵2、建物13、溝4、井戸3、土坑585、柱穴309、整地遺構1	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗類、片口鉢、古瀬戸、大窯、常滑産陶器、中国産陶磁器、近世陶磁器、近代陶磁器、瓦、土製品、石器、金属製品、銭貨、鉄滓	発掘区は長良川の渡船場（芥見の渡し）に隣接。

要約

芥見町屋遺跡は、弥生時代から江戸時代までの複合遺跡である。今回の発掘区は、奈良時代の遺物が多数出土した地点から約360m北に位置し、長良川の旧中州上に立地する。発掘調査により検出された、室町時代から明治時代にかけての建物跡は、一定の地割に基づいて計画的に配置されており、中世の地割の痕跡が現代まで遺存する可能性が高いことが判明した。また、遺構・遺物共に密集して検出されたこと、鎌倉以外で出土数の少ない古瀬戸前期～中期製品、中世都市で出土する大型銭、発掘区外に想定される鍛冶・鋳造工房の存在は特筆される。現在のところ、発掘区周辺で港湾施設に関連する遺構は確認されてはいないが、これらの成果から、当遺跡は鎌倉時代から室町時代を中心とする、物流・旅客輸送の拠点であったと考えられる。

岐阜県文化財保護センター調査報告書　第124集

芥見町屋遺跡

2012年３月23日

編集・発行　岐阜県文化財保護センター
岐阜市三田洞東1−26−1
印　　刷　株式会社もとすいんさつ